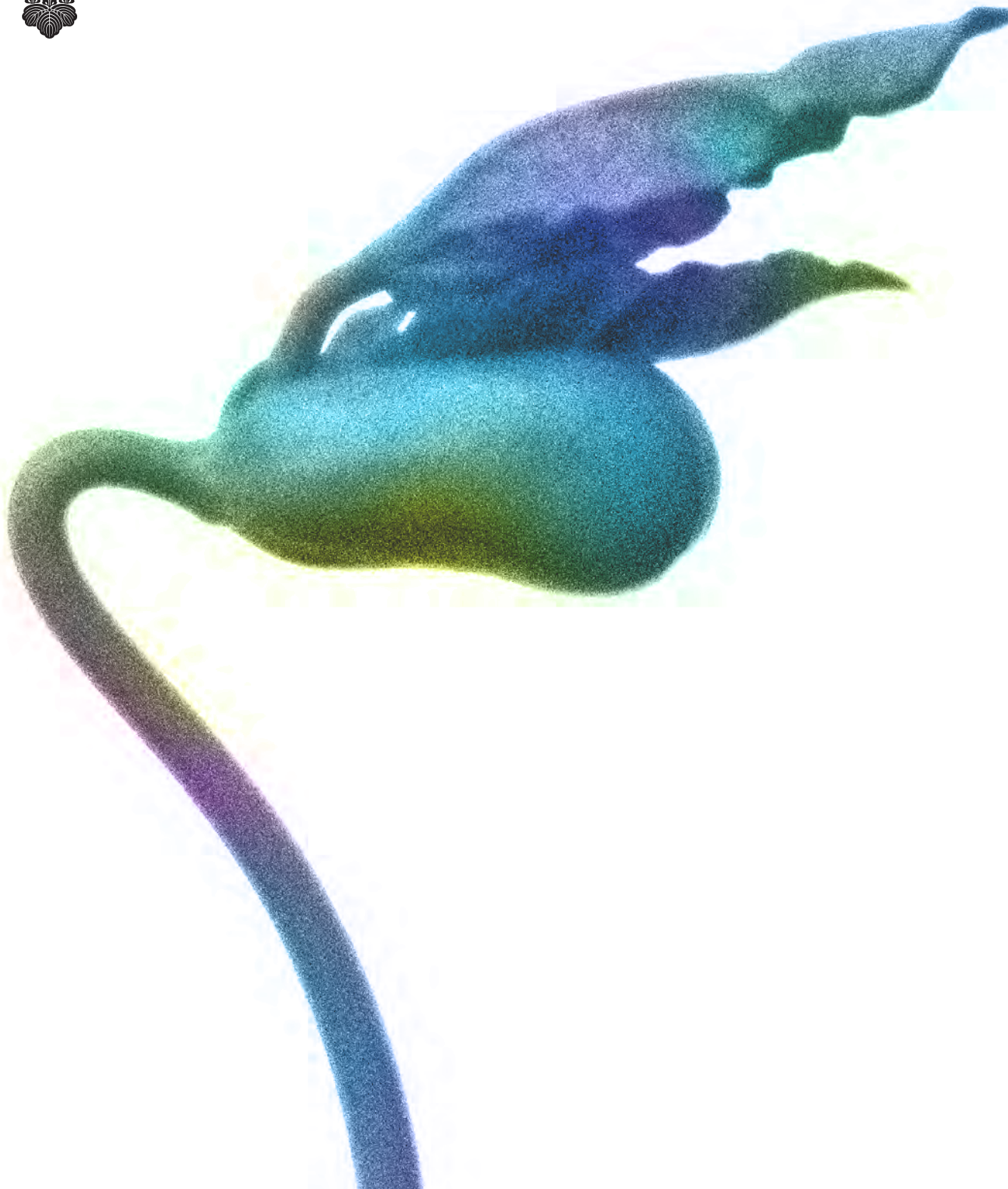


筑波大学案内
二〇二七

UNIVERSITY OF TSUKUBA
PROSPECTUS 2027

(C)2027.UNIVERSITY OF TSUKUBA



2027年度

筑波大学案内

<https://ac.tsukuba.ac.jp>

学長メッセージ		1	
巻頭特集 LIFE 筑波大生		2	
筑波大学の教育		4	
総合学域群	School of Comprehensive Studies	8	
人文・文化学群 School of Humanities and Culture	人文学類	College of Humanities	12
	比較文化学類	College of Comparative Culture	16
	日本語・日本文化学類	College of Japanese Language and Culture	20
社会・国際学群 School of Social and International Studies	社会学類	College of Social Sciences	24
	国際総合学類	College of International Studies	28
人間学群 School of Human Sciences	教育学類	College of Education	32
	心理学類	College of Psychology	36
	障害科学類	College of Disability Sciences	40
生命環境学群 School of Life and Environmental Sciences	生物学類	College of Biological Sciences	44
	生物資源学類	College of Agro-Biological Resource Sciences	48
	地球学類	College of Geoscience	52
理工学群 School of Science and Engineering	数学類	College of Mathematics	56
	物理学類	College of Physics	60
	化学類	College of Chemistry	64
	応用理工学類	College of Engineering Sciences	68
	工学システム学類	College of Engineering Systems	72
情報学群 School of Informatics	社会工学類	College of Policy and Planning Sciences	76
	情報科学類	College of Information Science	80
	情報メディア創成学類	College of Media Arts, Science and Technology	84
	知識情報・図書館学類	College of Knowledge and Library Sciences	88
医学群 School of Medicine and Health Sciences	医学類	College of Medicine	92
	看護学類	College of Nursing	96
	医療科学類	College of Medical Sciences	100
体育専門学群	School of Physical Education, Health and Sport Sciences	104	
芸術専門学群	School of Art and Design	108	
学際サイエンス・デザイン専門学群	School of Transdisciplinary Science and Design	112	
学生生活と環境	学ぶための環境		116
	国際交流		117
	障害学生支援・LGBTQ+学生支援		120
	医・食・住環境		122
	授業料・奨学金		124
	学生組織		125
	文化系のサークル・体育系のサークル・芸術系のサークル		126
キャリア	就職・進学・取得免許・国家試験等		128
	大学院		134
	連携大学院とつくばの研究所		136
	共同利用施設		140
	筑波大学データ		141
入試	入試情報		142
	学類・専門学群の定員と募集人員		143
	総合選抜入学者の2年次受入人数と優先受入人数		144
	入試結果		145
	前期日程・後期日程の試験科目等		149
推薦入試 推薦要件一覧		156	
見学/体験学習/進学相談/資料請求		159	
キャンパスマップ		160	

IMAGINE THE FUTURE.



筑波大学長 永田恭介

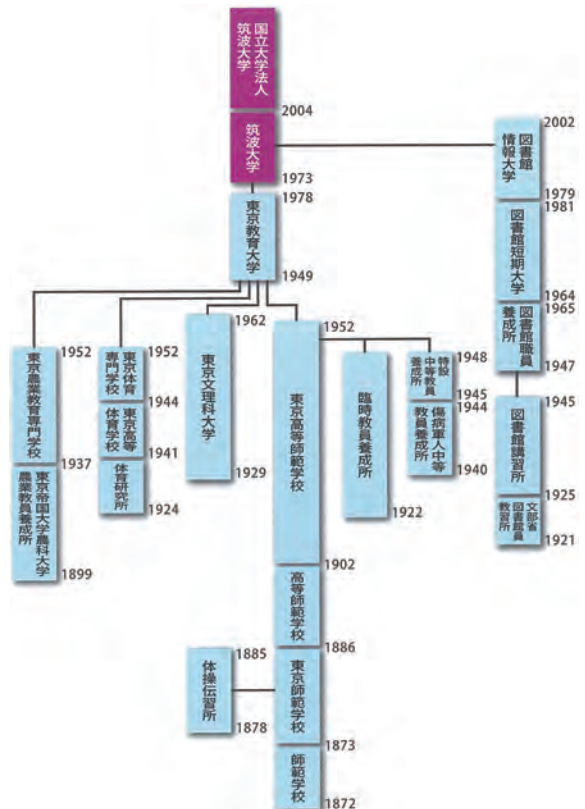
地球と人類社会の未来創造に向けて

環境の劣悪化、資源の不足、国際情勢の緊張、経済の不安定化、AIの進展による効率化とリスクなど、世界は数多くの地球規模課題に直面しています。我々は、そうした課題を解決しながら、一人ひとりの多様な幸せと社会全体の well-being の実現を核とした持続可能な活力ある社会を目指す必要があります。筑波大学は、これまで IMAGINE THE FUTURE. のスローガンのもと、知の創造とグローバル社会で国際的に活躍できる豊かな人間性を備えた人材を育成することを目標としてきました。

本学の教育宣言である筑波スタンダードに基づく質の高い教育により、皆さんにコミュニケーション能力や論理的思考能力が身に付くように、そして武者修行型学修により皆さん自身が主体的・自立的に課題を発見し解決することができる実践力が身に付くような教育システムを用意しています。また、世界に挑む産業界・官界のトップリーダーが教壇に立ち、オリンピック・パラリンピックメダリストを生むなど幅広い学問分野を有しており、皆さんは多彩な講義・演習や活発な課外活動を通じて、専門分野のみならず幅広い教養を修得することができます。

本学は我が国で最も新しい研究型総合大学であると同時に、最も古い官立の教育機関をルーツに持つ伝統ある大学でもあり、あらゆる面で「開かれた大学」として、国際性と学際性を柱に地球規模の課題の解決と人類社会の発展に向けて、開学 50 周年にして次の 50 年に向けて「未来構想大学」というコンセプトのもと歩みを進めています。未来志向で不断の挑戦を続ける学生の精神を尊重します。

国内最大規模の広さと美しさを誇るキャンパスは、東京から 45 分の近距離でありながら、都会の喧騒とは縁のない場所であり、自由にじっくりと考え、創造力を育て、表現力を養う環境を備えています。周辺には数多くの国際的にも評価のきわめて高い産官の研究機関が集積しており、キャンパスにも街にも国際性が日常化しています。本学は学問文化の薫り高い国際都市、つくばサイエンスシティの中核です。皆さんと緑あふれる筑波キャンパスでお会いすることを心から楽しみにしています。



筑波大学の沿革

建学の理念

本学は、基礎及び応用諸科学について、国内外の教育・研究機関及び社会との自由、かつ、緊密なる交流関係を深め、学際的な協力の実をあげながら、教育・研究を行い、もって創造的な知性と豊かな人間性を備えた人材を育成するとともに、学術文化の進展に寄与することを目的とする。従来の大学は、ややもすれば狭い専門領域に閉じこもり、教育・研修の両面にわたって停滞し、固定化を招き、現実の社会からも遊離しがちであった。本学は、この点を反省し、あらゆる意味において、国内的にも国際的にも開かれた大学であることをその基本的性格とする。そのために本学は、変動する現代社会に不断に対応しつつ、国際性豊かにして、かつ、多様性と柔軟性を持った新しい教育・研究の機能及び運営の組織を開発する。更に、これらの諸活動を実施する責任ある管理体制を確立する。

LIFE 筑波大生



Kosuke Kawachi



社会・国際学群 社会学類 2年次 河内 康佑 さん

- 1 模擬仲裁・交渉の大会である「大学対抗交渉コンペティション」(INC)での入賞です。筑波大学は2019年の初出場以降、入賞経験がありませんが、サークルとして再出発した現在のチームには理系も多く、また個性的で頼もしいメンバーが集まっています。このチームでINCでの入賞を果たし、日頃からお世話になっている顧問教員の宮坂 渉 先生にも恩返しのできればと考えています。
- 2 筑波大学は、言ってしまうと「サバンナ」のような場所です。理系でありながら法学の授業を受ける友人、大真面目にアッカド語を学ぶ友人、センス抜群の芸術専門の友人などなど、総合研究大学であるがゆえに、多様な分野の「猛者」たちが集まっています。だからこそ、自分を周囲と相対的に捉えることで、謙虚でいられると同時に、自分だけが持つ強みにも気づける環境だと感じています。



Tomoka Uesugi



理工学群 社会工学類 4年次 上杉 朋花 さん

- 1 「やりたい」と思ったことは全力でやりきりたいです。今は大学構内を対象とした自転車の経路と駐輪場配置の研究をしているので、現場とデータの両方の視点から、学生が使いやすく居心地の良い空間づくりを考えていきたいです。また幼い頃から馬が大好きで、ずっと馬と関わってきているので、どれだけ忙しくなっても続けていきたいと思っています。
- 2 学業はもちろん、それ以外の活動にも取り組める環境が整っていることです。部活やサークルに一生懸命取り組む人、起業をする人、長期インターンに参加する人、学園祭の実行委員として頑張る人、留学に行く人など、勉強以外のことにも挑戦できる環境が整っています。T-ACTという学生の「やってみたい」を応援するプロジェクトなども大学側が提供してくれています。



Asuka Nakamura



人間学群 教育学類 3年次 中村 明日歌 さん

- 1 2つあります。1つ目は、生涯にわたり知的好奇心を満たす方法を身につけることです。学類内外の授業も取りつつ、4か国語を学んだりゼミで議論を深めたりと、自ら学び研究していく力を養っています。2つ目は、小・中・高、特別支援の教員免許取得と、教育学の研究をバランスよく両立させることです。実習の傍ら、卒業論文は知的障害児に対する理科教育の意義をテーマに進めています。
- 2 挑戦したいことを受け止め、応援してくれる雰囲気です。どうしても参加したいプログラムと教育実習が重なって私が迷っている時、先生方や友人は私の気持ちを真摯に受け止めた上で、選択肢を改めて示し、応援してくれました。自主ゼミの開催や複数免許取得に際しても、たくさん支えていただいております。あらゆることに、のびのびと挑戦できるのは、筑波大学の大きな魅力だと感じます。

Questions

- ①筑波大学の学生として学生時代に成し遂げたいことは何ですか。
- ②筑波大学の魅力だと感じていることを教えてください。



Kenichiro Yoshimoto



生命環境学群 生物学類 4年次 **吉本 賢一郎** さん

- ①大学入試の面接の時に、今の生き物の発生と大昔の化石の知見を統合して顎の進化を多角的に解く研究がしたいと語りました。とすると、当時成し遂げたいと思っていたことは、幸運にも筑波大でずっと実施できています。今後成し遂げるべきことは、これまでの成果を国際誌の論文としてまとめ、今の自分も持っている仮説やアプローチの妥当性を研究業界に問いかけることにあると考えています。
- ②本物を見る教育が重視されているところです。自然界には教科書的な挙動をするものなどありません。記述の前提となる種や組織、構造の境界すら実際は明確ではないのです。筑波大の実験施設がある下田や菅平での野外分類実習や筑波での分類、比較解剖、生理学実験を通じて自分たちは自然の多様性や仕組みのほんのごく一部しか認識、理解していないことを痛感できたのは良い経験でした。



Mai Fukutome



医学群 医学類 6年次 **福留 舞** さん

- ①海外から来た患者さんとも向き合える医師になりたいという思いから、医学と英語の勉強に力を入れてきました。イギリスでの海外実習では、医療現場でのコミュニケーションや患者さんとの関わり方を学ぶことができ、大きな刺激を受けました。残りの大学生活では、留学や学生生活でできた繋がりを大切にしながら、学内の成績を維持し、USMLEの取得や研究、部活動を全力で頑張ります!
- ②筑波大学には、勉強やスポーツ、研究など様々な事に真剣に取り組む人が多く、日々多くの刺激を受ける事が出来ます。殆どの学部が一つのキャンパスに集まっており、多くの学生が大学周辺に暮らしている為、留学生や他学部の学生とも交流しやすい環境です。友人との繋がりも自然に広がり、熱心に指導して下さる先生方が多い点も魅力の一つです。勉強も部活も遊びも全力で楽しめる大学です!



Yukitaka Maeda



マレーシア校 学際サイエンス・デザイン専門学群 2年次 **前田 幸隆** さん

- ①学生時代には、留学環境を活かして英語力を高めるだけでなく、国際的な視野を持ち、多様な文化や価値観を理解できる国際人として成長していきたいです。そのために、日常生活で多くの人と積極的に交流し、学業面ではマレーシアを取り巻く国際情勢を地政学的に学ぶことで、知識と経験の両面から異文化理解を深めていきたいです。
- ②マレーシア校の魅力は、少人数クラスで学生や教職員との距離が近いことです。授業では、多様なバックグラウンドを持つ学生と密度の高い議論ができ、教員にも質問や相談がしやすいです。さらに、学際的に興味分野を追究できるカリキュラムが整っているため、国際的な環境の中でより深い学びを実践することができます。

筑波大学の教育

「学問への誘い」から始まるタテとヨコ

筑波大学の学士課程での学びは次のような構造になっています。

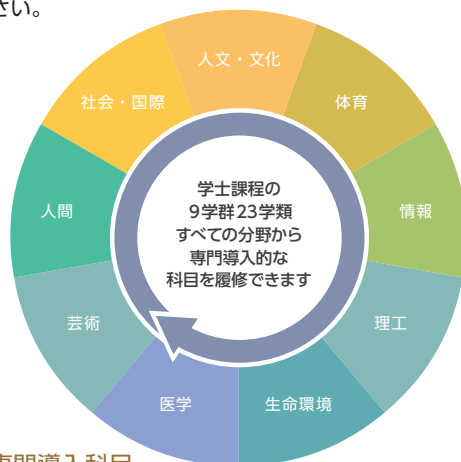
まず、総合科目「学問への誘い」を入学者全員が入学直後に履修します。この科目では、様々な学問の問いに、本学の研究者がどのようなアプローチで取り組んでいるのかを多数紹介します。本学における学修の動機をこの科目の履修により、まず得てください。この科目を要にして、学修はタテとヨコのイメージで進みます。自らの専門分野の学修は、所属している学類・専門学群で定められる専門基礎科目や専門科目の履修によって行われ、年次を追うごとにその専門性が深化してゆきます。「専門性の深まり」あるいは「掘り下げ」という言葉があるように、これはタテ方向への深化とたとえることができ、「専門智」の涵養へとつながります。

一方、本学では他の学類や専門学群の科目も複数履修することを卒業要件として定め、自分の知識をヨコに広げる展開も求めています。そのため、各学類・専門学群の専門科目や専門基礎科目のうちで、その学問分野の入り口に立つ入門的な内容を扱う科目を専門導入科目として多数配置しています。この科目群は、その科目を開講している学類・専門学群以外の組織に所属する学生の受講にも配慮しているので、文理にこだわらず自分の専門分野以外の分野の入門的内容を履修することができます。

また、総合科目のなかに学士基盤科目と呼ぶ科目群があり、様々な学問分野とつながる日本や世界の社会における様々な断面を教養として学ぶ科目も一つ以上履修するようになっています。「外国語」、「情報」、「体育」、「国語」、「芸

術」という共通的な科目も用意され、健康の維持とともに自らの見方や考え方を表明・表現できる力の涵養もなされます。専門導入科目、学士基盤科目の履修、そして、「外国語」をはじめとする共通科目の履修という三位一体が、汎用的な智を涵養します。

こうして、タテにも深くヨコにも広い学修がなされ、「総合智」が涵養されるように本学の教育システムは設計されています。このような学修から、一つの事柄を様々な視点からみて考えることができる複眼的な見方や、その事柄とその周囲の関連を広く見渡す俯瞰的な視野も獲得してください。



専門導入科目
9学群・23学類、全ての分野から専門導入的な科目を履修できます

世界を舞台に「社会を変える」自分になろう！

—筑波大学のソーシャルインパクト創出支援事業—

「将来はグローバルに活躍したい」「社会の役に立ちたい」と考えている皆さんに、筑波大学ならではの新しい挑戦の場を紹介します。この事業は、国境や言語、専門分野の壁を越えて、世界中の仲間とともに社会課題の解決に挑む「グローバルスタートアップ人材」を育てるための特別なプログラムです。

学びのステップは、海外への興味を持つことから始まり、留学生と一緒に合宿形式で企業の課題に取り組む「GASSHUKU」、そして実際に海外の大学等で現地学生と解決策を練る場である「DOJO」へと段階的に進んでいきます。

筑波大学は、多様な文化や価値観が混ざり合う、まさに「世界の縮図」のような場所です。ここでは、単なる知識の習得だけでなく、異なる背景を持つ人々とコラボレート

し、未来をデザインする実践的な力が身につきます。

起業を目指す人も、国際機関で働きたい人も、このプログラムを通じて自分にしかできないソーシャルインパクト（社会への貢献）を見つけてみませんか？ 世界を動かす最初の一步を、ぜひ筑波大学で踏み出してください！



共通科目について

共通科目は以下の科目で構成されており、必修科目は時間割が重複しないように固定時間割が組まれています。(一部、固定時間割でない科目もあります。)

- ◆ **総合科目 (全学必修)** : 「学問への誘い」 および「ファーストイヤーセミナー」に加え、社会で活躍するために必要となる広い視野、学際的な視点などを養うための一連の科目群 (学士基盤科目) から構成されます。
- ◆ **体育 (全学必修)** : 充実した体育施設において、ジョグ & ウォーク、サッカー、テニス、バレーボール、バスケットボール、柔道、ゴルフ、水泳、ダンス、インラインスケート、フィットネストレーニング、ボディ・ワーク、野外運動、トリム運動など多彩な科目から選択して受講します。
- ◆ **外国語 (全学必修)** : 「第 1 外国語」、「第 2 外国語」として英語と初修外国語を学びます (「第 2 外国語」は一部の学類・専門学群が必修)。

- ◆ **情報 (全学必修)** : 講義と演習を通じて、情報とコンピュータに関する基本概念および社会における位置づけを理解し、インターネット社会におけるルールとモラルを身につけます。
- ◆ **国語 (一部の学類・専門学群で必修)** : レポート (論文) 作成の基礎、応用・発展、総合的な表現能力の向上を目的として、日本語運用能力を系統的に修得するカリキュラムが用意されています。
- ◆ **芸術** : 国際的に「芸術」は大学におけるリベラルアーツ (教養) 教育の重要な一分野を占めています。
- ◆ **自由科目 (特設)** : 本学の研究や教育の成果をもとに、全学の学生を対象として開設される科目です。ドイツ語、中国語、ロシア語を現地の大学で学ぶ「海外語学研修」や「障害学生支援技術」「ダイバーシティとジェンダー/セクシュアリティ」など特徴的な科目が開設されています。

必修科目・選択科目・自由科目

年次が進むにつれて、共通科目・専門導入科目→専門基礎科目→専門科目と学びの専門性が高くなっていきます。大学の初年次には必ず履修しなければならない必修科目が多く配置されていますが、学年が上がるにつれて選択科目の幅は高校と比べてはるかに大きくなります。高校と大学の最も大きな違いの一つは、この学びの多様性にあります。

さらに筑波大学では自由科目が設けられています。自由科目とは、選択科目よりさらに幅広い科目群の中から自由を選択して履修する科目のことです。

卒業のために必要な科目は専門学群や学類によって異なりますが、学生は各々の興味、関心、適性、将来の進路などを考えながら選択科目や自由科目を履修していくことになります。

多様な授業方法と単位制

大学の授業はその方法によって、講義、演習、実験、実習、実技といった種類に分かれています。これらの授業の履修によって学生は単位を取得し、卒業するまでに各学類・専門学群で定められた単位数を取得することになります。

講義は教員が言葉や問いかけで知識や考え方を伝える授業のことで、高校の教育方法に近いものです。演習は講義で得た知識や技能をもとに特定の課題や問題について

発表したり検討したりする少人数の授業です。

実験、実習は講義等で習得したことを実験室や実際の現場などで実物を用いて試したり学んだりする授業、実技は技術を磨く授業と言えます。

筑波大学では、講義や演習は 1 時限 (75 分) の授業を 10 回受けると 1 単位取得できます (一部の演習を除く)。また実験・実習・実技で 1 単位を取得するためには 1 時限の授業を 20 回受ける必要があります (一部の実験・実習を除く)。

学期制とモジュール制

筑波大学では 2 学期制をとり、4 月から 9 月までの春学期、10 月から翌年 3 月までの秋学期に分かれています。各学期は 15 週ですが、さらに 5 週ずつ A、B、C に三分割して、これをモジュールと呼んでいます。

講義は 10 回の授業で 1 単位であることを説明しましたが、例えば春学期 A モジュールと B モジュールで開講される講義は 10 週行われることになるので、1 単位取得できます。また、秋学期 C モジュールのみでも 1 日に 2 時限連続の講義を行えば、5 週で 10 回講義することになるので、同じく 1 単位を取得することができます。

このように本学の学期制・モジュール制では、弾力的な時間割編成が可能となっています。

月	4月～5月			6月～7月	8月～9月	10月～11月	12月～1月		2月～3月
学期区分	春学期				秋学期				
モジュール (5週単位)	春A モジュール	春B モジュール	春C モジュール	夏季 休業	秋A モジュール	秋B モジュール	秋C モジュール	春季 休業	
5週又は10週	→ → →			集中 講義等	→ → →			集中 講義等	
15週	→ → → →				→ → →				

筑波大学の一日

筑波大学の時間割は、1回の授業時間が75分（他のほとんどの大学は90分）、1日6時限となっています。1時限目は8時40分から始まりますが、時間割は一人一人異なるので、2時限目や3時限目から来る学生もいま

す。休憩時間は15分ですが、2時限目と3時限目の間は50分ありますので、これがお昼休みとなります。

日課だけ見ると、朝早くから夕方遅くまで詰まっているように見えるかもしれませんが。確かに低学年では必修科目

時間割の例

総合学域群

人文・文化学群開設科目
 社会・国際学群開設科目
 人間学群開設科目
 生命環境学群開設科目
 医学群開設科目

2025年度 1年次 春学期						
モジュール/時限	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	
A	1限	人間学Ⅰ	フィールド文化領域比較文化研究	英語1年次	体育	
	2限	人間学Ⅰ	フィールド文化領域比較文化研究	初修外国語1年次	ファーストイヤーセミナー	
	3限	初修外国語1年次	情報リテラシー	基礎看護学概論	国際学Ⅱ	
	4限	英語1年次	情報リテラシー	基礎看護学概論	国際学Ⅱ	
	5限	国語Ⅰ		学問への誘い	生物学序説	
	6限			学問への誘い	生物学序説	
B	1限	心理学概論	共生のための人類学	英語1年次	体育	
	2限	心理学概論		初修外国語1年次	ファーストイヤーセミナー	
	3限	初修外国語1年次	情報リテラシー	人体構造学		
	4限	英語1年次	情報リテラシー	人体構造学		
	5限	国語Ⅰ	思想文化領域比較文化研究		経済学の最前線	国際学Ⅳ
	6限		思想文化領域比較文化研究		経済学の最前線	国際学Ⅳ
C	1限	心理学概論	共生のための人類学	英語1年次		
	2限	心理学概論		初修外国語1年次		
	3限	初修外国語1年次		人体構造学		
	4限	英語1年次		人体構造学		
	5限					
	6限					

総合学域群では、1年間の学修を通して2年次に進む学類・専門学群を考えていきます。総合学域群の学生は、それぞれの興味関心に応じて時間割を作成しますので、ひとりひとり時間割が異なります。どの選抜区分で入学した学生でも、文理を越えて履修したい科目を自由に選択することができます。上記では、文系で入学した学生の履修の一例を紹介しています。人文系・社会系のみならず、人間系・生命環境系・医学系の科目も広く履修し、様々な分野のアプローチの仕方を学ぶような時間割を作成しています。

社会・国際学群 社会学類

2025年度 2年次 春学期						
モジュール/時限	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	
A	1限					
	2限		地域経済論		宇宙開発	応用体育ニュースポーツ(春)
	3限	現代社会学の系譜	地域経済論			フランス語圏の言語と文化A
	4限	現代社会学の系譜		社会学研究法A	政治と社会	情報文化概論
	5限		政治学外書講読Ⅰ(英語)		政治と社会	
	6限	社会学演習Ⅳc			社会学演習Ⅰc	
B	1限					
	2限		地域経済論		宇宙開発	応用体育ニュースポーツ(春)
	3限	現代社会学の系譜	地域経済論			フランス語圏の言語と文化A
	4限	現代社会学の系譜		社会学研究法A	政治と社会	情報文化概論
	5限		政治学外書講読Ⅰ(英語)		政治と社会	
	6限	社会学演習Ⅳc			社会学演習Ⅰc	
C	1限			年金制度と資産運用の基礎 (三井住友信託銀行寄附講座)		
	2限			年金制度と資産運用の基礎 (三井住友信託銀行寄附講座)		
	3限					フランス語圏の言語と文化A
	4限					
	5限					
	6限					

社会学類では、3年次から社会学・法学・政治学・経済学の4つの主専攻から志望する主専攻に所属します。1年次では4主専攻の専門基礎科目を中心に履修し、2～4年次においては、主専攻分野の勉強を深めるために、少人数形式の入門演習や演習(ゼミナール)が設けられ、活発な討論と深い研究の「場」となっています。このほか、学生が生きた学問を体感できるように工場見学や施設見学を行ったり、全国的にも珍しい裁判員制度に対応した模擬法廷教室で裁判実務の講義を行ったりしています。

が多いので、時間割は窮屈になります。しかし決められた単位をきちんと取得していけば、学年が上がるにしたい、時間割にはゆとりが出てきます。学生はその余裕を利用して他学群や他学類の授業を受講したり、図書館で勉強したりしています。

時 限	授業時間
第 1 時限	8 : 40 ~ 9 : 55
第 2 時限	10 : 10 ~ 11 : 25
第 3 時限	12 : 15 ~ 13 : 30
第 4 時限	13 : 45 ~ 15 : 00
第 5 時限	15 : 15 ~ 16 : 30
第 6 時限	16 : 45 ~ 18 : 00

生命環境学群 生物学類

2025年度 1年次 春学期						
モジュール / 時限	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	
A	1 限			情報リテラシー (講義)	English Presentation Skills I	
	2 限			情報リテラシー (講義)	基礎ドイツ語 BI	
	3 限	有機化学 I	基礎体育		化学概論	数学リテラシー 1
	4 限		ファーストイヤーセミナー		化学概論	基礎生物学実験 I
	5 限	基礎ドイツ語 AI	数学リテラシー 1	学問への誘い		基礎生物学実験 I
	6 限	English Reading Skills I		学問への誘い		基礎生物学実験 I
B	1 限	考古学・民俗学入門		情報リテラシー (演習)	English Presentation Skills I	
	2 限	おもてなし学グローバルマナーと異文化コミュニケーション	地球環境学 1	情報リテラシー (演習)	基礎ドイツ語 BI	
	3 限		基礎体育	人体構造学	人体機能学	線形代数 1
	4 限	有機化学 I	ファーストイヤーセミナー	人体構造学	人体機能学	基礎生物学実験 I
	5 限	基礎ドイツ語 AI	思想文化領域比較文化研究		分子細胞生物学概論	基礎生物学実験 I
	6 限	English Reading Skills I	思想文化領域比較文化研究		分子細胞生物学概論	基礎生物学実験 I
C	1 限	考古学・民俗学入門			English Presentation Skills I	こころの発達
	2 限	おもてなし学グローバルマナーと異文化コミュニケーション	地球環境学 1		基礎ドイツ語 BI	こころの発達
	3 限			人体構造学		線形代数 1
	4 限			人体構造学		
	5 限	基礎ドイツ語 AI	遺伝学概論			物理学概論
	6 限	English Reading Skills I	遺伝学概論			物理学概論

1年次では英語、体育、情報などの共通科目他に、生物学類の基礎生物学実験や分子生物学概論、遺伝学概論などが必修科目です。その他に、理系と文系の基礎科目をバランスよく選択して時間割を作りました。学芸員の資格を取りたかったので、役に立つかと考えてドイツ語を履修しました。

体育専門学群

2025年度 1年次 秋学期						
モジュール / 時限	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	
A	1 限		バスケットボール		データサイエンス	国語 II
	2 限	運動生理学	バスケットボール	English Reading Skills II	データサイエンス	教職論 II
	3 限	English Presentation Skills II		運動栄養学 I	スポーツ社会学	スポーツ社会学
	4 限		学校経営概説		サッカー	運動生化学
	5 限	教育の法と制度	スポーツキャリア形成 I		サッカー	
	6 限					
B	1 限		バスケットボール		データサイエンス	国語 II
	2 限	運動生理学	バスケットボール	English Reading Skills II	データサイエンス	教職論 II
	3 限	English Presentation Skills II		運動栄養学 I	スポーツ社会学	スポーツ社会学
	4 限		学校経営概説		サッカー	運動生化学
	5 限	教育の法と制度	スポーツキャリア形成 I		サッカー	
	6 限					
C	1 限		個別トレーニング学		学修の心理	
	2 限		個別トレーニング学	English Reading Skills II	学修の心理	
	3 限	English Presentation Skills II	こころの発達	体育科学シンポジウム	個別コーチング学	個別コーチング学
	4 限		こころの発達	体育科学シンポジウム	スポーツキャリア形成 II	種目別コーチング演習 I
	5 限				スポーツキャリア形成 II	種目別コーチング演習 I
	6 限					

1年次では、外国語、情報等の基礎科目と体育・スポーツ科学の基礎的知識・技術を学ぶ専門基礎科目を中心に履修します。2年次以降、段階的に専門性を向上し、特に3年進級時に約40の研究領域の中からいずれかを卒業研究領域として選択し、卒業研究をはじめとしてより専門的な学修を進めていきます。また、教員免許状取得を目指す学生はこの例のように1年次から、教職に関する科目を並行して履修します。

総合学域群

School of Comprehensive Studies

<https://scs.tsukuba.ac.jp/>

総合選抜とは

一進路決定の固定観念から自由になろう！

「物理が得意だから、大学では物理学を勉強しよう」と決めてしまいませんか？大学にはみなさんの知らないたくさんの学問領域があります。高校で学んだ教科だけで進路を決めてしまうと、自分の将来を狭めてしまうかもしれません。情報学は理系、地理学や心理学は文系、と思いついていませんか？多くの学問は、文系、理系、どちらからもアプローチが可能です。まずは、それぞれの学問に実際に触れてみて、その後に専門を決めるという方法もあります。

それをかなえる入試が「総合選抜」です。

総合選抜では「文系」「理系Ⅰ」「理系Ⅱ」「理系Ⅲ」という学類・専門学群よりも幅広い区分で選抜します。入学後の1年間は英語をはじめとする外国語や情報、体育などの基礎科目のほかに、様々な分野の専門導入的な科目を学び、1年次の終わりに本人の志望と入学後の成績などに基づいて2年次以降に所属する学類・専門学群が決まります。

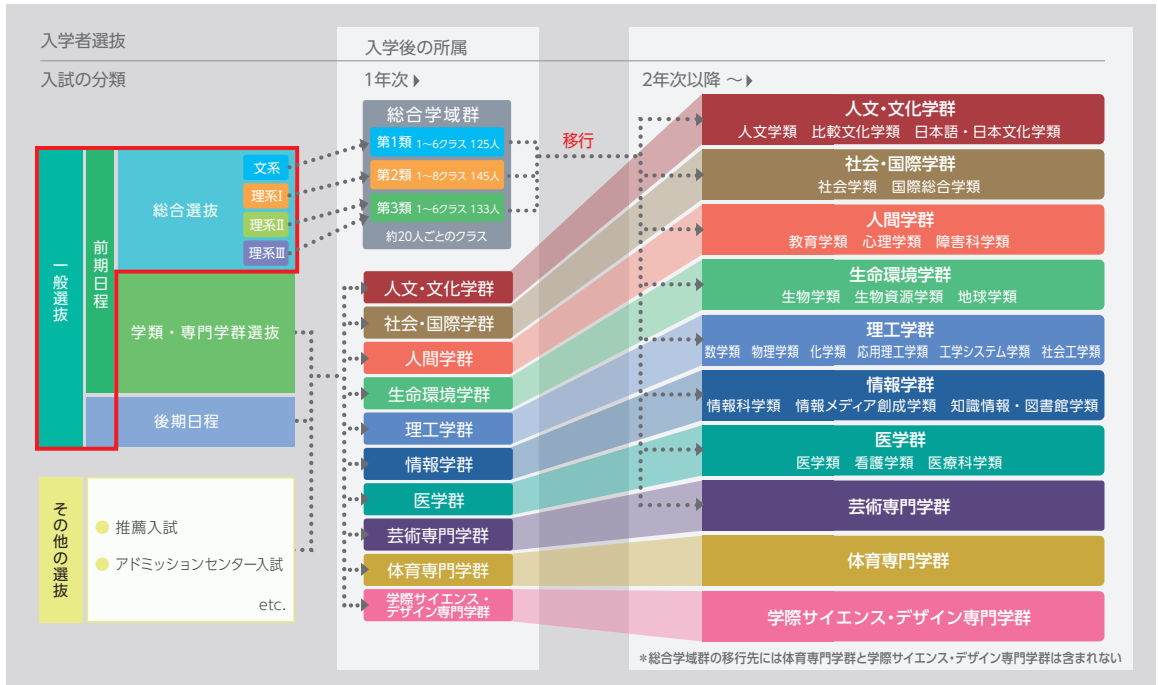
いずれの区分で入学しても、体育専門学群と学際サイエンス・デザイン専門学群を除くすべての学類・学群に進めます。ただし、志望する学類・専門学群の指定する科目を修得していることが条件となります。また、特定の選抜区分で入学した学生を優先して受け入れる学類もあります。

選抜区分と優先受入枠

選抜区分	優先して受け入れる学類	優先受入枠を設けない学類・専門学群
文系	人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類、社会学類、知識情報・図書館学類、看護学類	
理系Ⅰ	地球学類、数学類、物理学類、化学類、応用理工学類、工学システム学類、社会学類	国際総合学類、教育学類、心理学類、障害科学類、医学類、芸術専門学群
理系Ⅱ	生物学類、生物資源学類、地球学類、医療科学類	
理系Ⅲ	数学類、情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類	

総合選抜から学類・専門学群への移行の詳細は、9ページをご覧ください。

入試から移行までの流れ



総合学域群ウェブサイト・パンフレット

- 総合学域群に関する詳細な情報は、下記Webページにて随時更新中！
<https://scs.tsukuba.ac.jp/>
- パンフレット等は、Webページからダウンロード可能です。
また、テレメールによる請求もできます。(p.159 資料請求番号 793290)



学類・専門学群への移行について

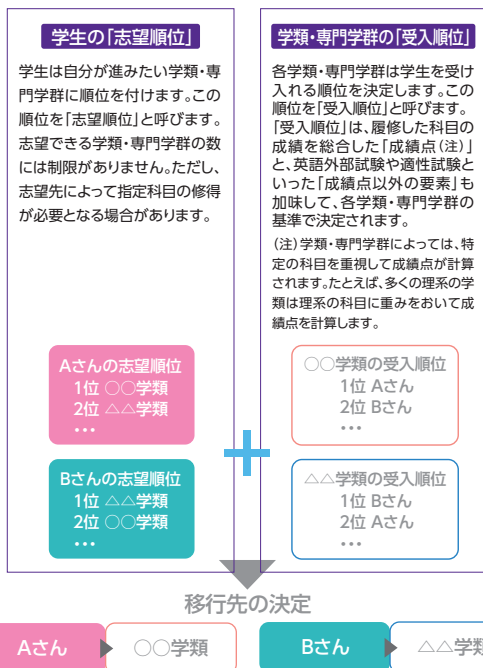
総合学域群の学生は、1年間の学びの後、所属する学類・専門学群が決まります。これを「移行」と呼びます。どの学類・専門学群に「移行」するかは、本人の志望と、入学後の成績や適性に基づいて決定します。どの選抜区分（文系、理系Ⅰ、理系Ⅱ、理系Ⅲ）で入学しても、体育専門学群と学際サイエンス・デザイン専門学群を除くどの学類・専門学群にも移行する道があります。

移行先を選ぶには

- Web・冊子等で提供される情報
- 「新入生のための知的好奇心マップ」
- 「移行後に備えて」（入学後に配布）
- 「履修・移行ガイドブック」（入学後に配付）
- 全学必修科目「学問への誘い」
入学後すぐに履修するこの科目は、幅広い学問分野を俯瞰する助けとなります。
- 興味・関心に基づいて履修した科目の講義内容
- 各種ガイダンス
- アカデミックサポートセンターのスタッフなどとの相談

学類・専門学群の決定

1年次の3月に行う本判定で、2年次に移行する学類・専門学群が決まります。移行先は、学生の「志望順位」と学類・専門学群の「受入順位」をもとに機械的に決定されます。なお、移行には大学1年生の成績が関係し、入試の成績は関係しません。



総合学域群長からのメッセージ



山中 弘
総合学域群長
(特命教授)

未来を見据えて、広い視野からじっくりと学ぼう

総合学域群は、令和3年4月から学生を受け入れた、筑波大学の中でも新しい組織です。ここに籍を置く学生は総合選抜で入学した1年次生だけです。2年次になると自分の希望する学類・専門学群に移行して、所属も総合学域群からそれぞれの教育組織へと移ります。つまり、総合選抜で入学した1年次生のためだけに用意された特別な「学びの場」ということとなります。総合学域群という名前に注目してください。これまでの学類・専門学群は名前から何をそこで学ぶことができるのかがおよそ見当がつかしました。総合学域群は、そうした専門領域の名前ではなく、どの学問的領域でも広く総合的に学ぶことができる「学域」、つまり総合学域群と名づけられました。

総合学域群の特長の一つは、高校までの学びに基づき、複数の専門領域の学修を通じて広い視野から様々な問題を多角的にとらえる基礎的な力を

身につけるということなのです。特定の学類・専門学群に属していないメリットを最大限に活用して、複数の学類・専門学群が開設する専門導入科目などを積極的に履修してみてください。もう一つの特長は、自分とは違う問題意識や将来の夢をもつ仲間と一緒に、1年間の学びの中で将来の方向性を考えながら、自分の関心と適性に合った学類を絞ることができるということです。もちろん、「移行」先を絞ることは一人では大変です。そのため、他の学類・専門学群にはないアカデミックサポートセンターという、1年次の皆さんの学修を手厚く支援する組織を備えています。

いずれにしても、総合学域群という学びの場を意義深いものにできるかどうかは、最終的には皆さん次第です。皆さんが総合学域群に所属して良かったと自信を持って振り返ることができるよう、一緒に頑張っていきたいと思います。

サポート体制について

類・クラス

入学して所属する類（第1類、第2類、第3類）、そしてその中のクラスがみなさんの大学生生活初年度の基本単位です。1クラス約20名の学生に対して、1名のクラス担任が、ファーストイヤーセミナーなどを通じて、修学や学生生活全般について助言や相談に応じます。総合学域群では、クラス担任の先生も様々な学類・専門学群から選出されています。



アカデミックサポートセンター

総合学域群の学生は入学してからの学びのなかで、将来の進路や自分の関心、適性にあった学類・専門学群を選択します。入学直後は、自分の興味・関心が定まらず学類等の選択や科目の選択に迷うかもしれません。アカデミックサポートセンターでは、志望する移行先の選び方の助言や適切な履修計画・進路選択等をしつかりとサポートします。



ラーニングサポーター

総合学域群生全員が利用できる、いわば家庭教師のような存在の大学院生です。高校では文系だったけど理系の学類に移行したい方、大学数学になかなかついていけない方など、学修上のお悩みをサポートします。対応科目、時間、場所は予め周知されますので、ぜひご利用ください。お友達との利用も大歓迎です。



先輩からのメッセージ



渡邊 陽奏
2024年入学

移行先：芸術専門学群
第1類（文系）

私が総合学域を選択した理由には、「可能性」を模索する猶予がある、という点が挙げられます。不十分な自己理解と向き合うために時間と選択肢のある手段を利用したと言っても良いです。

総合学域群在籍時はもともと興味のある人文系・芸術系を中心に様々な履修しました。自分に合う合わないを知るために「とりあえずやってみる」は良い方法だったと思います。加えて「学問探究チュートリアル」という授業にも挑戦しました。その中で教授陣と対話し、自分の「やってみたい」、「面白い」ことは何かという研究の根拠を問い続け、結果的には一般受験では選ばなかったであろう芸術専門学群に移行を決めました（この授業、総合生にもおすすめです）。また、今まで常に手堅い選択をしてきたので一度くらい開拓を、という気持ちもありました。

1年次と移行後の2年次ではかなり生活が変わりました。移行してからは、卒業要件を満たすため学類を跨いで学ぶ機会が必然的に減りました。しかし、1年次の芸術専門学群以外の知も私の血肉となり今の学びに繋がっていると強く感じます。また、私はライフセービングという体育会の部活動も行いつつ生活したため、なかなか時間も余裕もない時期がありました（今も）。ただ、時間は作れます。やりたいたいことに挑戦してみてください。

最後に。悩むのが好きな人は総合に向いています。大学の中で悩めるというのは賢いことです。ぜひ悩んだ先に見える可能性を掴んでください。



青野 心平
2023年入学

移行先：物理学類
第2類（理系Ⅰ）

高校生の時から、筑波大学で物理学を学び、宇宙の謎に挑みたいと考えていました。大学と同じつくば市にある高エネルギー加速器研究機構（KEK）の研究者が書いた素粒子物理学についての本を読んだことがきっかけです。

一方で、入学時点で専門を決めるのは早すぎるという気持ちもありました。2年次に学類を選ぶことができる総合学域群なら、自分の進む先をじっくりと考えることができると思い、入学を決めました。1年間、さまざまな授業を受けて、自分の視野を広げることを意識しました。

コーヒー豆をテーマにした国際学の授業では、植民地主義が欧州に大量のコーヒー豆をもたらしたことや、気候変動や国際情勢がコーヒー豆の価格に影響することなどを学び、コーヒー豆だけでも多くの学問領域が開けていることが分かりました。地球進化学の授業では惑星を構成する元素が宇宙進化を反映していることを知り、宇宙の謎を解く学問は物理学だけでなく気が付きました。

幅広い学問分野を見た結果、やはり自分は物理学を学びたいのだと確信することができ、物理学類に移行してからは、量子力学などの専門的なことを学んだり、実験をしたことで、日々物理学の楽しさを実感しています。

総合学域群での学びは、事前の思い通りに視野を広げることができ、最初の希望に進む後押しにもなりました。専門が決まっていなかった人ももちろん、専門を決めている人も、1年間で幅広く学んで進む先を決められる総合学域群をお薦めします。



望月 温人
2024年入学

移行先：生物資源学類
第3類（理系Ⅱ）

私が総合学域群を選んだ理由は、高校時代の文理選択で非常に迷い、どちらにも興味があり決められないと思っていた中、実際に大学の授業を受けてから進路を決めるという選択肢があることを知ったからです。

理系（生物・化学）で入学しましたが、春学期はいわゆる文系の学類への移行も視野に入れながら過ごしていました。その結果、高校までの学習と大学での学習は異なる点が多いと感じ、自分は大学で生物を学びたいと思い、秋学期からはそちらをメインに履修しました。生物と一口に言っても、細胞や遺伝子といったマイクロな対象から、生態学といったマクロな対象まで様々です。高校では生態学に興味がありましたが大、大学で受けたとある授業でゲノム編集トマトや品種改良など遺伝子を扱うバイオテクノロジーの進歩を紹介され、非常にワクワクしたのを覚えています。それが決め手となり、現在は生物資源学類にて遺伝子などを扱う応用生命科学・バイオサイエンスの分野を専攻しようとしているところです。興味は流動的で、今抱いている分野への興味もいつか移るかもしれません。ですがそれでいいと思います。興味はいつでも流動的に移っていくのだと思わせてくれた総合学域群には感謝していますし、貴重な時間だったと思います。ぜひ皆さんも総合学域群で「自分の興味探し」をしてみてください！



佐々木 優奈
2024年入学

移行先：知識情報・図書館学類
第3類（理系Ⅲ）

私は昔から「こうなりたい、あれがしたい」がよく変わっていて、国立大学出願締切直前に、出願しようとしていた学部について「やっぱり思っていたのと違うかも」と言い出した時には、両親にも担任の先生にも呆れられてしまいました。当時はメディアコンテンツや音響工学に興味があり、そんな分野に進みたいとは思いつつももういった内容を仕事にできるか自信がなく、以前興味を持っていた農業系を目指すか迷っていたところで担任の先生に勧めていただいたのが総合学域群でした。今思えば私の進みたい分野が定まらなかったのは「その分野は具体的にどんなことが学べるのか、自分に向いているのか」がはっきりと分からなかったからで、そんな疑問を「実際に大学に入り幅広い分野の基礎知識を学んでみる」という方法で解決してくれるのが総合学域群です。入学当初は情報メディア創成学類を志望していましたが、最終的には中学生からの将来の夢の一つであった公務員を目指しながら、メディアコンテンツや音響工学について学べる情報メディア創成学類の授業も同じエリアで受けることのできる知識情報・図書館学類に進みました。移行前に生物資源学類の授業も受け、自分が農業系に向いていないことを知り未練を残さずその道を諦められたことも良かったと思います。

文理融合の知識情報・図書館学類は学ぶ内容も所属する学生もバラエティに富み、退屈しない学生生活を送っています。後悔したくないならぜひ総合学域群へ！

Q & A

Q 「総合選抜」と「学類・専門学群選抜」のどちらを受験するか迷っています。

A 複数の学類・専門学群を移行先の選択肢として考えたい場合は、ぜひ「総合選抜」を受験し総合学域群で1年間広く学修してみてください。一方で、特定の学類・専門学群のみを希望する場合は、「学類・専門学群選抜」を受験することをお勧めします。

Q どのように志望する学類・専門学群を決めていけばよいのでしょうか？進みたい学類・専門学群を1年で決められるか不安です。

A 総合学域群の学生は1年をかけて様々な学類・専門学群の授業を受けながら、志望先を考えて行きます。自身の興味関心に合った学類・専門学群を探す機会として、入学直後および夏季休業中にガイダンスを実施するほか、各学類・専門学群から選出されたアカデミックアドバイザーやクラス担任、アカデミックサポートセンターのスタッフがみなさんの相談にのり一緒に考えていきます。

Q 2年次に移行する学類・専門学群はいつ決まりますか？

A 3月に実施する「本判定」で決まります。学生はこの時まで、志望する学類・専門学群とその順位を決めます。なお、志望できる学類・専門学群の数に限りはありません。

Q 移行後に学類・専門学群で入学したグループについていけるかどうか、仲間に入れるかどうか不安です。

A 移行後の教育は、移行先の学類・専門学群が責任を持って対応します。編入学生や留学生等、途中年次から筑波大学に通い始める人も大勢います。総合学域群から移行した学生も、移行先できっと新しい友達ができますし、1年を共に過ごした総合学域群の仲間との交流は移行した後も続いていくでしょう。困った場合は、学生生活について何でも相談できる窓口があります。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

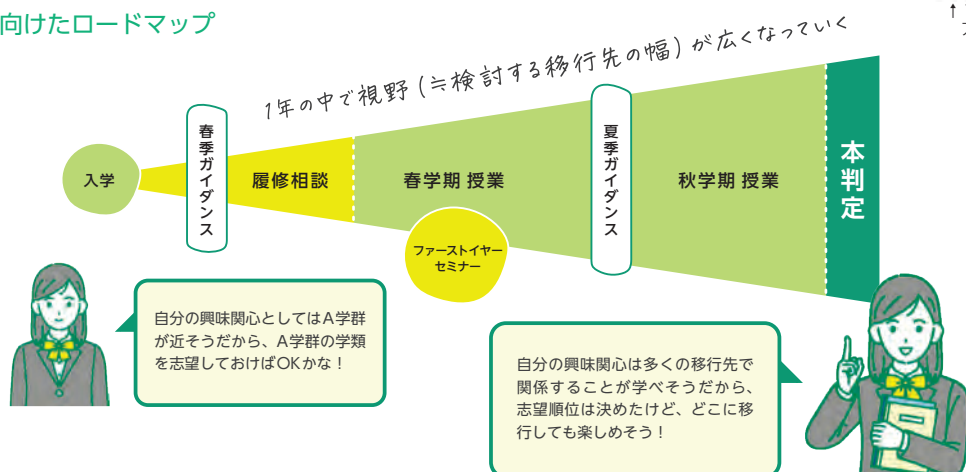
求める人材	大学において学問的な俯瞰をしながら専門分野を定め、自らのキャリアを主体的に切り拓くために必要な、十分な基礎学力と学習意欲を有する人材。	
入学までに学んでおいてほしいこと	高等学校までの基礎学力をまんべんなく身につけておくこと。また幅広く興味関心を持ち、学習に主体的に取り組む態度と自らのキャリアを選択できる力を養うことが望ましい。	
入学者選抜方針 (個別学力検査等前期日程(総合選抜))	共通の選抜方針	外国語及び受験生が得意とする領域における思考力、判断力、表現力を重視しつつ、高等学校で学ぶ基礎・基本的な学力を全般的に評価します。
	文系	入学の時点で、文科系志向の学生を選抜します。
	理系Ⅰ	入学の時点で、物理学の素養を必須として理科系志向の学生を選抜します。
	理系Ⅱ	入学の時点で、特定の分野にとらわれない理科系志向の学生を選抜します。
理系Ⅲ	入学の時点で、数学に重点をおいて理科系志向の学生を選抜します。	

紹介動画公開中！



↑ YouTube にアクセス

移行に向けたロードマップ



【人材養成目的】

人間が引き起こすさまざまな社会問題や人類が直面する課題に対し、哲学、史学、考古学・民俗学、言語学などの人文学の知見を基盤にして想像力をもって主体的に応え、また、人文学をそれに耐えうる学問分野として維持し発展させることができる人材を養成します。



カリキュラム

哲学、史学、考古学・民俗学、言語学という4主専攻が全部で11のコースに分かれ、各分野を基礎からじっくり学ぶことができます。

1年次には、人間とその社会について幅広く学びつつ、専門基礎科目の履修により希望コースに進むための基礎的知識を習得します。

2年次の終わりに自らの志望により主専攻・コースを選択し、それぞれの専門分野における課題の設定・抽出・分析のための方法論を身に付け、問題解決能力を高めていきます。

4年次では、卒業論文（必修）の作成を通じて、幅広い教養の上に立つ専門的能力を身に付けるとともに、社会との連携や対話を深め、さらに自己発信能力を獲得します。

主専攻	学びたいこと	どの科目で学べるのか
哲学	日常的で断片的な生活に埋没せずに、確固とした原理を求めたい。 人間と社会・自然環境とのあり方に基本構造を見出したい。 人間と宗教との本質的なかわりを認識したい。	哲学通論、倫理学通論、宗教学通論、東洋思想
史学	日本列島に暮らした人々の足跡を実証的に探りたい。 中国社会あるいは中国文明の影響下にあった地域社会の本質を探りたい。 古代地中海文化の基盤の上に繰り広げられたヨーロッパ文化を把握したい。 人間集団の空間組織を復原し、時間と空間の両面からその変化の過程を解明したい。	日本史概説、古代西アジア史概説、中国史概説、ヨーロッパ史概説、歴史地理学概説
考古学・民俗学	遺跡・遺物を素材として、人々の歴史の復原と解釈に取り組みたい。 フィールドワークによって価値観を異にする人々の行動様式の理解に取り組みたい。	先史学概説、考古学概説、民俗学概説、文化人類学概説
言語学	実証的な言語研究の方法を考究し、実践したい。 個人と社会のレベルで、言語にかかわる実際的な問題を解決したい。 日本語や英語など個別言語の言語的特質、歴史、機能と構造を体系的に探求したい。	言語学概論、音声学概論、応用言語学概論、日本語学概論、中国語学概論、英語学概論、仏語学概論、独語学概論、露語学概論

人文学類パンフレットの請求方法

- <https://www.jinbun.tsukuba.ac.jp/pamphlet> からダウンロードできます。
 - テレメールによる請求もできます (p.159 資料請求番号は 541380)
 - 返信用の封筒(角形 2号)を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には320 円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「人文学類案内請求」と必ず朱書してください。
- 請求先** 〒305-8571 茨城県つくば市天王台 1-1-1
筑波大学人文・文化学群 人文学類長室



特長

4 年後に身に付く力

- ① 専門的能力：人文系の学問の専門的知識や考え方を基盤として、文字資料や非文字資料を読み解き、主体的かつ創造的に理解する力
- ② コミュニケーション能力：日本語、外国語、コンピュータなどを駆使して自分の考えを明快に伝え、他者の考えを柔軟に理解する力
- ③ 想像力：「人間とは何か」という問いに根ざし、広い視野から現代世界の諸課題に積極的にかかわり、人類の未来へとまなざしを向ける力

主専攻とコース

哲学	哲学・倫理学コース、宗教学コース
史学	日本史学コース、ユーラシア史学コース、歴史地理学コース
考古学・民俗学	先史学・考古学コース、民俗学・文化人類学コース
言語学	一般言語学コース、応用言語学コース、日本語学コース、英語学コース

コースに定員はないので、要件を満たせば全員が希望するコースに進むことができます。(なお、文学関係の専攻コースは比較人文学類に設置されています。)

卒業論文

哲学主専攻：アウグスティヌスにおける信仰と理性の問題——真理の知解に向けた理性の働き—— / 遊戯と労働——カントとシラーの労働概念の再検討 / 仏教説話における夢の諸相と変容 / 明治初期における神道国教化政策の展開と挫折——島地黙雷の思想を中心として——

史学主専攻：平安前期王権の家産機構と土地所有 / 栃木県湯西川温泉の観光地化—平家落人伝説の活用に着目して— / 中国の近代国家建設と女性—雑誌『婦女雑誌』を中心とした考察— / 19 世紀フランスにおける記念物保存活動と中世復興

考古学・民俗学主専攻：囃子の伝承における楽譜をめぐる葛藤 / 小規模グループケアの児童養護施設にみる個性の調整 / 東日本における装飾古墳の地域性と性格 / エジプト新王国時代におけるファイアンス製護符の生産と域内流通—アマルナ遺跡を中心として—

言語学主専攻：アッカド語古バビロニア方言における動詞活用体系と *tn* 語幹 / The Acquisition of Count/Mass Distinction by Japanese Learners of English / 現代日本語における「テミセル」の表記の傾向 / A Syntactic Approach to English Ditransitive Constructions

教員からのメッセージ



矢澤 翔助教
(言語学主専攻
英語学コース)

生成 AI に代表される技術革新が急速に進む現在、「人間とは何か」という問いは、これまでになく重要な意味を持つようになってきました。AI による自動化の波は、これまで人間が担ってきた多くの仕事を代替していくでしょう。しかし一方で、人間は人間であることをやめることはできません。だからこそ、人文学の価値は失われるどころか、これからの社会においてますます重要になっていくと私は考えています。

私は言語学の中でも、とくに音声言語の習得に関心を持って研究を行っています。言語を用いたコミュニケーションは、人間が社会的な存在である以上、決して「やめる」ことができない営みの一つです。授業で先生の話を理解することも、友人と何気ない会話を交わすことも、言葉があつてこそ成り立ちま

す。その基盤となるのは、実は文字言語(書き言葉)ではなく音声言語(話し言葉)です。乳幼児期の母語習得は驚くほど効率的に進みますが(私の娘は、3 歳児でまだ読み書きはできませんが、非常におしゃべりです)、青年期の外国語習得にはしばしば困難が伴います。なぜこのような違いが生じるのか、その仕組みを理解したいという思いが、私の研究の原点です。

みなさんは、どのような「なぜ?」をお持ちでしょうか。明確な問いがある人も、まだ漠然としている人もいるかもしれません。しかし、「不思議だ」「もっと知りたい」という感覚を突き詰めていく営みこそが、今の時代において最も価値ある仕事の一つです。人間について考える力、伝える力、そして未来を想像する力を、ぜひ一緒に育んでいきたいと思います。

Q & A

Q 希望通りの主専攻分野に入れますか？

A 入れます。3年次に進むときに正式な主専攻分野と専攻コースの決定を行いますが、人数制限などはありません。当該専攻コースで定められている専門基礎科目（11単位）の履修が済んでいれば、希望通りの主専攻および専攻コースに入ることができます。

Q 主専攻分野の途中変更は可能ですか？

A 可能です。やはり、専門基礎科目の履修が条件になりますが、希望する場合は十分に可能です。例えば、史学主専攻を希望していた学生が、ロシア語の授業を受けているうちに、ロシア語を本格的に勉強したくなり、言語学主専攻に変更した、などの例がありました。

Q 語学教育の内容について教えてください。

A 一般語学の授業は、グローバルコミュニケーション教育センター（CEGLOC）を中心に行われています。CEGLOCでは、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、韓国語の7つの外国語を学ぶことができます。

人文学類の学生は、上記7つの外国語から2つを選択し、それぞれ4単位を履修しなければなりません。授業は、読解、会話、文法、コミュニケーションなどの多様な技能と総合的な語学力を身につけられるようなカリキュラムになっています。

授業を担当する先生は、それぞれの外国語を専門にしている日本人教員と外国人教員です。外国人教員は、主に会話とコミュニケーションの授業を担当します。

外国語各4単位を履修した上で、さらにその外国語の力を伸ばしたいという希望をもつ学生には、中級および上級の授業も用意されています。また、授業以外にも外国語を学ぶ機会をもちたいと望む学生には、メディアライブラリーがあります。そこには、たくさんの語学CD・DVD教材が備えられていて、自由に利用することができるので、学生は自分のペースで学習し、どんどん力を付けることができます。

人文学類で専門的に学ぶことのできる言語としては、日本語、中国語、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、満洲語、チベット語、サンスクリット語、ヘブル語、アッカド語、コプト語、ヒッタイト語、ベトナム語などがあります。この中には国内の他大学ではなかなか学ぶチャンスのない言語も含まれています。

Q 留学制度はありますか？

A 筑波大学は68か国・地域の大学・機関と393の交流協定を結んでいます（2026年1月10日現在）。このうち人文学類生が交換留学できる協定校については、ウェブサイト <https://www.jinbun.tsukuba.ac.jp/study/international> をご覧ください。

先輩からのメッセージ



竹下 美緒
哲学主専攻
2022年度入学

人文学類は、哲学、史学、考古学・民俗学、言語学の4つの主専攻があり、全部で11のコースに分かれています。各コースにはその学問に精通した先生方がおり、同じ志を持つ同期たちとともに、専門的な知識を深めていくことができます。コースへの所属は3年次からであり、2年次までは自身の興味ある主専攻の授業を中心に、幅広い学問領域に触れることができるのが魅力の一つだと思います。自分の専門分野以外の授業であっても、入門や概説などの科目から専門的な科目まで受けることができるため、自分の専攻以外の分野に対しても興味があればどこまでも学んでいくことができます。このような環境のおかげで、人文学類での学びを通して、自身の興味関心に沿った内容をとことん深掘りするとともに、人文学に

まつわる幅広い知識を得ることができます。

さらに、筑波大学では自分の所属する学類以外の学群・学類の授業も複雑な手続きなく履修することができることも大きな魅力の一つです。私自身も哲学主専攻の宗教学コースに所属しながら、芸術分野の科目や地理学分野の科目を履修することで、結果的に宗教を検討するうえでの多角的な視点を獲得できたと思います。また、比較文化学類で開設される、人文学類とはまた異なる視点の思想・宗教系の科目を履修したことも大きな糧となっています。

筑波大学の広大なキャンパスは豊かな自然に囲まれ、図書館には膨大な蔵書と知識の蓄積があります。このような整った学修環境で、存分に知的好奇心を満たせるような素敵な大学生活が皆さんに訪れることを願っています。

Q 文系は就職が不利ですか？

A 一概にそうだとはいえないと思います。最近の就職先については下の「進路」をご覧ください。

教員志望者は多く、実際に新卒で採用される優秀な学生もいます。最近は大学院教育を受けた教師が望まれていて、そういう点では、大学院進学者が多い人文学類は教職に有利だといえるでしょう。

公務員志望者もかなりいて、試験に勝ち残り就職しています。ただし、公務員試験の受験勉強と人文学類のカリキュラムは直接関係ありませんので、ヒューマンエンパワーメント推進局が開く講座や外部の通信教育などで独自に勉強する必要があります。

また、人文学類では就職説明会やファーストイヤーセミナーを通して文系としてのキャリアデザインについてともに考える場を提供しています。

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。人文学類で取得できる教員免許状の種類と教科は、中学校一種と高等学校一種の国語・社会（高校は地理歴史、公民）・英語の普通免許状です。

進路

人文学類の卒業生の進路は多岐にわたります。かつては教職関係が多い傾向が見られましたが、最近では企業や官公庁での活躍が目立ちます。進学者が多いのも人文学類の特徴です。

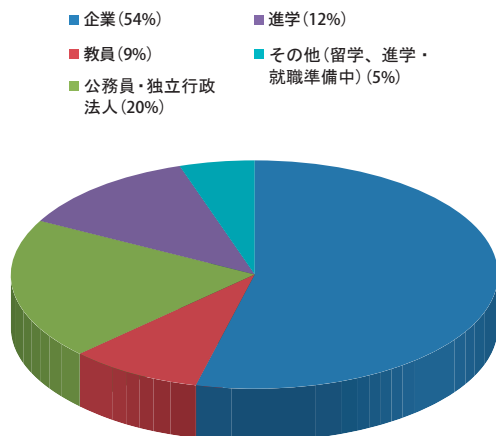
令和7年3月に卒業した学類生の進路は右のグラフの通りです。ここ数年の具体的な就職先としては、朝日新聞、JR 東日本、NTT データフロンティア、日本水産、大日本印刷、講談社、野村證券、厚生労働省、文部科学省、外務省、国土交通省、国土地理院、諸県庁・市役所、公立・私立高校などがあります。進学先は、本学の人文社会ビジネス科学学術院、人間総合科学学術院が大部分ですが、他大学の大学院に進んだ者もいます。

進路の詳細については、下記のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.jinbun.tsukuba.ac.jp/career/employment>

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	人文系の学問に必要な論理的な思考力と表現力を十分に持つと同時に、世界の多様な文化や歴史に対して開かれた関心を持ち、自律的な学習と批判的な考察を通して問題を自ら発見し解決していく能力と意欲を有する人材。	
入学までに学んでおいてほしいこと	人文系の学問の基礎となる言語や社会に関する学科について十分な能力を習得し、希望する専攻分野に関連する他の学科についても基礎的な知識を有していることが望ましい。	
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	入学後の学習に必要な基礎学力と思考力を十分に持ち、人文系の学問に取り組むことのできる人材を選抜します。
	個別学力検査等（後期日程）	論理的な思考力と表現力を持つと同時に、旺盛な知識欲と探求心を有し、人文系の学問への適応性を示す人材を選抜します。
	推薦入試	高等学校における学習の基礎をしっかりと身につけた志願者の中から、個性豊かな課題意識と向上心を持ち、人文系の学問への適応性を示す人材を選抜します。
	AC入試	人文系の学問に関わる専門的知識を主体的に吸収し、自己の判断力を磨いていく能力と創造的な問題解決能力を有する人材を選抜します。
	国際バカロレア特別入試	人文系の学問に強い関心を抱くと同時に、旺盛な知識欲と探求心を持ち、よりグローバルな観点から新たな問題提起をなし得る発展性のある人材を選抜します。
	外国学校経験者特別入試（第1種）	人文系の学問に関する強い関心と論理的思考力を持ち、入学後の学業遂行に必要な知識と日本語能力を備えている者を選抜します。



【人材養成目的】

人類が築いてきた様々な文化を、「学際性」と「現代性」という問題意識のもとに比較・検討し、多様な学問的知識をもとに、社会的な課題についてそのコンテクストも含めて理解する力、様々なデータを読み解き、多様な知識と結びつけて批判的に検討する力、高度な外国語能力をもとに、多様な立場の人々と円滑にコミュニケーションする能力、そして自ら解決すべき課題を発見し、そこから現実的な解決策を導き出す能力を備えた人材を育成します。



比較は自他を序列化するものではなく、異なる存在の間に関係を生み出すためのものです。学びを通し、多様な比較を創造していきましょう。

比較文化学類長 木村周平

はこの大きな枠組みの中で、さまざまな授業科目を組み合わせさせて学修していくことができます。

下に列挙するような「学問分野」を、閉ざされた専門分野の中ではなく、以下に示す柔軟な組織（領域とコース）を通じて学修することが本学類の特色で、現代社会が必要とする、複合的で主体的な知の錬成が可能です。

学ぶことができる主な学問分野

文学：日本文学、中国文学、英米文学、ドイツ文学、フランス文学、比較文学、文学理論など

地域研究：日本研究、アジア研究、欧米研究など

応用的な人文諸科学：文化地理学、文化人類学、現代思想、比較宗教学など

文化学：文化理論、表象文化学、大衆文化論、芸術文化論、映像文化論、情報文化学など

さらに現代の変化に応じた先進的な諸学問領域

学べること

比較文化学類は平成 25 年度から、学類全体を 1 主専攻とする、ひとつの大きなまとまりとなりました。学ぶことができる学問分野は従来とほとんど変わりませんが、学生

1主専攻分野 6領域 (17コース)

分野	領域	コース	教育目的・目標
地域文化研究分野	日本・アジア領域	日本文学コース	日本とアジアにおける文化の諸相を文学・歴史・宗教・社会などに着目しながら体系的に学ぶ。
		日本研究コース	
		中国文学コース	
		アジア研究コース	
	英米・ヨーロッパ領域	英語圏文学・文化コース	英語圏・ドイツ語圏・フランス語圏に加え、広く欧米の地域文化圏を対象に、文学・言語・歴史・宗教・社会などに着目しながら体系的に学ぶ。
		ドイツ語圏文学・文化コース	
フランス語圏文学・文化コース			
フィールド文化領域	文化人類学コース	日本・世界の地域文化の多様性をフィールドワークによって明らかにし、場所とのかかわりから「人間とは何か」を体系的に学ぶ。	
	文化地理学コース		
超域文化研究分野	表現文化領域	テキスト文化学コース	地域の限定を超えた文学や、多様な大衆文化、美術・映像・音楽などの表象文化といった人間の表現文化を広く探求する。
		文化創造論コース	
		ワンプラネット文学・文化関係学コース	
	文化科学領域	先端文化学コース	生命・身体文化、メディア、ジャーナリズムなどをキーワードに、人間社会の諸問題について複合的な視点から探究する。
		情報文化学コース	
	思想文化領域	現代思想コース	思考・認識・言語・論理・倫理・宗教などをキーワードにして、哲学と宗教を体系的に学ぶ。
比較宗教学コース			

比較文化学類パンフレットの請求方法

- 返信用の封筒（角形2号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には320円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「比較文化学類案内請求」と必ず朱書してください。
請求先 〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学人文・文化学群 比較文化学類
- テレメールによる請求もできます（p.159 資料請求番号は561330）

特徴

- ① 専門性を掘り下げるとともに、学生の個性を尊重した自由度の高いカリキュラム
 - ・ 学類全体から科目を組み合わせる履修できます。
 - ・ 領域やコースを選ぶにあたって人数制限はありません。
- ② 外国語能力を伸ばせるプログラム
 - ・ 実践的な英語力を高める科目のほか、英語による専門分野の講義も開設しています。
 - ・ 第二外国語*を必修とし、高学年でも多言語能力を継続的に磨くことができます。

* ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国語などから1言語を選択。ほかにラテン語、ギリシャ語、インド古典語、アラビア語も学べます。
- ③ 少人数教育
 - ・ 1学年定員80名の親密な学修空間。
 - ・ ディスカッションや参画型の授業により、学生一人ひとりが主体性を高められます。
- ④ 約50名の一流の専門研究者からなる贅沢な教授陣
 - ・ 個性あふれる多彩な教員から間近で刺激を得、マンツーマンの指導を受けることができます。

比較文化主専攻分野



「領域」は、学修上のホームグラウンドで、皆さんの勉学にまとまりをもたせます。「コース」は、より専門的な自分の居場所で、ここを拠点に卒業論文を書き上げます。

全体として、地域の区分が生かされた学問群と、本質的に地域横断的な学問群の2つの「領野」に大別されます。

海外留学など 世界へと開かれた窓

「国際性」を重んじる比較文化学類では多くの学生が世界のさまざまな国に Outreach、貴重な体験を積んでいます。

平成26～令和2年度だけでも、海外提携校への正規留学実績は45件以上、行先は米国、カナダ、ペルー、ロシア、インドネシア、ドイツ、マレーシア、コロンビア、フランス、タイを含む25カ国の47大学に及びます。このほかにも、より自由なたちでの留学がさまざまに行われています。

主体的な学修が基本の本学類では、教員が引率するような留学制度はありませんが、学生のみなさんの留学を支援し、促進しています。とりわけ2013年からは、環境にすぐれたカナダのプリンスエドワード島大学と本学類との独自の交換協定を発効させ、学類カリキュラムと一体化したプログラムにより、留学しつつ4年で卒業できる制度が整いました。同大学での夏期英語研修（比較文化国際研修 3単位）も好評です。



上條 洸
(2022年卒業)

2年次にマレーシアに半年間、3年次にフランスに1年間、留学しました。マレーシア人は英語力がとても高く、賑やかで明るい国民性のため、毎週末パーティーをし、最高の日々を過ごせました。フランスでは全授業を仏語で履修したため、仏語力が格段に高まりました。また現地学生や他国の留学生と交流を深めたり周辺国へと旅行することで、新たな価値観や文化観を吸収し、人間的に大きく成長できたと感じています。留学生活を経て世界中に友人関係を広められたことが私の誇りです。



石網 蒼衣
(2021年入学)

2年生の秋学期にカナダのプリンス・エドワード島大学に交換留学をしました。初めは会話や授業についていくのも大変でしたが、1ヶ月を過ぎた頃から楽しくてたまらなくなり、人生の宝物となるような4ヶ月間を過ごすことができました。膨大な授業課題や、どこを見ても英語しかない環境に苦しめられた経験も、今となっては良い思い出です。互いに刺激し合えるような友人たちとも出会えました。比文には英語で開講される授業があるため、帰ってきてからも英語を使った勉強を続けることができています！

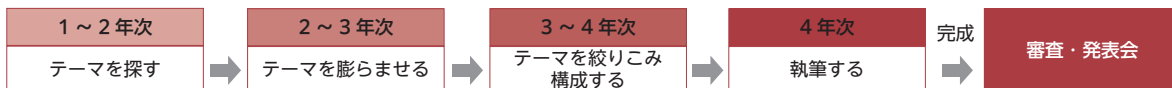
卒業論文 比文らしく、自分らしく

本学類での学修の最大の焦点が卒業論文の作成です。

いわば入学した時点から、あなたの卒論に向けての作業が始まっています。自分の関心に応じて履修科目を選ぶことがその第一歩。さまざまな授業を通じて専門知識や研究スキルを獲得しながら、自分なりの問題意識を深めていってください。

問題設定能力や課題解決能力など、これからの時代ますます求められる主体的な知性を育てることができるのが、この卒論作成のプロセスです。

学類の丁寧なガイダンスおよび主指導教員と副指導教員の指導・助言によって、あなたも、個性的でありながら水準の高い自分だけの論文を仕上げるのが可能です。



令和7年度に提出された主な卒業論文の題目

- 山上憶良作品に通底する歌の素材としての「子」
- 谷崎潤一郎「母を恋ふる記」研究
- 巡礼僧侶としての藤村
- インスタントラーメンにみる日韓台の食文化
- ダンテ「神曲」におけるイスラーム思想の影響
- アメリカの初期ミュージカルにみる黒人表象
—「シャッフル・アロング」と「ショウ・ボート」を中心に—
- Exploration of the Manic Pixie Dream Girl within Ariel from The Little Mermaid (1989) (2023) through time
- 日本のモスクにおける女性同士の結びつき — 大塚モスクの女性専用室から —
- 過疎地域における公共空間の再構築 — 夕張市の事例から —
- あわれ湯かけまつりの誇りと記憶
- 愛知県奥三河地域におけるアウトドアスポーツツーリズムと地域との関係
- 茨城県つくば市におけるクラフトビール醸造業の展開
- インターネットを利用した雇用労働力需給の接合による農村の労働環境の容容 — 北海道十勝地方の事例 —
- 「崖の上のポニョ」が子どもの目線から描く カタストロフィとその結末の表象分析
- 小川糸作品における家族観
- 「プリキュア」における戦いの再定義 —「わんだふるぷりきゅあ!」を中心に—
- 20世紀前半のオペラにおける中国表象
- フィメールラップにおける女性表象 — 日米比較から見る日本のフィメールラップ表象 —
- 戦後日本における星新一の死生観
- アーティスト化する声優 — 雑誌「声優グランプリ」を中心に —
- 13世紀モンゴル帝国における東西宗教対話 — 「イティネラリウム」神学論争に見る文化接触の諸相 —

授業と卒論制作

杉原 日向 (2024年卒業)
(表現文化領域 文化創造論コース)



比文の授業は実に様々です。文学や音楽、民俗学にアニメまで。私の卒論は谷川俊太郎という詩人についてでしたが、彼もクレーという画家に心酔していたり、哲学者の言葉を引用したり、作った詩が合唱曲になっていたりと幅広い分野に跨っていますから、授業の中でも知識と知識が繋がった！と思うことが何度もありました。友人たちから卒論について話を聞くと、自分にとっては新鮮な知識や視点、苦勞話ややりがいがある話も非常に面白いです。比文の醍醐味は、興味のある事柄が意外なところで結びつく楽しさです。それをぜひ味わってほしいと思います。

比文での学修を終えて

劉 承衛 (2022年卒業)
(日本・アジア領域 アジア研究コース)

台湾出身の私は、胡適という知識人をテーマに卒業論文を書きました。今は学者を目指して、大学院で近現代中国と戦後台湾の知識人及び思想について研究する予定です。歴史認識における立場と視角の重要性を感じたため、私は高校のときから外国で自国の歴史を学ぼうと考えていました。入学後は政治、社会、民俗、宗教、文化理論などの勉強もしてきました。比較文化学類には様々なコースがありますが、これらのコースは全て「人文社会学」という学問体系にあり、互いに強い関連性を持っています。専攻以外の授業で得た知識も思考の材料になるので、好奇心と探究心を忘れずに学んでほしいと、これから比文に入学する皆さんに伝えたいです。



取得できる資格など

教員免許

中学校一種免許状（国語、社会、英語）

高等学校一種免許状（国語、地理歴史、公民、英語）

社会教育主事、学芸員、司書教諭

以上は、卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」などの単位を取得することによって得ることができます。



宿舍祭での出し物

卒業後の進路

卒業生は、出版、放送、文化・教育はもちろんのこと、情報処理、金融、流通、製造、地域行政、国際機関、NGOなどの各界に広く受け入れられています。大学院に進学する人も少なくありません。

先輩たちは芥川賞作家、漫画家、大学教授、新聞記者、放送ディレクターなどとして、多彩なジャンルで活躍しています。

最近数年の進路

企業	日本放送協会（NHK）、読売新聞社、共同通信社、テレビ信州、日本テレビ、東北新社、中央出版、宝島社、帝国書院、福井新聞社、日本経済新聞社、朝日広告社、電通アドギア、博報堂プロダクツ、ソニーミュージックグループ、凸版印刷株式会社、ゼンリン、常陽銀行、筑波銀行、群馬銀行、武蔵野銀行、八十二銀行、中央労働金庫、東京海上日動火災保険、三井住友海上火災保険、三菱商事ファッション、ワールド、ワコル、東京流通センター、三越伊勢丹、日本航空、全日本空輸、JR 東日本、JR 九州、富士急行、日本交通、首都高速道路、クラブツーリズム、エイチ・アイ・エス、プリンスホテル、星野リゾート、JTB、日本 IBM、楽天、ソフトバンク、NTT 東日本、ニチイ学館、ニッポン、味の素ゼネラルフーズ、江崎グリコ、カルビー、サントリーホールディングス、大林組、川崎重工業、三井住友建設、日立建機、スズキ、日化エンジニアリング、YKK、ダイキン、東芝三菱電機産業システム、アステラス製薬、シード、塩野義製薬、ジョンソン・エンド・ジョンソン、日立製作所、TOTO エムテック、ライオン、DHC、イープラス、Indeed Japan、かんぽ生命、牧阿佐見パレエ団、株式会社ソーネランド、国家公務員共済組合連合会、伊藤忠エネクス、マイナビ、パナソニック、セコム、アフラック生命保険、三井ホーム、総合地所、長谷工コーポレーション
公務員・独法専	外務省、国土交通省、総務省、警視庁、海上自衛隊、東京消防庁、宮城県警、東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、長野県、静岡県、富山県、長崎県、いわき市、秩父市、石岡市、ひたちなか市、つくば市、守谷市、常陸太田市、筑西市、横浜市、逗子市、神戸市、福山市、松江市、阿波市、糸海市、港区、目黒区、荒川区、北区、筑波大学、東京大学、高エネルギー加速器研究機構、日本芸術文化振興会（国立劇場）、日本新聞協会、法務省宇宙宮保護観察所、中小企業基盤整備機構、横浜労災病院、静岡県立病院機構、国立研究開発法人科学技術振興機構
学校教員	茨城県、千葉県、群馬県、埼玉県、静岡県、山梨県、愛媛県、鹿児島県、大妻中学高等学校、錦城高等学校、フェリス学院、中央大学附属中学校・高等学校
大学院進学	筑波大学、北海道大学、東京大学、一橋大学、東京外国語大学、名古屋大学、金沢大学、京都大学、大阪教育大学、広島大学、白百合女子大学、東洋大学、明治大学、早稲田大学、東北大学、プリンスエドワード島大学

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な学問能力を備え、自らの問題意識や経験（社会経験、海外経験等）を出発点として、さまざまな学問領域に関心を寄せながら、文化・社会について広く柔軟に学ぶ意欲を持つ人。 異文化理解に裏付けられたグローバル・コミュニケーション能力を身につけ、それを社会の中で活用しようとする人。 人間の多様性や現代的な課題に関心をもち、その解決に向けて知を活用しようとする人。
入学までに学んでおいてほしいこと	日本語及び外国語に関する優れた能力、特に文化・社会に対する旺盛な好奇心と高い教養を身につけておくことが望ましい。また、希望する学問領域に関連する社会科学科目の知識を備えていることが望ましい。
個別学力検査等（前期日程）	文化・社会に強い関心と知識を持ち、学業遂行の上で必要な能力と知識を有する者を選抜します。特に勉学に対する意欲と論理的思考力、表現力を重視します。
推薦入試	文化・社会に強い関心と知識を持ち、それを自分自身の言葉で表現する能力を重視して選抜します。
AC 入試	文化・社会に強い関心と知識を持ち、特定の専門分野について具体的で個性的なテーマを設定し、そのアプローチと内容に関して独自の研究成果を挙げている者を選抜します。
国際バカロレア特別入試	自立して世界的に活躍できる人材を育成するため、本学類の教育を受けるのに必要な基礎学力を有し、探究心旺盛で積極性・主体性に富む人材を受け入れます。
外国学校経験者特別入試（第1種）	文化系の学問に関する強い関心と論理的思考力を持ち、入学後の学業遂行に必要な知識と日本語能力を備えている者を選抜します。

卒業生の声

天野 隼太
(2024年卒業)

日本放送協会
(ディレクター)



「アジア・太平洋戦争を、多様な視点から考えてみたい」。その思いで比較文化学類（比文）を志望しました。入学後は日本研究コースに所属し、「霞ヶ浦地域と海軍航空隊」や「長野県大日向村の満州移民」など、戦争が地域に与えた影響について学びました。実習ではフィールドワークを行い、教科書で一度学んだ歴史を、「地域」という視点から問い直す大切さを実感しました。比文の魅力は、学問間の敷居が低いことだと思います。それは、まだ学びたいことが決まっていない人にとって、自らの興味関心を見つけるきっかけにもなるでしょう。私は比較宗教学の授業で「戦没者慰霊」について考察し、テキスト文化学の授業では、戦争の記憶を「マンガ」で伝える意義を検討するなど、他コースの授業を通して自らの研究テーマを深めることができました。比文には多種多様な学びの「ドア」があります。比文で「自分らしさ」を探してみませんか。

【人材養成目的】

日本における言語・文化事象を総合的に捉え、グローバルな視点で理解する力を養います。これにより、多文化共生社会を見据えたうえで、異言語・異文化を背景とする人たち、次世代の人たちと課題を共有し、ともに解決していくことのできる文化の創造者たる人材を養成します。



「日本語・日本文化国際研修」の現地見学（韓国）



「日本語談話研究フィールド実習」の現地調査

専門として学べる内容

日本語・日本文化学類（通称「日日（にちにち）」）には、日本語・日本文化学主専攻と、Japan-Expert（学士）プログラムのコースの一つである日本語教師養成主専攻とがあります。日本語・日本文化学類の学生は、基本的な知識を備えたうえで、日本語の音声、語彙、文法、談話、言語行動、言語学、日本語教育学、異文化理解、日本文学、比較文学、文化人類学、近代日本の国際関係などのさらに深いテーマに関して幅広く学んでいくことになります。

主な授業内容	
専門基礎科目	本学類で学ぶ日本語と日本文化全体を見渡す科目 ・現代日本語、言語学、日本語教育、日本の文学、現代日本社会などに関する概論的講義 ・発信力を高めるための専門英語の授業 ・共生のための社会言語学、共生のための日本語教育、共生のための人類学、共生のための歴史学、日本文学と文化など全学向けの入門的な講義
専門科目	日本語 <ul style="list-style-type: none"> ・現代日本語の音声と音韻、語彙、文法、意味、談話、語用論などを扱う講義および演習 ・日本語史、方言、理論言語学、対照言語学、論理学、コーパス言語学などを扱う講義および演習
	多文化共生・日本語教育 <ul style="list-style-type: none"> ・多文化主義、グローバリゼーション、多面的価値、文化の普遍的価値、異文化理解、心理学、共生言語としての日本語などを扱う講義および演習 ・海外の日本語教育と日本文学、日本語教育史、第二言語習得論、教育文法、外国人児童生徒教育、教科書分析、教材の設計と作成などを扱う講義および演習
	日本文化 <ul style="list-style-type: none"> 日本の政治と社会、日本の宗教と芸能、東洋の歴史と文化、文化交流、ジェンダー史、日本文学の特質、世界文学と日本文学、中国文学と日本文学、文化の資源化などを扱う講義および演習、資料講読、原典講読、現地見学など
	国際・協働 <ul style="list-style-type: none"> 異文化理解国際研修、外国人児童生徒支援実習、海外日本語教育実習、国内日本語教育実習、国内フィールド実習、留学生との協働科目など

日本語・日本文化学類パンフレットの請求方法

- 返信用の封筒（角形2号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には270円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「日本語・日本文化学類案内請求」と必ず朱書してください。
請求先 〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1
 筑波大学人文・文化学群 日本語・日本文化学類
- テレメールによる請求もできます（p.159 資料請求番号は561340）

最新の詳しい情報は、<https://www.japanese.tsukuba.ac.jp/> をご覧ください。パンフのダウンロードもできます。「筑波日日」で検索!

特色ある授業

日本語・日本文化学類では、教室で行われる講義や演習に加えて、「実践性」と「国際性」を重視したカリキュラムを用意しています。

日本各地の農村や地方都市を訪れて聞き取りを行うフィールド実習、学内の日本語教育実習、さらに海外の大学で行われる日本語教育実習（インターンシップ）や、海外の大学生とともに国際関係や文化事情を学ぶ異文化理解国際研修があります。

また、日本語・日本文化学類ではJapan-Expert（学士）プログラム生を含む正規生、日本語・日本文化研修留学生（日研生）をはじめとする短期留学生を多数受け入れており、留学生と日本人学生が協働する授業もあります。

総合学域群からの移行

本学類への進学は、推薦入試やアドミッションセンター入試、一般選抜（前期日程）等によるほか、総合選抜を通じて1年次は総合学域群に所属し、2年次から本学類に移行する方法があります。

移行体験記

地場 亮介

（1年次：総合学域群 → 2年次：日本語・日本文化学類）

日日は日本語教育や日本文化、日本語学を学ぶ上で最高の環境です。1学年40名程度の規模の小さな学類ですが、その分、先生と学生の距離が近く、学生同士や先生との仲も良いので楽しく勉強することができます。



日日には推薦入試や前期入試のほか、総合学域群から移行することもできます。移行制度は、1年生の頃に総合学域群で授業をたくさんとって、様々な学群・学類の雰囲気を感じながら移行先を決める制度です。

日日に移行してくる学生がいることを前提にしたイベントもあり、交流会やスポーツ大会など、総合学域群生が馴染みやすいようになっていて、孤独を感じることはまったくありません!! もし日日に興味を持ちましたら、ぜひ日日へいらしてください!! お待ちしています!

「登録日本語教員」養成プログラム



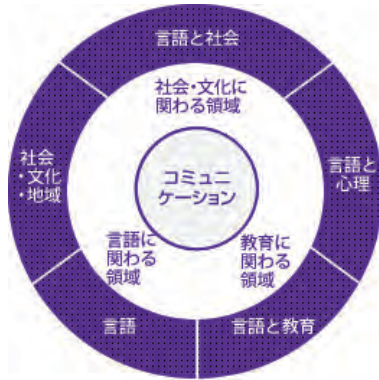
これからの日本社会は、外国人と共に学び働く機会がますます増えていきます。「登録日本語教員」は、多文化共生社会に向けて、多くの外国人に質の高い日本語教育を提供できるよう、2024年にスタートした文部科学省認定の国家資格です。

日本語・日本文化学類が開設する養成プログラムは、文部科学省から正式な認可を受けたプログラムです。養成課程の25単位を取得することで国家試験の基礎試験が免除され、また、国家資格に必要な実践研修を合わせて受講することが可能です。

日本語・日本文化学類は1985年の開設以来、多くの日本語教員を育て、その卒業生たちは日本や世界の各所で活躍しています。40年以上の歴史を持つ本学類だからこそ提供できる幅広い専門科目と、筑波大学の国際性と地域性を活かした豊富な実践科目が本プログラムの魅力です。また、教職課程と合わせて履修する学生も多く、卒業までの4年間で無理なく養成プログラムを修了できるよう、体系的にカリキュラムが編成されています。

日本語教員の活躍の場は、大学や日本語学校だけでなく、企業や医療・介護機関、官公庁などの公共団体、小中高等学校など多岐に広がっています。

登録日本語教員は、ことばのプロフェッショナルとして、卒業後のあなたのスキルを証明する資格です。



日本語教員養成において必要とされる教育内容

チューター体験記

石関 弘晃 & RAHMATIAN AMIRHOSSEIN

(イラン・日本文化研修留学生)

私はイラン出身の留学生のチューターを務めました。英語には自信がなくコミュニケーションに不安を抱えていたため、チューターとして



の役割を果たせるかは不安でしたが、幸いにも留学生の日本語が想像以上に堪能だったため、杞憂に終わりました。

これまでの人生を通じて一人の外国人と一対一で時間を過ごすという経験は初めてのことでした。多文化交流・国際交流という名目でのイベントには参加したことはありませんが、それらは表面的な文化交流であり、一人の異国の人と心を通わせるという経験は非常に有意義なものとなりました。

特に印象に残っていることは外国人日本語学習者がことわざや慣用表現、詩的表現を多用することです。ことわざや四字熟語の使用に関して、日本人に比べて理解語彙と使用語彙がより密接に重なっている可能性を感じました。

様々な経験を通して留学生の日本に対する愛を感じました。チューターは他文化を知るとともに自国の文化を再認識する経験となりました。

海外留学など

日本語や日本文化を客観的にながめる目を育て、世界に発信する力を育成するために、日本語・日本文化学類では海外留学を積極的に勤めています。学生交流協定を結んでいる大学への留学の場合、単位互換、授業料免除、奨学金受給などのメリットがあります。現在、筑波大学は、68か国・地域の大学や研究機関と396協定（CiC13、大学間185、部局間198）を締結しています。（2026.3.3現在）

協定校一覧（一部）

中国：北京大学、湖南大学、台湾：国立政治大学、韓国：順天大学校、韓国外国語大学校、啓明大学校、高麗大学校、梨花女子大学校、タイ：タマサート大学、マレーシア：マレーシア工科大学、メキシコ：グアダハラ大学、英国：エディンバラ大学、エストニア：タリン大学、スロベニア：リュブリャナ大学など

卒業論文

卒業論文は、日本語・日本文化学類で学んだことを基礎に、学生自身がテーマを決めて研究を行うもので、いわば大学での学業の集大成というべきものです。図書館でたくさん文献にあたったり、学外に出てデータを収集したり、集めたデータを分析したりと苦労も多いですが、それ以上に多くのものが得られます。2年次の「総合演習導入」や3年次の「総合演習」で、問題発見、先行研究の整理、研究方法への理解を深める指導を、複数教員で行います。

最近の卒業論文から

- 新聞記事の「タイトル表現」の時代変遷
- 「かなと思う」の使用環境と使用効果
—「と思う」「かと思う」と比較して—
- 豊前方言における「じゃら」「ちゃ」「やん」の使用実態
- 「ダジャレ」の面白さを引き出す要素についての分析
—話者の音声の個人性情報に着目して—
- 日本人大学生の言語教育観に関するピリーフ研究
—多文化共生社会の観点から複言語主義の文脈化に向けて—
- 国語科における包摂的教育の実現に向けた実証的研究
—国語教科書と日本語教科書の計量的比較分析に基づく検討—
- 国会会議録にみる外国人児童生徒徒言説の変容
—政策文脈と社会背景の視点から—
- 江國香織作品における「少女性」と女性同士の親密性について
- 宇佐見りん『推し、燃ゆ』における、現実を生きる身体と虚構の自己について
- 岐阜県東濃地方における地歌舞伎の保存継承についての調査研究
- 地域社会における生業の変容と適応
—京都府舞鶴市神崎地区を事例として—



Japan-Expert（学士）プログラム日本語教師養成コースの学位記授与式



留学生交流会

卒業後の進路

日本語・日本文学類では、学類生の多くが教員免許（中学校・高等学校）を取得し、毎年1割から2割程度が実際に教員になっています。言語学に強く日本語教育の素養もあるユニークな国語科教員として活躍しています。

学類での勉強の後、さらに専門分野の研究を続けたい場合、また修士や博士の学位を得てより高次の専門職につきたい場合は、大学院進学という進路もあります。筑波大学の中では、修士（博士前期）課程や博士後期課程で教育学、言語学、日本語学、日本語教育学、文学、文化人類学等を専攻する人が多いですが、他大学の大学院や国外の大学院に進学する人もいます。

日本語教育の分野では、卒業後すぐに日本語教師となる人もいますが、大学や研究機関などの高等教育機関で働くためには、国内外を問わず修士以上の資格が求められるため、進学する人が多いといえます。

また、幅広い教養と広い視野を身につけて、公務員（県庁・市役所職員等）の道に進む卒業生も毎年数名います。多くは一般企業に就職しています。マスコミ・出版、教育サービス、情報・通信、流通・小売業、製造業、金融・保険、運輸・旅行、住宅・不動産、サービス業など、職種・業種ともに多岐にわたります。

卒業生の声

松山 宗一郎

（独立行政法人環境再生保全機構）

私が日日を志望したきっかけは、「日本の歴史や文化に興味があったから」という単純かつ漠然としたものでした。しかし日日での学生生活を通じて、その抽象的な関心事は具体化されていき、卒業後に環境分野の政策実施機関で勤務するまでに明確になりました。



私は現在、環境省所管の独立行政法人で環境政策に係る様々な分野の業務に携わっています。令和7年4月からは、同月に施行した法律に基づく新規事業として、企業の森や里地里山等の様々な自然環境を「自然共生サイト（生物多様性を推進する活動が実施されている区域）」として、認定するための審査業務を行なっています。

学生時代から農山村に赴くことが好きだった私は、日日での多種多様な分野の授業を通して、日常の何気ない言葉（方言や訛り等）や風景（都市景観や自然環境等）が、日本やその地域ごとの生活様式や文化と密接に結びついて、成り立っていることに気づきました。中でも「里地里山」という人為的な介入によって成立する、自然環境の社会的な役割にとりわけ強い関心を持つようになりました。

日日での学生生活は、皆さんの関心事を明確にするきっかけやヒントをたくさん与えてくれるはず。卒業生として、皆さんが日日で自分の関心のあることを深めるきっかけを見つけれられることを願っております。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	旺盛な知的好奇心を持ち、日本語や日本文化、さらに多文化共生社会のあり方に対する明確な問題意識とそれに対応した能力を有する人材を求めています。	
入学までに学んでおいてほしいこと	日本語および外国語に関して、十分な読解力と自分の考えを明確に伝える表現力を高めておくことが望ましい。	
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	日本語や日本文化、さらに多文化共生社会のあり方に関する学問に取り組むための基礎学力を十分に持ち、それに基づく思考力・応用力を有する人材を選抜します。（共通テスト及び個別学力検査）
	推薦入試	高等学校における平素の学習や活動の成果などを基に、志願者の能力・適性を総合的に評価します。明確な問題意識と勉学への意欲とを持ち、日本語や日本文化、さらに多文化共生社会のあり方に関する専門領域に対する適応性を示す人材を選抜します。（小論文及び面接）
	AC入試	日本語や日本文化、多文化共生社会のあり方について独自の視点を持ち、自ら問題を見出し、解決する能力を重視して選抜します。（第1次選考：書類審査、第2次選考：面接・口述試験）
	国際バカロレア特別入試	国際バカロレア資格を取得した者を対象として、日本語や日本文化、多文化共生社会のあり方に対する旺盛な知的好奇心と明確な問題意識を持ち、国際的な視野に立って自ら問題を見出し、解決する能力を有する人材を選抜します。語学力を含めたコミュニケーション能力を重視し評価します。（書類審査、面接・口述試験及び小論文）
Japan-Expert（学士）プログラム特別入試	日本語、日本文化に幅広い興味を有し、将来、国内外において日本での就学・就労や日系企業での就労を希望する者に日本語を教える日本語教師への適応性を有する人材を選抜します。（書類審査及び面接・口述試験）	

※個別学力検査等（前期日程）においては、学類・専門学群選抜により1年次から10名、総合選抜による入学生を2年次から10名、それぞれ受け入れます。

資格など

必要な単位を修得すれば、次の各種資格が得られます。

取得できる資格

教員免許 中学校一種免許状（国語）
高等学校一種免許状（国語）
社会教育主事、学芸員、司書教諭、登録日本語教員

最近の進路状況

学校教員	茨城・神奈川・山梨・長野・岐阜・富山・愛媛・沖縄各県立高等学校 福島・栃木・千葉・静岡各県立中学校 麗澤端浪高等学校 山梨学院高等学校 など
大学教員	筑波大学 群馬大学 北海道教育大学 鳴門教育大学 秀明大学 国際教養大学 学習院女子大学 福岡女子大学 など
海外	ホーチミン市師範大学（ベトナム） 静宜大学（台湾） 大連大学（中国） 興信大学（韓国） リュブリャーナ大学（スロベニア） カターニア大学（イタリア） など
公務員・法人	筑波大学 総務省 文部科学省 厚生労働省 茨城県庁 埼玉県庁 福島県庁 千葉県庁 東京都庁 愛媛県庁 佐賀県庁 つくば市役所 土浦市役所 成田市役所 さいたま市役所 沼津市役所 静岡市役所 豊橋市役所 茨城県警察本部 広島県警本部 など
一般企業	日本放送協会 テレビ朝日映像株式会社 日本経済新聞社 株式会社朝日新聞社 凸版印刷株式会社 学校図書 光村図書出版 ベネッセコーポレーション 野村證券株式会社 あおぞら銀行 群馬銀行 足利銀行 横浜信用金庫 日本郵政 日本航空株式会社 関東鉄道 佐渡汽船 ホテルオークラ東京ベイ 株式会社東急リゾートサービス 丸紅 丸井グループ JTB エイチ・アイ・エス 日本IBM デロイトトーマツコンサルティング NTT 都市開発 ユニクロ 日本武道館 三井記念病院 など

【人材養成目的】 社会学・法学・政治学・経済学の専門知識を集中的に深める教育を提供するだけでなく、各分野の基礎知識を総合的に修得するための横断的な教育も併せて実施することで、社会科学全般のジェネラルな視点に裏打ちされた高い専門性を発揮しうるグローバル（グローバル+ローカル）志向の人材養成を目指します。

主専攻	学べること	主な授業
社会学	社会学主専攻の特徴は、調査実習、演習、卒業論文が特に重視されていることです。調査実習では生きた社会的現実と接触しながらその分析の仕方を学び、演習では少人数で社会学の多様な考え方を学び、卒業論文では教員の指導のもと、自分の関心をもつテーマについて問いを立て自主的に研究し、論文にまとめ上げます。	社会学基礎論、現代社会論、社会学研究法、現代社会学の系譜、都市社会学、労働社会学、知識社会学、歴史社会学、家族社会学、科学社会学、教育社会学、福祉社会学、文化社会学、社会運動論、地域社会学、社会階層論、ジェンダー社会論、メディアと情報化の社会学、社会調査実習、社会学演習
法学	基本六法を中心にリーガル・マインド（法的なものの考え方）を獲得するとともに、模擬法廷を使った裁判実務の講義や演習科目を通じて「生きた法」を学びます。	法学概論、民事法概論、憲法、行政法、刑法総論、刑法各論、刑事訴訟法、民法総則、物権、担保物権、債権総論、親族・相続、信託法、商法、会社法、有価証券法基礎、民事訴訟法、法制史、法交渉学、法哲学
政治学	政治に関する基本的な概念、理論、歴史などを学ぶ講義や入門演習を通して、政治学的なものを見方を身につけます。そして、専門科目や専門演習では、政治理論、政治過程、国際政治など各自の関心領域の研究を深め、政治に対する洞察力を養います。	政治学概論、国際政治史、政治と社会、比較政治学、アメリカの政治、国際政治学、国際関係史序説、国際安全保障論、政治社会学、行政学、地方自治論、日本政治思想、現代政治外交、現代日本外交史、アジアの国際関係、アジア政治、東アジア国際関係史、現代中国研究、計量分析入門、国境を越える政治、国際政治経済学、ヨーロッパの国際関係、ヨーロッパ政治
経済学	現代社会の重要なメカニズムである経済活動の仕組みを基礎から体系的に学びます。大きくは、(1)理論、(2)歴史、(3)現状分析に分けられ、各種の科目が開設されています。少人数の演習では教員の直接指導を受けながら、より深い専門的な内容を学ぶことができます。	経済学基礎論、現代経済史、実証分析入門、ミクロ経済学、マクロ経済学、世界経済史、日本経済史、開発経済学、日本経済論、現代中小企業論、経済数学、計量経済学、国際貿易論、産業組織論、公共経済学、都市経済学、地域経済論



社会調査実習

社会調査実習の一環として、いわき市の海と水産業をテーマに、現地の漁師・鮮魚店・飲食店・水産加工業者などを訪問し、現地調査したときの写真です。社会学主専攻では、フィールドワークをすることにより、リアルな社会現象を把握し、社会の変化を分析する社会調査実習を重視しています。実習を通じて、現代社会について問題を設定し、社会学的分析を加えていく能力を育成することを目標としています。



模擬法廷教室

裁判の実践を学ぶ授業の風景です。模擬法廷を使用して、裁判官・弁護士・検察官等の立場に立って事件について考える授業が行われています。また狭義の法学以外の社会科学や他の分野から法について考える授業も実施されており、社会学類の法学主専攻では講義や演習を通して、法の役割について多角的な視点から考えることができます。

社会学類パンフレットの請求方法

●返信用の封筒（角形2号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には270円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「社会学類案内請求」と必ず朱書してください。

請求先 〒305-8571茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学社会・国際学群社会学類長室

●テレメールによる請求もできます（p.159 資料請求番号は561540）

教育内容

1・2年次には、社会学・法学・政治学・経済学という4つの主専攻の専門科目履修のベースとなる専門基礎科目を中心に学びます。

専門基礎科目や一部の専門科目を通じて、社会科学の基本知識を横断的に幅広く身に付けた後、2年次終了時に主専攻を選択します。

3・4年次は、主専攻の専門科目を重点学習し、その分野のプロとしての実力を身に付けるとともに、他の主専攻分野を平行して学ぶことで広い視野と総合性を獲得します。

ようこそ社会学類へ



社会学類長
明石 純一

社会学類は、私たちが生きる社会を多角的に認識し、総体として把握するための能力を身に付ける環境を提供しています。社会学類は四つの主専攻、すなわち社会学、法学、政治学、経済学から構成されています。その個々の学問のルーツや基礎的な考え方を知ることから、社会学類での学びが始まります。社会科学の幅広い思想や理論に触れ、分析の方法を知り、研究実践への準備をまずは進めるのです。異なる学問を横断的に学ぶこと、月並みな言葉で表せば「学際性」を重んじることの大切さは言うまでもありません。隣接しながらも性格を異にするディシプリン（専門分野）に根差した事象の見方、語り方を覚えることは、極めてエキサイティングで高度な知的体験であることを、ここで強調させていただきます。

挙げればきりがなほどの未解決な社会的課題を抱えるに至った現代は、先行きも不透明な時代です。それらの問題を構造から解明し、さらには解決法を見出したいのであれば、特定の領域に偏った知識では足り

ません。社会、法、政治、そして経済は、互いに規定し、介入し合っています。そこでは様々な価値観や志向性が混在し、せめぎ合っています。この結びつきと多様性はもはや自明であり、あまりに常識的といえませんが、その常識をまるごと引き受け、諸問題に正面から挑む知性なくしては、今日の社会を公正に捉え、今より生きやすい将来を構想する道は拓けないのではないのでしょうか。それは、現状に追従しない健全な批判精神と、更新を躊躇しない柔軟な思考回路を培うことでもあります。

社会学類は、社会の理解に対するこのような基本姿勢を尊重しながら、学生みずからが望む専門的な能力の獲得を求めます。社会学類が重きをおく学際性の強みは、固有のディシプリンを高い水準で体得してこそいかに発揮されるのであり、本学類が目指すところなのです。このタフな学びの場に率先して挑戦してくれる若者を、社会学類は歓迎します。

特長

4年後に身に付く力

- ① 広い視野と総合性：国内外で発生する社会問題に対し、社会科学（社会学・法学・政治学・経済学）の多様な角度からアプローチできる総合的な能力と資質。
- ② 専門性と論理的表現力：少人数の専門演習科目における口頭報告や論文指導を通して培われる専門知識に基づく論理的表現力。
- ③ 課題発見・問題解決能力：社会問題の中から主体的に課題を発見し、積極的に情報・資料収集をするとともに、課題解決につなげる能力と主体性。



政治学の演習

演習の授業風景です。社会学類の専門演習（ゼミナール）は、少人数制に基づく、きめの細かい指導を特徴としています。現代社会に対する学生一人一人の問題関心を踏まえ、参加学生による研究報告や討論および、卒業論文・ゼミ論文の執筆指導等を通じて、社会科学的に考えるための思考訓練を徹底して行います。



経済学演習の1コマ：工場見学

日上市にある工場のクリーンルームを見学した時のものです。経済学主専攻では、経済の理論と歴史をバランスよく学ぶことで、現代の様々な経済問題を分析する能力の養成を目指しています。そのため、大学キャンパスを飛び出して工場のもづくり現場や日本銀行、証券取引所の見学など実習的な取り組みも行っています。

松岡 晴二郎 (社会学主専攻)

「社会」とは一体何でしょうか。普段意識することはなくても、私たちは確実に社会の中に生きています。日々変化する社会の中では、行為に対して私たちが意図していなかった結果が返ってくることもしばしばです。社会学では、そんな不可変性と予測不可能性に満ちた「社会」に対して、問いを立て、考察し、向き合い続けていくことが求められます。少し難しそうに聞こえるかもしれませんが、社会学の最も面白い部分でもあります。

社会学は扱える分野が広いというのも特徴の一つです。皆さんの暮らす地域も、街で輝くネオンサインも、あなたの好きなスポーツも、身近にある様々なものが社会学の対象となる可能性を秘めています。今ははっきりやりたいことが見えていなくても、社会学類で過ごす時間の中で、自分が「これだ！」と思うものに出会えると思います。かく言う私も、大学入学後に他学類のものも含めて様々な講義を受けていく中で視野を広げ、興味関心のある分野を見つけたいと思います。

また、社会学類には、傾聴力のある人が多く集まっているように感じます。相手の意見をしっかりと聞いたうえで、議論し、一緒に深めていくことができます。先生方もとても積極的で、かつ一人ひとりの学生に対して丁寧に接してくれます。こうした姿勢は社会学がとても「懐の深い」学問であることと関係があると思っています。立場の弱い人やマイノリティにも寄り添おうとすること、背景をきちんと押さえ、原因を個人だけに帰そうとはしないことなどがその理由です。

社会は今後さらにめまぐるしく変化していくことが予測されますが、社会学を通して社会を少し寛容に見つめていくことができるのではないかと思います。魅力的な仲間と環境の下で、ぜひ社会学という学問に挑戦してください！



「地球は青かった」——この言葉を、一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。これは、1961年に人類初の宇宙飛行士であるユーリ・ガガーリンが宇宙から地球を見た際に発した名言です。ソ連の宇宙船ボストーク1号から見えた地球の姿は、彼の、ひいては人類の常識に大きな変革をもたらしました。

さて、社会学は「内部観察の学問」と呼ばれることがあります。我々は社会の外に出てそれを観察することはできません。そのため、社会学では社会の内部から特定の事象にスポットライトを当てて観察する手法が用いられます。この考え方は法学、政治学、経済学とも深く関わっています。

この視点を冒頭の話に重ねてみましょう。ガガーリンから今日の宇宙飛行士まで、誰も宇宙の外に出て宇宙を観察することはできません。しかし、広大な宇宙の内部に存在する地球の様子は「内部観察」することが可能でした。社会学類で学ぶ四つの学問も、これと同じように社会の内部を観察し、驚きと知的探求心をもたらしてくれます。それぞれを体系的に学ぶことで知識が深まり、新たな疑問や発見につながるのです。

実は私自身、「政治」という言葉に苦手意識を持っていました。その定義が難しく、実感も湧かなかつたからです。しかし、ある授業でロバート・A・ダールの定義を知り、「政治」が議会や政府だけでなく、サークルや学校、さらには家族にも適用できることを学びました。一見遠い存在に思えた政治が、実は日常に根付いていることに気づき、「政治」をもっと多角的に学びたいと思うようになりました。そしてこの考え方も、「内部観察」の視点から得られる学びなのです。

皆さんも社会学類での学びを通じて、私たちの住む「社会」を内部観察してみてください。そして、政治学主専攻であらゆる形の「政治」に触れることを楽しんでください。

今井 陽南太 (政治学主専攻)

政安 陽向 (法学主専攻)

「法学」と聞いて皆さんは何を思い浮かべますか？裁判や司法試験など、難しい、堅いといったイメージを持つ方もいると思います。また「守るべきもの」といったイメージも強いのではないのでしょうか。私も以前はそう思っていました。

しかし、法学はとても身近で生活に不可欠なものです。例えば、道路交通法があることで私たちは安全に生活できています。また、国家が国民の行動を制限することを禁止する憲法も、私たちの自由を保障しています。このように、私たちの安全や権利、自由は法律に守られています。

筑波大学での法の学びを通し、私は法の多面性を強く実感しています。筑波大学では学類の垣根を越え、様々な学問を専攻している学生が同じ授業を受けることが多々あります。法学の授業でも多様な視点を持つ学生が集まるため、意見交換の場面で法の多面性に気づかれます。同じ法律でも複数の捉え方や課題があり、たった数行の条文でも様々な角度から考え、議論することができるのも法学の大きな魅力だと思っています。

さらに法学の魅力として挙げられるのが、社会の変化と関連付けて法律を学ぶことができることです。近年では、インターネットの普及など時代の流れに伴い新たな法律が設定されるなど変化も生じています。一方で、改正に関する議論が長年されているにもかかわらず、変わらない法律もあります。なぜその法律が時代に合わせて変化しているのか、維持されているのかを議論することで私たちが暮らしている社会についてより深く知ることができると思います。

筑波大学法学主専攻では、多様な学びを通して自分の視野を広げることができます。皆さんも社会学類で法学の魅力に触れてみませんか？



学生からのメッセージ



高校生の頃、社会問題に関心があったこと、その解決のためには社会のなかでお金の流れをより良くする必要があったことから、経済学部を進学先として考えていました。しかし自分の進路は本当に経済学部でよいのだろうかという迷いもあり、社・法・政・経の基礎を幅広く学んだ後、3年次に主専攻を決めることができる社会学類に進学しました。

1年次には4主専攻の基礎科目を履修し、「社会」を多角的に捉えることの重要性を実感しました。さらに2年次には、社会学のゼミや法学の模擬仲裁・交渉の大会に出場するなど、専攻の垣根を超えた学びを経験することができました。

そのうえで経済学主専攻を選択しましたが、初めから経済学部に入っていた場合とは違う幅広い学びができていてと確信しています。主専攻を決めた理由は、世界経済の歴史をテーマにした授業と、グローバル競争下にある日本経済をテーマにした授業を受講し、改めて現代社会の基盤である経済の動きを深く学びたいと思ったからです。経済学主専攻では、そうしたことを学べる理論、歴史、現状分析に関する授業が開設されています。

さらにゼミ（経済学演習）は、社会学のような大人数ではなく少人数を特徴としており、先生や学生と近い距離で活発な議論ができるのも魅力の1つです。また経済学主専攻では、複数のゼミを履修することが可能です。私は現在、企業経営・地域経済と経営史・経済史のゼミに所属しています。この2つのゼミでの議論を通じて、企業経営と地域経済を歴史と現状の両面から深く学んでいるところです。

みなさんも、是非、現代社会に対する視野を広げ、考えるのに最適な社会学類で充実した時間を過ごすことをお勧めします。

木下 湊花 (経済学主専攻)

取得できる資格

卒業要件以外の教職科目や博物館学などの単位を修得すれば、教員や学芸員などの資格が得られます。

教員免許 高等学校一種免許状（公民）
社会教育主事、学芸員、司書教諭

卒業論文・卒業研究

社会学主専攻：卒業論文題目抜粋

- 高校全員入学運動における「職業教育／普通教育」概念の展開過程
- 核セキュリティ不適切事案における問題解決過程
- ミュージアムショップの歴史社会学的研究
- ベトナム人技能実習生の悩みと監理団体の関係性
- 地域のつながりを目的とした子ども食堂の実践と課題
- 消費社会における健康食品の社会学的考察
- 「社会不適合者」アイデンティティの後期近代的分析

法学主専攻：演習テーマ・卒業論文タイトル抜粋

- 大学対抗交渉コンペティション（INC）の問題研究
- 憲法論文作成講座
- 入会権と地域社会の研究
- 性犯罪に関する立法論・解釈論上の問題
- 現代人権論やリベラリズム思想史の法哲学的研究
- 民法の問題点の検討

政治学主専攻：卒業論文題目抜粋

- 天皇制の統合機能の変遷と意義の考察
- 自由主義と民主主義の計量分析
- アメリカの宇宙開発政策——ブッシュ政権とオバマ政権の比較から見る宇宙産業の転換点
- 民主主義における正統性の変容——フランスにおけるポピュリズムを事例として
- 有権者から信頼を受ける政治家の特性
- 民主主義と正統性 —ステークホルダー・デモクラシーとエビストクラシーを中心に

経済学主専攻：卒業論文題目抜粋

- 銀行の取り付け騒ぎのゲーム理論分析
- デイサービス施設と利用希望者のマッチング分析
- アルゴリズムの就活市場への応用
- 研究・開発（R&D）に関するゲーム理論的考察
- ネットワーク構造上の公共財供給モデルの研究
- 寄付におけるリーダーの決定とその効果
- ブロックチェーンで分岐が発生する仕組みと均衡
- オークション理論の考察
- ゲーム理論によるスポーツの分析
- 日本の音楽市場に関する分析

入学受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	社会科学全般のジェネラルな視点に裏打ちされた高い専門性を身に付けるために、入学までに、社会科学を総合的に学習するために必要な国語、外国語、数学、社会科、理科といった基礎学力と、グローバル化する社会の様々な事象に「自分ごと」として関心を持つ姿勢およびそうした事象に対する洞察力・分析力を身に付けてきた人材を求めます。	
入学までに学んでおいてほしいこと	社会科学を学ぶための読解力や表現力の基礎となる英語と日本語。また、地理や世界史・日本史および数学に関する基本的な知識も備えていることが望ましい。	
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	入学後の社会科学の学習に取り組むために必要な、外国語を含む基礎学力および論理的思考力を十分に備えている人材を選抜します。
	推薦入試	小論文と口述試験によって、高等学校における学習をしっかりと身につけたうえで、希望する主専攻分野（社会学、法学、政治学、経済学）に関連する分野について、明確な問題意識と優れた能力を有している人材を選抜します。
	国際バカロレア特別入試	社会科学を学ぶために必要な高い基礎学力に加え、社会的な事象に対する深い関心と問題意識、明確な目標に向けて主体的に学ぶ力と積極性、語学力を含めた高いコミュニケーション能力などを有している人材を選抜します。
学群英語コース特別入試	編入学試験	筆記試験と口述試験によって、社会科学系の学問に対する高い問題意識と意欲を持ち、希望する主専攻分野（社会学、法学、政治学、経済学）に関する初歩的な素養および論理的思考力を十分に備えている人材を選抜します。
	学群英語コース特別入試	(1) 求める人材 グローバル化と情報化が進むなかで、政治的・経済的・文化的・国際的な諸問題に対して関心を示し、事象を学問的に分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、現代社会の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。

卒業後の進路

最近の傾向で見ると、就職する者が約7割います。その就職先は多岐にわたりますが、特に金融、メディア・情報通信、サービスならびに製造業分野に強く、多くの人材を輩出してきました。また公務員の道を選ぶ者も多くなります。

一方、大学院進学や司法試験・公認会計士などの資格試験の準備をする者もあり、将来、研究職や高度な専門職につく卒業生も少なくありません。

主な就職先

- 金融・保険：三菱UFJ銀行、ゆうちょ銀行、りそな銀行、常陽銀行、静岡銀行、中国銀行、東北銀行、千葉銀行、七十七銀行、八十二銀行、筑波銀行、大東銀行、三菱UFJ信託銀行、野村信託銀行、三井住友信託銀行、茨城県信用組合、全国信用金庫協会、三菱UFJニコス、クレディセゾン、三井住友カード、ジェシービー、イオンクレジットサービス、第一生命保険、明治安田生命、オリックス生命、かんば生命、大同生命、太陽生命、東京海上日動、損保ジャパン、あいおいニッセイ、アクサ生命、コープ共済、野村證券、大和証券、SMBC日興証券 など
- メディア・情報・コンサルティング：日本経済新聞、毎日新聞、時事通信、共同通信、中日新聞、NHK、TBSテレビ、ニッポン放送、新潮社、白泉社、ぎょうせい、日本郵便、ソフトバンク、日立システムズ、NTTデータアイ、伊藤忠テクノソリューションズ、ソニーグローバルソリューションズ、電通デジタル、キーエンス、パーソルプロセス&テクノロジー、ジーシーシー、オービック、ヒューマンインタラクティブテクノロジー、都築電気、Fringe81、インフォテック・サービス、ラキール、アクセンチュア、大和総研、船井総合研究所、マクロミル、デロイトトーマツ、マネジメントソリューションズ、リヴァンプ、一広グループ など
- 商社・小売・サービス：伊藤忠商事、青山商事、三井物産スチール、日本マクドナルド、ルイ・ヴィトン ジャパン、内田洋行、成城石井、JR東日本、東急、西武ホールディングス、日本郵船、郵船ロジスティクス、中日本高速道路、NTTロジスコ、星野リゾート、ホテルオークラ東京、日本中央競馬会、福岡ソフトバンクホークス、ベネッセコーポレーション、日能研、茨進、ビズリーチ、パーソルキャリア、ニチイ学館、図書館流通センター など
- 製造・インフラ：日立製作所、日産自動車、SUBARU、プリヂェストン、富士通、キャノン、コニカミノルタ、富士フイルム、凸版印刷、三菱マテリアル、住友化学、明電舎、コカ・コーラ ボトラーズジャパン、味の素冷凍食品、日本製紙木材、日本製鐵、東京電力、北陸電力、三菱地所、鹿島建設、清水建設、鴻池組、大和ハウス工業、フージャースコーポレーション、茨城セキスイハイム、野村不動産 など
- 公務員：中央省庁（総務省、厚生労働省、農林水産省、外務省、特許庁など）、裁判所（さいたま地裁、長野地裁など）、都道府県庁（東京、茨城、埼玉、千葉、静岡、石川など）、市役所（つくば、名古屋、横浜、さいたま、文京区、千葉、野田、古河など）
- 教育研究機関：筑波大学、常総学院高等学校、産業技術総合研究所 など
- 進学（大学院）：筑波大学、東京大学、東北大学、千葉大学、京都大学 など

【人材養成目的】

グローバル化とともに複雑化する国際的な諸問題に対して、問題の本質を発見する洞察力と情報分析能力を身に付け、先見性と独自性に富む解決策を他者に伝えるコミュニケーション能力を備えた、文理融合型の実践的な人材を養成します。



インドネシア共和国パプア州の研修



ASIP での海外研修



主専攻	カリキュラム概要
国際関係学主専攻	国際関係学主専攻は、現代の国際問題に対する理解を人文・社会科学を中心に学際的な観点から深め、政策志向的な問題解決の能力を養うことを目標としています。国際関係学主専攻では、学生の選択の幅を広げるため、政治学、経済学、国際法、文化系領域など各授業領域ごとの垣根を低く設定していますが、それだけに自ら系統的に学習して行く努力が要求されます。
国際開発学主専攻	国際開発学主専攻では、国内外における新たな社会システム・概念の提案、人的資源の育成、合理的な合意形成に基づく社会基盤整備、情報・通信技術と社会との協調など、実社会において「創造・選択」をする際に必要となる知識や能力を養います。これに向けて本主専攻には、経済・社会開発の授業科目領域および、環境、情報・通信技術など開発工学の授業科目領域が設定されています。

主専攻分野	主な授業
必修科目	国際学Ⅰ（国際政治・国際法）、国際学Ⅱ（経済学）、国際学Ⅲ（文化・社会開発）、国際学Ⅳ（情報・環境）
専門基礎科目	国際関係論、国際関係学序説、国際法概論、法学概論、国際経済論、初級ミクロ経済学、マクロ経済学概論、比較政治学、政治変動論、文化・開発論、数理科学、統計科学、情報科学、社会科学のためのデータサイエンス、情報メディア概論、Media Politics、English Discussion Seminar、English Debate など
専門科目 （国際関係学）	安全保障論、公共政策分析、東アジア国際関係史、アジアの国際関係、ヨーロッパの国際関係、アジア政治、日本政治、ヨーロッパ政治、中央アジアの国家と社会、市民社会論、ヨーロッパ社会経済史、国際法Ⅰ、国際法Ⅱ、国際組織法、国際人権と法、国際機構論、外交法政策論、政治参加論、市民社会論、国際貿易論、ジャパニーズ・エコノミー、人間の安全保障論、現代中東政治、Japan and the World、言語人類学、国際文化論 など
専門科目 （国際開発学）	開発人類学、環境人類学、国際教育論、教育開発論、国際開発論、社会開発論、経済発展論、北アフリカの経済と社会、開発途上国における諸問題、国際文化論、世界経済史、地域開発論、計量経済学、統計科学、データ解析、応用数学、情報科学Ⅱ、パターン認識、宇宙開発、水環境論、都市文化共生計画、環境政策論、人工生命概論、地理情報システム論、国際農業開発論、ラテンアメリカの環境と社会 など

国際総合学類パンフレットの請求方法

●より詳しい情報は国際総合学類ホームページを御覧ください。
<https://www.kokusai.tsukuba.ac.jp/>

●パンフレットの閲覧、ダウンロードも学類ホームページから可能です。また、テレメールによる請求もできます。
(p.159 資料請求番号は 541430)

特長

二つの主専攻と多面的な教育体系

国際総合学類では国際関係学主専攻と国際開発学主専攻を設けています。主専攻を決める時期は3年次のはじめです。学生をはじめから主専攻に振り分けるのではなく、カリキュラムについての説明、指導を受けながらそれぞれの主専攻の科目を系統的に履修することによって、学生自らが自主的に主専攻を決めていくようにしています。教育課程は、①政治・法学、②経済、③文化・社会開発、④情報・環境を中心にカリキュラムを構成し、主たる専門分野を中心にしながらも、両主専攻の科目を幅広く学び、広い視野を涵養するように工夫されています。

現実の問題についての理解力と対応力を備えた人材を養成するために、卒業論文の提出を義務づけています。

これらの研究指導では、現代社会の問題をテーマとして、学際的なアプローチをとらせながらも、自分が選んだ学問分野のスキルを身につけられるように指導しています。

また、高い職業意識を持つ人材の育成を目的として、学生が在学中に将来のキャリアに関連した就業体験を行うインターンシップの制度も取り入れています。海外でのインターンシップにも力を注いでいます。

コミュニケーション力の養成

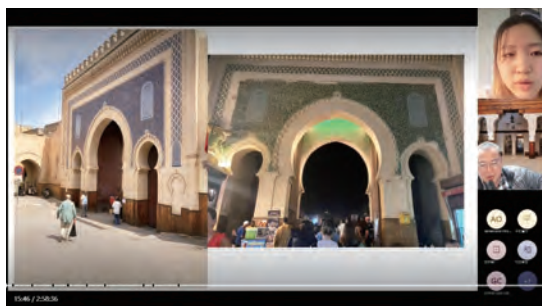
これからの時代に必要な、英語を中心とするコミュニケーション能力の向上や、情報処理技術の修得に力をいれています。そのため、国際総合学類では3分の1近くの授業を英語で行っています。これは単純に英語を重視するというよりも、異なる文化背景による異なる言語上での他者とのコミュニケーション能力を培うためです。その中にはディスカッション中心のものや日本の伝統文化を英語で読み解く授業もあり、留学生・日本人学生双方がこの能力を育てられるように設置されています。これらを通じて、卒業までに、専門分野について英語で水準の高い議論ができる程度の力を身につけることが期待されています。そのため、多くの外国人教員や外国の大学で教育に携わってきた教員による、英語の講義や演習を大幅に取り入れています。

文・理融合教育

政治学の理論や政策決定のプロセス、経済動向、またその背景にある文化等を学ぶことで世界の変化を定性的に理解できるようにすると同時に、経済学や統計学、データ分析の授業で数値による定量的な分析能力が身に付くように養成します。本来、政治学・歴史学・人類学といった文系の学問と数学・データサイエンス・情報工学・環境工学といった理系の学問は、融合すべき密接な関係を持つものです。工業化社会においてこれまで実現されてきた産業的発展は生命のない物質面に偏重し、これと全く同様に大切な社会的・政治的あるいは精神的な面との有機的関係が軽視されてきたことは否めません。その結果として、環境破壊、資源エネルギーの枯渇、貧富の差の拡大、それに伴う民族紛争などの困った問題が後を絶ちません。理系・文系双方の分野からなる学際融合教育を目指す当学類の特徴を活かして、当学類で学んだことを人類全体の物心両面にわたる快適な生活の充実に活かして欲しいと願っています。さらに、フィールドワークの授業も設置されており、どう分析するのかを実践を通して学ぶことが可能です。



ゼミの風景



コロナ下での留学オンライン報告

海外留学など

国際総合学類では在学中の留学を奨励し、特定の協定校との交換留学制度の拡充をはかっています。この交換留学制度を利用して留学した場合、修得した科目の単位を内容に応じて一定限度まで学類の単位として認めています。毎年20～25名の学類生がアメリカ、オーストラリア、オランダ、ロシア、チェコ、中国、韓国などの大学に半年から1年間留学しています。そして、海外からほぼ同数の留学生を受け入れています。この他にも、語学研修やインターンシップを目的として、海外に渡航する学生が毎年30名ほどいます。英語研修については、オーストラリアやカナダの著名な大学での研修に参加できます。このような活動を通じて、国際総合学類では、全体の4割程度の学生が1年間の海外生活を経験します。

また、私費外国人留学生、国費外国人留学生を積極的に受け入れています。このように、本学類は学生の構成という面からも国際性豊かなコミュニティであるということが出来ます。

主な協定校への留学先

オハイオ州立大学、パデュー大学、ハワイ大学マノア校、ユタ州立大学、ブリティッシュ・コロンビア大学、モンリオール大学、ペルー・カトリカ大学、オランダ・ユトレヒト大学、チェコ・カレル大学、オーストラリア国立大学、ロシア・サンクトペテルブルグ大学、ウズベキスタン・タシケント国立東洋学大学

卒業論文

論文題目の例

- 感染症対策における文化的対立 – エボラ出血熱の蔓延を例に –
- フランス保護領期のハノイにおける住宅地の形成と現代における変容
- スペインは何故没落したのか – 英国との比較 –
- 条約の留保に関する一考察 – 人権条約に対する留保を中心として –
- オフショアリングが自国経済に与える影響：理論分析とケーススタディ
- 開発途上国の障害児教育に対する日本の援助 – スウェーデン・アメリカとの比較から見るその課題と展望 –
- 韓国における教育疎外層の形成と格差解消への取り組み – 生涯教育政策の視点から –
- ミャンマー軍事政権に対する米国の対応 – 米中緬三国間関係の観点から –
- 異文化マネジメント – IN-OUT型M & Aの現状とこれから –
- ロシア・サハリン州と北海道における官民主導の経済交流に関する実証研究
- 汚染逃避地効果の検証 – 東・東南アジア途上国とG7の貿易に焦点をあてて –
- 日本における外国人の「不法就労」について
- ヨーロッパにおけるエネルギー安全保障 – EUとその東方近隣諸国を中心に –
- 1930年代の日本外交 – 対英関係の視角から –

卒業生の声



様々な機会を通じ、自身の可能性の探求・成長を！ 5期 福丸 博之 三菱商事株式会社 ロジスティクス総括部

「ロシアのクリミア半島編入に対し欧米諸国が同国に制裁発令」、「シリアが内戦状況に」、「イスラム国（過激派組織）によるテロ」、「ギリシャ財政危機」、「ネパールで大地震発生」・・・これら最近のニュースを聞くと、私の仕事は俄然忙しくなります。

私は総合商社で、これら経済制裁、内乱、テロ行為、為替の制限・禁止、自然災害等で海外における事業が損害を受けるリスク（一般的に「カントリーリスク」と呼ばれています）をカバーする特殊な保険（貿易保険）を扱っております。

仕事上、日々の国際政治・経済情勢が直接関係し、社内の世界ネットワーク等による関連情報に接しながら業務を遂行しております。また、特に発展途上国向けプロジェクトにおいて十数年もの間、当該国のカントリーリスクを民間企業で保有することは現実的ではなく、保険引受者（実質日本政府）に対する保険引受交渉が実を結び当該プロジェクト遂行、ひいては当該国の経済発展に寄与出来ることでこの仕事にやりがいを感じています。

さて、今思い返せば、私の大学時代（四半世紀ほど前、入学は昭和！）は多くの友人との出会い、旅行等であったという間でした。

当時、インターネットやスマホ等はなく、同じ学類、サークル等で知り合った他学類の友人、留学生等と直接

朝まで語り合った日々。（1年生の時、同級生が何気なく貸してくれた北朝鮮に関する本を読み、当時関心が薄かった同国に興味を持ち、卒論テーマに選んだことも思い出の一つです）

また、纏まった時間がとれると、ふらっと国内（北海道、東北一周や船で29時間かけて行った沖縄等）やバックパッカーで海外（アジア、欧州、北米、オセアニアの10カ国以上）を旅し、現地人や世界からの旅行者との出会い等様々な現地体験は今もって私の考えや行動に良い影響を与えています。

現在、世界は激動の時代を迎えていると感じており、本学類で学んだ政治、経済、歴史、宗教、文化、安全保障等は、世界の動向を理解する上で今なお役に立っています。まさに、これら幅広い分野が学べる本学類は、現代を理解する知識、対応するヒントを与えてくれると思います。

そして、共に学ぶ友人、深い専門知識をお持ちの先生方、世界・幅広い分野に散らばるOB/OG（FBのグループメンバーは800名以上！）等の存在は、自分を見つめ直し、自らの可能性を探求し、自身の価値を高めることに有益だと思います。

本学類には、このような自分の可能性を探求し、高める多くの機会が存在します。これら貴重な機会を逃さず、自身が大きく成長されることを願ってやみません。（大学時代は長いようであっという間ですよ・・・）

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許：中学校一種免許状（英語）
高等学校一種免許状（英語）
社会教育主事、学芸員、司書教諭

卒業後の進路

卒業生は社会の多様な分野の国際部門で活躍しており、それぞれの分野で高い評価を得ています。本学類生が伝統的に強い外務公務員、一般公務員など官公庁、総合商社、マスコミ、金融等に加えて、最近では製造業、流通業、運輸・通信・情報業などの分野に職を得る人が増えてきました。本学類生の進学先は多様化しており、修士号以上の学位を取得した後に国際公務員を目指す人もいます。

主な就職先

外務省、財務省、防衛省、経済産業省、東京国税局、JICA、ジェトロ、日本赤十字社、三井物産、三菱商事、住友商事、電通、朝日新聞社、読売新聞社、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、みずほフィナンシャルグループ、富士通、マイクロソフト、野村證券、キヤノン、パナソニック、野村総研、日本航空、全日空、商船三井ほか。

主な進学先

筑波大学大学院人文社会科学研究群、同システム情報工学研究群、同生命環境科学研究群、同人間総合科学研究群、東京大学大学院法学政治学研究科、同公共政策大学院、同新領域創成科学研究科、一橋大学大学院経済学研究科、東北大学法科大学院、東京工業大学大学院総合理工学

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	経済活動や環境問題は国境を越えて展開します。そこには、絶対的に正しいものはありません。既成概念にとらわれず、多様な価値観の存在を想像しながら、ものごとを観察し、何が問題かを見分け、何をどうすればいいのか、筋道をたてて考え、それを周りに説明でき、理解者を増やしていく意欲・チャレンジ精神をもつ人材が望まれます。	
入学までに学んでおいてほしいこと	将来、国際社会で活躍することを見据え、読解力や表現力の基礎となる語学力を高めておくこと。また、文科系、理科系を問わず、多様な視点から社会を捉えるための十分な知識と理解力を有していることが望ましい。	
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	高い基礎学力と優れた語学能力に加えて、国語、地理歴史、数学、理科のいずれかの学力を総合的に評価し選抜します。
	推薦入試	基礎学力とコミュニケーション能力に加えて、国際関係や国際開発への幅広い関心と強い学習意欲を有する人材を選抜します。
	国際バカロレア特別入試	国際バカロレア試験において一定レベルの成績をおさめ、国際関係や国際開発の諸問題を主体的に学ぶための知識や思考力、問題意識、明確な目標をもって学ぶ意欲、語学力を含めたコミュニケーション能力を総合的に評価し選抜します。
学群英語コース特別入試	(1) 求める人材 グローバル化と情報化が進むなかで、政治的・経済的・文化的・国際的な諸問題に対して関心を示し、事象を学問的に分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、現代社会の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。	

研究科、京都大学大学院アジア / アフリカ地域研究研究科、名古屋大学大学院国際開発研究科ほか。

教員からのメッセージ



井出 里咲子 教授
(言語人類学)

言語人類学、社会言語学という学問を通して、ことばと文化の相関関係や異文化コミュニケーションについて研究しています。日本人はなぜ頻繁に「すみません」というのだろうか？アメリカ人はなぜジョークが上手いように聞こえるのだろうか？といった疑問について、実際に会話データを取って分析し、ことばの用いられ方に現れる文化的な手触りの仕組みについて明らかにしてきました。

高校時代はイルカの調教師という職業に憧れていました。また、マザーテレサの影響で、国連勤務がしたいという夢も持ちました。しかし、どちらも中途半端なまま、大学の卒論で手がけたアメリカの教育テレビ番組「セサミストリート」の分析をきっかけに、社会が言語の多様性を認めると同時に、言語を統一しようとする二つの流れに興味をもち、研究の道に足を踏み入れました。

この社会はすべてコミュニケーションで成り立っていることを考えると、言語というのは、政治、経済、通貨と同様に価値の体系としての動的な様態をもつものです。同時

に、詩歌や文学を生み出す創造性の源です。研究の醍醐味は、他者への偏見やステレオタイプなども含めて、差異の構造を説明し、ミクロ、マクロのレベルで異文化を説明する面白さにあると思います。最近、日本と米国女性の出産育児体験の語りの比較から、両者の描く家族、社会観の違いを浮き彫りにしました。今後は異文化間コミュニケーションにおける「空気を読み方」の違いを分析していく予定です。

筑波大学は広くてキャンパスも魅力的ですが、是非つくばを出て、自分の足でさまざまな土地を歩いてまわってください。子供の頃はとても臆病者の私でしたが、大学院時代の友人たちに感化され、時に好奇心に突き動かされて、世界の多くの場所を旅したことが今の私の世界の見方の礎となっています。またコミュニケーション力や語学力を磨くためにも、いろいろな人と語り合い、考え続けてください。そして必ずこの地球をよりよい場所にしていくのだという強い自覚のもと、人生を逞しく切り開いていっていただきたいと思います。

【人材養成目的】

人間形成、学校教育、教育計画・設計、地域・国際教育にかかわる教育学の専門的知識・技能を活用し、学校、自治体、民間機関、国際機関など様々な分野で貢献できる人材、研究能力を有する人材を養成します。



「みなさんの入学をお待ちしています！」



授業のひとつま（児童文学論演習）

主専攻とコース

共通科目		<人間学群共通科目> 人間学、キャリアデザイン入門、人間フィールドワーク等	
		<教育学類共通科目> 教育基礎論、教育インターンシップ実践演習、教育学研究法、教育学実践演習、卒業研究等	
コース	系列	学べる内容	主な授業
教育学コース	人間形成系列	教育に関する基礎について学びます。世界や日本の歴史をさかのぼって、教育という営みや学校というものがどのように成立・展開してきたかを考えたり、今日の教育のあり方を導いた人物の足跡・思想を捉え直したりします。教育の本質や原理を考える教養を習得し、学界や教育界の多様な分野への進路選択が期待できます。	教育哲学、日本教育史、道徳教育論、比較道徳教育論、教育思想論演習、キャリア教育論、アジア教育史
	教育計画・設計系列	現代社会では、教育実践の営みは国や地方自治体あるいは機関・団体などによる支援のもとに成り立っています。教育計画・設計系列では、教育の制度、行財政・法制、学校の組織・経営について、理論や歴史、日本本や諸外国の制度や実践から学びます。そして、これからの学校教育のデザインと支援を開発・提言・実践できる人材を育成します。	教育制度論、教育行政論、教育制度論演習、学校経営論、学校経営論演習、教師教育論、比較学校経営論
	地域・国際教育系列	教育的営みを社会・文化とのかかわりで実践的・理論的に探究します。地域社会における教育・学習活動について幅広く理解し、公民館、図書館、博物館、カルチャーセンターやスポーツ施設等の生涯学習の場で学習支援を行う地域社会教育の専門家、あるいは国際理解教育など国際的な場での教育支援に従事する専門家の道へとひらかれています。	教育社会学、生涯学習論、国際教育論、地域と教育、言語教育論、環境教育論、生涯学習論演習、教育社会学演習
	初等教育学コース	学校教育開発系列	児童・生徒の成長とともに学校での教師のかかわり方は変わり、社会背景とも絡みながら、学校は進化し続けます。そのような学校教育の基礎・基本を学び、さらにそれを基盤として進化する学校教育に適用し、よりよい方向に変えていく力をもつ人間を育成することが学校教育開発系列の目指すところです。また、初等教育学コースでは実践的研究力を身につけた教員としての資質・素養を学ぶことができます。



新入生オリエンテーションのひとつ

人間学群パンフレットの請求方法

- 人間学群 Webサイト (<https://www2.human.tsukuba.ac.jp/gakugun/overview>)でパンフレットのPDFファイルを見ることができます。
- テレメールによる請求もできます (p.159 資料請求番号は 792870)

進化を続ける「筑波教育学」

教育学類には約 30 名のスタッフがおり、教育学のあらゆる分野をカバーします。スタッフは皆、それぞれの専門分野で学界の研究をリードし、国や地方自治体の教育政策の形成に関与しているスタッフも少なくありません。

教育学類は、教育への理論的関心も実践的関心も大切にします。学生諸君にとって、これほどバラエティに富んだ分野を包摂している教育学の学士課程は、珍しいと言えるでしょう。教育学類で学ぶ皆さんは、特定の狭い視野にとどまらない、多面的・多角的な視座から、教育問題に対す

る総合的な見方・考え方を獲得することでしょう。

このような筑波教育学は、明治以来、連綿として受け継がれてきた「教育学の総本山」としての歴史と伝統の中で培われてきました。日本の教育学をリードする多彩な教授陣が、最新の研究成果をもって教育学の面白さを伝え、理論と実践力を兼ね備えた人材を育成します。「筑波教育学」は常に進化し続けています。2012 年度からは、小学校教員免許状を取得できる「初等教育学コース」が誕生し、卒業生は小学校でも活躍しています。



緊張した面持ちの新入生
(入学式直後の人間学群オリエンテーションにて)



教育学類の新入生と担当教員

優秀卒業研究賞

人間学群では、毎年度、「修学・教育活動、課外活動において優秀な成績を収め、或いは顕著な功績のあった学生」を対象とした人間学群長賞表彰を実施しています。そのほか、同窓会組織による「茗溪会賞」や「校友会江崎賞」、大学院進学者への奨学制度である「つくばスカラシップ 大学院進学奨励奨学金奨学生」などの表彰も行われます。

[人間学群長賞]

前田 恭将

<卒業論文のテーマ>
手書き文字の印象が子ども認識に与える作用
—「素朴筆跡学」的推測の観点から—

井上 奈緒

<卒業論文のテーマ>
「よい子」という主体の権力行使
—フーコーの視点から考える自律と他律—



優秀卒業研究賞

[筑波大学茗溪会賞]

亀井 健多 宮地 優輝

[筑波大学校友会江崎賞]

吉岡 海人

[つくばスカラシップ]

小栗 まほ和

(写真 / 左から)

後列：勝田光(4年担任)、小松孝太郎(4年担任)、國分麻里(教育学類長)
前列：小栗まほ和、亀井健多、吉岡海人、宮地優輝、井上奈緒、前田恭将

海外での勉強チャンス

海外留学

教育学類の学生は、人間学群が交流協定を結んでいる海外の大学への交換留学に応募することができます。協定校に留学すると、①留学先での修得単位が教育学類の単位として認定される、②筑波大学への授業料を納入すれば、留学先の授業料は納入不要、というメリットがあります。現在、協定校は、カリフォルニア大学やベルリン自由大学などの大学間（全学）協定校をはじめ、国立台湾大学や南インドIANA大学などの部局間（人間学群）協定校です。

タイの学校での日本語補助教員実習

教育学類のコア科目の一つ、「国際教育協力実習」では、約2週間タイにホームステイしながら、コンケン大学やシーナカリンウィロート大学において、日本語補助教員として実習を行います。旅費は自己負担ですが、毎年、数名の学生が海外の学校での教育実習の貴重な体験をしています。

教育学類での学び

教育学の総合性と4つの系列

教育学類では、教育学の総合性に対応した4つの系列を設けています。すなわち、「人間形成系列」「学校教育開発系列」「教育計画・設計系列」「地域・国際教育系列」です。

学生はこれらすべての系列に関する科目を履修しますが、将来の目的に合わせて特に関心のある系列を1つ選び、その系列に含まれる授業を集中的に学ぶこととなります。そこで学んだ知識・技能を活かして、4年次に卒業研究をまとめていくこととなります。

ただし、教育学類では、学生に各系列に所属することを求めています。その理由は、1つの系列のみの知識・技能を習得することよりも、教育学に関する知識・技能を全般的に学ぶことの方が、教育に関連した優秀な理論家・実践家となるのに有効であると考えているからです。

なお、初等教育学コースは、「学校教育開発系列」の一部として組み込まれています。

卒業生からのメッセージ

新しい学びの世界を広げよう

令和5年度人間学群教育学類卒業
(小学校教員)



内窪 咲月

私が筑波大学を志望した理由は、高校生の時に参加したオープンキャンパスで先輩方の雰囲気に着かれたからです。入学後は、高校生の頃から目指していた教師になるために、教職課程の講義を中心に履修していました。様々な興味関心をもつ学生と関わる中で「教育＝学校」とは限らないと気付くようになりました。それからは、自分の疑問や興味にあった講義を、時には他学類の講義まで履修するようになりました。その中でも、特に生涯教育に興味を持ち、卒業研究では学校の外で行われている学習支援について研究をしていました。一方で、「本当に学校の先生になりたいのか。」と悩むこともありましたが、附属小学校やフリースクールでの実習を通して、「子どもと直接関わる仕事がしたい。」という思いを再確認しました。このように、筑波大学は、私の興味や疑問を受け止め、挑戦させてくれる場でした。小学校で働き始めてからは、大変なことも多くありますが、その中でも子どもたちと何気ない会話をしたり、無邪気な子どもたちの様子を見たりしていると、この仕事を選んでよかったと感じています。

筑波大学は、皆さんにも新しい学びの世界を広げてくれると思います。皆さんの大学生活が充実したものになるようお祈りしています。

なぜ大学で教育学を学ぶのか

令和5年度人間学群教育学類卒業
(教育学学位プログラム
教育基礎科学サブプログラム院生)



高木 滉太

なぜ大学で教育学を学ぶのでしょうか。教育学を学ばなくとも我々は、誰も教育の受け手にも与え手にもなります。親や先輩、上司、地域のおっさん/おばちゃんetc…として、世の大人は日々教育をしています。そのうち教育学類/学部を卒業した人はほんのわずかです。教育学類に入らずとも教育はできるし、実際みんな教育しているのに、時間とお金をかけてまで教育学を専攻する理由は何なのでしょう。

教育学類の入学生は、「上手に教える方法を知りたい」「教育格差をなくしたい」「資格を取りたい」「ついうっかり」などなど、人それぞれの答えを持っています。そして、日々の授業や学習、あるいは学友との対話を通して、多くの学生の「私が教育学を学ぶ理由」は変化します。私はこの変化にこそ、教育学類で学ぶ意義があると考えています。私自身も、他の誰でもなく私が教育学を学ぶ理由を、教育学類における学びの中で更新し続けてきました。

誰であっても、つまりあなたも、教育の受け手にも与え手にもなります。教育学の射程の広さに驚き、教育学の議論の深さに夢中になり、そして教育的な問いの切実さに心を震わせる。そんな教育学類での学びの中で、きっと皆さんも「私が教育学を学ぶ理由」に真剣に向き合うこととなるでしょう。

授業の形態

専門の授業は、講義、演習、実習など様々な形態で行われます。講義であっても受講生の数は最大 40 名程度で、演習や実践演習の場合は数名の受講生ですから、とても密度の濃い指導を受けることが可能です。授業づくり、ソーシャル・スキル・トレーニング、学校訪問観察など、各専門分野に応じて多彩な体験的活動も取り入れられています。卒業研究に向けての本格的な指導は、3 年次に履修する教育学実践演習で着手することが可能です。

資格など

教員免許

小学校一種免許状

中学校一種免許状（社会）

高等学校一種免許状（地理歴史、公民）

※他学類の授業を履修すれば他の教科の免許状も取得可能です。

他の資格

社会教育主事、学芸員、学校図書館司書教諭



附属小学校の子どもたちとの交流

卒業後の進路

これまで教育学類の卒業生は、社会のさまざまな分野で活躍してきました。

過去 5 年間の教育学類の卒業生の進路をみると、年度によって変動はありますが、約 3 割～4 割が進学で、6 割～7 割が就職になっています。進学先は、本学の大学院教育学学位プログラム（次世代学校教育創成サブプログラム、教育基礎科学サブプログラム、国際教育サブプログラム）が多くなっています。就職先は、教員、公務員のほか、教育関連企業、出版、放送、金融など幅広い業種にわたっ



入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	人間社会が形成してきた文化や教育・学習活動に対する幅広い関心と高い問題意識を抱き、学問的に深めたいという志を持ちながら、自主的に学び、考え、科学的、論理的、かつ実践的な問題解決能力を培う意欲のある人材を求めます。	
入学までに学んでおいてほしいこと	人間の発達や支援、教育について、様々な考え方や見方に触れることにより、人間、社会、自然に関する興味と関心を培うようにして欲しい。	
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	広い基礎学力と外国語に加えて、国語、数学、地理歴史、公民、理科のいずれかの学力を総合的に評価します。
	個別学力検査等（後期日程）	広い基礎学力を評価します。また、論述において、応答性、論理性等を評価します。
	推薦入試	一定レベルの学力を有し、教育学について明確な目的意識と勉学への意欲を持ち、教育学類の教育に適応性があるかどうかを評価します。あるいは、教育学について明確な問題意識を持ち、その問題意識に関連した優れた活動実績を有するかどうかを評価します。
	国際バカロレア特別入試	国際バカロレア試験において一定レベルの成績をおさめ、教育学類の学習について明確な目的意識を持ち、教育に関する領域で国際的視野に基づく活動を志しているかどうかを評価します。
	外国学校経験者特別入試（第 1 種）	教育的な事象に対する強い関心と問題意識を持ち、入学後の授業に適應できる理解力・思考力・日本語能力を有する者を総合的に評価します。
外国学校経験者特別入試（第 2 種）	海外生活での経験を活かしたグローバルな視点から、教育的な事象に対する強い関心と問題意識を持ち、入学後の授業に適應できる理解力・思考力・日本語能力を有する者を総合的に評価します。	

ています。

最近の傾向としては、「進学」が増えていることが挙げられます。次世代学校教育創成サブプログラムへ進学した者の中には、修了後、中学校・高校等の教員として就職していく人が数多く含まれています。また、教育基礎科学サブプログラムに進学した者の多くは、博士後期課程を経て、大学教員・研究者の道を選ぶケースが多いです。さらに、国際教育サブプログラムでは、国際バカロレア (IB) 教員資格を取得して、IB 認定校やインターナショナル・スクールへ就職する道も開かれています。



【人材養成目的】

人間のこころと行動に関する幅広い興味や関心を基盤に、人間のこころと行動を科学的・実証的に分析し理解する姿勢及び専門的な知識や技能を身に付け、さらに、これらの学習成果を生かして、実際的な問題を主体的かつ創造的に解決する能力を有し、国際的にも通用する知性・人間性・逞しさを備えた人材を育成します。



1年生には心理学の概論の講義だけでなく、研究を遂行するための心理学の研究法や統計法、さらにはキャリアに関するレクチャーまで、幅広い内容の授業が用意されています。

心理学は、人間のこころを科学的・実証的に探究しようとする学問です。日常生活の中で私たちが見たり、注意をしたり、思い出したり、あるいは考えたりといった精神活動や、うれしかったり、悩んだりといった様々な人生体験を対象として研究します。このような精神活動や体験は、手にとって直接的に「ものさし」をあてて測ることができませんので、何らかの方法で間接的に測ることになります。そこに心理学の難しさと創造性を発揮する楽しみがあります。心理学は、たいへん間口が広く、生理、比較、感覚知覚、認知、学習、心理測定、発達、生涯発達、発

達臨床、社会、対人関係、組織、臨床、カウンセリング、人格などの多くの専門分野があり、深い人間理解が可能となる魅力的な学問です。心理学類では、下の表に例示したように幅広い内容を偏りなく学ぶことができます。

専門として学べる内容

1年次には、心理学概論と心理学研究法で心理学の基本的知識を学び、心理学統計法の講義と実習で心理学の基礎的研究技法を修得します。2年次では、基幹となる専門科目群を深く履修し、心理学の専門的知識を獲得し

心理学の専門分野と心理学類で学べる内容のマッチング

心理学の専門分野	心理学類で学べる内容の具体例
生理、比較、感覚知覚	視覚、聴覚、嗅覚などの感覚や知覚の興味深い現象やその仕組み、人と動物のこころの共通性や違い、学習・記憶、感情、動機づけ、ストレスなどにかかわる脳神経系やホルモンの多様なメカニズムについて学ぶことができます。
認知、学習、心理測定	記憶や認知の基本的な仕組み、学びを支える動機づけや創造性のあり方、学びや人間関係を通した能力や自己認知の変化、人々の教えあいと学びあいのプロセスとそれを支えることばの役割、こころの変化を測定する方法などについて学ぶことができます。
発達、生涯発達、発達臨床	対象とする年齢によって、幼児、児童、青年、老年の心理学に大きく分かれていますが、一生の発達を統合的に扱うこともできます。テーマを絞って認知の発達、感情の発達、行動の発達といった点から学ぶこともできます。それぞれの年齢層で表れる問題の理解とケア、発達支援についても学ぶことができます。
社会、対人関係、組織	対人関係の心理、インターネットやマスメディアの影響などの社会現象、攻撃行動のような社会行動の病理的側面、感情と行動の関連、組織の中の人間同士の相互作用、キャリア発達などについて広く学ぶことができます。
臨床、カウンセリング、人格	心理的障害や不適応に関する基礎理論や臨床的方法について学ぶとともに、ストレスの問題など個人及び集団のこころと身体のウェルビーイングについて心理学的視点から学ぶことができます。また人格の理論と病理、犯罪・非行、家族、カウンセリングを支える理論と技術についても学ぶことができます。

人間学群パンフレットの請求方法

●人間学群 Webサイト (<https://www2.human.tsukuba.ac.jp/gakugun/overview>)でパンフレットのPDFファイルを見ることができます。

●テレメールによる請求もできます (p.159 資料請求番号は 792870)

ます。また、心理学実験では基礎的研究技法を修得し、心理学研究実習では先行研究の理解に基づいて実験や調査などを行い、データ収集能力と科学的分析能力、そして討論の能力を実践的に修得します。さらに、心理学英語セミナーでは英語論文を通して心理学研究の専門知識や方法論、論文執筆の基本的ルールなどを修得します。3年次には、講義・演習科目を中心として心理学に関するより高度な専門知識を獲得します。そして、4年次では各自の興味に応じたテーマで卒業研究を行います。卒業研究は心理学類における教育の総決算です。

特長

心理学は19世紀後半に誕生し、現在では1人の心理学者ですべてをカバーできないくらい、研究対象や研究方法は多岐にわたっています。心理学に関係する学会も、日本に限っても50以上あります。今日、こころの問題やカウンセリングなどに興味をもつ人々が増えていることもあって、心理学を学ぶことのできる大学も数多くあります。しかし、専任の教員を約30名抱え、脳と行動の基礎研究から心理臨床に関する実践研究まで、ほぼすべての分野にわたって心理学を学べる大学は筑波大学の心理学類において他にはありません。

①体系的なカリキュラム

共通科目から個別的な専門科目、そして卒業研究まで、段階的に学ぶことができます。

②豊富な科目構成

多彩な専門科目が用意され、各自の興味関心に従って、より深く学ぶことができます。

③多様な心理学的知識の学習

実験心理学から臨床心理学まで、幅広く偏りなく学びます。

④新たな知識を「産み出す」ためのメソッド

知識を産み出すための方法を講義や実験で体得し、ツール(統計、英語)もしっかり学びます。

⑤実践的科目の充実

実践的・実習的な演習科目も用意されており、リアルな学びが得られます。

以上のように、心理学類では、学生の皆さんひとりひとりの興味・関心に応じて、こころと行動への多様なアプローチを身につけることができます。講義や少人数での演習もたくさん用意され充実しています。

2年生の心理学実験の授業です。学生と年齢の近い新進気鋭の若手教員から、具体的な研究方法を習い、そのあと実際に自分たちでやってみます。



学生は実験実施者になって実験の教示を行ったり、実験協力者になって実験課題を遂行したりします。

心理学への招待

高橋 ひかるさん

(令和5年度卒業)
出身高校：筑前高校



皆さんは、動物と人間なら、どちらに興味がありますか？心理学に関心を持つ方の多くは、人間の心を知ろうとする営みに魅力を感じているのではないのでしょうか。私自身もそうでした。心という見えないものを、外から見える反応をもとに考えていくのは楽しいですし、自己理解にも役立ちます。一方で、動物に興味がある方にも朗報です。少し意外かもしれませんが、心理学では動物を対象にした研究も数多くあります。例えば、縦縞しか見えない世界で育ったネコは、横縞を認識できるのか？という、なにやら哲学的な問いや、ネズミは他のネズミが閉じ込められていたら助けようとするか？という、まるでおとぎ話のような問いも、心理学の範疇です。そしてこのような実験は、人間の知覚や社会性の研究にも繋がっていきます。私自身の経験を振り返ると、当初はカウンセラーを目指して心理学類に入学しましたが、大学2年次には神経心理学に関心を持ち、研究室でマウスの攻撃行動を観察する日々を送っていました。そして現在は臨床心理学の研究室に身を置き、人の偏見に関する実験に取り組んでいます。一見、対象はバラバラですが、そこには常に「心とは何か」という共通の問いが流れています。心理学の世界は想像以上に広大です。皆さんも興味の赴くままに、この学問の道をふらりと歩いてみてはいかがでしょうか。

卒業後の進路

心理学類生たちの進路について紹介しましょう。筑波大学で心理学を学んだ卒業生たちは、社会のさまざまな分野で活躍していますが、卒業後の進路は、大学院などへの進学と社会に出て職に就く就職とに大きく分かれます。

進学の場合、ほとんどが大学院への進学になりますが、学士入学で大学に入り直す人や、資格を取るために専門学校に進学する人もいました。大学院へ進学する場合、博士課程前期あるいは後期を終えると再び進路を決定しなければなりません。大学院修了後の見通しをもって進学することが望まれます。

就職は、(1) 企業／団体、(2) 公務員等、(3) 教員の3つに大きく分かれます。企業には製造業からサービス業までいろいろな業種があります。卒業生たちは、営業職から人事担当まで、いろいろな部署に配属されているようです。

公務員には国家公務員や地方公務員があり、心理職で受験する人も行政職で受験する人もいます。教員については、少数ですが、県の教員採用試験を受ける人、私立学校の教員となる人もいました。公務員試験や教員採用試験はかなりの狭き門ですが、強く決意してその道を目指した学生たちの多くは、夢を実現させています。

現代では、同じ職場で一生涯働き通すということが一般的ではなくなりつつあります。卒業後、3年、5年、10年と月日がたつと、就職した人が転職したり、大学院に進学した人が修了後に教員になったり、就職した人が大学院に入り直したりと、進路が変わっている可能性も高いのです。心理学類に入学したからといって、就職先が確保されるわけではありません。また就職先が限定されるわけでもありません。大学生の進路は、本人の努力次第で無限に広がります。心理学を大学で学んだからといって、必ずしもそれだけにこだわる必要はありません。心理学は、自己理解と他者理解に役立つ学問ですから、人と人がかかわる多様な場面に役立てることができそうです。学んだ知識と方法論はあらゆる職場で活用できるはずですよ。皆さんも、働く人生の夢と希望を、心理学を学びながら育てていってください。

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館に関する科目」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

また、公認心理師受験資格が取得可能な教育体制も整えてあります。

取得できる資格

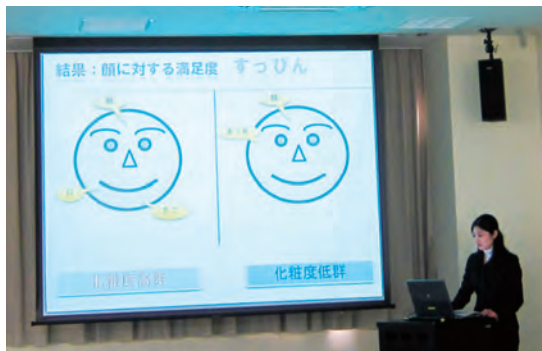
教員免許

高等学校一種免許状（公民）

心理学関係

認定心理士（社団法人日本心理学会）

社会教育主事、学芸員、司書教諭



卒業研究発表会では、学会発表とほぼ同じ形式で発表と質疑を行います。



池と芝生と広場に隣接する研究棟で、心理学の実験を行います。



入学直後の新入生オリエンテーションで、授業担当教員と。まだ少し緊張しています。



卒業研究発表会を終えた4年生。お疲れ様でした！



1年生有志で行ったメキシコ文化交流イベントの様子です。みんな打ち解けて楽しそう！

「つくばの心理学」と「心理学の時間割」

心理学類の全教員が執筆している「つくばの心理学」というデジタルブックがあります。心理学類のホームページに掲載されています。各教員の研究活動や関連した知見をわかりやすく紹介した研究アラカルト、心理学類の教員が選んだお薦めの図書など、筑波大学で心理学を学びたいと思っている高校生の皆さんにはぜひ読んでいただきたい一冊です。

心理学類のホームページには「つくばの心理学」と並んで「心理学の時間割」というデジタルブックも掲載されています。こちらは、平成の頃の心理学類生6名の入学から7年間の記録が時間割と共に示されており、学生目線で心理学類の教育を知ることができます。ぜひご覧になってください。



「つくばの心理学」



「心理学の時間割」

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	人間のこころと行動に高い関心と興味を持ち、さらには、人間を深く理解しようとする探究心を持ち、自主的に学び、考え、科学的、論理的かつ実践的な問題解決能力を培う意欲のある人材を求めます。	
入学までに学んでおいてほしいこと	高等学校での学習内容を深め、特に英語書籍・論文を理解できる英語力を習得していること、自分の考えを明確に伝える日本語および英語の表現力を高めることが望ましい。	
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	広い基礎学力と外国語に加えて、国語、数学、地理歴史、公民、理科のいずれかの学力を総合的に評価します。
	個別学力検査等（後期日程）	広い基礎学力を評価します。また、論述において、応答性、論理性等を評価します。
	推薦入試（大学入学共通テストを課す）	一定レベルの学力を有し、人間のこころと行動について明確な目的意識を持つ人材で、心理学類の教育に適応性があるかどうかを評価します。または、人間のこころと行動について、旺盛な知的好奇心を持ち、それに関連する自主研究や部活動、社会活動等において優れた実績を有するかどうかを評価します。
	国際バカロレア特別入試	国際バカロレア試験において一定レベルの成績をおさめ、心理学類の学習に関して明確な目的意識を持ち、心理学の領域において国際的視野に基づく活動を志す人材を選抜します。
外国学校経験者特別入試（第1種）	心理学類の学習に高い関心を有し、入学後の授業に適應できる理解力・思考力・日本語能力を有する人材を選抜します。	
外国学校経験者特別入試（第2種）	海外生活での経験を活かしたグローバルな視点から、心理学類の学習に高い関心を有し、入学後の授業に適應できる理解力・思考力・日本語能力を有する人材を選抜します。	

心理学類をめざすみなさんへ 先輩たちからのエール



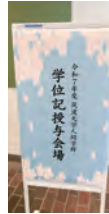
深井 菜々子さん

私は「人の心は研究できるんだ！」と知ってから、心理学を網羅的に学ぶことのできる筑波大学を志しました。心理学類の最大の魅力は領域の広さで、心の仕組みや現象について多角的に考える力がつきます。皆さんが面白いと思える分野にきっと出会えるはずですよ！また実験を通じて、研究方法を実践的に学べるのも特徴です。ここで身につく論理的な思考力や観察力は、将来どのような道に進んでも武器になると感じています。受験は大変なことも多いですが、ぜひ自分がやりたいことを想像しながら進めていってほしいです。充実した大学生活を送れるよう、応援しています！



小清水 想さん

私が心理学系への進学を考えたのは高校3年生の頃、筑波大学を選んだのは理系でも受験可能な後期入試があったからだと記憶しています。そんな消極的な理由で入学したわけですが、入学後は研究プロジェクトに参加させていただいたり、学会に行ってみたり、サークルの代表をしてみたりと公私ともに居場所を得ることができました。特に心理学類は学生を引き込むことに関して熱量のある先生方が多く、研究に関心がある場合充実した学生生活を送れると思います。最後になりますが、冬のつくばはとて冷えますので受験の際はしっかり対策をなさってください。皆さんが万全の体調で受験されることを願っています。





卒業研究を終えた4年生。写真中央は左から教員の山中克夫・佐島毅

【人材養成目的】 乳児から高齢者までの感覚、運動、認知、言語などの機能の障害、健康や高齢・発達に関わる障害、障害をめぐる環境や社会・文化的課題に関する基礎的知識と支援方法を、教育・心理・福祉・医療などの領域から総合的に身に付け、共生社会の創造に貢献する、国際的に通用する能力をもつ人材を養成します。

「障害科学類」は、障害を科学し、人間の本質を探究し、人類と社会に貢献する人材を育てる、わが国では他に類を見ないユニークな学類です。障害のある人々への具体的なサポート、その基盤となる基礎的な研究、そして人間の本質そのものを探究します。

障害科学類の歴史は、1951（昭和26）年に国内最初の障害児教育の教育研究機関として設置された東京教育大学教育学部特殊教育学科にさかのぼります。その遺産は、筑波大学では人間学群心身障害学主専攻に継承・発展され、2007（平成19）年度からは人間学群障害科学類として発足しました。

障害科学類は、すべての障害を専門とする国内で最大の教員数を擁していますので、年齢では乳幼児期から高齢期まで、機能的には学校教育から障害福祉まで、教育学・心理学・病態生理学を融合した高度で先進的な総合科学を学ぶことができます。また、障害のある子どもをもつ親の方々や学校の教員に対する相談やサポート、子どもに対する臨床的指導など、優れた社会的貢献も行っています。障害のある人々たちへの具体的なサポート、その基盤となる基礎的な研究、人間の本質の探究に興味がある人には、魅力ある学類といえるでしょう。

障害科学類の特徴

- 学生の関心や目標に応じた3つの履修モデル
- 特別支援学校教員免許状では、5つの教育領域（視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱）すべてに関する免許の取得が可能
- 社会福祉士国家試験受験資格の取得が可能
- 教職免許 特別支援学校／高校（福祉）／その他、小学校・中学校・高校の教科

カリキュラムの特徴

3つの履修モデルと取得可能資格

障害科学類では、学修の参考のためにいくつかの履修モデルを示しています。履修モデルは、その通りに授業をうけなければならないものではありません。ただし、資格と関係する履修モデルは、必要科目が過不足なく含まれていますので、モデルが基準になるでしょう。履修モデルを基に、学ぶ人の希望と意欲に沿った学修計画を立て、自主的に学ぶことになります。

		主な授業科目
専門基礎科目		障害科学Ⅰ・Ⅱ、障害科学実践入門、障害科学セミナー、障害科学研究法入門、障害科学研究法実習、心理学概論、心理学統計法Ⅰ、教育基礎論、学校の経営・制度・社会、障害者教育基礎理論、障害原理論Ⅰ、障害者福祉論Ⅰ・Ⅱ、Current Topics in Disability Sciences など
専門科目	障害科学履修モデル	視覚障害児の心理・生理・病理、聴覚障害児の心理・生理・病理、知的障害児の心理・生理・病理、肢体不自由児の心理・生理・病理、病弱児の心理・生理・病理、言語障害と心理 など
	特別支援教育学履修モデル	視覚障害指導法、聴覚障害児の教育と指導法、聴覚障害自立活動特講、言語障害の理解と支援、肢体不自由児の教育、肢体不自由児の指導法、発達障害の理解と支援、知的障害学校教育論、特別支援教育実習 など
	社会福祉学履修モデル	社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ、相談援助の基盤と専門職Ⅰ・Ⅱ、相談援助の理論と方法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、医学概論Ⅰ・Ⅱ、社会保障論Ⅰ・Ⅱ、児童福祉論、権利擁護と成年後見制度、地域福祉の理論と方法Ⅰ・Ⅱ、ソーシャルワーク演習A・B・C・D・E、ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ など

人間学群パンフレットの請求方法

●人間学群 Webサイト (<https://www2.human.tsukuba.ac.jp/gakugun/overview>)でパンフレットのPDFファイルを見ることができます。

●テレメールによる請求もできます (p.159 資料請求番号は 792870)

●障害科学履修モデル

障害科学類の基本的な履修形態です。障害科学の全体的な理念・概念の理解を基に、障害科学が包含する特別支援教育、障害心理・生理、障害福祉等の全領域に関して、視覚障害学、聴覚障害学、言語障害学、運動障害学、健康・高齢障害学、知的・発達・行動・情緒障害学の基礎的な知識や技能を修得します。さらに、この分野を新たに開拓していくための研究方法の学修として、臨床研究、実験や調査、文献研究等で用いられる多様な技術の基礎を修得します。

●特別支援教育学履修モデル

わが国における特別支援教育に関わる先導的な研究・教育を担う専門家の養成を目指すものです。特別支援教育とは、これまでの特殊教育において培ってきた専門性及び新たに求められる専門性に依拠して、障害がある幼児児童生徒はもとより、さらに地域における発達障害などの教育的ニーズに応じた指導・支援を行うという、いわば新たな学校教育の枠組に基づく教育といえます。特別支援教育学履修モデルでは、障害科学類の充実した人的資源を活用して、特別支援学校教諭一種免許状に対応した豊富な科目群を設け、履修者に特別支援教育に関わる広い教養と深い専門性を身に付けさせることを意図しています。障害科学類では、5つの教育領域(視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱)すべてを担当できる特別支援学校教諭免許状の取得が可能です。4年間の在学中にすべての教育領域の免許が取得できる数少ない大学のうちの一つです。



●社会福祉学履修モデル

社会福祉学を探究するとともに、社会福祉士を目指す「社会福祉学履修モデル」を設定しています。現代の社会福祉が対象とする高齢者、障害児者、及び、家庭養育環境や発達に伴う生活問題を抱えた子どもたちについて、ノーマライゼーションという福祉理念を実現するための施策や援助方法を、包括的かつ科学的に学修します。また、従来の社会福祉学の枠組を越えて、「障害」をめぐる教育や医療・リハビリテーションとの連携について、社会福祉の現場実習を含めて融合的に学修します。指定された科目を履修することにより、社会福祉士国家試験受験資格を得ることができます。



学生からのメッセージ

山本 彩佳 (2022年度入学)

私は車椅子ユーザーです。日々生活している中で障害について考える機会があり、将来は障害者がより生きやすい社会を実現したい、そのため研究者になりたいと考えるようになりました。その思いを高校の担任に話したところ、日本で唯一の「障害科学」という学問を学べる筑波大学を勧められ、受験を決意しました。



障害科学類は、一学年35人程度の少人数の学類で、先生方の面倒見がとても良いです。授業の内容は、障害の定義や、海外の障害観の比較など、障害に関する様々な知識を得ることができます。友人たちと障害に対するそれぞれの考えを話し合う機会も多くあり、授業はとても面白いです。

筑波大学には「ピア・チューター」という障害学生を支援する活動があり、私もピア・チューターの養成講座で障害を持つ側の目線からアドバイスやサポートをしています。

サークルは以前から興味があった手話サークルとつくば鳥人間の会に所属しています。つくば鳥人間の会では、電装班に所属し、飛行機のコンピューター制御部分のプログラムを書いています。大学生になり、授業以外の活動の時間が増え、急に世界が広がりました。

これからチャレンジしたいことは、私もピア・チューターになり、自分の夢の実現の第一歩として、障害学生支援により深く関わっていきたくて考えています。

〈受験生へ〉先生と学生の距離が近く、個性豊かで優しい人がたくさんいるので、楽しい大学生活が送れると思います。応援しています。

LI SZE CHING (2025年度入学)

入学後のオリエンテーションで、初めて同じ学年のクラスメートと顔を合わせる場がありました。そこで一人ずつ自己紹介を聞く中で、35人それぞれが異なる関心分野や深く学びたい内容を持っていることに驚きました。他人との知識や情報量の差に少し不安を感じることもありましたが、その不安はすぐに解消されました。少人数編成であるからこそ、授業中に意見交換を行い、多様な視点を知る機会が得られ、講義内容以外の知識も深めることができました。



1年の夏には、「障害科学実践入門」という授業を通じて、筑波大学附属の特別支援学校5校を見学し、授業参観する機会を得ました。留学生である私にとって、日本の教育現場を直接見ることは非常に貴重な経験でした。同じ校舎内でも、生徒の年齢や障害の程度に配慮し、授業の進め方や教室の配置に様々な工夫がなされていたことが特に印象的でした。この見学経験は、その後の秋学期以降に受講した授業内容を理解する上で大いに役立ったと思います。

〈受験生の皆さんへ〉

障害科学類では、大学4年間では学びきれないほど豊富な内容を学べます。また、大学の行事、サークル活動、ボランティアの機会も充実しているため、自分に合った多様な過ごし方ができると思います。皆さんの入学を心よりお待ちしております！

卒業後の進路

障害科学履修モデル

本学には障害科学に関するわが国で最も整備された大学院（人間総合科学学術院）があり、学類卒業後には進学することを勧めています。近年、障害関連職種での専門化が進み、大学院修了資格を有したより専門性の高い人材が求められています。進学以外の進路としても、一般社会での障害者の活躍が進み、そのための支援の充実が広がる中で、障害に関連した種々の職種の中で専門家としての知識・技能の発揮が期待されています。教職課程を履修すれば、教員免許状の取得も可能です。大学院では、学校心理士、臨床発達心理士などの申請資格を取得することが可能です。

特別支援教育学履修モデル

主として特別支援学校及び小・中学校などの特別支援教育担当の教員のほかに、国家公務員、地方公務員に就くことを想定しています。また、本学大学院（人間総合科学学術院）への進学も勧めています。学類と大学院との一貫したカリキュラムの履修により、進学者は専修免許を取得し、より専門性の高い教育者や研究者となることを目指すことができます。



2018年に訪問した米国オハイオ州立大学での研修の様子。州内の特別支援学校やバリアフリーでアクセシビリティの高い博物館等を見学しました。

社会福祉学履修モデル

指定された科目を履修することにより、社会福祉士国家試験受験資格を得ることができます。福祉系の国家公務員・地方公務員、社会福祉協議会、障害者・高齢者・児童等の福祉専門職、シルバーサービス関連の一般企業等、福祉の専門性を生かした職種の中で、専門家としての知識・技能を發揮することが期待されています。もちろん、本学の大学院（人間総合科学学術院）への進学も可能です。



研究会での1コマです。大村美保研究室から。

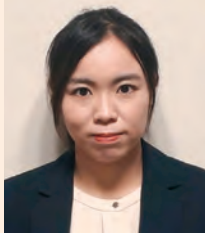


4年間の集大成の卒業研究発表会の様子。



卒業研究発表会はとても緊張しますが、休み時間になれば同級生との穏やかな時間があります。

卒業生からのメッセージ



黒澤 由子（令和元年度卒業）

私は学部卒業後、国家公務員総合職として法務省矯正局に入省し、現在、霞が関にある法務省で勤務しています。国家公務員総合職とは、キャリア官僚とも呼ばれ、政策の企画立案をしたり、法案の作成や予算編成など国の行政の中枢を担う業務に携わり、中央府省庁の幹部候補として働きます。法務省矯正局は、犯罪や非行をした人を収容し、再犯防止など国民の安全や安心の実現に取り組んでいます。

入省後の3年間は、少年院と鑑別所で教官として勤務しましたが、そこでは障害科学類での学びが大きいと感じています。子どもの非行の背景に

は、発達障害や、摂食障害などの精神疾患があることも多く、福祉の支援に繋げる必要があることも多いからです。心理学や教育的観点に加えて、福祉的な観点から目の前の子どもと向き合えることは自身の強みになっています。成人犯罪に関しても福祉的ニーズは高く、これまでの罰を与えるという考え方だけでなく、社会復帰後の就労支援など再犯防止が重要だと言われています。

様々な仕事がAIに置き換わり、想像（創造）力や個の人間力、多様性への理解が求められる現代、当事者の生の声を感じながらの障害科学類での学びや障害分野の最新の研究や考え方の理解、多方面で活躍する先生方や素敵な仲間との出会いはきっと将来の大きな財産になるでしょう。

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

高等学校一種免許状（福祉）

特別支援学校教諭一種（視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱）

社会福祉士国家試験受験資格

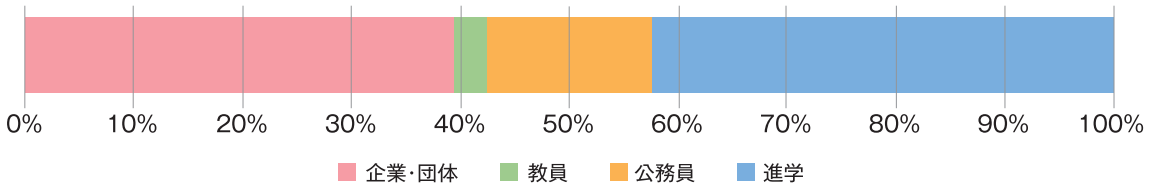
注)教科「福祉」以外の教員免許と社会福祉士国家試験受験資格とを4年間で同時に取得することは、カリキュラム編成上、原則としてできません。



入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	人の障害や障害をめぐる様々な事象についての関心と問題意識、さらには、人間を深く理解しようとする探求心を持ち、自主的に学び、考え、科学的、論理的かつ実践的な問題解決能力を培う意欲のある人材を求めます。
入学までに学んでおいてほしいこと	障害科学類では障害に関する様々な学問領域を学ぶ基礎として、英語のほか、文科系、理科系にわたる基礎教科について十分な知識と理解を得ていることが望ましい。
個別学力検査等（前期日程）	広い基礎学力と外国語に加えて、国語、数学、地理歴史、公民、理科いずれかの学力を総合的に評価します。
個別学力検査等（後期日程）	広い基礎学力を評価します。また、論述において、応答性、論理性等を評価します。
推薦入試	一定のレベル（高等学校の上位10%以内）の学力を有する者、または筑波大学の個別学力試験等に合格できる程度以上の学力を有する者で、障害科学について明確な目的意識と勉学への意欲を持ち、障害科学類の教育に適応性があるかどうかを評価します。または、障害科学類についての問題意識を明確に持ち、それに関連する自主研究や部活動、社会的活動等において優れた実績を有するかどうかを評価します。そのほかに、外国語能力や問題解決能力等において国際的素養を有し、将来、障害科学の分野において国際的に活躍する資質を十分に有しているかどうかを評価します。
国際バカロレア特別入試	障害科学類の学習に関して明確な目的意識と勉学への意欲を持ち、障害科学の領域において国際的視野に基づく活動を志す人材を選抜します。
外国学校経験者特別入試（第1種）	人の障害や障害をめぐる様々な事象に対する関心と明確な問題意識を持ち、入学後の授業に適應できる理解力・思考力・日本語能力を有する者を選抜します。
外国学校経験者特別入試（第2種）	海外生活での経験を活かしたグローバルな視点から、人の障害や障害をめぐる様々な事象に対する関心と明確な問題意識を持ち、入学後の授業に適應できる理解力・思考力・日本語能力を有する者を選抜します。

進路実績 令和6年度



過去10年間の卒業生の主な進学・就職先

企業・団体

- リソネ銀行、日本生命
- ソフトバンク、リクルート
- オリエンタルランド、リシュモンジャパン、横浜DeNAベイスターズ
- 全日本空輸株式会社、東日本旅客鉄道株式会社 (JR 東日本)
- PwCコンサルティング、野村総合研究所
- 共同通信社
- パーソルキャリア、パーソルダイバース、LITALICO
- 全国社会福祉協議会、各県・市社会福祉協議会
- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
- 各社会福祉法人、各医療法人
- 病院 (MSW) ほか

教員

- 各県の特別支援教育の教員として多数採用

公務員

- 法務省国家総務職
- 厚生労働省・各県庁・市役所職員（多くが福祉職）として多数採用
- 保護観察官
- 家庭裁判所調査官 ほか

大学院等

- 筑波大学人間総合科学学術院人間総合科学研究群
- 東京大学大学院教育学研究科
- 京都大学大学院人間・環境学研究所
- 東北大学大学院医学系研究科
- 一橋大学国際・公共政策大学院
- 立命館大学大学院先端総合学術研究科 ほか

【人材養成目的】

生物界のシステム、生体機能のメカニズム、生命現象の本質、生物学の研究方法及び先端研究の意義を理解し、生物と関わる幅広い学問分野でグローバルに活躍する研究者、教育者、技術者、企業人など、先端科学と社会の接点となる人材を育成します。



菅平高原実験所での野外実習



下田臨海実験センターでの臨海実習

領域名	内容	主な授業
生物多様性	<p>生物には似ている点と異なる点があります。その相同性と相違性を明確にし、違いがどのように生じ、どのように多様化したのかを学びます。生物はいかに進化したのか、多様な生物の形態的特徴や発生のプロセス、そして遺伝情報等を比較し、生命の多様性と進化について理解します。</p> <p>また、生物は環境により影響を受けているだけでなく、環境に対しても影響を与えており、生物と地球環境は複雑な関係を築いてきました。個体間や種間の、さらには生物と環境との相互作用など、生物の生活と環境が創り出す現象や法則について理解します。</p>	<p>植物系統分類学**、植物系統分類学実験**、植物分類学臨海実習、動物系統分類学、動物系統分類学実験**、動物分類学野外実習、動物分類学臨海実習、微生物学、プロテオミクス**、菌類分類学野外実習**、水圏生物学実習*、陸域生物学実習*、進化遺伝学、進化遺伝学実験、脊椎動物進化学**、脊椎動物形態学**、節足動物学特講、植物進化学特講、植物生態学**、動物生態学、水圏生態学実習**、陸域生態学実習、多様性生態学実習**、高原生態学実習**、モデル生物多様性実習**、理論生物学の基礎、理論生態学*、理論生態学野外実習*、理論集団遺伝学、プログラミングI*、生物多様性情報学、進化発生生物学**、数理生物学**、他</p>
分子細胞	<p>生物がゲノム情報を基に、生体で機能する分子や細胞内の様々なオルガネラの働きを調節する仕組みを学びます。また、植物や動物が、どのように発生し、環境に適応して生育しているかを分子レベル、細胞レベル、個体レベルで学び、生命のあり方について理解します。さらに、コンピュータの高度利用を前提とした先端的生命科学研究の方法論や、ゲノム情報がどのように生命現象を制御しているのか、その基礎となる数理・情報科学の各種手法について学びます。</p>	<p>細胞生物学**、細胞生物学実験*、分子生物学実験*、海洋生物学*、生殖生物学、生殖生物学臨海実習**、数理生物学、生物多様性情報学、分子進化学、ゲノム生物学**、ゲノム生物学実験、生物物理学、生物物理学実験、バイオインフォマティクス**、システムバイオロジー、動物生理学**、動物生理学実験、発生生物学**、発生生物学実験**、動物発生学臨海実習**、植物生理学*、植物生理学実験*、代謝生理化学*、代謝生理化学実験*、他</p>
応用生物	<p>生命現象について主に生化学的側面からの理解を通じて、生命を支える分子の機能やその化学的制御機構に関して学びを深めます。さらに、生物の有用機能の開発・利用技術の開発、及び人類の直面している諸問題解決への生物学的視点からのアプローチを学びます。昆虫や菌類などの生物が備える生理・生態的機能などについて理解を深め、その成果に基づいた農学などへの応用例についても学びます。</p>	<p>有機化学、生体機能分子学、生物活性化学、植物バイオテクノロジー、植物バイオテクノロジー実験、応用生物化学実験、動物制御学、機能微生物学、化学生態学*、他</p>
人間生物	<p>生物の一種としての人間に的を絞り、人間を制御する基本原理や法則の理解を目指します。但し、あくまでも目的は人間を生物学的に理解することにあり、医学や医療科学の立場とは異なります。</p> <p>※人間生物学の履修には志望動機や成績に基づいた選抜が伴います（最大定員は15名）。</p>	<p>人間生物学、人類学、神経解剖学、ウイルス学、免疫生物学、寄生物学、細菌学、放射線生物学、人体発生学特講、他</p>

*英語で授業

**日本語と英語の授業があるもの、または日本語の授業であるが英語での対応が可能なもの

一部の授業を除き、異なる領域の授業でも自由に組み合わせる履修できます。なおカリキュラムの見直しなどにより、領域や授業については変更される場合があります。

生物学類パンフレットの請求方法

- 学類の Web ページ (<https://cbs.bioI.tsukuba.ac.jp/>) でもパンフレットの PDF ファイルを見ることができます。
- テレメールによる請求もできます (p.159 資料請求番号は 561290)

専門として学べる内容

2 年次から、生物多様性領域科目、分子細胞領域科目、応用生物領域科目などを、各人のキャリアデザインを意識しつつ、選択して学びます。また 3 年次には、人間生物領域科目が開講されます。一部の授業を除けばどの領域の授業もほぼ自由に履修できます。

カリキュラム

生物学とは「生物及び生命現象を研究する科学」です。生物学では、DNA のようなミクロなものから生物群集といったマクロなものまで、その対象はさまざまであり、生理学、生態学など、アプローチの仕方もいろいろあります。

しかし、その根底に「いきもの」があるという点でどれも共通しており、生物学を学ぶならばどんな分野であっても生きている生物そのものを見ることを忘れてはいけません。そのため、実験や実習においてさまざまな生物に直に触れ、その生物の生きている姿を見ることはとても大切です。また対象とする生物について、さまざまな面から考えることが必要であり、基礎生物学を中心に、将来自分が専門とする分野以外についても学ぶ必要があります。筑波大学生物学類には、これらを実現するための環境が整っています。

特長

1 年次から生物学を学べるカリキュラム

1 年次では必修の講義（概論 6 科目：系統分類・進化学、分子細胞生物学、遺伝学、生態学、動物生理学、植物生理学）と基礎生物学実験があります。これにより生物学の基礎を身に付けるとともに生物学の本当の面白さを再発見し、専攻分野をしぼっていくきっかけをつかむことができます。しょう。

多様な研究分野に基づくユニークなカリキュラム

生物学類は、多様な研究分野に属する多くの教員のもと、生物学を包括的に学べる専門基礎科目や専門性を深める多数の専門科目を設けています。1 年次で自然科学及び生物学全般にわたる基礎的知識と技術を学び、2 年次から各学生の興味やキャリアデザインを自身で考えながら専門科目の履修を始めます（人間生物領域科目の一部の科目の履修には人数制限があります）。主要な専門科目の授業は、基本的に講義と実験から構成されています。また充実した

設備をもつ下田臨海実験センターや菅平高原実験所などを利用したさまざまな野外実習も開講されています。さらに、通常の授業科目ではカバーしきれない、魅力ある個別的なテーマを取り上げた生物学の特講も複数開講されています。3 年次後半には特定のテーマに関して多数の論文を読んで知識を深める生物学演習を行い、4 年次の卒業研究へと発展させます。教員や大学院生とともに過ごす研究室での生活やセミナーを通じて議論の仕方や論文の読み方を修得し、生物学の研究方法を身につける卒業研究によって、生物学の本当のおもしろさを知ることができます。

世界にはばたくための英語教育

生物学に関する論文や専門書のほとんどは英語で書かれており、英語は必要不可欠なスキルです。そのため、生物学類では 4 年間一貫して英語の授業が必修となっています。特に、3 年次では少人数（1 人の教員に 4～8 人の学生）で授業を行うため、きめ細かい指導が受けられます。1～3 年次に、生物学類専属の外国人教員が担当する授業があり、聞き取る力や話す力を強化します。

英語プログラム

生命環境学群では、外国人留学生に英語で授業を提供する学際プログラムを行っています。生物学類では日本人学生も一緒に 30 科目以上の授業を受けることにより、専門性と同時に国際性も身につけることができます。

豊富な実験・実習

実験・実習が数多く開設されており、1 年次の基礎生物学実験から 4 年次の卒業研究まで、4 年間を通じて実験・実習に参加できます。また野外実習は、下田臨海実験センター、菅平高原実験所、長野県八ヶ岳などで行われ、自然の中で本物の生物に触れながら学習できます。

充実した基礎生物学

系統分類学・生態学など基礎生物学分野（特に生物多様性分野）が充実しており、これらに関する講義や実験・実習が数多く開設されています。またゲノム生物学など、近年目覚ましく発展している先端分野も充実しています。



基礎生物学実験

多様な生物学分野

応用生物化学・農林学・医学などを専門とする教員も授業を担当しており、農学や医学との境界領域など、幅広い生物学分野を学べます。

早期卒業制度

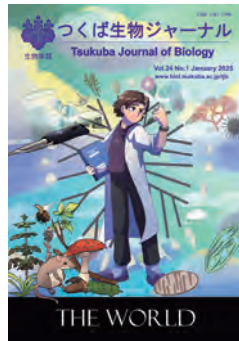
3年間以上在学すれば、希望によって早期に卒業できる制度があります。もちろん卒業に必要な規定単位数を優秀な成績で取得していることが前提です。1年次からしっかり学習計画を立てて勉学に励むことが求められます。

研究マインド応援プログラム

学習・研究に対する意欲と能力により選ばれた1～3年生は、教員と大学院生のサポートのもと、希望する研究室で独自の研究テーマを追究できます。

国際交流

生物学類では国際交流委員会を組織し、学類レベルでの国際交流を推進しています。特に1999年に国際的にも著名な英国のマンチェスター大学生物科学部と学部間交換学生協定を結び、毎年3名の学類生を1年間マンチェスター大学に派遣し、またマンチェスター大学からの留学生を受け入れています。この留学制度には、大学の入学金と授業料が免除される、大学の学生寮に居住できる、単位措置によって休学の必要がない、などの様々な特典があります。また米国のカリフォルニア大学、パデュー大学など、筑波大学が大学間交流協定を結んでいる多くの大学への留学を奨励するとともに、積極的な支援を行っています。



生物学類発行の
オンラインジャーナル
(<https://www.biol.tsukuba.ac.jp/tjb/>)
教員や先輩からのメッセージ、
研究紹介などが掲載されています。

卒業生からのメッセージ



生態学実習で木登りに挑戦

おいでよ せいぶつの森 遠藤 愛

筑波大学を志望した理由は、緑豊かで生物の多いキャンパスであることと、教職課程が充実していることでした。今振り返って見ても、当時のこの判断は正解でした。

毎日、ヒキガエルの鳴く池の脇を抜けてキャンパスへ通いました。生理学の実験は、まず解剖する為のミミズを採集することから始まりました。土の中でくねっていたミミズから、教科書にある記述が再現されるのが、面白く不思議でした。卒業研究も、ウコの採集から始まりました。発生させた多くの命を犠牲にデータを得てゆく、生物学の過程を知りました。また、学生生活では生物を愛する奇矯な友人達に恵まれました。学内で採集したキノコや木の実を調理して食べたのも、決して勧めませんが、とても楽しいものでした。振り返ると、学生生活はプライベートまでみっちり生物で満ちていました。

一方で、教員免許取得を目指す友人達と学んだ、教職課程も充実した日々でした。ハードな時間割でしたが、地球学や教育学など、一味違う学問を学べました。生物学類でインプットを深めつつ、教職ではアウトプットを議論できたのは貴重な経験でした。筑波大学は東京師範学校を前身とするため、付属校での教育実習などサポートが充実しています。本気で教員を目指す人にとっても、納得のいく教職課程を過ごせるはずですよ。

私は教員志望で入学しましたが、本当にやりたいことは多くの人に科学の楽しさを伝えることだと就活を前に気づきました。そうして現在は出版社で科学教材の編集に携わっています。仕事では科学の魅力を、どうパッケージすれば人々に届けられるかを日々考えています。生物や教職の知識はもちろん、何よりも自分自身が科学の楽しさを体験して知っている、ということが力になっています。そういう意味では、つくばでの生物で満ちた日々が仕事の原点と言えます。

皆さんが、生物でみっちり満ちた日々を楽しんでいただけることを願っています。



生物学類へようこそ
生物学類長 石田 健一郎

生物学はとても面白い学問です。“知りたい！”というあなたの小さな好奇心と行動（観察や調査、実験）が、世界の誰も気付かなかった思いもよらない新しい発見につながります。その発見が論文になり、教科書に書かれ、授業で語られるようになるのを見た時、人類の“知”を紡いでいる確かな実感が得られるでしょう。生物学は日々このような発見に満ちた面白い学問です。生物学はとても大事な学問でもあります。私たちが呼吸に使う酸素、食べ物である有機物、エネルギーやプラスチックなどに使われる石炭や石油は全て生物に由来します。地球環境や私たち自身、そして私たちの社会も生物の活動や機能に大きく依存し影響されていると言えます。人類が目指す健康で豊かな循環型社会を創るためには、多様な生物の機能を適材適所で活用することが不可欠です。あなたの発見が土台となって新しい技術や製品が生まれ、循環型社会を支える様子を見た時、生物学の重要性を実感できるでしょう。生物学は社会の様々な分野を支える大事な学問です。大学ではあなた自身の好奇心と柔軟な発想を大事にし、仲間と共に楽しみながら自分自身の土台を築いてください。生物学はそのための最適な学問の一つです。

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

- 教員免許：中学校一種免許状（理科）
高等学校一種免許状（理科）
- 社会教育主事、学芸員、司書教諭

卒業後の進路

各領域科目は相互に補いあい、関連性のある教育を行えるように配慮され、生物学の発展を推進する人材はもとより、生物学を基礎として他の諸科学との学際的領域で活躍し得る人材の養成を目指しています。本学類では卒業生の約8割が生命地球科学研究群等の大学院に進学します。その後、生物学の幅広い学問分野の研究者、教育者、企業人、理科教員、先端科学と社会の接点となる人材として活躍しています。

入学受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	生き物や生物学が好きで、自然科学と語学の基礎学力をもち、広範で多様な生命現象に対して強い好奇心と探究心をもつ、創造的能力が豊かな人材。	
入学までに学んでおいてほしいこと	高等学校の生物の内容を十分に理解していること。また、授業は英語で行われることもあるため、十分な英語の読み書き会話の能力を有していること。さらに、ホームページや電子メール等からの情報の取得、パソコンを用いた文章・表作成などが必要となるため、それらの操作に習熟していること。	
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	文科系・理科系にわたる全般的な基礎学力、高い語学力、自然科学系科目の高度な理解力、高度な思考力、そしてその応用力を総合的に評価します。
	個別学力検査等（後期日程）	文科系・理科系にわたる全般的な基礎学力、高い語学力、生物界や生き物の仕組みに対する広い興味と高い学習意欲、高度な思考力、そして理解力を総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校における学習及び課外活動の成果やそれらを通じて培われた生物界や生き物の仕組みに対する広い興味と理解度、そしてそれらを学ぶ意欲、さらには人間性も含めて総合的に評価します。
	AC入試	生物界や生き物の仕組みに対する強い興味を持ち、自ら設定したテーマに関してユニークな研究をし、その結果を分析して、独自の考えに陥ることなく、科学的及び論理的にレポートにまとめ、それを具体的に発表する能力を評価します。
	国際バカロレア特別入試	国際バカロレア資格を取得した者を対象として、生物界や生き物の仕組みに対する広い興味と理解度、それらを主体的に学ぶための知識や思考力、明確な目標を持って学ぶ意欲、さらには語学を含めたコミュニケーション能力を重視して、総合的に評価します。
	外国学校経験者特別入試（第1種）	外国学校での修学を通じて得た視点や思考法、生物界や生き物の仕組みに対する広い興味と学習意欲、生物学類の授業を理解するために必要な基礎学力及び日本語能力等を総合的に評価します。
	外国学校経験者特別入試（第2種）	海外生活での経験を活かしたグローバルな視点から生命現象をとらえ、生き物の多様性や生きる仕組みに関する広い興味をベースに優れた思考力や理解力を発揮できる能力を評価します。併せて、生物学類の授業を理解するために必要な基礎学力等を総合的に評価します。
編入学試験	生物界や生き物の仕組みに対する広い興味と高い学習意欲、高い語学力、専門的な生物学教育を受容できる基礎的な学力、高度な思考力と理解力を総合的に評価します。	
学群英語コース特別入試	(1)求める人材 人間を含む多様な生物の生命現象・地球環境・生物資源の持続的活用等に関わる諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2)入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、生命環境科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。	
	(1)求める人材 人間を含む多様な生物の生命現象・地球環境・生物資源の持続的活用等に関わる諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2)入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、生命環境科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。	

【人材養成目的】

生物資源学類は、人類の生存と安全で豊かな生活の基盤である生物資源に関する総合的学習を通じ、地域的かつ地球的視野で、食料の安定供給ならびに環境と調和した生物資源の持続的な開発・保全利用に貢献できる人材を育成します。



学生実験



野外での学生実習

「生物資源学（農学）」とは何でしょうか？日本学術会議は、「食料や生活資材、環境を対象として、① 生物資源の探索・開発・利用・保全、② 農林水産分野の生産基盤システムの高度化、③ 農林水産分野の多面的機能の保全・利用、を目的とする基礎と応用からなる生命科学系の総合科学である」と定義しています。「総合科学」というからには、それを支えるための幅広い基礎を身につける必要があります。また解決すべき問題を見だし、基礎と連携した専門的な手法を用いてそれらに対処する応用力も獲得しなければなりません。農学が扱う課題には、「ローカル性」

と「グローバル性」の両面があります。気候や地域などによって生産性や収穫物が異なるため、農学はこのローカルな視点を大切にします。一方、世界的な環境問題や食料難など、地球規模の課題も数多くあり、ここで求められるのはグローバルな視点です。このように、生命・食料・環境に関連するローカル／グローバルな課題を解決するのが「生物資源学」です。

私たちは皆さんを「幅広い視野と基礎知識を持ち、課題解決に貢献できる専門性」を持った人材へと育成したいと考えています。

学 年	コース・研究室決定のスケジュール	履修スケジュール
1 年次	クラスに所属します。クラス担任などから履修・進路選択についてのアドバイスを受けます。	必修科目の「生物資源科学演習」選択必修科目の「生物資源学にみる食品科学・技術の最前線」「生物資源の開発・生産と持続利用」「生物資源と環境」「生物資源としての遺伝子とゲノム」など多様な専門基礎科目の修得によって生物資源利用に係る課題解決のための幅広い能力をもつ専門家としての基礎を築きます。
2 年次	1 年次と同じクラスに所属します。2 年次末にコースの選択を行います。（農林生物学・応用生命化学・環境工学・社会経済学の 4 コース）	各コースが開設する専門科目Ⅰを履修することで、専門のための手法を身につけます。希望コースの科目を中心に履修を組み立てていきますが、異なるコースの専門科目や横断領域科目を修めることで幅広い知識を身につけることができます。総合学域群からの移行学生も既存のクラスに編入され、同じカリキュラムで学んでいきます。
3 年次	所属コースごとのクラス編成となります。後半には指導教員の仮決定を行います。	コース開設の専門科目Ⅱの履修を行います。これにより卒業研究など専門的学術研究を行う上での知識・技能を確立します。3 つの横断領域科目の履修を行うことにより、コースの専門性にとらわれない学際的な知識を養うこともできます。
4 年次	指導教員のもとで卒業研究を行います。	指導教員によるマンツーマンの指導のもとで卒業研究を行い、問題解決を目指す道筋の立て方を学ぶとともに、研究手法や高度な専門知識・技術を修得します。また、専門科目Ⅱ・横断領域科目の履修を引き続き行います。

生物資源学類パンフレットの請求方法

●テレメールによる請求ができます (p.159 資料請求番号は561530)

専門として学べる内容

学生は1・2年次に基礎を学んだ上で、3年次からは手法に基づく4つのコースの中の1つに所属し、専門的な研究をしていきます。これらの専門科目には、講義のみならず実験・実習・演習科目が含まれ、専門的な技能・研究能力を身につけることができます。

また各コースが開設する専門科目以外に、食料・環境・国際の3領域に関する横断領域科目が用意されており、問題解決を意識した学修・研究を進めることもできます。

こうしたコースや領域で用意した科目に加えて、他学群・他学類の科目も含めた多くの授業の中から、学生は自身で授業を選び、カリキュラムを組み立てていきます。

各コースの内容・特色

農林生物学コース

生物学および生命科学を基礎として、生物資源とそれを取り巻く環境資源の多様性を分子、個体、集団および生態系のレベルで究明し、食料の持続的生産や生産環境と生態系の持続的保全管理と利活用に関与する理論と技術を習得した人材を育成します。

取り組む研究領域

持続可能な農林業 新規生物資源の産業利用
生物多様性の保全

環境工学コース

工学的な視点から食料問題や環境問題の解決に取り組まします。生物資源の基盤である山・水・農地の利用と管理、生態環境の保全と修復、生物資源の循環利用について学びながら、広い視野に立って合理的に問題を解決できる人材を育成します。

取り組む研究領域

水・土・緑 食料・バイオエネルギー
環境とその管理 森林資源材料

応用生命化学コース

4つのサブコースに分かれ、化学および生命科学を基礎として、生物の機能を個体から細胞・遺伝子・分子のレベルで究明し、医療、食品、農業、環境等の分野で活躍する人材の育成を目標としています。

取り組む研究領域

生物化学工学 バイオサイエンス
微生物 生物環境化学

社会経済学コース

農業経済学と林業経済学の2つの学問領域から構成され、社会学と経済学を基礎に、農地や森林・林地の管理、さらに食料や林産物の生産・流通・消費とそれを担う人や企業について学び、農林業に関する社会や国際関係のあり方、環境保全、国際協力について考究します。

取り組む研究領域

農業経済学 林業経済学

注記 コースの選択は学生の希望を優先しますが、農林生物学、応用生命化学、および環境工学コースの定員の上限はそれぞれ60名(1学年の人数の約半数に相当)、社会経済学コースの上限は15名程度です。各コースの希望者数が上限を超えた場合は、2年次までの成績で振り分けを行います。

教育の特長

教育のグローバル展開

生物資源学類は、国際化拠点整備事業として開設された、英語で授業を行う「生命環境学際プログラム」を実施し、外国人留学生を受け入れています。また、タイ王国カセサート大学、アメリカ合衆国ユタ州立大学、フランス共和国ポルドー大学、国立台湾大学と単位互換可能な相互留学制度(4~12ヶ月間)を実施するなど、国際的視野を養う授業が豊富で、希望によりこれらの授業を履修することが可能です。

特色あるインターンシップ科目

生物資源学類には、海外の協定校での実地体験やJICA筑波国際センターでの研修を単位として認定する「国際農業研修」、食・みどり環境の活動や研究所・工場体験に参加する「食と緑のインターンシップ(農林生物学・環境工学)」など、大学で学んだ専門知識や技術の社会での適用を試みる特色あるインターンシップ科目があります。

学類長からのメッセージ



生物資源学類長
上條 隆志

生物資源学類を志す皆さんへ

ごはん、パン、唐揚げなど、私たちの日々の食べ物、それぞれ、稲、小麦、鶏肉など、生き物から得られたもの、生物資源由来です。そして、家、衣類、薬、燃料なども生物資源由来のものが活用されています。さらに、私たちを取り巻く環境も生物資源の恩恵を受けています。たとえば、健全な森は山崩れを防ぎ、河川や湖は水質を浄化する機能があり、土壌や植物は炭素を貯留する機能があります。このように生物資源は私たち人類の生活を持続可能な形で支えてくれるとても大切な存在です。生物資源学類では、森林・砂漠から微生物・細胞・遺伝子に至る

までの多様な生物資源を科学的に理解し、地球環境の課題、食料生産の課題、人の健康の課題まで、広い視野と高い専門性を持って取り組むことができる人材の育成を目指しています。そのために、幅広い分野の授業に加え、野外や農場での実習、室内実験、画像、遺伝子、経済活動を対象とした解析、海外インターンシップなど多くの科目を開講しています。また、学類に在籍する留学生が多く、留学する学生も多い国際的な学類です。

本学類で皆さんが楽しく学び、社会に貢献できるような人材に育っていくことを期待しています。教職員一同、皆さんのご入学をお待ちしています。

先輩からのメッセージ

農林生物学コース 平田 圭佑

私は趣味の一つとして料理に関心をもっていたことをきっかけとして、食材を通して野菜、畜産物、果物などの農業生産物に興味を持つようになりました。その中で、食材がどのように生産されているのか勉強したいと考えました。そのため作物の収穫や家畜の生産ができる大きな農場が大学内にあり、動植物について生産から利用まで幅広く学べる生物資源学類を志望しました。

大学の4年間を通じて、植物、動物、微生物といった幅広い分野の授業や実習を受けました。特に農場実習はそれまで自然に触れる機会が少なかった私にとって、動植物の生産と食卓をつなげて考えられる貴重な体験になりました。生物資源学類では各学年で色々な実習を履修できます。例えば宇都宮大学農学部附属農場で行われた泊まりがけの酪農実習に参加したときは、放牧や乳搾りなど家畜と触れあうことの出来る酪農体験から実験室での生命科学実験まで、畜産の基盤的な技術を思いっきり体験出来ました。想像していたよりも牛が人懐っこく、友好的だったことも新しい発見でした。このような体験から食べ物をつくる動物である家畜への興味がさらに深まりました。

卒業研究では鳥類の代表としてニワトリを使った生殖細胞の凍結保存法について研究しています。凍結保存技術は動植物の様々な細胞に広く利用されていますが、鳥類精子は未だに凍結保存が出来ない細胞の一つであり、本研究は鳥類の絶滅危惧種の保全や効率的な家畜生産に役立ちます。またニワトリの世話を行うことで、生き物を実際に扱う難しさや命の大切さについて考えたり、研究がどのように現場に应用されるのか実感出来るようになりました。この農場の実践的な学習と、研究室の理論的な学習が両立できることが生物資源学類の魅力のひとつだと思います。興味がまだ漠然としている人も、授業や実習を通じて惹かれるものが見つかるはずですよ。ぜひ様々な分野に触れてみて、楽しい大学生活を送って下さい。

環境工学コース 中川 晶太

私はもともと他大学の農学部所属し、生命科学について学んでいました。しかし、生命科学をより深く理解するためには、その背景理論を構築する数学や物理についても学ぶ必要があると考え、3年次編入による専攻分野の変更を決意しました。筑波大学を含め、編入学制度を実施している大学は数多くあります。その中でも生物資源学類の環境工学コースを志望した理由は、数学や物理を中心としながら、幅広い学問を体系的に学ぶことができる点に大きな魅力を感じたからです。

編入学後は、生物資源学類の講義はもちろん、他学類の講義も積極的に履修しました。生物資源学類では必修科目の割合が少ないことから、自分の興味のある講義を自由に履修することができます。この点は、他大学の農学部と比較しても大きな魅力であると思います。

現在は、卒業研究としてリン酸吸着が土壌の分散性に及ぼす影響について調べています。リン酸は肥料成分として有用な物質ですが、土壌に吸着することで表面の荷電状態を変化させ、その分散性を増加させることが知られています。土壌の分散性の増加は、土壌の劣化や水域の富栄養化をもたらしてしまうことから、その適切な制御が必要です。そのため表面の荷電状態を表す指標であるゼータ電位を測定することで、リン酸吸着が土壌の分散性に及ぼす影響を定量的に評価することを目指しています。卒業研究では、自身の研究成果を伝える経験や、他の人の発表内容を理解する経験を経て、物事を分かりやすく、正確に伝える力を鍛えることができたと感じています。

自分の興味の赴くままに好きなことを学ぶことは、大学生だからこそできることではないかと思っています。そのような学びを支える素晴らしい環境が、生物資源学類には整っていることを強く実感しました。様々なことに興味がある方も、そうでない方も、生物資源学類への進学を将来の選択肢の一つとして考えていただければ幸いです。

応用生命化学コース 坂口 凜太郎

筑波大学生物資源学類は、「将来像はまだ漠然としたままだが、学際的な学びを通じて明確化していきたい」という人にお薦めの学類です。

私は高校時代、得意苦手の教科もなく、なんとなく生物学に興味がある程度でした。そんな時に生物学や農学を中心に多様な学問分野を横断的に学べる生物資源学類を知り、進学を決めました。実際、1・2年次では、基礎数学、物理学、生態学、経済学など、幅広い分野科目の講義を受け、基礎的知識を得ることができました。その中で、次第に動物学に興味を持つようになり、3年次には応用生命化学コースを選択しました。このコースの魅力は、生命現象を分子レベルで理解し、それを社会的課題へと展開できる研究を行っている点です。加えて、教育熱心な先生方がとても多く、プレゼンテーション能力をはじめとした社会に出て役立つ実践的な力を身に付けることができます。

現在は4年次となり、卒業研究としてネズミの初期発生に関する研究を行っています。具体的には、細胞核の中にある核小体という構造に着目し、それを構成するタンパク質を欠損させたネズミを遺伝子改変により作製しました。この遺伝子改変には、最近ノーベル賞を受賞したCRISPR-Cas9という技術を用いています。ネズミはヒトと同じ哺乳類であり、多くの生物学的特徴を共有しています。そのため自分のネズミでの研究成果がヒトの病気治療などに応用できる可能性が大いにあり、やりがいを持って研究を進められています。

生物資源生はまわりから「キラキラ資源」と呼ばれるほどアクティブに大学生活を楽しんでいる人が多い学類でもあります。自分も研究・サークル・バイトを並立させて良い大学生ライフを謳歌しています。ぜひ、生物資源学類で理想の大学生活を送りましょう！

社会経済学コース 田野井 ひかり

私は幼少期から科学や自然に漠然とした憧れを抱き、職業体験を通じて農業に興味を持つようになりました。しかし、進路を希望するにあたって実際に取り組みたい学問・研究の具体的な内容を決めることができませんでした。そこで、入学後に農学を中心とした広範な分野を学んだ上で専門分野を決めることができる筑波大学生物資源学類への進学を目指しました。

この学類では、生物資源を構成する個々の物質から生物資源を取り巻く人間社会の動きまで、様々なスケールから生物資源科学を学ぶことができます。その中で私は、生物資源と人の関わりに興味を持つようになり、3年次からの進学先として社会経済学コースを選択しました。また2年次開講科目の履修を通じて、現代及び将来における森林・林業・木材の有用性や魅力に惹かれたことから、森林管理に関する研究室への配属を希望しました。高校時代には考えられなかったような道を歩めたのも、生物資源学類の幅広いカリキュラムのおかげです。

卒業研究では、国内有数の林業地の一つである地元の原木流通について研究しています。森林・林業・木材への関心を寄せながら自分の地元について詳しく知ることができるとは、研究を進める上での大きなモチベーションとなっています。

生物資源学類は取り組みたい研究内容が決まっている方にとっては勿論、私のように大学でやりたいことを探したい方にとってもおすすめるべき進学先です。「これ面白そうかも?」と思う瞬間を逃さず大切にしていけば、きっとやりがいとともにここで出会えるでしょう。

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許：中学校一種免許状（理科）

高等学校一種免許状（理科・農業）

樹木医補、自然再生士補、社会教育主事、学芸員、司書、司書教諭

卒業後の進路

卒業生は民間企業や官公庁などに就職し、国内外で広く活躍しています。特に公務員試験では全学の中でも多くの合格者を出しています。大学院への進学者は7割に及び、多くは筑波大学大学院、理工情報生命学術院、生命地球科学研究所、生物資源科学学位プログラムに進学します。



国立台湾大学と京都大学との遠隔合同授業

生物資源学類の財産 = 多様な学生

生物資源学類の一つの大きな財産は、その学問範囲の広さを反映して、多様な学問的興味をもった学生が集うことです。生物資源利用の課題を発見・理解する「生物資源科学演習」をはじめとするカリキュラムを通して、留学生を含む多くの学生と議論する機会が生まれます。この際に互いの学問的興味の多様性や相違に触れることができます。このようにして1、2年次の間に形成される人的ネットワークは、コース進級後の研究活動や卒業後のキャリア形成に活かすことができます。また先輩・後輩とのつながりも深く、学生間で交流する機会が多いので、国際的な幅広いネットワークを形成することができます。



生物機械工学実習

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	生物資源、農林業、環境保全に関心が強く、広範な学問を学ぶことができる柔軟な思考力を持ち、自ら問題を派遣し解決の取り組みとともに、それを内外に伝え論理的に説明することができる意欲のある人材を望んでいます。	
入学までに学んでおいてほしいこと	数学、生物、物理、化学についての基礎的な知識と理解、さらには応用する能力および語学力を備えていることが望ましい。	
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	一般的な基礎学力と語学力に加え、生物資源に関連する学問を学ぶのに必要な理解力・思考力・応用力を総合的に評価します。
	個別学力検査等（後期日程）	一般的な基礎学力と語学力に加え、生物資源に関する理解度や学習意欲、論理的に表現する能力を総合的に評価して選抜します。
	推薦入試	高等学校において優秀な成績を修め、あるいは課外活動などで優れた実績を有し、生物資源に関する学習意欲や適性、論理的表現力ならびに基礎学力と語学力を総合的に評価して選抜します。 *専門高校・総合学科特別入試枠を含みます。
	国際バカロレア特別入試	国際バカロレア資格を取得したものを対象として、生物資源に関する学問分野について主体的に目標をもって学ぶための知識、思考力に加え、語学力を含めたコミュニケーション能力などを重視して人材を選抜します。
	外国学校経験者特別入試（第1種）	人類の生存と安全で豊かな生活の基盤である生物資源に興味を持ち、日本語で授業を理解するために必要な基礎学力等を有する人材を、生物資源に関する理解度や学習意欲、論理的に表現する能力の観点から総合的に評価して選抜します。
編入学試験	基礎科目・専門科目に関する学力や語学力に加え、生物資源に関する理解度や学習意欲、論理的に表現する能力を総合的に評価して、本学類で発展できる人材を選抜します。原則として、3年次への編入学ですが、場合によっては2年次への編入学となることもあります。	
Japan-Expert（学士）プログラム特別入試	人類の生存と安全で豊かな生活の基盤である生物資源に興味を持ち、日本の農林業研究・技術に関心がある、及び日本の農林業研究・技術を活用し、将来、国内外の農林業に関する研究機関や企業等でアグロノミストとして貢献したい、などの動機や日本語での学習能力、社会的適応性について総合的に評価します。	
学群英語コース特別入試	(1) 求める人材 人間を含む多様な生物の生命現象・地球環境・生物資源の持続的活用等に関する諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、生命環境科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。	
学群英語コース特別入試（編入学）	(1) 求める人材 人間を含む多様な生物の生命現象・地球環境・生物資源の持続的活用等に関する諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、生命環境科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。	

【人材養成目的】

地球の誕生から現在に至るまでの進化、大気圏・水圏・岩石圏で起こる様々な現象とそのプロセス、そして地球環境を舞台に展開される人間活動についての総合的な知識と思考力を有する、社会の諸分野で国際的な視野に立って活躍できる人材を養成します。

地球は46億年の歴史をもつ、水や生物に満ちあふれた惑星です。近年、人間の居住空間としての地球環境を破壊することなく持続的に利用することが社会的に強く求められています。そのためには、地球の進化過程を明らかにするとともに地球環境の動態と人間システムとのつながりを正しく理解し、その未来を予測する学問が必要です。それが地球学であり、地球ダイナミクスを多角的な観点から明らかにし、様々な社会的要請に応える使命をもっています。

教育内容・カリキュラム

地球学が対象とする課題は、顕微鏡下の世界から地球規模の事象、秒以下の単位から億年の単位まで時空間スケールが幅広く、自然現象の解明から災害や環境問題の追究、人間社会の未来予測に至るまで多様です。また、それらの課題に取り組む手法も野外調査や室内実験、数値計算、文献研究など多岐にわたります。

地球学類では、多様な課題に対応できる幅広い知識と高い専門性を両立させるため、段階的に専門化するカリキュラムを組んでいます。また、高度な専門教育・研究のために、現在の地球環境について探究する「地球環境学主専攻」と、地球の変遷史について探究する「地球進化学主専攻」の二つの主専攻を設けています。



国際野外実験(オーストリア)



野外実験(西彼杵半島)

カリキュラムの特徴	
1 年次	自然科学を中心に人文・社会科学を含む学問全般に関する基礎的知識を習得するとともに、地球学に関する専門導入科目の履修により、2 年次以降に必要な基礎的な能力を身につけます。
2 年次	地球学入門を意図した専門科目とともに、地球学に必要な数学、物理学、化学などを学ぶことで、計算・資料整理・発表等にかかわるコンピュータや実験機器の利用能力を高めます。さらに、英文の読解能力や英語コミュニケーション能力を修得するための専門英語を受講します。
3 年次	主専攻に分かれ、専門科目を中心に履修します。講義、セミナー、室内実験、野外実験で構成された専門科目を受講することで、専門知識を深めます。また、現地での観察・測定・資料収集を通して、フィールドの様々な課題を考察する野外実験を数多く開講しており、野外調査と室内作業を行う能力を修得します。主専攻の他に生命環境学際主専攻(留学生コース)を含めた副専攻を選択することができます。
4 年次	卒業研究が中心となり、教員や大学院生と議論をしながら調査・実験を進めることで、研究の企画・遂行・総括能力や研究成果の内容を第三者に的確に伝達する能力を高めていきます。

地球学類パンフレットの請求方法

- <https://www.earth.tsukuba.ac.jp/> でパンフレットの PDF ファイルを見ることができます。
- テレメールによる請求もできます (p.159 資料請求番号は 583310)

各主専攻の内容・特色

地球環境学主専攻

現在の地球における大気、水、地形などの自然現象と、そこを舞台に展開する人間活動の特性を多角的に探究

人文地理学

地表面における人間活動の地域的特質を自然環境のかかわりも含めて総合的・系統的に研究

地誌学

都市地域や湿潤熱帯地域など居住環境の違いに着目しつつ、人間環境システムを地域論的な観点から解明

地形学

風化・侵食・運搬・堆積の諸過程によって変化する地形を基礎的・応用的に研究

水文科学

自然界における水の循環とその物理的・化学的・生物学的プロセスを総合的に研究

大気科学

気象学で扱われる局地循環や天気予報技術から気候変動や地球温暖化まで、大気現象を幅広く研究

環境動態解析学

水・物質動態の解析を通して、動的な自然環境の理解を深め、人間活動による変化の解明を目指す

主な卒業研究

- 北陸地方における都市群の近接性の変化と要因分析
- ミュージシャンの街下北沢の地域特性－ライブハウスとバンドに注目して－
- 群馬県前橋市における一般廃棄物処理の空間構造
- 温泉地における新たなツーリズム形態－山形県銀山温泉を事例に－
- 広島豪雨における表層崩壊の発生条件
- 木曾山脈の森林限界移行帯における植生分布と地形量の関係
- 人工衛星からの地球表層土壌水分観測
- 安定同位体による水循環の追跡
- 真夏日の午後15時に東京 23 区で観測された短時間強雨の実態調査と予測実験
- フェレル循環と温帯低気圧の関係についての研究
- 樹冠遮断プロセスが林内雨の放射性セシウム及び溶存物質濃度に及ぼす影響
- 福島県の土壌における土壌粒子の粒径による Cs-137 の選択性

地球進化学主専攻

地球進化史の多様な地質現象の探求を基礎として地球生命圏の共進化の解読と未来予測を目指す

地史学・古生物学

地球史における生物群の系統・機能形態・古生態・古環境などの解読を通じて、生物の適応進化様式と地球表層生命圏環境の変遷を追及

地層学

表層圏諸現象の変遷を地層の地質学的研究を通じて編年解読し、地球環境変動システムの仕組みを解明

地球変動科学

地球のダイナミックな変動を、地球物理学のビックデータ解析、フィールドサイエンス、室内実験、レオロジーおよび数理アナログモデルの構築などを通じて解析

岩石学

岩石の野外調査や元素・同位体分析から岩石の生成機構やテクトニクスを解明

鉱物学

天然の様々な鉱物の物理化学的実験結果から、鉱物に刻まれた地球や宇宙の情報を解読

地球資源科学

地球システムにおける元素濃集・分散や生命圏環境の変化を惑星科学的視野から統一的に理解

主な卒業研究

- 宮崎県高千穂町に分布する三量系上村石灰岩のコノドント生層序
- 恐竜類胚の体重推定法の確立
- タイ国東部 Sa Kaeo-Chantaburi Zone に分布する珪質岩の岩相・年代と地球化学的特徴に基づく堆積場テクトニクス
- 徳島県海部郡牟岐町における過去数千年間の地震津波発生履歴
- 地球深部で起こる地震や大きな津波を引き起こす地震の震源過程
- 沈み込みプレート境界に沿った岩石-流体相互作用
- マントル-地殻の物質循環に関する研究
- 南極大陸の先カンブリア時代の岩石年代測定に関する研究
- 炭素質コンドライト中のガラス包有物による原始太陽系の化学的環境
- Magnetite-Maghemite 相変化：高温 In situ XAFS による局所構造解析
- 白亜紀-古第三紀境界における環境変動解析
- 微量元素組成に基づいたジルコンの母岩推定図の作成

特色

綿密な指導体制

各学年 50 名に対して、50 名近い地球学類担当教員が在籍し、卒業研究では教員 1 名あたり学生約 1 名という体制で、きめの細かい親身な指導をしています。

充実の野外・室内実験

地球学はフィールドサイエンスを基盤としているため、現地での観察・測定・資料収集を通して、フィールドの様々な課題を考察する野外実験が多く準備されています。また、室内の実験・実習授業でも、地球情報の数値解析、顕微鏡での岩石の観察、鉱物の X 線分析、水質の化学分析、

堆積作用の水理模型実験をはじめ、様々な技術を身につける機会があります。

国際性をはぐくむために

地球学類では、生命環境学際プログラムの一環として外国人留学生向け英語授業を開講しています。この授業には日本人学生も参加することができ、国内にいながらも、英語による教育と留学生との交流を通して国際性を高めることができます。また、オーストリアや米国、タイなどの国際野外実験、英国シェフィールド大学や米国アラスカ大学との学生交流など、国際感覚に磨きをかける数多くのプログラムが準備されています。

地球学類へようこそ

地球学類長 堤 純

地球科学を学べる大学は全国にいくつかありますが、筑波大学地球学類はそれらの中でもちょっと変わった存在で、地質学や地球物理学のみならず地理学も貢献しています。地球で起こる様々な現象や変化、そしてそれらのメカニズムを、フィールドワークや室内実験を通して解明することは、もちろん地球学類の主命題です。大気と海洋が作り出す水循環と気象、地球を構成する岩石や鉱物、地層という形で大地に刻まれた歴史、その地層の中に眠る古生物。そして地震活動や火山活動は地球深部から地表面に

かけてダイナミックな動きを見せると同時に、地表面では様々な地形が作られ、自然条件に適した植生が形成されます。世界中のほとんどの地表には人間活動が及び、様々な産業が発達しています。筑波大学地球学類では、こうした地球深部、地表、大気圏でみられる地球物理現象から人間活動まで含むとても広い学問領域をカバーしています。筑波大学地球学類は、地球好きのみなさんを歓迎します。

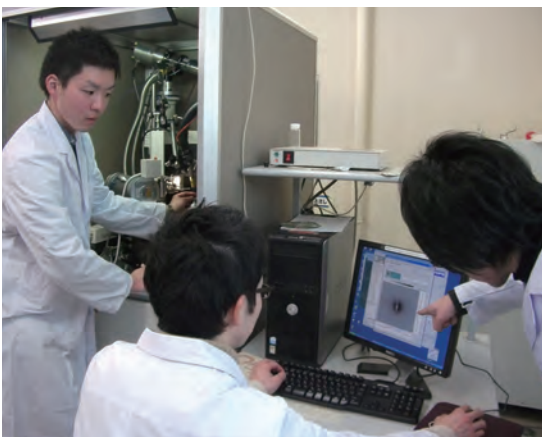


社会とのつながり

地球学類では、地学オリンピックやジオパーク設立に向けた活動に協力することで、学生が地球科学を通じて社会との接点を持つ機会を設けています。また、講演や見学会を通じて、周辺の中高校生や住民との地域交流も盛んに行っています。

資格など

所定の単位をとれば、中学校教員免許(理科)、高等学校教員免許(理科、地歴)、学芸員資格を取得でき、またGIS(地理情報システム)学術士になれます。



室内実験(X線回折による岩石鉱物の同定)

卒業後の進路

卒業生の6~7割が本学の地球科学学位プログラムなどの大学院に進学します。民間企業への就職も多く、卒業生の約3割を占めます。総合的な知識・思考力を身に付けた卒業生は、地理情報・気象・環境・地質等のコンサルタント、土木建設や資源開発、観光・交通、出版、金融、電気通信など多種多様な業種に進出しています。公務員や教員は1割程度です。

大学院に進学した学生は、修士課程でより高度な専門知識・技術を身につけて、民間企業・公的機関・教育機関等でより専門性の高い職につくか、博士課程に進学します。博士課程で、更に専門性に磨きをかけて博士の学位を取得し、大学教員、企業や公的機関の研究員になります。

Q&A

- Q** 高等学校で「地理探究」や「地学基礎」、「地学」を履修していませんが、大丈夫ですか？
- A** 「地理探究」や「地学基礎」、「地学」を履修してなくても十分理解できるように、専門基礎科目では配慮されています。ただし、自主的な予習・復習は必要です。
- Q** 主専攻や卒業研究分野は希望通り選べますか？
- A** 主専攻は進級要件を満たしていれば希望通りになりますが、卒業研究分野は過度な集中が見られる場合に成績によって選抜することがあります。
- Q** 在学中に海外留学したいのですが、その間は留年や休学になるのでしょうか？
- A** 協定校への留学でしたら、留学中に取得した単位を振り替えることができるので、留年しなくてもすみます。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	地球環境や地球進化に高い関心と探究心を持ち、問題解決に向けて自主的かつ積極的に取り組み、広い視野から事象を分析することができる人材。	
入学までに学んでおいてほしいこと	理科の諸科目と数学についての知識と理解力、日本語の文章表現力や英語の読解・作文能力を身につけていることが望ましいです。また、地理や地学に強い関心を持ち、自ら学ぶ努力をしてください。	
入学者選抜方針	個別学力検査等（前日程）	文科系・理科系にわたる全般的な基礎学力、高い語学力、自然科学系科目の高度な理解力、高度な思考力、そしてその応用力を総合評価して選抜します。
	個別学力検査等（後日程）	文科系・理科系にわたる全般的な基礎学力、高い語学力、地球環境や地球進化に対する広い興味と高い学習意欲を持ち、論理的に思考・表現する能力を持つ人材を選抜します。
	推薦入試	高等学校において高度な基礎学力を身に付けた志願者から、地球環境や地球進化を学ぶ意欲と目的意識が明確であり、論理的に思考・表現する能力のある人材を選抜します。
	国際バカロレア特別入試	文科系・理科系にわたる全般的な基礎学力、高い語学力を持ち、地球環境や地球進化を学ぶ意欲と目的意識が明確で、学習に取り組む意欲のある人材を選抜します。
	外国学校経験者特別入試（第2種）	海外生活での経験を活かしたグローバルな視点から地球をとらえ、地球環境、地球史に関する幅広い興味をベースに優れた思考力や理解力を発揮できる能力と地球学類の授業を理解するために必要な基礎学力等を総合的に評価します。
	編入学試験	自然科学や社会科学に関係する高度な基礎学力を身に付けた志願者から、地球環境や地球進化を学ぶ意欲と目的意識が明確で、論理的な思考力・表現力を持つ人材を選抜します。原則として、3年次への編入学ですが、場合によっては2年次への編入学となることもあります。
学群英語コース特別入試	(1) 求める人材 人間を含む多様な生物の生命現象・地球環境・生物資源の持続的活用等に関わる諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、生命環境科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。	
学群英語コース特別入試（編入学）	(1) 求める人材 人間を含む多様な生物の生命現象・地球環境・生物資源の持続的活用等に関わる諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、生命環境科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。	

最近の進路

大学院進学	筑波大学地球科学学位プログラム、山岳科学学位プログラム、教育学学位プログラムなど 東京大学、京都大学、東京工業大学、九州大学、イェール大学、エジンバラ大学ほか
企業	気象 日本気象協会、ウェザー・ニュース、ウェザー・サービス
	地理・情報 地質・環境 ゼンリン、ナビタイム・ジャパン 国際航業、朝日航洋、パスコ、中央復建コンサルタンツ、東京建設コンサルタンツ
	運輸 JR 東日本、京成電鉄、全日本空輸、JFE 物流、JTB ワールドバケーションズ
	資源・鉄鋼 北日本エネルギーホールディングス、ENEOS Xplora、日本製鉄
	情報・通信 NTT データ・アイ、アクセンチュア、日立テクニカルコミュニケーションズ、システナ、農中情報システム
	金融・保険 みずほフィナンシャルグループ、横浜銀行、野村證券
	電機・機械 商社 栗田工業、東芝、アライドマテリアル、新光電気工業 豊田通商
教員	高校教員 茨城県、岐阜県、東京都ほか 中学校教員 茨城県、埼玉県ほか
官庁・自治体	国土交通省、国土地理院、気象庁、海上保安庁、茨城県庁、群馬県庁、栃木県庁、つくば市役所ほか
研究機関	筑波大学

卒業生の声

篠澤 美有奈（地球環境学主専攻）

私たちの住む地球は不思議にあふれていると思います。地球学類の何よりの魅力は、その多くの不思議を紐解くために、学べる内容がとても多彩なところです。高校までの地学で学べる分野だけでなく、人文地理学などの文系分野や、水文科学など耳慣れないかもしれませんが地球環境を考えるうえで不可欠な諸分野を幅広く学ぶことができます。これにより、一つの事例を見る際も、様々な視点によって物事を捉えることができます。これらの分野を、座学だけでなく、たくさんのフィールドワークを通して学べるところも、地球学類の魅力です。皆さんも私たちと一緒に地球の不思議を楽しみましょうか？

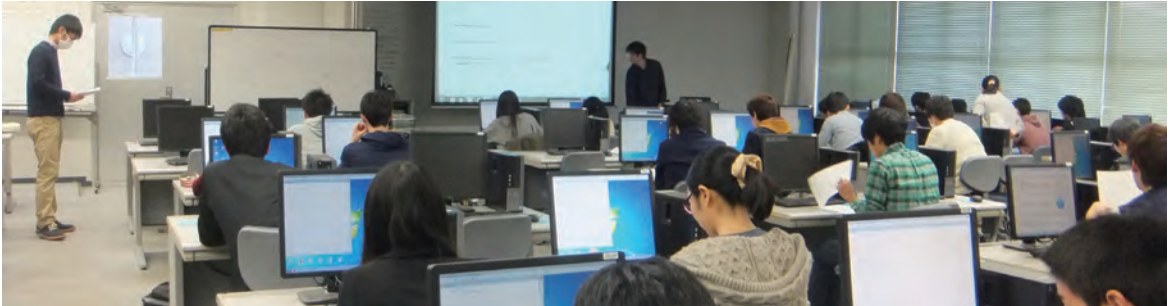
下郡 正嗣（地球進化学主専攻）

私が思う地球学類の良い所は野外実験が充実している点です。地球科学の基本は野外に出ることから始まります。興味に応じて様々な分野の野外実験に参加ができ、実際に野外に出ることで地球科学をより深く理解し得るものが多くありました。もちろん室内での実験も充実しており、野外と室内の双方から地球科学を学んでいきます。また、地球科学では分野にとらわれない幅広い知識の習得が求められます。地球学類では個々の興味関心に応じて分野を選択しますが、多くの仲間と多様な分野を自由に学び、地球科学への理解を深められる良い環境が待っています。



【人材養成目的】

純粋数学から応用数学まで現代数学の基礎について幅広い知識を習得することにより、高度な論理性を身につけると同時に、問題を分析しその構造を読み取って解決するという数学的思考能力を身につけた、社会の様々な分野でグローバルに活躍できる人材を育成することを目的としています。



数学は、人間の知性が最も自由に発揮される学問です。一方、昔から自然科学・工学の基礎として近代科学文明を支えてきました。

数学は、その構築された理論体系の完成度から見ても人類文化を代表する学問の一つであり、世界中どこでも通用する普遍的な学問です。古来、多くの人々が、数学の持つ美しさ・奥深さに魅せられ、その英知を傾け、全身全霊を込めて創り出してきた傑作が現在の数学の姿です。この点で、数学は絵画・音楽などの芸術に似た美しさ・自由さ・多様さを秘めています。そして数学は今もなお生き生きと発展し続けています。それに伴って社会の数学に対する有用性と重要性の認識がさらに深まってきました。現在、数

理科学的手法が自然科学のみならず、社会・人文科学、医療関係など社会のあらゆる面に応用され、コンピュータによる情報化社会の進展ともあいまって、数学の利用はますます広く高度なものとなっています。

数学類では、高校で学んだ数学をさらに発展・深化させて、純粋数学、情報数学を含む数理科学における現代数学の理論の基礎とその応用について幅広い知識を習得することができます。数学類は、高度な論理性を身につけた、社会の各方面で活躍できる人材の育成を大きな目標にしています。こうした能力は、新しいものを創造する上で不可欠なもので、現在、社会から強く求められているものです。

主な授業

1年次

数学概論
数学リテラシー1～3
微積分1～3
微積分演習 S
微積分演習 F
線形代数1～3
線形代数演習 S
線形代数演習 F
ファーストイヤーセミナー

2年次

集合入門・同演習
線形代数続論・同演習
代数入門・同演習
トポロジー入門・同演習
ベクトル解析と幾何・同演習
曲面論・同演習
微分方程式入門・同演習
関数論・同演習
統計学・同演習
計算機演習
数学外書輪講 I
数学類キャリアパスセミナー

3年次にかけて

代数学 IA・代数学 IB
トポロジー A・トポロジー B
多様体入門・同演習
ルベーグ積分・同演習
関数解析入門
確率論 I
数理論理学 I
数理統計学 I
計算機数学 I
数学外書輪講 II
測量学

3年次後半～4年次

代数学 II・代数学 III・代数学 IV
トポロジー C
微分幾何学
確率論 II
関数解析
複素解析
数理論理学 II
数理統計学 II
計算機数学 II
卒業予備研究
卒業研究

[2026年4月現在]

- ・講義の理解を助けるため、多くの講義に演習が付いています。
- ・数学類で普通に授業を履修していけば、自然に「数学」教員免許の「教科に関する専門的事項」に対応する科目の単位が揃います。

数学類ホームページ

- <https://program.math.tsukuba.ac.jp/college/pp> でパンフレットの PDF ファイルを見ることができます。
- 数学類ホームページには、教員の紹介やシラバスなども掲載してあります。



パンフレット

専門として学べる内容

数学類では各種の講義や演習とともに、2年次から4年次まで、数学外書輪講、少人数で行う卒業研究等のセミナーが設けられています。学生自らが学習成果を発表し、教員のきめ細かな指導のもとで、個々の能力が伸ばせ、そして数学的思考能力が身につきます。また情報数学にも配慮されたカリキュラムが用意されています。

1、2年次に学ぶ数学は、3、4年次に学ぶ数学に向けてのウォーミングアップにあたります。1年次の数学の科目は専門科目でなく、専門のための専門基礎科目にあたります。微分積分学、線形代数、集合論は、いずれも数学のどの分野においても基本的かつ必須なものです。2年次からは、代数、トポロジー、ベクトル解析と幾何、微分方程式、関数論、統計等の入門的授業が始まります。

3年次で学ぶ数学は、専門分野への第1歩となります。大きくわけて代数学、幾何学、解析学、情報数学の4つの分野があり、それぞれの分野で初歩から専門へ向かう授業が準備されています。また、秋学期には、卒業研究の準備として卒業予備研究が始まります。授業や演習に出席するだけでなく自ら専門書を読むなどしてそれぞれが興味を見出し、より理解を深めます。この卒業予備研究を通して数学を学ぶ楽しさと数学の奥深さを実感できます。

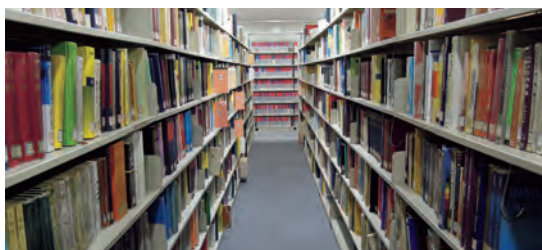
3、4年次には、ガロア理論、リー代数、環論、微分幾何学、位相幾何学、確率論、関数解析、複素解析、数理論

理学、数理統計学、計算機数学などに関する専門的な授業があり、純粋数学のみならず情報数学を含む数理学についても視野が広がるように配慮されています。

4年次には、卒業研究を受講することになります。卒業研究ではセミナーが用意され、学生はそれぞれの研究分野への関心に応じて、幾つかのグループに分かれます。セミナーでは、それぞれの専門分野の数学について、研究発表をしたり指導教員と議論を交えたりします。講義とはまた違った充実感を味わえるものと思います。卒業研究発表会は日頃の成果を示す恰好の場になります。

特徴

純粋数学を学べるだけでなく、情報数学を含む数理学についても広く学ぶことができるので、専門性を深めると同時に、数理科学的視野を身につけることができます。



伊藤 克樹

2024年3月 数学類卒業
2026年3月 大学院数学学位プログラム
博士前期課程修了

皆さんは「大学数学」と聞いて、どのような営みを想像しますか。難しい方程式を解くことですか、それとも未解決問題に挑むことですか。これらの活動も確かに重要ですが、まずは土台の整備から始めなければなりません。

大学数学では、皆さんが小学校以来習った概念をすべて見直します。議論の土台を整えることが目的なので、計算問題に取り組むというよりは「定義→命題→証明」の繰り返しです。一見当たり前の事柄でも慎重な議論を要するので、その作業は時に煩雑かもしれません。しかし、この過程があるからこそ、皆さんがこれまで習得してきた内容や、これから学ぶ理論が一層握るべきものになります。「現代数学」という堅固な楼閣が築かれた経緯を体験できることが、本学類で学ぶうれしさの一つと言えるでしょう。

本学類のカリキュラムでは抽象的な理論に限らず、数理統計学や計算機数学など実社会での応用に焦点を当てた内容も学ぶことができます。さらに、他学群・他学類の科目も履修しやすいよう配慮されているため、物理・化学や工学、さらには芸術学や文学など、皆さんが興味のある他の分野の視点を捉えられるのも本学ならではの特色です。

さて、これを読む皆さんの多くは大学入試を控えていると思いますが、大切にしたいことが二つあります。一つは、常に視野を広く持つことです。受験対策の緊張感に圧倒されると、つい「志望校に合格することこそが最終目標だ」という錯覚に陥りがちです。しかし、実際はそうではないはずで、合格は決してゴールテープではなく、大学生活のスタートラインであることを忘れてください。独りで机に向かう勉強だけでなく、教師や友人との対話や議論もまた大切な学びの源です。

そしてもう一つ、数学は皆さんが討伐すべき「敵」ではないことを心に留めておいてください。本来、数学という学問は完全に中立であり、誰かの肩を持つこともなければ、誰かに牙を剥くこともありません。普通の真理の前では、研究者であろうと学生であろうとみな平等。だからこそ数学とは自由な学問なのです。

さあ、新時代が皆さんを呼んでいます。今こそ出発のときです。

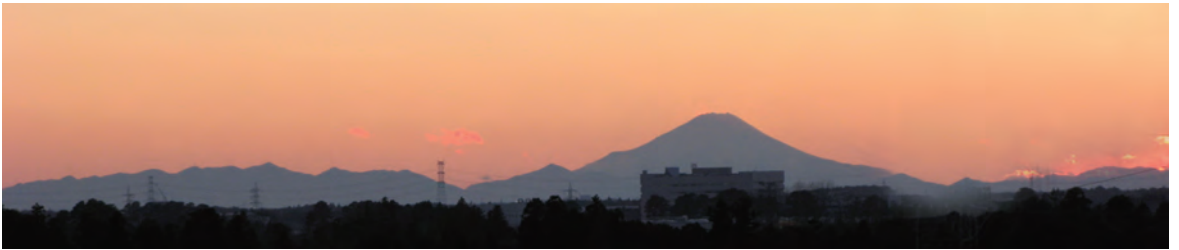
先輩からのメッセージ

小林 萌愛

2023年3月 数学類卒業
茨城県立高等学校勤務



私は高校の数学の教員を目指しています。自身が数学がとても苦手だったので、数学が苦手な生徒にも分かりやすい授業ができる先生になりたいと思い、筑波大学の数学類で数学についての知識を深めようと受験を決めました。筑波大学は教員になるためのサポートが手厚く、実際に数学類の多くの学生が教員免許を取得するために教職の授業を履修しています。とはいえ苦手な数学の世界に飛び込んで、ちゃんとしていくことができるのかとても不安でした。しかし、授業は講義と演習に分かれているので演習問題を解きながら講義内容の理解を深めることができ、先生方の丁寧な指導のおかげで充実した環境で学ぶことができている。また、「数学手習い塾」という場が週に二回ほど設けられ、先生方や大学院生の先輩方に講義や課題の質問をすることができ、コロナ禍ではありましたが、友人たちとともに手習い塾に通ったり休日に集まって勉強会を開いたり、楽しい大学生活を送っています。大学数学と高校数学の大きな違いは、定義や定理などの事実や証明を一つずつ着実に積み重ねて思考のステップを進めていくことに重きを置いている点だと感じています。論理に飛躍がないよう厳密に議論を進めていくためとても頭を使いますが、最後まで理解できた時や証明を完成させられた時の達成感はひとしおです。様々な分野の話題が繋がって体系的に見えるようになったり、高校までで学んでいた内容でも新たな気づきがあったりもします。私もまだまだ道半ばではありますが、これからさらに数学の知識を身に付けていった先で、一体どんな景色が見えるのかとてもワクワクしています。大学で学ぶ数学はロマンに溢れています。筑波大学数学類には数学を存分に楽しめる環境も仲間もいます。皆さんと一緒に学べる日を楽しみにしています。(2021年4月に寄稿いただきました)



Q 筑波大学数学類の特色は何ですか？

A 30名以上の教員が数学類を担当しています。卒業研究などのセミナーによるきめの細かな指導は、筑波大学数学類の伝統です。授業に関しては、代数、解析、幾何といった抽象的な数学を学べるだけでなく、数理統計学、数理論理学、計算機数学といった応用的な数学も学ぶことができます。これが筑波大学数学類の大きな特徴です。他学類の授業も比較的自由に受講することができます。本学の前身が東京教育大学ということもあって教員免許を取得する学生が多く、これも筑波大学数学類の特徴といえます。

Q 筑波大学数学類の授業はどのようなものですか？

A 大きく分けて、講義と演習そしてセミナーがあります。講義では、「関数の連続性とは何か？」 $f(x)=x$ が連続なのはなぜか？」のように、『とは』(定義)と『なぜ』(証明)を重視します。演習では、練習問題を解いて理解を深めます。セミナー(外書輪講・卒業予備研究・卒業研究)では、学生数名がグループを作り、指定されたテキストの内容を交代で説明し、担当教員の指導のもとで議論を深めます。筑波大学数学類では、受講生が問題を解けるようになるだけでなく、数学の理論体系を組み立てられるようになることも目標としています。

取得できる資格

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

また、専門科目でもある「測量学」の単位を修得することで、測量士補の資格を取得することができます。

教員免許

- 中学校一種免許状(数学)
- 高等学校一種免許状(数学)

社会教育主事、学芸員、司書教諭、測量士補

Q 筑波大学数学類を卒業すると、どんな職業に就けますか？

A 現代社会は、科学・情報技術に大きく依存しています。科学・情報技術において、思考の基本的な枠組みを提供する共通の言語が数学です。現代社会が数学に秀でる人材を多く必要とする理由がここにあります。筑波大学数学類の卒業生は、大学教員をはじめ、アクチュアリー、システムエンジニア、医学薬学統計などの統計解析に携わる職種、金融商品の開発や投資戦略を考案する職種、中学校・高等学校の教員など、幅広い分野で活躍しています。2年次に開講する「数学類キャリアパスセミナー」では、社会における数学のニーズの高さや、数学類卒業後の進路について幅広く学ぶために、企業の担当者に「数学を学ぶことの強み」などを解説してもらいます。

Q 数学はどのようなところで役に立ちますか？

A 数学は、科学の多くの分野で、理論を記述し展開するための基礎学問になっています。数学は、その厳密性や普遍性により、多くの科学研究の土台として、科学の発展に多大に貢献しています。数学は、物理学、工学、経済学、生物学などに広く応用され、また、統計学を通じて医学や心理学、社会調査、保険業などにも使われています。数学は、現代社会において多様な役割を担っているといえるでしょう。



卒業後の進路

数学類卒業後の進路は大きく分けて3つあります。

1. 企業や公務員への就職

数学類卒業生の高い分析力、構成力、論理性、柔軟な思考力は、多くの企業や官庁等で強く必要とされているものです。そのため、一般的な業種であればほとんどすべての企業が、数学類卒業生の就職先の対象となります。その中でも特に多いのは、IT企業や（銀行や保険会社等の）金融系企業への就職です。

2. 中学校・高等学校の教員

筑波大学は東京教育大学を母体にしてできた大学です。そのため、教員を育成するための環境や気風が強くあります。数学類からも、これまでに多くの中学校・高等学校の教員を輩出してきました。また、数学類卒業後には、筑波大学大学院数理工学物質科学研究群数学学位プログラム（博士前期課程）に進学し、高度な数学を身につけることで、専修免許を取得することができます。

3. 大学院への進学

より高度な数学の知識や経験を得たい場合は、筑波大学大学院数理工学物質科学研究群数学学位プログラム（博士前期課程）などの、数学を学べる国内外の大学院に進学します。現在では毎年5割ほどの学生が大学院に進学しています。大学院で修士号を取得した後は、上の1や2のように企業や公務員、教員に就職したり、数学の研究をさらに続けるために博士後期課程に進学したりします。もし、いわゆる数学者（大学の数学教員）を目指すのであれば、博士後期課程に進学して、研究論文を作成する必要があります。

【進学】

筑波大学（数理工学物質、教育、システム情報）、東京大学（数理、経済）、京都大学、神戸大学、東京工業大学、北海道大学、名古屋大学、一橋大学、東京都立大学、宇都宮大学、山梨大学、早稲田大学、立教大学

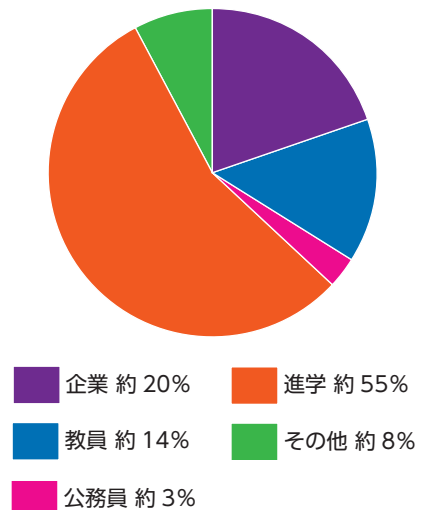
【企業】

常陽銀行、群馬銀行、りそな銀行、八十二銀行、筑波銀行、千葉銀行、かんぽ生命保険、損害保険ジャパン、野村證券、ほけんの窓口、大和総研、アイヴィス、アクセンチュア、一条工務店、インフィニット・フィールド、エス・ジー、キヤノンITソリューションズ、Sky、ジャステック、ZEIN、パーソルクロステクノロジー、トヨタシステムズ、日本航空、日本電気、ビッグツリーテクノロジー&コンサルティング、ペイカレント・コンサルティング、フューチャーアーキテクト、みずほリサーチ&テクノロジーズ、アウトソーシングテクノロジー、東京商工リサーチ、ネオキャリア、リーバー、リクルートグループ、エフエムナックファイブ、サティス製薬、日本マクドナルド、オープンハウスグループ、三井不動産リアルティ【中国】、花王、タカラスタンド、早稲田アカデミー など

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	数学が好きであり、分からないことがあれば、答えが出るまで根気強く考えることができる人材。また、論理的（数学的）思考能力を身につけたいと願っている人材を求めています。	
入学までに学んでおいてほしいこと	高校レベルの数学の理解を深めておくこと。また数学のみならず自然科学全般に対する関心と理解を深める姿勢を養って欲しい。	
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	一般的な基礎学力と、数学を学ぶ上で必要な論理的思考力・数学的思考力・応用力を総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校で優秀な成績を修めており、数学を学ぶ目的意識が明確であること、数学という学問に取り組む意欲等を総合的に評価します。
	国際バカロレア特別入試	自然科学に対する強い好奇心と国際的な広い視野を持っていること、数学に関連する基礎学力、および数学への学習意欲等を総合的に評価します。
	外国学校経験者特別入試（第1種・第2種）	数学に対する高い関心、入学後に数学を学ぶために必要な語学力、基礎学力を総合的に評価します。
編入学試験	専門的な数学教育を受容できる基礎的な学力を有していること、数学に対する強い関心と思考力を有していること等を総合的に評価します。	

過去6年度分



【公務員】

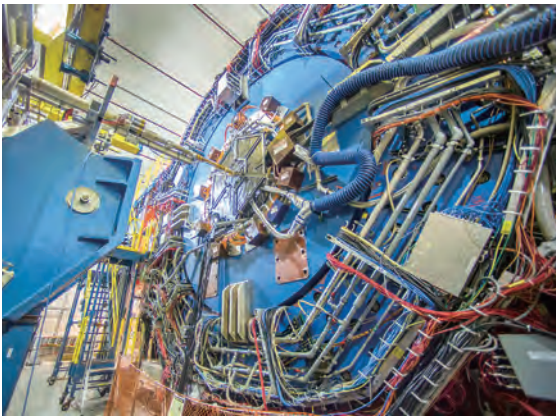
国土交通省、青森県、伊東市、鴻巣市、つくば市 など

【その他】

「調査時に就職活動中」など

【人材養成目的】

多様に発展する現代物理学について、しっかりとした基礎と高度な専門的知識を備え、かつ、真理を探究する過程を通して育んだ柔軟な思考力と、物事の本質を洞察し問題を根本から解決する力を持つ人材を育成します。そして、それらの人材がそれぞれの能力を生かして社会の様々な分野で活躍することを目指します。



物理学は、自然界で起こる様々な現象の基本法則を解き明かしていく学問です。自然界の法則というと、原子・原子核・素粒子などのミクロな世界を理解するための量子論、広大な宇宙空間に浮かぶ星や銀河、時間と空間を理解するための相対論が思い浮かぶことでしょう。これら極限の世界で成り立つ普遍的な法則を探ることは、現代物理学の重要なフロンティアです。

私たちの周囲にある世界に目を向けましょう。物質は、固体・液体・気体・プラズマの姿を示し、また固体は金属や半導体、磁性体、超伝導など、様々な性質を示します。物理学はこれらの性質を理解する基礎を与えます。最近は生命現象に対する物理学も発展しています。このように、物理学は自然の成り立ちや自然界で起こる様々な現象を、その基礎

から明らかにする学問であるという面も持っています。

さらに物理学は、現代の先端的科学技術の基盤をなす学問でもあります。例えば、今日の情報社会を支える半導体技術や、様々な用途で用いられているレーザー技術は、原子物理学、固体物理学の発展なしには成しえなかったものです。さらに、近未来のIoT社会の実現に不可欠なエネルギー物質やエネルギーハーベスト技術の基盤は、物理学の新しいフロンティアになりつつあります。このように物理学は、現在そして未来の科学技術の根幹を支える学問です。

物理学類生は、物理学を学び研究する過程を通して何事でも「自ら主体的に学ぶ」姿勢を身につけて欲しいと願っています。これは将来のどのような分野においても力となり、また人生を豊かにすることでしょう。

授業科目

	授業科目
1 年次	物理学概論、物理学入門、力学 1・2・3、電磁気学 1・2・3、総合科目、体育、情報、英語、数学、化学、生物学、地球科学
2 年次	量子力学Ⅰ、熱物理学、専門電磁気学Ⅰ・Ⅱ、特殊相対性理論、物理数学Ⅰ・Ⅱ、計算物理学Ⅰ・Ⅱ、実験物理学Ⅰ・Ⅱ、科学英語Ⅰ、課題探究実習セミナー、物理学実験Ⅰ、解析力学、量子力学序説、量子力学入門、流体力学、連続体力学
3 年次	量子力学Ⅱ・Ⅲ、統計力学Ⅰ・Ⅱ、専門電磁気学Ⅲ、一般相対性理論、計算物理学Ⅲ・Ⅳ、実験物理学Ⅲ、生物物理学Ⅰ・Ⅱ、科学英語Ⅱ、課題探究実習セミナー、物理学実験Ⅱ、生物物理学実験、素粒子物理学概論、原子核物理学概論、物性物理学概論、生物物理学概論、宇宙物理学概論、プラズマ物理学概論
4 年次	素粒子物理学、原子核物理学、物性物理学、宇宙物理学、プラズマ物理学、卒業研究

物理学類パンフレットの請求方法

●パンフレット等は学類 web ページからダウンロード可能です。
<https://www.butsumi.tsukuba.ac.jp/>



特長

物理学類には70名以上の教員が在籍し、講義・演習・実験・セミナーなどを担当しています。これらの教員は、10の研究グループに属して様々な分野で最先端の研究を進めています。また、多くの教員は研究センター（計算科学研究センター、エネルギー物質科学研究センター、宇宙史研究センター、プラズマ研究センター等）にも所属しています。4年生では、研究グループのいずれかに属して卒業研究を行います。卒業生の多くは大学院に進学し、学類で学んだ物理学の知識を基礎に、最先端の研究に取り組んでいます。

筑波大学では1996年に当時世界最高速の並列計算機を開発するなど計算物理学の分野でも先駆的な研究を行っています。下の写真は計算科学研究センターにおいて2023年度から本格稼働したスーパーコンピュータ Pegasus (ペガサス) です。これを使って、素粒子・原子核・宇宙・物質・生命等における最先端の研究が行われています。



専門として学べる内容

皆さんは、高校で学ぶ「物理」を通して、「物理」の単純さに心を惹かれたのではないのでしょうか。例えば、ニュートンの運動法則（力＝質量×加速度）という1つの簡単な式によって、いろいろな事象が説明できます。この「単純さ」と「普遍性」こそが物理の本質です。

大学で学ぶ「物理」は、数学（数式）を使って記述されています。皆さんは物事を考えるときは、もちろん、日本語ですよ。でも、物理を考えるときは、世界の共通言語

である数学（数式）で考えます。なぜ数学かといいますと、数学が最も厳格であり最も論理的な言語だからです。数学には感情の入り込む余地はありませんし、世界中の誰が見ても一義的にしか読み取れません。ですので、大学では、物理学を学ぶために、まずは数学をしっかりと学習します。その上で、物理学の問題（これは日本語）を数式に翻訳し、数式を数学のルールに従って変形し、最終的な数式の意味するところを（日本語に置き換えて）理解する、こういった訓練を行います。この訓練によって、高校でも履修する「力学」と「電磁気学」は、よい教材となります。

物理学は、先人が築き上げたものを元に、新たに見いだされたものを積み上げて行くという過程を繰り返して発展してきました。現代物理学は高度に発展し、それぞれの分野での専門性が高いですが、一方では、基本的な概念が広い領域で普遍的に用いられています。学群の4年間では、古典物理学から始めて、現代物理学の骨格を成す基礎的科目へ、さらには専門性の高い発展的科目を順番に学習することが必要です。それぞれの科目には標準履修年次を設定しています。

- 1年次…古典物理学を質点と場の観点から理解するとともに、数学・化学・生物学・地球科学などの自然科学を幅広く学びます。
- 2年次…古典物理学をさらに深く学ぶとともに、現代物理学の骨格を成す量子力学などの基礎を習得します。
- 3年次…現代物理学についてより発展的な内容を学ぶとともに、専門物理学を学びます。
- 4年次…専門物理学を学ぶとともに、研究室に所属して卒業研究を行います。

教員からのメッセージ



新井田 貴文
物理学類 2005年卒業
筑波大学大学院修了
現在：物理学類助教

物理学は、その名の通り、物の理（ことわり）を探究する学問です。空はなぜ青いの？タッチ決済の仕組みは？宇宙はどこからきたの？など、身近な疑問から自然現象や宇宙における謎まで、対象とする範囲は多岐にわたります。筑波大学では理論から実験、素粒子から原子核、物性、宇宙まで、幅広い分野の研究が行われています。講義だけでなく演習や様々な実験授業を通して、自分で考え、自分で説明する力を身につけることができます。課題探求セミナーでは、大学2、3年生の段階でいち早く最先端の研究に触れる機会があるのも筑波大の特徴と言えます

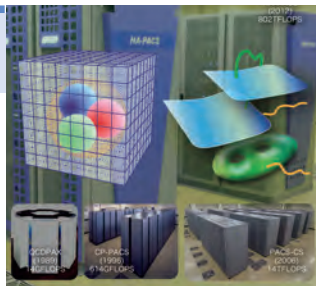
す。4年生になると研究室へ配属されますが、選択肢が沢山あることは良いことです。私の場合は、宇宙理論と宇宙初期を再現する実験、どちらの研究室にするかギリギリまで悩んだことを覚えています。結果的にその時に選んだ研究が今へとつながっています。また、4年生や大学院生になると、研究室によっては国内外での研究機関で研究する機会もあるので、様々な可能性にチャレンジしてほしいと思います。

みなさんが、物理を学ぶ楽しさ、を体感できるように全力でサポートいたします。まだ誰も知らない答えを一緒に探しに行きませんか？

素粒子理論

格子量子色力学
超弦理論

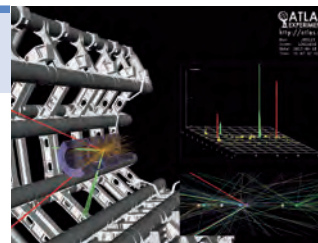
図:素粒子と時空の原理の探求と、専用計算機の開発



素粒子実験

陽子陽子衝突実験 ATLAS
ニュートリノ崩壊探索実験

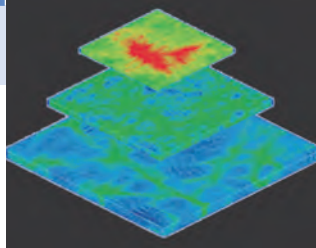
図:ATLAS実験で観測されたヒッグス粒子候補事象



宇宙理論

銀河形成・宇宙論
計算宇宙物理学

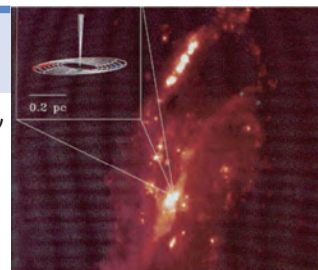
図:宇宙の再電解過程の計算機シミュレーション



宇宙観測

銀河・ブラックホール
南極望遠鏡計画

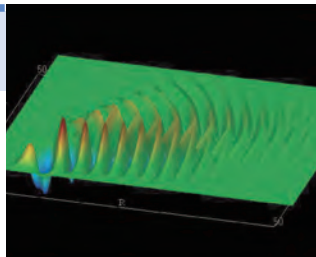
図:銀河中心にある巨大ブラックホールの観測



原子核理論

原子核の構造と反応
量子ダイナミクスの
計算科学

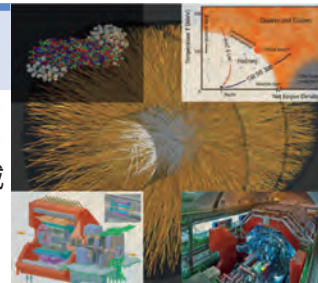
図:原子核分解反応の量子ダイナミクス



原子核実験

クォーク・グルーオン・
プラズマ
不安定核、宇宙元素合成

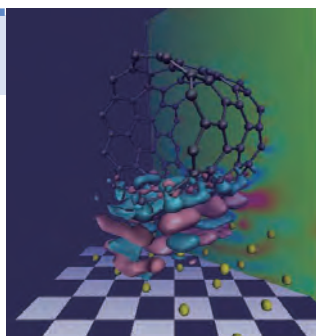
図:CERN-LHCでのALICE実験における鉛・鉛衝突



物性理論

量子輸送物性
量子物性理論
ナノ量子物性
表面界面物性
ナノ構造物性

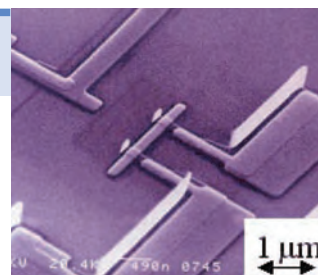
図:金属上におかれたカーボンナノチューブ



物性実験

エネルギー物質科学
構造科学
低温物性
ナノフォトニクス
光ナノ物性

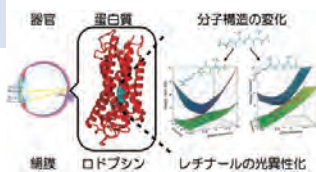
図:単一電子トランジスタ



計算生命理論

生体機能の原子レベルでの理論的解明

図:生体現象の階層性



プラズマ物理学

プラズマ閉じ込め、
加熱
ミラー型核融合実験装置

図:プラズマ実験装置ガンマ10



資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

中学校一種免許状（数学、理科）

高等学校一種免許状（数学、理科）

社会教育主事、学芸員、司書教諭、測量士補

卒業後の進路

物理学類の卒業生の進路は、大きく3つに分かれます。

- ①大学院への進学（基礎科学の探究）
- ②企業での開発研究（基礎科学の応用）
- ③中学・高校の教師（基礎科学の啓発）です。

①が70%程度で最も大きな割合を占めます。進学先は筑波大学の大学院である数理物質科学研究群が中心ですが、他大学の大学院に進学する場合もあります。大学院進学者のうちには、修士学位を取得後に、②、③に進む者も多く、②、③を目指す場合にも大学院に進み知識を拡げてから就職するケースが多くなっています。博士学位取得者は、大学や各種研究所の研究員となり研究者への道を歩んでいます。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	高等学校のさまざまな科目についての基礎学力を有し、大学において物理学を学んでゆく能力を持った人材を求めます。また、広い視野を持ち、自ら学び、未知の物事に対して柔軟に対応できることが要求されます。	
入学までに学んでおいてほしいこと	高校レベルでの物理ならび数学に関する知識と理解、さらにはそれを応用する基礎的な能力。	
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	一般的な基礎学力と、物理学を学ぶ上で必要な論理力・思考力・応用力を総合的に評価します。
	個別学力検査等（後期日程）	一般的な基礎学力の評価に加えて、物理学を学ぶ上で必要な論理力・思考力・応用力、ならびに物理学における広い興味と高い学習意欲を総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校において優秀な成績を修めていることに加え、物理に関する高い関心と目的意識、学習に取り組む意欲等を総合的に評価します。
	国際バカロレア特別入試	自然科学に対する強い好奇心と国際的な広い視野、物理学に関連する基礎学力、物理学への学習意欲を総合的に評価します。
	外国学校経験者特別入試（第1種・第2種）	物理学に対する高い関心、入学後に物理学を学ぶために必要な語学力、基礎学力を総合的に評価します。
	編入学試験	大学2年生程度の基礎学力と物理学を学び修得するために必要な論理力・思考力・応用力を総合的に評価します。

先輩からのメッセージ

田中 萌鈴

2024年卒業
北海道札幌東高等学校卒



皆さんは、物理学類にどんな印象を持っているでしょうか。物理学は難しいと抵抗感を持つ方がいるかもしれませんが、全く不安に思うことはありません。物理学類では、4年間かけて段階的に進んでいく学習の中で、少しずつ理解を深めていくことができます。また、男女問わず活発に学生同士の教え合いや考察の共有ができるため、物理学に集中して刺激的な日々を送ることができます。皆さんもぜひ、物理学への理解を深める充実した日々を過ごしてみませんか。

野村 由仁香

2022年卒業
京都市立堀川高等学校卒



物理学を学ぶ上で良かったのは、大学周辺に研究施設が多いという点です。施設見学や外部講師による講義など最先端の研究を1,2年次から知ることができました。専門以外の事も自由に学べ、私は物理以外に考古学や古典などの講義をとっていました。また、図書館には専門書が多くあり自由スペースが広いため自習しやすい環境が整っています。男女関係なく物理に興味がある人は充実した生活を送れると思います！

服部 航大

2026年卒業
東京都立福生高等学校卒



私は、高校時代、理系分野特に数学、物理学に興味を持っていましたが、筑波大学は総合大学ということもあり、大学4年間で民俗学や農学、スポーツ学など幅広い学問を学ぶことができました。物理学以外の学問にも触れることができました。物理学類では、ミクロな世界の現象から広大な宇宙の現象まで幅広く学ぶことができるため、物理学の幅広い知識を身につけることができます。筑波大学の学生は一人暮らしが多いので、気の合う友人たちと共に学問に触れ合える大学生活をぜひ送ってほしいと思います！

坂野 修也

2026年卒業
東京都私立芝高等学校卒



物理学は様々な現象の原理を学ぶことができる学問だと思います。時には困難なこともありますが、理解できた喜びはとても大きいです。また筑波大学は全ての学部が1つのキャンパスに集まっていることもあり、豊かな人間関係を築けることも魅力の一つだと思います。ぜひ学問を学びながら友人との時間を満喫する大学生活を楽しんで欲しいと思います！

【人材養成目的】

自然界における普遍的な法則と未知物質・未知現象の探求、機能性物質の創製と材料開発、環境問題やエネルギー問題の解決、生命現象の分子レベルでの解明などに必要な基礎的で幅広い化学の知識を有する人材を育成します。その上で、これらの知識と理解に裏打ちされた柔軟な思考力と、国際的に活躍できる能力を有する人材を育成します。



化学という学問

科学技術の進歩はめざましく、人類の発展を支えてきました。この技術革新において、基礎化学の果たした役割は極めて大きいといえます。化学者による新素材の研究を基盤として材料が開発され、実用化されているからです。化学とは、化学現象を分子・電子レベルで研究し、自然界における普遍的な法則を追求する学問ですが、そのような基礎研究から、新規化合物の創製、環境汚染やエネルギー問題の解決、生命現象を分子レベルで理解する研究などへ展開されています。このため、化学の重要性はますます高くなると言われています。

化学類で学ぶ4年間

化学類では、基礎知識の重視、柔軟な思考力の養成、国際的に活躍できる人材の育成などを念頭において、学生の指導・教育を行っています。

化学類の学生は、1年次に全学共通科目のほか、理学系学類共通の専門基礎科目を履修し、2年次では、無機化学、分析化学、物理化学、有機化学、生物化学などの専門的な講義と基礎的な化学実験を履修します。さらに、3年次では、学びたい化学分野を一層深く理解するために、専門科目が用意されています。特に、実験の時間が大幅に増えるのが特徴です。各分野の専門実験（無機・分析化学、有機化学、

	授業科目
1年次	化学概論、化学1、化学2、化学3、全学共通科目
2年次	無機化学Ⅰ、分析化学、物理化学Ⅰ・Ⅱ、有機化学Ⅰ・Ⅱ、生物化学、応用分析化学、基礎化学外書講読、化学基礎セミナー、化学実験、化学実験Ⅱ
3年次	無機化学Ⅱ、物理化学Ⅲ・Ⅳ、有機化学Ⅲ・Ⅳ、物理化学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、無機・分析化学専門実験、有機化学専門実験、物理化学専門実験、先端化学外書講読、無機元素化学、放射化学、無機物質化学、有機分子構造解析
3年次 または4年次	計算化学、生物分子化学、無機・分析化学特論、物理化学特論、有機化学特論、生体関連化学特論
4年次	卒業研究

化学類パンフレットの請求方法

- パンフレット等は化学類ホームページからダウンロード可能です。
<https://chemistry.tsukuba.ac.jp/ug/about/#document>
- テレメールによる請求もできます (p.159 資料請求番号は 583680)



物理化学)は必修科目で、毎週3日間、午後はこれらの専門実験で化学実験の手法を学び、技術を磨きます。2、3年次でそれぞれ開講されている基礎化学外書講読、先端化学外書講読では、英語論文を読む力をつけ、卒業研究の準備をします。

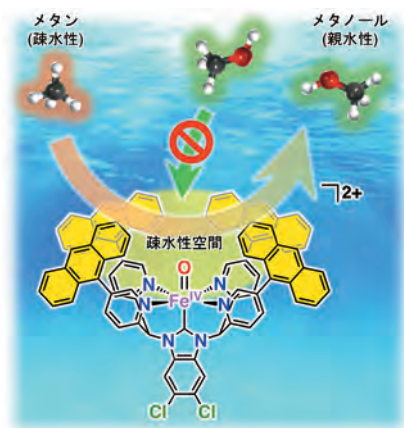
4年次では、卒業研究が中心になります。化学類では、無機反応化学、無機合成化学、分析化学、放射化学、機能物質化学、物性物理化学、分光物理化学、大気物理化学、計算情報化学、有機元素化学、超分子化学、構造生物化学、生物有機化学、製薬化学などの分野をおき、物質の構造、物性、反応、合成などに関する基礎研究をはじめ、広い視野に立った境界領域の研究を行っています。希望に応じてそれぞれの分野の研究室に配属され、教員の直接指導のもとに卒業研究を行います。教職員や大学院生、国内外の研究者らと親しく接しながら活発な雰囲気の中で卒業研究を行い、研究成果を研究室セミナー、卒業研究発表会や日本化学会の研究発表会で報告し、化学者としての第一歩を踏み出します。

研究紹介

化学類の学生が4年次に配属される研究室では、以下に示すテーマをはじめ、様々な最先端の研究を行っています。

錯体化学の最前線

金属錯体は金属イオンと有機配位子からなる化合物であり、自然界や現代社会において反応触媒や機能性物質として

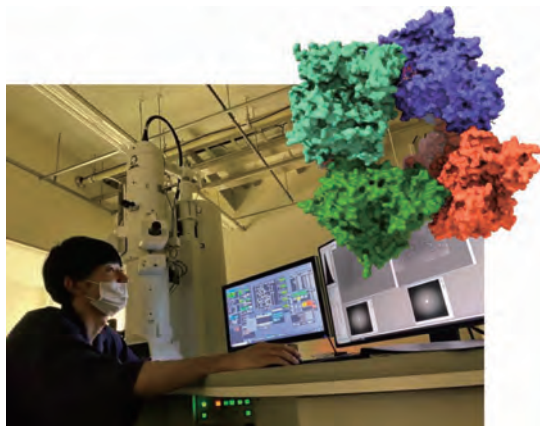


水溶液中における鉄触媒による高効率かつ高選択的なメタンからメタノールへの酸化反応

重要な役割を担っています。最近、金属錯体の構造や電子状態を精密に制御設計することができるようになりました。また、金属イオンを組織的に集合させることにより、個々の金属イオンの特性が相乗的に機能する物質も合成され、新たな機能にますます期待が高まっています。錯体化学者は、高度に設計された分子システムの化学的・物理的機能に魅了され、日々物質合成と機能探索を続けています。

構造生物化学

ウイルスから人まで、生命は、DNAやRNAなどの核酸、そしてそれらDNAもRNAも4種類のヌクレオチドから構成され、タンパク質も基本的に20種類のアミノ酸から作られています。このような限られたパーツから、ウイルスから人まで多様で複雑な機能をもった生命、すなわち分子の集合体を作られています。それには、原子の空間配置を変えることで異なる機能を生み出すという戦略を生命はとりました。従って、生命を原理から理解するには、分子の空間構造を明らかにすることが必須となります。この分野では2017年にノーベル化学賞を受賞したクライオ電子顕微鏡技術がその進展を急加速し、新型コロナウイルスの解析でも大活躍しました。そうした最先端の手法を武器に、腫瘍発生の仕組みや、遺伝子発現の仕組み、ウイルスや細菌が感染・増殖する仕組みなどが分子レベルで、すなわち化学の目で明らかにされつつあります。

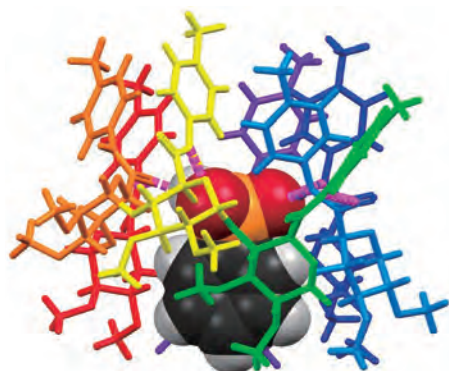


クライオ電子顕微鏡で明らかになった光センサータンパク質

精密有機合成

有機化合物は三次元構造をもっているため、その多くは

空間における原子の配列だけが異なる立体異性体から成っています。医薬品は立体異性体により効力が異なるため、その合成には、立体異性体や位置異性体などを自由に作りわけける手段である精密有機合成が不可欠です。厳密に決められたある特定の立体構造をもつ化合物を正しい分子設計理論にもとづいて合成するのが、有機合成化学です。

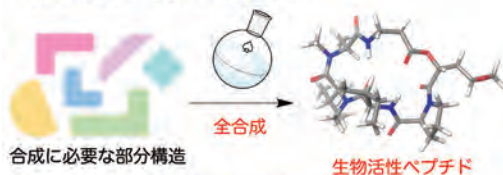


精密合成された有機分子による低分子認識の様子

生物現象を化学の目で見ると

生物のかかわる現象の多くは化学物質によってコントロールされています。個体内あるいは個体間の情報伝達物質（ホルモン、フェロモンなど）や生物内に存在する様々な生物機能物質（生物毒、抗生物質など）を化学の目を使って研究する分野が生物有機化学や生物無機化学です。化学はますます力をつけてきており、生命現象を分子レベルあるいは分子集合体レベルで解明できるようになってきました。これらの研究は、我々の福祉に直接関わる医薬品や農薬などの開発研究を支える基礎を提供するとともに、生物現象をいっそう深く理解するための大切な情報となります。

・有機合成化学による天然物の全合成



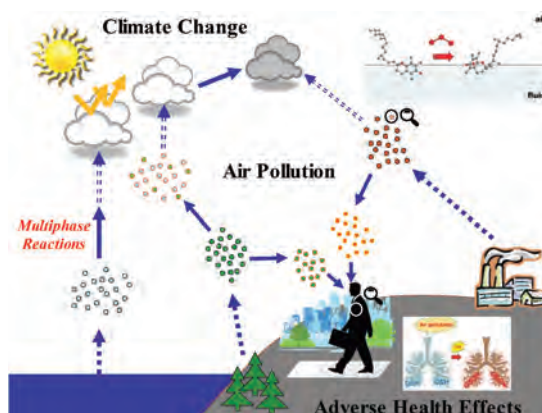
・合成化合物を用いた細胞の可逆的制御



有機化学を基盤とした生物現象の理解・制御

大気物理化学の実験研究

大気環境における諸現象の理解のためには、気相、液相、そしてその境界相を含む多相（マルチフェーズ）で起こる物理化学過程のすべてを考慮する必要があります。大気に浮遊している雲粒やエアロゾルの気体-液体の境界（気液界面）や内部で起こる化学反応を解明することは、地球の気候変動を理解する上で重要なテーマです。また、ヒトの肺胞などの生体表面で起こる化学反応メカニズムを解明することは、大気汚染問題に直結します。地球の気候変動や大気汚染の問題の解決に向けて、独自の実験手法を用い、分子科学的なアプローチで研究を行っています。



界面の分子構造

固体と気体や固体と液体など、相と相の境界面とその近傍を界面と呼びます。相の内部（バルク）と界面では、分子を取り巻く環境が異なっています。一方、我々の周りには様々な物体や生体組織では、界面が性質や機能を決める重要な要因である例が多く存在します。そのような例として、固体触媒上や電極上で起こる化学反応、生体膜を通した生体組織間の物質の移動などが挙げられます。レーザー光を使った最先端の測定技術（レーザー分光技術）を使えば、界面における分子の構造・配向・運動性の情報が得られます。今はじめて、界面の様子が分子レベルで解明されつつあります。

資格など

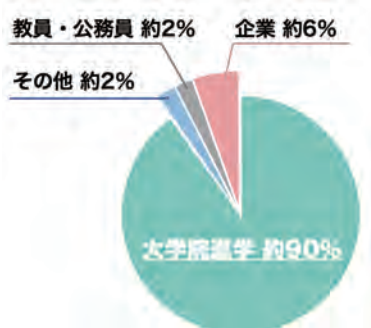
卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許（中学校一種免許状（理科）、高等学校一種免許状（理科））、社会教育主事、学芸員、司書教諭

卒業後の進路

卒業生の9割以上は大学院へ進学し、その他は公務員（県庁など）、教員（高等学校、中学校）、企業などへ就職します。大学院（博士前期課程：2年間）修了後の主な進路は、化学関連の企業や公的機関への就職、博士後期課程（3年間）への進学です。（就職先企業例：旭化成、味の素、アステラス製薬、ADEKA、出光興産、AGC、NTTドコモ、JR東日本、資生堂、信越化学工業、セイコーエプソン、セメダイン、ソニー、第一三共、大正製薬、大鵬薬品工業、田辺三菱製薬、中外製薬工業、東京ガス、TOTOバスクリエイト、デュポン、デロイトトーマツ、デンカ、東ソー、凸版印刷、トヨタ自動車、日本ペイント、日本製紙、日本ハム、丸善石油化学、三井化学、三菱ケミカル、ミルボン、ライオン）



入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	化学に関する十分な学力と、関連する分野の基礎学力を有し、自然界における普遍的な法則の追求と、新規物質や未知現象を探索する意欲を有する人材を求めます。	
入学までに学んでおいてほしいこと	高校レベルの化学についての基礎的知識を修得し、それを応用する能力を身につけていること。数学、物理学、生物学など関連分野に関する基礎的知識と語学の基礎的な能力を持つことが望ましい。	
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	一般的な基礎学力と、化学を学ぶ上で必要となる高度な理解力・思考力・応用力を総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校において優秀な成績を修めており、化学に関する高い関心、目的意識、学習に取り組む意欲等を総合的に評価します。
	国際科学オリンピック特別入試	国際化学オリンピックに出場した者、またはその代表者選考会等において一定の成績を取った者を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を評価します。
	国際バカロレア特別入試	自然科学に対する強い好奇心と国際的な広い視野を持ち、化学に関連する基礎学力、そして化学への学習意欲を総合的に評価します。
	外国学校経験者特別入試（第1種・第2種）	協調性、化学に対する高い関心、そして入学後に日本語で化学を学ぶために必要な語学力、基礎学力を総合的に評価します。
編入学試験	専門的な化学教育を受容できる基礎的な学力、化学に対する強い関心、論理力、思考力、応用力を総合的に評価します。	

“なぜ？”が、化学のはじまり



坂入 快

出身：埼玉県立大宮高等学校
2023年度入学

高校で化学を学ぶ中で、「なぜ色が変わるの？」「どうして反応は進むの？」と疑問が湧いたことはありませんか。化学類は、基礎から最先端までを体系的に学び、自ら考え、実験で確かめる面白さを味わえる場所です。講義だけでなく、実験や演習を通して理論と現象を結びつけ、化学の“なぜ？”と向き合います。決して簡単なことばかりではありませんが、理解が繋がった瞬間の感動は格別です。学問にも日常にも手ごたえのある生活が皆さんを待っています。

学生からのメッセージ

最先端の設備と知見に触れる、最高の4年間



山本 知香

出身：二松学舎大学附属柏高等学校
2023年度入学

筑波大学化学類の最大の魅力は、世界トップレベルの研究設備がすぐ身近にあることです。学類生のうちからNMRなどの高度な分析機器を自ら操作し、実験を通して理論の本質を深く学ぶことができます。また、最先端の研究を行う優秀な先生方から直接教わる機会はとても貴重で、大学生ならではの大きな刺激になります。これほど贅沢な環境で化学に没頭できるのは、筑波大学の大きな強みだと思います。ぜひ私たちと一緒に、ここ化学類で充実した学生生活を送りましょう！

【人材養成目的】 われわれの社会を維持・発展させ続けるために必要な最先端工学の基盤となる科学・技術を原理から理解し、さらに発展させることができる、創造力豊かな技術者・研究者を養成します。

特定の分野にこだわった学部や学科では高度に細分化された専門性を学ぶことができます。しかしながらその一方で、現代、さらにはこれからの工学には、複雑化・難題化が進む社会の要請に応えるために広い学際性も要求されています。そのためには、自然科学の基礎を幅広く身に付け、それらを融合して難題に対応できる総合的な工学力が

必要です。応用理工学類では、数学×物理学×化学×生物学で表されるように、各分野の経験・知識を相乗的に融合させることで、特に素材や計測技術など日常生活では直接目には触れなくとも工業の基礎となる分野において、現在の問題から将来の未知なる課題にも対応可能な工学士を育成することを目標としています。

主専攻	学びたいこと	授業で主に学べること
応用物理 (視て現象の本質に迫る)	<ul style="list-style-type: none"> 光や粒子線を応用して、先進的な医療技術を確立したい。 核磁気共鳴などの物理現象を利用して、生体計測技術を開発したい。 核融合を目指したプラズマ制御や次世代エネルギー源の開発で、エネルギー問題を解決したい。 グリーン環境に配慮した、グラフェンなどの次世代機能性材料を開発したい。 バイオ技術や蛋白工学を駆使して、新たな病理診断や治療に役立てたい。 	電磁波による生体計測技術、量子ビームによる表面計測・超微細加工・医療技術、プラズマ物理/核融合技術、理論計算による物質設計 など
電子・量子 (ミクロな量子の力をエネルギーや環境のマクロな問題に応用)	<ul style="list-style-type: none"> 環境、資源、エネルギー問題を科学と技術で解決したい。 高効率太陽電池を研究・開発したい。 工学を医療分野へ応用することにより、技術で治療を支援したい。 環境に優しい材料で情報機器を作りたい。 情報機器を低消費電力化し、太陽光だけで稼働する高性能電子機器を作りたい。 原子・分子の配置を制御し、固体の性質を自在にデザインしたい。 レーザービームや反物質ビームで、固体、分子、原子構造を解明したい。 	半導体・磁性体などの電子状態、トランジスタや太陽電池などの動作原理、有機・無機電子デバイス、ナノテクノロジーによるデバイス作製、パワー/グリーンエレクトロニクス など
物性工学 (新材料! 科学を拓き未来を創る)	<ul style="list-style-type: none"> 超伝導素子や半導体メモリを開発し、エレクトロニクスを発展させたい。 電力不足の解消のために、新しいタイプの太陽電池やLEDなどの光機能素子を創成したい。 医療用金属、形状記憶合金、ナノ金属、原子細線など、次世代金属材料を実用化したい。 地球環境問題の解決に向けて、自然に優しいセラミックスや有機素子を創り出したい。 コンピュータ計算を用いて、役立つ人工物質を設計したい。 量子ビットを設計・制御して、量子コンピューターを実現したい。 	超伝導現象の原理とその応用、物質内の原子・分子の配列状態、金属・半導体・セラミックスの特性、ナノ構造物質の性質、無機・有機材料の合成法、物質の性質の理論的な取り扱い など
物質・分子 (新しい物質で新しい時代を)	<ul style="list-style-type: none"> 誘電性ポリマーや有機磁性体のような新規な有機材料を開発したい。 原子や分子について理論的に研究したい。 環境やエネルギーの問題解決に貢献する触媒を開発したい。 ナノ粒子を利用した高純度、高活性な薬剤合成法を開発したい。 生体内の化学物質を高感度に検出するバイオセンサーを開発したい。 再生医療やがんの治療に関わる研究を行いたい。 太陽光のエネルギーを変換する植物の光合成について学びたい。 	有機/無機化学、物理化学、化学合成法、触媒/表面反応、バイオケミストリー、バイオテクノロジー など

応用理工学類ホームページ・パンフレット

- より詳しい情報は応用理工学類ホームページをご覧ください。
<https://www.oyoriko.tsukuba.ac.jp/>
- パンフレットの閲覧・ダウンロードも学類ホームページから可能です。
 また、テレメールによるパンフレット請求もできます。
 (p.159 資料請求番号は 546340)



専門として学べる内容

応用理工学類の理念は、特定の分野に直結した応用ではなく、理学と工学を広く融合させることで、より複雑化・難題化する社会の要求に“応えて用いる”ことのできる工学力を養成することです。そのために、カリキュラムとして筑波大学の他学類や他大学の理料系学部比べて多岐の学問にわたる科目が必修となっているのが特長です。1,2年では自然科学の基礎的な科目として数学、物理学、化学、生物学とともに、工学への応用のための導入科目を学びます。1,2年次に十分に基礎力を培い将来の夢や希望がより明確になった時点で次なるステップとして、3年進級時に4つの主専攻（応用物理、電子・量子、物性工学、物質・分子工学）に分かれて専門性を高めます（どのようなことが各主専攻で学べるかの具体例は前ページの表を参考にしてください）。主専攻に分かれても応用理工学類の理念である分野融合のもと、固体物理学、量子力学、統計力学、化学、生命科学は重要な共通科目と位置付けています。4年進級時にはそれまでの授業主体の学びから、研究室に配属され本格的に研究活動を始めます。応用理工学類を担当する教員の専門分野は、デバイスや計測技術の応用開発から基礎理論、物理から生物、化学分野と大変幅が広がります。これら教員のもとでの卒業研究を通して、工学分野での研究・開発に関する基礎を習得します。

教員からのメッセージ

数理工学系物質工学域 准教授 鈴木 義和



最近では、もくもくと黒煙を吐きながら走るダンプカーやバスを見る機会がめっきり少なくなりました。しかし、一步日本から外にでてみるとこの状況は一変する。日本のように整備の行き届いた車が走っているというのは、どちらかといえばまれである。年季の入った旧式のディーゼル車が大量のモノや人を乗せ、黒煙をまき散らしながら街を行き交う。「…ディーゼル粒子除去フィルターだって？ そんなもの見たこともないよ。」

ここで我々材料研究者は考える。「今よりもっと安く簡単に、いいモノを作ることができれば」と。理系だからといって研究室にこもっているだけでは答えは出ない。インターネットは便利だけれど、その情報には限りがある。足を使って、いろんな人に話を聞き、具体的な解決策を考えていく。このテーマ設定が研究の醍醐味だ。無限の組み合わせの中から、化学や物理の知識を総動員し、新しい材料をイメージしながら、実現可能なプロセスを描き出していく。さあ、実験だ。

世界のさまざまなところで顕在化している環境やエネルギー問題。「新材料」をひっさげて、問題解決に挑んでみよう。

卒業研究

3,4年次

応用物理主専攻
専門科目

電子・量子工学主専攻
専門科目

物性工学主専攻
専門科目

物質・分子工学主専攻
専門科目

専門英語

専門コア科目

固体物理学

量子力学

統計力学

化学

生命科学

1,2年次

専門への導入科目

先端科学・工学概論、分子工学概論など

基礎科目

解析学

線形代数

力学

電磁気学

熱力学

化学

応用理工物理学実験

応用理工化学実験

全学共通科目

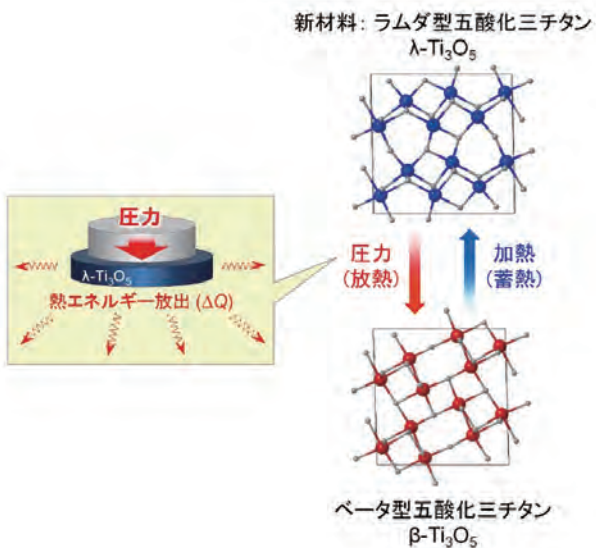
情報、外国語、体育など

学類担当教員の研究紹介

永続的に熱エネルギーを保存する
スイッチング蓄熱材料！
(物質・分子工学専攻
所裕子研究室)

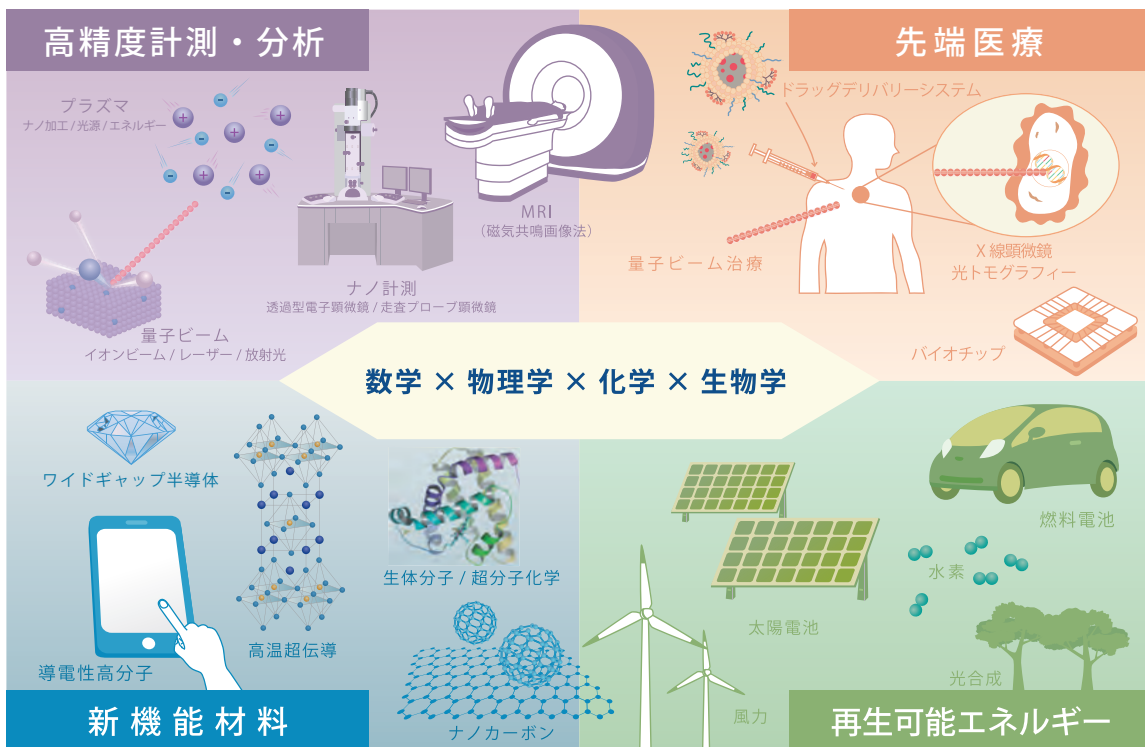


蓄熱材料とは、熱エネルギーを蓄えることのできる材料のことを言います。例えば耐熱材料として使われるレンガやコンクリートなどの顕熱蓄熱材料と、冷却シートとして利用されるエチレングリコールなどの潜熱蓄熱材料があります。このように蓄熱材料は私たちの生活に身近に存在していますが、これまでの蓄熱材料には、蓄えた熱エネルギーを時間とともに放出してしまうという性質がありました。そのため、限られた時間内に熱エネルギーを使う必要がありました。そこで私達の研究グループは、蓄えた熱エネルギーを永続的に保持でき、希望のタイミングでそのエネルギーを取り出すことができるような蓄熱材料を開発できれば、蓄熱を利用した省エネ技術の向上が期待できると考え、材料開発を行いました。開発したラムダ型五酸化三チタンという新しい材料は、蓄えた熱エネルギーを永続的に保存でき、圧力をかけるとエネルギーを放出するという、スイッチング特性をもつ潜熱蓄熱材料です。この技術を実際に応用できれば、熱資源の再利用によるエネルギー循環型社会の形成に役立つと考え、日々研究を行っています。



上図：ラムダ型五酸化三チタンで発見されたスイッチング性能をもつ蓄熱特性。圧力でベータ型五酸化三チタンに相転移し、熱エネルギーを放出する（放熱）。また、加熱により熱エネルギーを蓄えるため（蓄熱）繰り返し利用することが可能である。

応用理工学類が係わる研究分野



資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を履修すれば、次の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

中学校一種免許状（数学、理科）

高等学校一種免許状（数学、理科）

社会教育主事、学芸員、司書教諭

卒業後の進路

目覚ましい科学技術の進歩とともに、工学分野は急速に複雑多様化が進んでいます。最新の科学技術に触れ、より高度な対応能力や経験を身に付けるため、90% 近くの卒業生が大学院に進学しています。応用理工学類に直結した大学院は数理物質科学研究群です。そこでは、連携大学院制度などを通じて、筑波研究学園都市に存在する大学以外の研究機関にて世界レベルの科学技術を学ぶことも可能です。大学院修了生を含めた卒業生のほとんどは、大企業、大学や国立研究所などで研究者や技術者として活躍しています。その具体的な分野としては、電気・通信、半導体、精密機械・計測、鉄鋼・金属、自動車・機械、電力・インフラ、高分子化学、食品・バイオ、官公庁や教員など多方面にわたっています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	先端科学技術を原理から理解するための基盤となる数学的・論理的思考力を有し、物理学・化学などの科学的基礎知識を備えたうえで、それらの先端的工学応用に興味を持つ人材を求めます。	
入学までに学んでおいてほしいこと	数学Ⅲまでの数学および物理基礎・物理、化学基礎・化学の十分な知識・理解力・応用力を有していることが望ましい。また、生物基礎程度の基礎的知識と理解力が備わっているとさらに望ましい。	
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	科学の技術分野への応用やミクロな自然法則に基づく科学・技術の習得に必要とされる数学や理科の学力を中心に判断します。基礎学力と進学後の勉学に対する適性を評価します。
	個別学力検査等（後期日程）	先端技術を科学の視点から本質的に理解する基礎学力を持ち、かつ大学進学後の勉学の目的を明確に示すことができ、物理・化学法則に基づく工学分野へ進む意欲を持つ人材を選抜します。
	推薦入試	高等学校において優秀な成績を修めていることに加え、自然科学の技術分野への応用を理解し、自然法則や物質、材料に関連する事柄について自分の興味や進路を適切に表現できる能力を持ち、かつ考察能力、分析能力を有する人材を選抜します。
	国際バカロレア特別入試	先端科学技術を科学の視点から理解し発展させるために必要な強い意欲と数学や物理に関する基礎学力を有し、これを学ぶに必要な日本語および英語の語学力を有する人材を選抜します。
編入学試験	専門的な工学教育を受容できる大学2年生程度の基礎学力と勉学意欲、工学に対する強い関心と論理的思考力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。	

卒業生からのメッセージ



岸 奈津子さん
(2020年3月
応用理工学類卒業)

応用理工学類では、入学当初から研究室に配属されるまでに幅広い分野の自然科学を学ぶことで研究の土台となる知識だけではなく、ものの見方、考え方を身につけることができます。それによって学生一人ひとりが既成の枠の範囲にとどまらない発想ができる素地ができ、さらに研究室で研究として結実させることができます。私自身、研究室に配属されて1年と経ちませんが、多岐にわたる知識がなければ新しい発想は生まれなかったことを日々実感しております。

また、応用理工学類は研究分野の幅も広く、世界レベルの研究に直に触れることができるため、入学してからも将来の専門分野についてじっくりと考えることができます。

多種多様な分野を取り扱っている応用理工学類には、個性的な学生が多く、日々新たな発見があります。近い将来皆さんと学び会えることを楽しみにしています。

卒業生からのメッセージ



国井 朗光さん
(2025年9月
応用理工学類卒業)

応用理工学類の最大の魅力は、数学・物理・化学・生物といった自然科学の広範な知識を土台に、それを工学へ応用する「理学と工学の融合」の実践にあります。入学後に幅広い学問に触れながら、じっくりと自分の適性を見極めて専門分野を選べるカリキュラムは、納得のいく研究生活や進路選択の第一歩となります。私はこの環境で基礎を固めた上で核融合研究の道を選び、フランスにある国際熱核融合実験炉 ITER でのインターンシップや、国内外での学会発表に挑戦しました。研究を遂行する中で、本学類で養った「原理から本質を見抜く力」と「多角的な視点」が活きていると実感しています。また、学類生同士の仲も非常に良く、勉強以外にも充実した学生生活を送ることができます。ここには、確かな基礎力を世界レベルの技術力へと高めてくれる環境があります。ぜひ皆さんも、この場所で未来を切り拓いてください。

【人材養成目的】 安全で安心であり、快適で豊か、かつ持続可能な人間生活を工学面から支え牽引できる人材、すなわち、1. 広い分野に応用できる基礎能力、2. 広い視野を持った仕事の遂行能力、3. 社会人・職業人としての人間基本力を身につけた技術者・研究者を養成します。

カリキュラム

「工学システム」は工学の新たに確立された学問体系です。工学システム学類では、急速に細分化が進み専門化されすぎた工学を、新しい観点から整理し系統立てて教育することにより、工学の様々な問題を解決できる独創的な人材を育成することを目的としています。このため、数学や物理といった工学全体の基礎を広く学ぶとともに、計算機

の利用技術、情報処理技術を修得し、さらに新しい工学を作り出すための系統的（系統的）方法論と手法を学びます。また、高度な発展を遂げてきた諸技術の要点を把握し、それらの例を通じて系統的な考え方を理解し、まとまった機能を持つシステムの設計や実現を体験する中で、高度な工学的独創性を磨いていくことを目指します。

主専攻	学べること	主な専門科目	専門基礎科目
知的・機能 工学システム	人に優しい、高度に知的・機能化された総合的なシステムの構築手法を学ぶことによって、安心と安全、快適さと豊かさをあわせ持った持続可能な社会を工学面から支え、牽引できる人材の育成を目指しています。数学・物理学・コンピュータに関する専門基礎科目を学んで、工学的な諸問題を分析できる基礎能力を身に付けた後、様々な専門科目の学修を通じて、科学技術と社会の関連を理解し、新たな技術を企画し、システムを設計できる能力を涵養していきます。卒業研究では、コミュニケーション、エンタテインメント、バーチャルリアリティ、拡張現実感、ソフトコンピューティング、システムデザイン、知的情報処理、人工知能、スマートセンシング、システム制御、ロボティクス、医療福祉、ヒューマンインタフェースなどに関する先端的なテーマに取り組み、研究課題の具体的な解決策を考案し、計画的に研究を進める能力を高めます。	プログラミング序論C・D、線形システム制御、メカトロニクス機構解析、コンピュータとネットワーク、数値解析、知的情報処理、デジタル信号処理、システム最適化、ヒューマンインタフェース、人工知能、情報理論、システムダイナミクス、通信工学、データ構造とアルゴリズム、パターン認識、応用プログラミング習 A・B、メカトロニクス機能要素概論、ロボット工学、知的・機能工学システム実験など	数学リテラシー 微積分 線形代数 力学 電磁気学 複素解析 常微分方程式 線形代数総論 解析学総論 力学総論 電磁気学総論 材料力学基礎 流体力学基礎 熱力学基礎 プログラミング序論 A・B 工学システム原論
エネルギー・メカニクス	エネルギー・メカニクス主専攻では、工学システム学類が目標とする技術者像を念頭に置き、特に力学、電磁気学、熱力学、化学工学などの自然現象に対する知識に立脚した、横断的な幅の広い工学教育を行います。社会のエネルギーシステムやインフラシステムに代表されるような基盤的システムの設計や維持、さらには、快適さと豊かさをあわせ持った未来社会の構築を目標とし、発展的に学ぶ「材料力学」、「流体力学」、「熱工学」、「構造力学」などの力学系科目、および「電磁気学」などの電磁気系科目を基盤として、実物を対象とした実験系科目とともにコンピュータを用いたシミュレーション技術も同時に学んでいきます。卒業研究では、環境・エネルギーシステム、マルチスケール固体材料工学、宇宙開発工学、ディザスタ制御などを横断的に研究する各研究室に配属され、深く掘り下げた専門的工学知識を学びます。	電気回路、計測工学、確率統計、材料学基礎、応用数学、機械設計、フィードバック制御、信頼性工学、専門英語、専門英語演習、工学システム基礎実験、工学者のための倫理、卒業研究	材料力学、流体力学、熱力学、数値計算法、構造力学、振動工学、流体工学、複合材料学、伝熱工学、土質力学、防災工学、水環境論、電磁気学、パワーエレクトロニクス、エネルギー機器学、設計計画論、建築環境工学、建築設計製図、電力工学、燃焼工学、エネルギー・メカニクス専門実験、エネルギー・メカニクス応用実験など

令和3年度から、知的工学システム主専攻と機能工学システム主専攻、環境開発工学主専攻とエネルギー工学主専攻がそれぞれ統合され、知的・機能工学システム主専攻、エネルギー・メカニクス主専攻となりました。

工学システム学類パンフレットの請求方法

- パンフレット等は、学類 Web ページからダウンロード可能です。
<https://www.esys.tsukuba.ac.jp>
- テレメールによる請求もできます (p.159 資料請求番号は541440)

工学システム学類のキャリアパス



主な就職先 (学類卒業及び大学院修了後の就職先)

日立製作所、ファナック、三菱電機、トヨタ自動車、本田技研、キヤノン、デンソー、IHI、リコー、小松製作所、富士重工業、オムロン、川崎重工、三井造船、中部電力、J-Power、日産自動車、NTTデータ、スズキ、セイコーエプソン、パナソニック、パイオニア、富士フイルム、ニコン、大林組、豊田自動織機、ソニーなど

大学院



約85%の学生が
大学院に進学

工学システム学類

知的・機能工学システム主専攻

エネルギー・メカニクス主専攻

人工知能 通信 電気電子 制御・システム ロボット 機械 建築 土木 航空宇宙 リスク 材料 エネルギー

4年次

卒業研究, 工学者のための倫理など

3年次

知的・機能工学システム実験

エネルギー・メカニクス専門実験/応用実験

人工知能, 知的情報処理, ロボット工学, 通信工学など

構造力学, 流体力学, 複合材料学, 伝熱工学, 電力工学など

2年次

工学システム基礎実験

プログラミング序論, 機械設計, 電気回路, 材料力学, 流体力学, 熱力学, 振動工学, 数値計算法, エネルギー工学のための物理化学など

1年次

数学科目 (数学リテラシー, 線形代数, 微積分), 物理科目 (力学, 電磁気学) など

専門として学べる内容

教育内容と2つの主専攻分野

工学システム学類のカリキュラムは、4年間を通じて一般的な科目と専門的な科目とを融合的に学べるように配慮されています。このため1年次からレベルに応じた専門的な学問に触れることができます。2年次後半から、「知的・機能工学システム」、「エネルギー・メカニクス」の2つの主専攻分野に分かれますが、学生本人の希望により他の主専攻、他学群・学類の講義も受けることができる柔軟な教育体制の中で深さと幅広さの両方を追求できるようになっています。

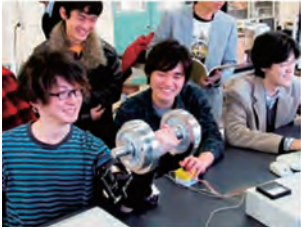
特徴

工学システム学類は、機械工学、情報工学、電気電子工学、建築学、土木工学、システム工学、原子力工学、エネルギー工学、環境工学、ロボット工学、航空宇宙工学、リスク工学、化学工学など非常に広範囲な分野を専門とする教員を擁しています。これは一般的な大学工学部の大半の学科を網羅する守備範囲の広さともいえるでしょう。工学システム学類では、担当教員がこのように広い分野にまたがる集団をなすことを生かし、それらをできるだけ横断的に融合した教育プログラムを用意しています。この教育プログラムによって様々な工学分野の壁を超えた広い知識を習得できます。広い視野を持ち、斬新で卓越したアイデアを創造できる人材の育成を目指しています。

卒業後の進路

卒業生は、将来の先端的な分野で活躍することが期待されています。毎年卒業生は約140名ですが、卒業後すぐに就職する学生がいる一方、120名余りが大学院に進学しその修了後に就職します。「知的・機能工学システム主専攻」の卒業生の主な就職先は、電気・電子、情報、機械、通信、サービス等の企業や官公庁です。また、「エネルギー・メカニクス主専攻」の卒業生は、上記の企業や官公庁に加えて電力、航空宇宙、重工業、建設、材料分野等の企業へも就職先が広がっています。

特色のある授業や研究



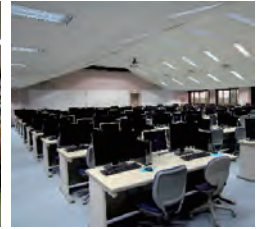
人の上腕の運動特性計測と、人と協調して働くシステムの設計・製作・実験・評価などを行い、サイバニクス技術について学びます。



ワンチップマイコン、超音波距離センサ、磁気センサ等を搭載して自律飛行する飛行船を設計・製作します。



3Dプリンタなどのデジタル工作機械を利用し、プロトタイピングを実践できるデジタルファブリケーションルーム、自学自習に利用することができる計算機室やラウンジが整備されています。ラウンジには飲み物と軽食の自動販売機が設置されています。



世界最大級のVR実験空間 LargeSpace



鉄道車両のブレーキ制御



水中バーチャルリアリティ



任意立体音響提示



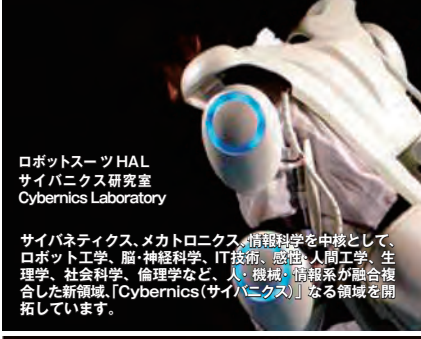
リアルタイム自由視点画像撮影装置



エンタテインメントコンピューティング



3次元立体ディスプレイ

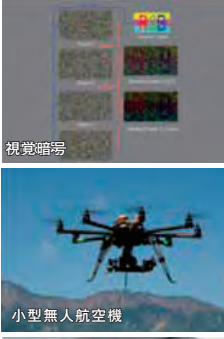


ロボテスツHAL
サイバニクス研究室
Cybernetics Laboratory

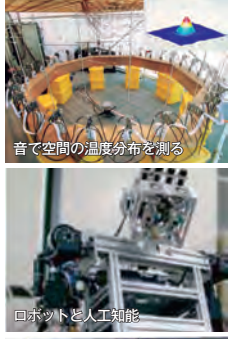
サイバニクス、メカトロニクス、情報科学を中核として、ロボット工学、脳・神経科学、IT技術、感性・人間工学、生理学、社会科学、倫理学など、人・機械・情報系が融合統合した新領域、「Cybernetics(サイバニクス)」なる領域を開拓しています。



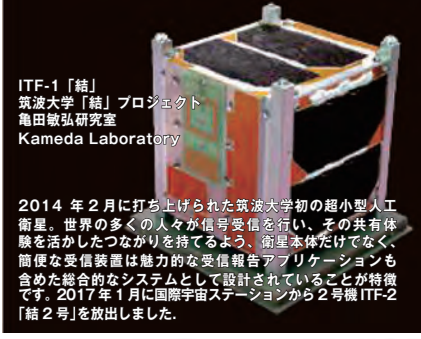
遠隔操作ロボット



視覚暗号

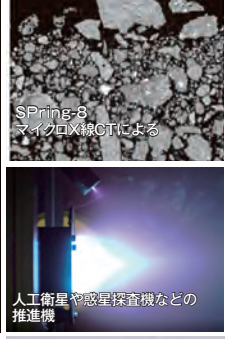


音で空間の温度分布を測る

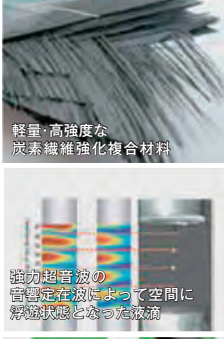


ITF-1「結」プロジェクト
亀田敏弘研究室
Kameda Laboratory

2014年2月に打ち上げられた筑波大学初の超小型人工衛星。世界の多くの人々が信号受信を行い、その共有体験を活かしたつながりを持つよう、衛星本体だけでなく、簡便な受信装置は魅力的な受信報告アプリケーションも含めた総合的なシステムとして設計されていることが特徴です。2017年1月に国際宇宙ステーションから2号機ITF-2「結2号」を放出しました。



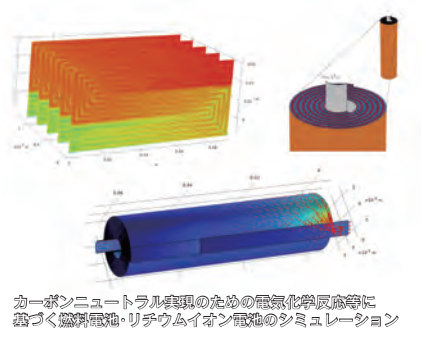
SPring-8
マイクロX線CTによる



軽量・高強度な
炭素繊維強化複合材料



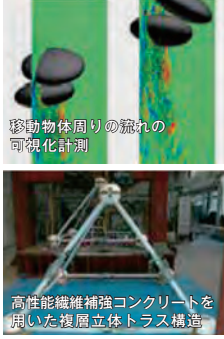
防災・減災のための
避難シミュレーション



カーボンニュートラル実現のための電気化学反応等に
基づく燃料電池・リチウムイオン電池のシミュレーション



2021年熱海土流の数値解析



強力超音波の
音響定在波によって空間に
凝縮状態となった液滴
移動物体周りの流れの
可視化計測



超音波
強力超音波でガンを
焼く治療の医工学
ガン



海岸長食のレーザ観測



高性能繊維補強コンクリートを用いた複層立体トラス構造



実大構造耐震実験フレーム

卒業生からのメッセージ

仲田 琉馬 (なかたり りゅうま)

2025年度 知的・機能工学システム主専攻卒業

工学システム学類の魅力は、単一の専門に縛られず、物事をシステムとして俯瞰する視点が得られることです。私はロボティクスから情報処理、人間工学まで幅広く触れる中で、個々の技術をどう組み合わせれば社会の役に立つのかという、工学の本質を学ぶことができました。



2年次から主専攻に分かれるカリキュラムのおかげで、基礎を固めた上で納得感を持って自分の専門を決定でき、現在は脳波の研究に没頭しています。自分の可能性を狭めず、工学システム学類で新しい自分を見つけてみませんか。

森 和佳菜 (もりわかかな)

2025年度 エネルギー・メカニクス主専攻卒業

工学システム学類の魅力はインフラ・エネルギー・AIなどの工学のあらゆる分野を学べるところです。幅広い分野について学んだあとに主専攻を選択するので、自分が本当に興味のある分野を学ぶことができます。異なる主専攻の授業も受講でき、私はエネルギー・メカニクス主専攻で

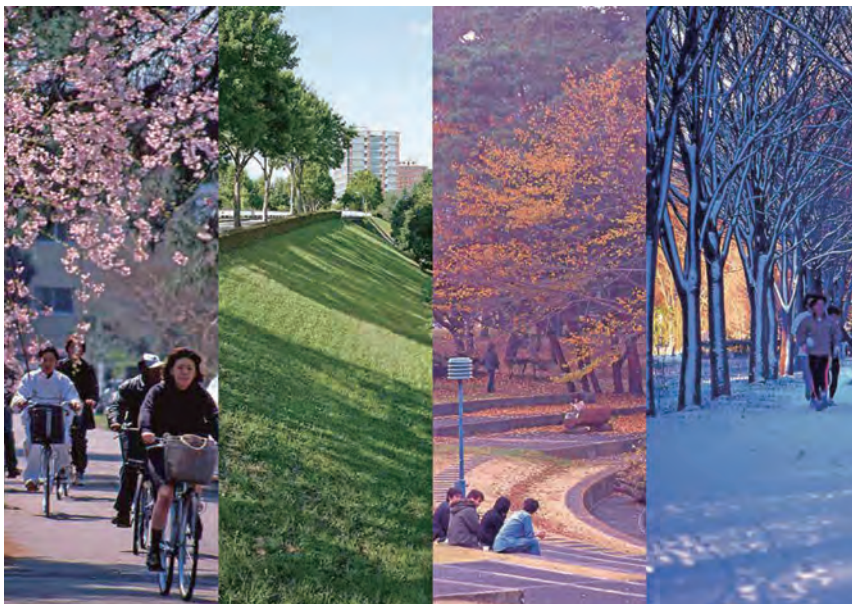


土木・エネルギーについて勉強しながら、知的・機能工学システム主専攻の授業で苦手意識のあったプログラミングの面白さに気づくことができました。私たちの日常生活を支えている工学について学び、充実した大学生活を送りましょう！

入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)

求める人材	工学システム学類の入学者には以下のことを求めます： (1) 工学系に必要な基礎学力とセンスがあること。 (2) 工学に対する好奇心と学習意欲に溢れていること。 (3) 工学を社会に役立てようという明確な目的意識があること。 (4) 優れた思考力、判断力、表現力とコミュニケーション能力を身につけていること。	
入学までに学んでおいてほしいこと	数学Ⅲと物理基礎・物理の内容および基礎的な英語能力を身につけていること。	
入学者選抜方針	個別学力検査等 (前期日程)	自然科学、数学における基本的な概念や原理・法則への理解の深さ、事象を自然科学的に考察して理解するとともに数学的に処理する能力の高さを評価します。
	個別学力検査等 (後期日程)	基礎学力の評価に加えて、工学的システムに対する関心の高さと、自然科学や数学における基本的な概念の理解の深さ、並びに、勉学への意欲を評価します。
	推薦入試	高等学校在学中における、授業科目の学習と生徒会やスポーツなどの課外活動への取り組みの両立を評価するとともに、数学など工学系に必要な基礎学力と科学的思考姿勢と工学センス、並びに、思考力、判断力、コミュニケーション能力などを評価します。
	国際バカロレア特別入試	自然科学や数学の基礎学力に加えて、主体的に学び考える力およびコミュニケーション能力、工学を積極的に学ぶ強い学習意欲を評価します。
	外国学校経験者特別入試 (第1種)	工学に対する関心や理解力、日本語能力に加え、入学後の学修に必要な基礎学力を総合的に評価します。
編入学試験	専門的な工学教育を受容できる基礎学力と勉学意欲、工学に対する強い関心と論理的思考力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。	

その他、総合選抜入試で入学後、2年次より工学システム学類に移行することが可能です。この場合、1年次の授業は上記入試合格者とほぼ同じものとなります。



【人材養成目的】 人間行動が複雑に絡み合う社会的諸問題を工学的・実践的・戦略的に分析するために必要な文理融合型思考能力とデータ分析・活用能力を持ち、総合的な問題解決のためのシステムを設計できる人材を養成します。



“つくばの社工”：筑波大学 理工学群 社会工学類

現代社会が直面する複雑・多様な諸問題は、もはや伝統的な学問の個別領域で単独に解決することが困難となっています。そこで“つくばの社工”では、社会・経済（社会経済システム専攻）、企業・経営（経営工学専攻）、都市・

地域（都市計画専攻）に関する社会問題に対して、そのメカニズムを科学的・客観的に理解し、新たなよりよい社会システムを提案できる未来構想人材の育成を行っています。

主専攻	学びたいこと	学べること
社会経済システム	<ul style="list-style-type: none"> ☆社会・経済がどのような制度や慣習に基づいているかを知りたい。 ☆社会・経済問題を解決する制度設計のあり方を提示できるようになりたい。 ☆制度の中で人々がどのような行動をするのか、自発的に協調できるのかを追究したい。 	<p>現代社会の理解に必須のミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学を基盤として、経済・金融データの分析（マクロ計量分析、計量時系列分析など）、現代な社会経済のあり方（公共経済学、国際金融論など）、人間の意思決定・戦略行動（ゲーム論、実証ミクロ経済学など）を幅広く学べます。</p>
経営工学	<ul style="list-style-type: none"> ☆経営問題の原因を科学的に特定し、解決策を提示できるようになりたい。 ☆世界で戦える経営技術（数学力×IT力×現場力）を身につけたい。 ☆顧客と企業が互いにより Win-Win になる姿を追究したい。 	<p>数学力（数理最適化法、応用確率論など）、IT力（情報ネットワーク、データ解析など）、現場力（経営学、ファイナンスなど）を身につけ、それらを駆使して経営問題の発見から解決までの一連のプロセスを実行できる人材を育てます。</p>
都市計画	<ul style="list-style-type: none"> ☆都市・地域の諸問題の原因と構造を科学的に特定したい。 ☆住み良い快適な都市のデザインや計画を提案できるようになりたい。 ☆地域の活性化に貢献できるようになりたい。 ☆世界中の都市について知りたい。 	<p>「都市計画の歴史」等で都市の成り立ちや蓄積されてきた文化を知り、「現代まちづくり論」等で現代の都市における各種の問題とその要因の理解を深め、「都市計画マスタープラン演習」等で将来的に都市計画やまちづくりの面から解決する実践力を身につけます。</p>

社会工学類パンフレットの請求方法

- パンフレット等は、学類ウェブサイトからダウンロード可能です。
<https://www.sk.tsukuba.ac.jp/College/>
- ご興味のある方は、インターネットで“社会工学類”を検索してください。



学類長からのメッセージ



より良い世界を創造する人材に 社会工学類長 村上 暁信

いま私たちが生きている時代は、「VUCAの時代」と呼ばれています。将来を正確に見通すことが困難で、変動性 (Volatility)、不確実性 (Uncertainty)、複雑性 (Complexity)、曖昧性 (Ambiguity) が入り混じる

社会です。さらに、私たちは「人新世 (Anthropocene)」と呼ばれる時代に足を踏み入れています。人間活動が地球環境に決定的な影響を与える時代です。気候変動、生物多様性の喪失、資源・エネルギー問題、格差の拡大——こうした課題は、もはや遠い未来の話ではなく、私たちの日常と直結する現実となっています。社会は、自然環境、経済、技術、政治、文化といった多様な要素が絡み合う巨大で複雑なシステムです。その一部が変われば、他の部分にも波及します。

このように先行きが見えない時代だからこそ、社会や世界をよりよい方向へと少しでも導いていく人材が強く求められています。社会工学は、そのための学問です。複雑な社会現象を客

観的に分析し、データや理論に基づいて課題を構造的に理解し、よりよい解決策を構想する。そして、それを他者と共有し、合意形成を図りながら実行に移していく。そこには、論理的に考える力と、他者と誠実に対話するコミュニケーション能力の双方が不可欠です。これらはまさに、社会工学類がデグリーポリシーに掲げている資質・能力です。皆さんはこれから卒業までの間で、経済、経営、都市、政策、データ分析など幅広い領域を学びながら、論理的思考力と表現力、そして社会を俯瞰する視野を磨いていきます。その一つひとつの学びが、未来に向けた確かな力となります。不確実な時代において、確かなものがあるとすれば、それは「自ら考え、学び続ける力」です。皆さんが社会工学類での学びを通して、自らの専門性と志を育み、卒業時には世界をよりよくすることに具体的に貢献できる人材へと成長していることを、私は心から楽しみにしています。筑波大学社会工学類で過ごす時間が、皆さんにとって挑戦と発見に満ちた実りあるものになることを願っています。ともに学び、ともに考え、ともに未来を構想していきましょう。

“つくばの社工”の1年次

1年次は主として、「共通科目」および「専門基礎科目」を履修します。共通科目は、外国語、情報、体育など、大学での学修で必要とされる基礎的能力を養成する科目です。専門基礎科目は社会工学類の専門教育の基礎となる科目で、「数学関連科目」、「プログラミング関連科目」、「社工3主専攻の導入的科目」から構成されます。数学関連科目では数学リテラシー、線形代数、微積分、統計学を学びます。プログラミング関連科目では、Python 言語を用いてプログラミングやデータ分析の基礎を学び、人工知能・ビッグデータの時代を見据えた基本スキルを磨きます。社工3主専攻の導入的科目は、専門科目への入門的な性格を持ちます。経済学の数理、経済学の実証、会計と経営、社会と最適化、都市計画入門、都市数理の6科目が用意されています。

“つくばの社工”の2年次以降

2年次から学生は社会工学を本格的に学びます。各学生は、1年次の学修をふまえ、2年次の春学期終了時点で自由に主専攻を選択できます。その後も他の主専攻を副専攻とし、より広い専門性を習得することもできます。また、

他の主専攻の教員から研究指導を受けることも可能です。この自由な教育研究環境が“つくばの社工”ならではの大きな特徴です。2年次には社会工学演習と社会工学英語を履修し、社会工学を学ぶ上で必要な知識とスキルを習得します。そして、各学生の希望する専門科目を学びます。3年次と4年次の学生には、より高度な専門科目を学修できるようにカリキュラムを工夫しています。

“つくばの社工”では、各主専攻の専門科目をエリアという科目群に分けています。具体的には、社会経済システム主専攻には「計量分析システム」「公共システム」「戦略行動システム」の3エリアが、経営工学主専攻には「マネジメント」「情報技術」「数理工学モデル化」の3エリアが、そして都市計画主専攻には「環境とまちづくり」「都市構造・社会基盤」「地域科学」の3エリアがあります。幅広く専門領域を学修し、総合的・学際的な問題解決能力を醸成するために、所属する主専攻だけでなく他の2主専攻の専門科目を履修することを卒業要件としています。

総合学域群から社会工学類へ移行する学生は、2年次春学期の必修科目「社会工学演習」を通じて社会工学類に馴染み、主専攻選択が不安なく行えるように配慮しています。

卒業生からのメッセージ

経済学部との違い

社会経済システム主専攻と通常の経済学部の大きな違いは、理工系のカリキュラムの上で社会経済を学ぶことができる点です。学生は、理工学群共通カリキュラムの数学科目を学び、情報学群と共同開講されるプログラミングの教育を受けます。さらに、データ分析に関する講義科目・演習科目の履修を通じて数理的専門性を高めた上で、経済学に関する専門性を身につけることができます。卒業研究では、少人数の研究室に所属し、数理的手法・アプローチを重視した本格的な研究活動に、教員の手厚い指導の下で取り組むことが可能です。

経営学部や経営学科との違い

経営工学主専攻では、経営学、ファイナンス、マーケティングといった経営学部や経営学科でも学ぶ科目の他に、「IT力」としてのデータ解析や情報技術、「数学力」としての数理解析や数理統計学などを学びます。「開かれた大学」として、産業技術総合研究所やアクセンチュアなどと協力した教育研究を行っていることも特徴です。経営工学主専攻の多くの研究室では、データサイエンス/AIに関する基盤的・実装的研究を行っており、この点も経営学部や経営学科との大きな違いとなっています。

建築学科・土木工学科との違い

都市計画主専攻が建築学科・土木工学科と異なるのは、都市・地域の諸問題について、これらを分析し解決するための社会的・科学的・計量的アプローチを重視している点にあります。そのために演習では、身近な問題を取り上げ、実地調査などを踏まえ、対策を立案し表現する能力の養成に主眼が置かれています。つまり、従来のハード重視の建築学科・土木工学科に比べ、スマートシティ等の政策も含めたソフト面が重視された内容となっています。もちろん、建築士の受験資格を得るためのカリキュラムも用意されています。

“つくばの社工”の学際性強化

“つくばの社工”の学生は、他学類で開設されている全ての授業科目を「関連科目」として履修できます。筑波大学では、様々な分野の学生が各学類の専門の基礎を学ぶように、各学類・専門学群から専門基礎科目等の一部が「専門導入科目」として提供されています。専門導入科目は、各学生の幅広い履修が可能になるように大学全体で時間割が調整されています。多様な分野の授業を履修することで、自分の専門分野の位置づけを理解するとともに、幅広い視野を育てて下さい。



舘井 知
(2015年卒業)
社会経済システム主専攻

筑波大学大学院
システム情報工学研究科修了
博士(社会工学)
筑波大学システム情報系社会学域助教

“つくばの社工”の魅力は、社会現象を鮮やかに説く数理的アプローチを学べることに加え、社会の問題解決を本気で願い奮闘する同世代や先生方が集まっていることだと思います。複雑で変化の早い実社会の問題解決をするためには、最先端の科学的手法を学び続けることと、多様な仲間と協働して取り組むことの両方が必要です。時代の変化と共に、人と社会に寄り添い、様々な分野の手法を統合・進化させてきた社工のアプローチを同志と共に学ぶことは、よりよい世界を作り、前向きに生き抜く礎となると感じています。



流王 智子
(2007年卒業)
経営工学主専攻

筑波大学大学院
システム情報工学研究科修了
鉄道総合研究所勤務

“つくばの社工”では、問題に直面したときに、頭の中だけでなく、問題解決の裏づけとなる数学的な根拠の部分にまで踏み込んだ学習をします。この数学的根拠は非常に重要で、自分の考えを受け入れてもらうには必要不可欠です。その上で今のような問題が社会で起きているのかを自ら発見し、何が原因となっていて、自分はその解決のために何ができるのか考える能力が重要です。この能力を養う機会が“つくばの社工”には多くあると思います。



嶋田 章
(2010年卒業)
都市計画主専攻

筑波大学大学院
システム情報工学研究科修了
環境省勤務

“つくばの社工”で都市計画を学んだことは、私にとって得難い経験です。都市計画主専攻では、フィールドワークやアンケートなどの調査と、モデル化、シミュレーションなどの数理的な手法とを組み合わせ、都市・地域の問題解決を考えます。2～3年次の演習では、実在する地域・街区を題材に、問題解決のための提案や設計を考え、根拠とともにプレゼンテーションし、各分野でご活躍の先生方からアドバイスをいただきます。現場に足を運んで体感すること、また合理的な根拠とともに提案を示すことの重要性を学んだ経験は、行政官としての仕事にも非常に役立っています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	社会・経済・企業・経営、都市・地域において生起する多種多様な社会問題を認識し対処するために必要な学際的思考力を修得し、国際社会に貢献できることを希望する人材。	
入学までに学んでおいてほしいこと	社会・経済現象、企業経営、都市計画上の問題に対して高い関心を有し、かつ論理的・数理的な思考ができること。	
個別学力検査等（前期日程）	数学と外国語の基礎学力とともに、高等学校における学業の理解度を評価して選抜します。	
個別学力検査等（後期日程）	高等学校における学習内容の理解度とともに、現代社会の課題や動きについての関心度、論理的・数理的的分析力、自分の言葉で表現する能力を評価して選抜します。	
推薦入試	高等学校における学習習慣と、入学後の学習に必要な基礎学力を備えた志望者の中から、問題意識の高い人材を選抜します。現代社会の課題や動きについての関心度、論理的・数理的的分析力、自分の言葉で表現する能力を評価します。	
入学者選抜方針	国際バカロレア特別入試	数学の基礎学力を有し、国際的な経験を通して広い視野を持ち、一連の学習活動を主体的に行うことのできる明確な目的意識と勉学意欲を持つ人材を選抜します。
外国学校経験者特別入試（第1種）	広い視野を持ち、入学後の学習に必要な基礎学力・日本語能力を備えた志望者の中から、問題意識の高い人材を選抜します。社会の出来事や課題についての関心度、論理的・数理的的分析力、表現能力を総合的に評価します。	
外国学校経験者特別入試（第2種）	高等学校における学習習慣と、入学後の学習に必要な基礎学力を備えた志望者の中から、問題意識の高い人材を選抜します。現代社会の課題や動きについての関心度、論理的・数理的的分析力、自分の言葉で表現する能力を評価します。	
編入学試験	社会学における専門的知識を修得できる基礎学力と勉学意欲、社会学に対する強い関心と論理的・数理的思考力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。	



都市計画関連の演習では、実在の敷地を課題地とした集合住宅設計や、自治体を対象としたマスタープラン策定、環境に配慮したまちづくりの方法を学びます。

卒業後の進路

卒業生の1/3が就職、2/3が大学院に進学しています。大学院修了者も含め、企業・団体、公務員、大学教員など、国内外で広く活躍しています。

社会学類

【他大学大学院】 大阪大学、京都大学、東京大学、東京工業大学（現在の東京科学大学）、一橋大学、スタンフォード大学 ほか

【筑波大学大学院】 博士前期課程 システム情報工学研究群 ほか

【筑波大学大学院】 博士後期課程 システム情報工学研究群 ほか

【主な企業・団体】

- 【起業】 カンパイ！ブルーイング、キャッセン大船渡、地域ブランディング研究所、Next Cabinet IWATE
- 【建設・不動産】 NTT都市開発、大林組、鹿島建設、クボタ、清水建設、大成建設、大和ハウス工業、東急不動産、日建設、長谷工コーポレーション、三井不動産住宅リース、三菱地所、UR都市機構
- 【製造】 旭硝子、NEC、花王、京セラ、コマツ、ソニー、東京計器、東芝、トヨタ自動車、日産自動車、パナソニック、日立製作所、プリズトン、本田技研工業、三菱重工、ヤマハ発動機
- 【情報通信】 SCSK、NTTコミュニケーションズ、NTTコムウェア、NTTデータ、NTTドコモ、NTT西日本、NTT東日本、KDDI、ソフトバンク、日鉄ソリューションズ、日本アイ・ピー・エム、ヤフー
- 【流通・商社】 伊藤忠商事、JR西日本、JR東日本、西武鉄道、東急電鉄、豊田通商、阪急電鉄、三井倉庫、三菱商事、ヤマト運輸
- 【金融・保険】 ゴールドマン・サックス証券、信金中央金庫、損害保険ジャパン、第一生命保険、日本政策金融公庫、農林中央金庫、野村證券、みずほフィナンシャルグループ、三井住友銀行、三菱UFJ銀行、ゆうちょ銀行、りそな銀行
- 【専門・技術サービス】 アクセンチュア、NTT研究所、監査法人トーマツ、構造計画研究所、新日本監査法人、帝国データバンク、電通、日本赤十字社、日本総合研究所、野村総合研究所、リクルート
- 【生活関連】 味の素、アマゾンジャパン、資生堂、ディー・エヌ・エー、バンダイ、マツモトキヨシ、ユニクロ、楽天

【公的機関】

全国の都道府県庁・市役所。環境省、経済産業省、国土交通省、財務省などの中央官庁。筑波大学、東京工業大学（現在の東京科学大学）、日本大学、一橋大学、早稲田大学などの教員・研究員。日本財団などの公益財団法人。宇宙航空研究開発機構（JAXA）などの独立行政法人 ほか

主な進路概況（50音順）

【人材養成目的】 急速に変化する情報社会における学問的・社会的課題に主体的に取り組み、新たな価値を創造できる人材の養成を目的とします。現代社会の基盤である情報を的確に収集・分析・理解・表現・活用する能力を涵養し、汎用智に根ざした幅広い視野と、情報科学の高度な専門智を融合させる教育を通じて、情報社会の持続的発展と変革を牽引する創造的・実践的な人材を育成します。

21世紀に入り、世界の先進国は工業化社会から高度情報化社会へ変容を遂げつつあります。そこでは、「物」や「エネルギー」に比べて、「情報」とそれが内包する「知識」が、より大きな価値と役割を担います。知識集約型の情報産業は、既に我が国の産業の中で極めて重要な地位を占めていますが、今後もその重要性はますます増大し、「情報」の

本質を理解し使いこなす人材の必要性も、ますます大きくなっていくに違いありません。「情報」は現代文明を支える科学技術のキーワードです。情報科学類では、社会のあらゆる分野で必要とされる「情報」に関する科学技術を対象にした学問—情報学—を学びます。情報学は、情報そのものについての科学と、コンピュータなどを用いて情報を

科目分類	概要	学べること
共通	1、2年次では、情報科学の全体像の理解、数学の素養、情報科学を支える理論や方法論、情報技術の基礎となるプログラミングやコンピュータの仕組みや構成などを学習します。講義形式の授業のほか、実験・実習をふんだんに取り入れた授業、学生が自ら学習テーマを設定する授業など多彩な科目を用意しています。 3年次では、情報科学の専門的学習の共通基盤となる科目を学習し、4年次では、情報科学類での学習の仕上げとして、研究室に所属して先進的な研究の一端を担う卒業研究を行います。	(1、2年次) 線形代数、微分積分、情報数学、確率論、統計学、論理と形式化、電気回路、情報リテラシー、データサイエンス、プログラミング入門、コンピュータとプログラミング、論理回路演習、論理システム、数値計算法、オブジェクト指向プログラミング、情報特別演習など (3、4年次) Computer Science in English、インターンシップ、専門語学、卒業研究など
ソフトウェアサイエンス分野	自律して動作するロボットが人間の生活空間の中で活動したり、コンピュータが音楽を表情豊かに自動演奏したり、あるいは、ネットワークを通して何千台ものCPUが連携してシミュレーションを行ったり、このような活動の中で現代のコンピュータは複雑な情報を即座に処理しています。自然・社会・人間の脳などにある多種多様な情報をコンピュータで処理するためには、様々な問題を数理的な手法を使ってモデル化し、適切な処理方法を考案してソフトウェアで解決することが必要です。ソフトウェアサイエンス分野の科目では、このような情報処理の基本となる理論とその応用技術を学びます。	数理アルゴリズムとシミュレーション、人工知能、オートマトンと形式言語、プログラミングチャレンジ、システム数理、プログラム言語論、情報線形代数、情報可視化など
情報システム分野	インターネットや携帯電話などの情報通信技術は、短期間に劇的に普及し、ダイナミックに変化を遂げる性質を持っています。しかし、表面的には目まぐるしい変化を遂げているように見える技術も、本質的な原理はそれほど大きく変わるものではありません。情報システム分野の科目では、情報化社会を支える基盤技術としてのオペレーティングシステム、プログラミング言語、データベース、プロセッサ、ネットワーク等を体系的に理解し、更なる発展を担う能力を身につけるための学習を行います。	コンピュータネットワーク、計算機アーキテクチャ、データベース概論、オペレーティングシステム、並列処理アーキテクチャ、VLSI工学、プログラム言語処理、システムプログラム、ソフトウェア工学、情報検索概論、分散システム、電子回路など
知能情報メディア分野	コンピュータに「目・耳・知能・安全を与える」技術を学びます。例えば、コンピュータにどのようにして知識を与えるのか、それを使えばどのような思考や推論が可能となるのか、コンピュータは画像や音声をどのように理解するのか、マルチメディア情報はどのようにデザインされ記憶・伝達されるのか、ネットワークでやりとりされる情報の安全を守るにはどのような工夫が必要かなどについて、演習や実習を交えながら理解を深めます。今後ロボットやコンピュータなどの機械はますます高度化・複雑化していきますが、これらの機械を「安全に、効率よく」かつ「簡単に」使えるようにするための学習を行います。	ヒューマンインタフェース、信号処理、音声聴覚情報処理、自然言語処理、視覚情報科学、情報セキュリティ、画像メディア工学、画像認識工学、機械学習、情報理論など

情報科学類パンフレットの請求方法

- パンフレット等は、学類 Webページからダウンロード可能です。
<https://www.coins.tsukuba.ac.jp/>
- テレメールによる請求もできます。(p.159 資料請求番号 541280)

教員からの一言



町田 文雄

AI、ビッグデータ、IoT など近年目覚ましい発展を遂げている情報技術は私たちの社会、経済、生活に大きな変化をもたらし続けています。今後も AI 技術の発展によってより便利で豊かな社会が実現していくことでしょう。情報科学類の学生はそのような将来の情報社会を支え、未来を創造していく役割を担っていくはずで、情報科学は今や全ての応用分野に関係する分野といっても過言ではありません。情報科学の専門を修得すると共に多様な応用分野に視野を広げる学びの場として、筑波大学の情報科学類はもっとも適した環境と言えるかと思います。

扱う技術を対象にした学問であり、電子工学、通信工学、機械工学などの工学、数学、物理学、生命科学など自然科学、さらには、社会科学・人文科学や医学、芸術など、多様な分野に関連する新しい学問分野です。

専門として学べる内容

情報科学類には、ソフトウェアサイエンス、情報システム、知能情報メディアの3つの分野があります。1・2年次では、共通の基礎的知識や理論及び技術を学び、3・4年次では3つの分野の専門的な科目を学びます。4年次では、選択したテーマを基に研究室に配属され、卒業研究を行います。卒業研究では、ソフトウェア科学、計算機システム、知能情報、情報数理の各分野から提供される多彩な研究テーマを選択できます。

特長

情報科学類は、情報学の基礎となる考え方や技術を学ぶだけでなく、これらを実社会における様々な問題に適用して解決するための思考力と洞察力を養い、情報化社会の中核となる人材を育てることを目指しています。そのために情報科学類では、情報科学の基礎理論、コンピュータを用いた情報処理技術、基礎理論や技術を具体的な問題へ適用する情報システム工学、人にやさしい知能情報技術など、幅広い分野に対する充実したカリキュラムを用意しています。また、講義に加えて、コンピュータを用いた演習や実習を行い、情報学を体験的に学習するように配慮しています。

資格など

卒業要件以外に「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

中学校一種免許状（数学）

高等学校一種免許状（数学、情報）

社会教育主事、学芸員、司書教諭

この他に、以下のような資格を有している卒業生や学類生がいます。

情報処理技術者試験

基本情報技術者

応用情報技術者

ネットワークスペシャリスト

エンベデッドシステムスペシャリスト

情報セキュリティスペシャリスト

Oracle 認定 Java プログラマ

LPIC レベル 1

第一級陸上無線技術士

工事担当者 DD 第 1 種

第 3 種電気主任技術者

技術士補（電気電子）

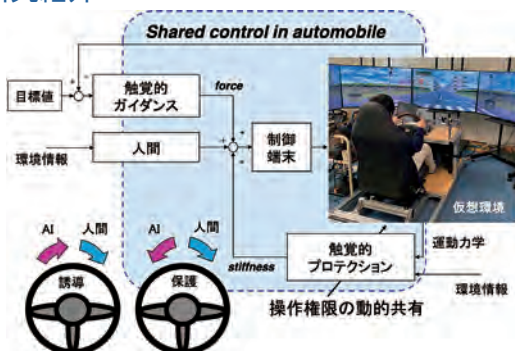
弁理士 など

設備

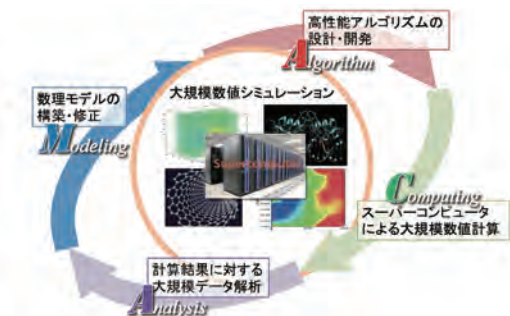


最先端のコンピューティング環境を計算機室やインターネットから24時間利用可能

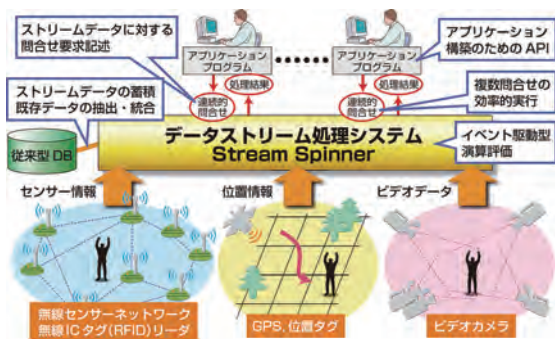
研究紹介



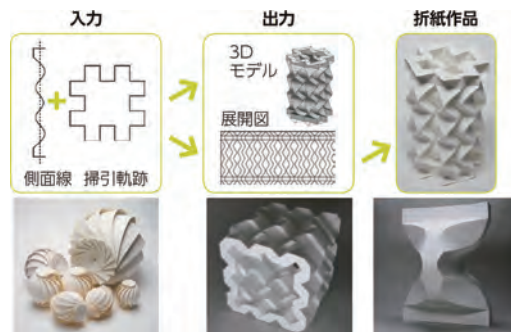
自動運転システムなどのヒューマンマシンシステムの設計とシミュレーション実験によるHMIの評価



大規模数値シミュレーション技術の開発



ユビキタス情報管理とストリーム処理



計算機を用いた立体折紙の設計。1枚の紙から立体的な折紙作品を作ることができる。曲線、曲面も含めることができる。

先輩からのメッセージ



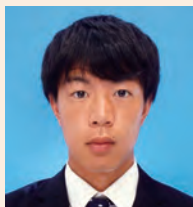
田地 章倫
2022年卒

コンピュータの動作の仕組みに深い関心を抱き、その本質を追求したいという思いから、筑波大学の情報科学類に進学しました。

情報科学類では、情報技術を支える幅広い分野を基礎から応用まで学べる環境が整っており、特に自分の興味を持つ分野を深く掘り下げることができます。例えば、情報特別演習では、研究室に配属される前から先生に個別に指導を受けられるため、早い段階で自分の関心のあるテーマに取り組むことができる点が非常に魅力的だと思います。

また、計算機室や情報科学類ラウンジ、情報科学類のいくつかの学生組織の存在は、同じ志を持つ仲間とアイデアを交換したり、悩みを共有したりする貴重な場となりました。こうした交流を通じて築いた繋がりは、卒業後も私にとって大きな支えとなっています。現代のコンピュータシステムは非常に複雑化しており、一般のユーザーにはその内容の仕組みが見えにくくなっています。

しかし、その土台には長年使われ続けてきた基礎的な技術が今も存在しています。このような基礎的な技術を学ぶことは、新しいアイデアを生み出すための貴重なヒントとなると感じています。



芳賀 慎也
2021年卒

自分が感じる情報科学類の魅力は2点伝えたいと思います。

1つ目は、様々なスキルを持つ人たちと接点を持つことができる点です。自分たちで起業をしてサイトを運営する人たち、体育会系の部活に入り活躍する人たちなど、情報科学類には多様な分野で活躍している人たちがいます。中には大学対抗競技プログラミングの世界大会で上位入賞してしまうような人たちもいます。情報科学類では、このような多種多様なバックグラウンドを持った人たちと同じ環境で学び、時間をともにすることができます。彼らとともに切磋琢磨することで自分のスキルアップを目指したり、知見や考えを共有することでさまざまな価値観を形成したりすることができることは、居住地が大学に近い人が多く、時間を気にすることなく活動することができる筑波大学ならではの点ではないでしょうか。

2つ目は、情報科学を学ぶ上で無理のないカリキュラムが組まれていることです。必要な授業を履修し、学習を進める中で、社会に出ても問題ない程度の知識とスキルをつけることができます。自分は入学当初、自分のパソコンすらろくに扱えない人でしたが、カリキュラムをこなし、専門分野の学習を進めることで学長表彰を頂くことができました。1、2年次に情報科学の一般的な素養を幅広く身につけることができ、3、4年次には、これから研究を進める上で自分で選択した専門的な知識を習得することができます。筑波大学には、ハードウェアやネットワーク、AIや情報セキュリティといった幅広い分野において第一線で活躍する先生方がたくさんいらっしゃいます。その中から自分が興味を持った研究室を選び、専門性を身につけていきたいと思います。

最後に、情報科学類ではたくさんの方々と多くの時間を過ごし、切磋琢磨できる環境が揃っていて、今後社会に出てからもすぐに活躍できるように知識や経験を積むことができます。充実したキャンパスライフをぜひ情報科学類で送りましょう。

卒業研究を行う研究室の選択

卒業研究を行う研究室は、3年次の秋に行う希望調査に基づいて決定します。研究室には定員がありますが、多くの担当教員の中から選択することができるため、学生の希望を反映した研究を行うことができます。

卒業後の進路

情報科学類を卒業した人々は、情報化社会の中核を担う存在として、多方面での活躍が期待されています。近年の卒業生の進路を見ると、約8～9割が大学院に進学し、さらに専門的な研究を深めています。大学院には、2年間の修士(博士前期)課程とそれに続く3年間の博士後期課程があり、修士号や博士号を取得してから、企業や大学、国公立の研究機関、海外などで活躍する道が広がります。

就職する場合、就職先は情報・通信業界だけでなく、電機、自動車などの製造業、金融、マスコミといった幅広い分野にわたります。また、データサイエンスやAI、ハードウェア設計など、情報科学類で学ぶ知識が評価され、医療、エネルギー、航空宇宙、エンターテインメント(ゲーム)、農業機械といった分野の企業でも卒業生が活躍しています。さらに、公務員や高校の数学・情報の教員、中学校の数学教員を目指す道も選べます。情報科学類で学ぶ内容は多岐にわたり、進路の選択幅が幅広いことが特徴です。この柔軟性が、情報科学類の魅力の一つです。

情報科学類で学ぶことで、進路の可能性は大きく広がります。卒業後に何を指すか、自分の興味や夢に合わせて選択できる環境が整っています。

卒業生の主な進学先、就職先は以下の通りです。

主な就職先(敬称略・順不同)

情報・通信・ソフトウェア・ネットサービス:

NTT コムウェア、NTT データ、NTT ドコモ、日本ユニシス、富士ソフト、サイバーエージェント、ナビタイムジャパン、日本マイクロソフト、楽天、アマゾンウェブサービスジャパン合同会社、等

電機・エレクトロニクス・ハードウェア:

ソニー、パナソニック、日立製作所、日本電気、富士通、任天堂、オリンパス、TDK、キーエンス、LG 電子、ソニーセミコンダクタソリューションズ、東京エレクトロングループ、等

自動車・機械・製造・エネルギー:

トヨタ自動車、本田技研工業、スズキ、マツダ、東レ、クボタ、日産自動車、等

メディア・ゲーム・クリエイティブ:

NHK、セガ、ディー・エヌ・エー、ドワンゴ、ヤフー、カプコン、コナミ、セガサミーホールディングス、大日本印刷、等

金融・コンサル・商社・サービス:

野村證券、野村総合研究所、日本総研、三菱 UFJ 投信、新生銀行、東京海上日動火災保険、みずほ銀行、第一生命保険、シンプレクス・ホールディングス、フィックスターズ、等

官公庁・自治体・公共インフラ・交通:

陸上自衛隊、航空自衛隊、会計検査院、茨城県庁、新潟県庁、岐阜県庁、桜川市役所、栃木市役所、古河市役所、台東区役所、城里町役場、JR 東日本、日本郵政、等

その他・複合領域:

リクルート、良品計画、ノジマ、GMO インターネットグループ、等

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

求める人材	情報技術や自然科学・工学に強い好奇心と探究心を持ち、その学習のために必要な基礎学力を有し、修得した知識を創造的に活用・発展させて新しい課題に積極的に取り組み、情報化社会の中核を担う意欲のある人材を求めます。	
入学までに学んでおいてほしいこと	情報科学や情報技術についての基本的な理解力を身につけていることが望ましい。数学的な知識も備えていることが望ましい。	
入学者選抜方針	個別学力検査等(前期日程)	数学、理科、外国語の基礎学力に加えて、高等学校等における主体性をもった活動の状況を評価します。
	推薦入試	高等学校における学習状況と課外活動への取り組みとともに、情報科学や情報技術への関心、新しい技術を創造する意欲、自己表現能力、論理的に思考しその結果を的確に説明するコミュニケーション能力等を総合的に評価します。
	AC入試	情報科学や情報技術、または関連する分野に強い関心を持ち、自ら研究課題と明確な目標を設定して問題の分析や解決を創造的に図る意欲と能力を有し、その過程と結果を論理的に説明することのできる人材を選抜します。
	国際科学オリンピック特別入試	日本情報オリンピック本選でAランクとなった者を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ能力を評価します。
	国際バカロレア特別入試	情報科学や情報技術への関心、新しい技術を創造する意欲、論理的思考能力、語学力を含めたコミュニケーション能力等を総合的に評価します。
	外国学校経験者特別入試(第1種・第2種)	情報科学や情報技術への関心や学習意欲、数学の基礎学力と論理的思考力、日本語及び英語によるコミュニケーション能力等を評価します。
編入学試験*	情報科学や情報技術を学ぶために必要な数学、情報基礎、専門的知識を学ぶために必要な大学2年次修了程度の英語(TOEFL/TOEICスコアによる)の学力を総合的に評価します。	

*情報メディア創成学類との併願が可能です。



【人材養成目的】

ネットワーク情報社会の発展に不可欠な通信を始めとする基盤的技術分野や、Web・映像・音楽など多様な情報コンテンツを流通させ、活用する分野等において、革新的技術や科学的理論を創造的に生み出すことができる人材を養成します。



春日エリアの概観

コンピュータ、ネットワーク、端末装置の進歩と普及により、我々人間を取りまく環境は一変し、高度で豊かなネットワーク情報社会が実現されています。そこでは、例えば、好きな場所で音楽を聞いたり動画を見たり、世界中の人々に対して情報を発信したり、AIを使って情報を調べたり文書を添削してもらったりと、かつては夢のような日常が現実のものとなるとともに、それらの多くが社会生活において欠かせないものとなっています。

このようなネットワーク社会を支え発展させるのに必要

なのは、従来の情報技術者とは一線を画する新しいタイプの情報メディア創成科学に関する技術者、研究者です。つまり、コンピュータ、プログラミング、通信、ネットワーク、画像、音、言語、知識、知能など情報技術全般に対する基礎力を身につけ、幅広い視野と思考能力を持ち、Web・映像・音楽などの多種多様な情報をコンテンツとして扱う技術と、それらを流通させるためのネットワークメディア技術を創成できるような人材です。今後のネットワーク社会のさらなる進化とともに、このような人材の社会的重要性はますます高まっていくことは間違いないありません。

情報メディア創成学類は、このような社会のニーズに応えるため、情報技術全般を基礎として、コンテンツやネットワークメディアに取り組む人材の育成を目指す学類です。

「コンテンツ」、「ネットワークメディア」の二つが、本学類の教育を象徴するキーワードです。「コンテンツ」は中身・内容という意味ですが、音、映像、テキストなどの情報を伝える媒体を元にして構成されるWeb・映像・音楽・ゲームなどのことを指します。また、「ネットワー

科目分類	専門基礎 (1～2年次)	専門科目 (3～4年次)
情報科学・情報技術、および数理科学に関する科目	プログラミング入門、コンピュータリテラシー、プログラミング、コンピュータシステムとOS、データ構造とアルゴリズム、情報理論、パターン認識、画像・映像情報処理、音声・音響学基礎、プログラム言語論、微分積分、線形代数、情報数学、確率と統計、など	音楽・音響情報処理、オートマトンと形式言語、システム数理Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、知識・自然言語処理、ソフトウェア構成、数式処理システム論、など
コンテンツテクノロジーに関する科目	コンテンツ概論、コンテンツ入門、コンテンツ流通基盤概論、情報デザインⅠ、CG基礎、信号とシステム、など	先端技術とメディア表現、情報デザインⅡ、デジタルドキュメント、デジタルコンテンツ表現実習、エンタテインメントコンピューティング演習、情報可視化、実世界指向システム、アドバンスドCG、など
ネットワークメディアテクノロジーに関する科目	情報メディア入門、コンピュータネットワーク、データ工学概論、Webプログラミング、など	マークアップ言語、通信ネットワーク、データベースシステムⅠ・Ⅱ、など
人間の科学、社会、文化に関する科目	情報社会と法制度、知的財産概論、メディア社会学、認知科学、人間計測の方法、など	視覚情報科学、知覚心理学、インタラクションデザイン、Human-Computer Interaction、コンテンツプロデュース論、など

情報メディア創成学類パンフレットの請求方法

- パンフレット等は、学類 Webページからダウンロード可能です。
<https://www.mast.tsukuba.ac.jp/>
- テレメールによる請求もできます。(p.159 資料請求番号 541290)

学生の声



大西 心春
2023年度入学
総合学域群

Q1. 入学の動機

私は大学入学時点で専攻を絞り切らず、実際に複数分野を学んだ上で進路を選択したいと考え、総合学域群に入学しました。1年間さまざまな学問に触れる中で、情報分野の他分野との接点の多さを知り、それを活用することで生まれる可能性の広さに魅力を感じました。加えて、本学類は情報分野を「コンテンツ」という切り口から学べる点も特徴的であり、音楽やデザインなど、自身の「好き」を専門として深められる点にも惹かれました。

Q2. 情報メディア創成学類の魅力

自身の創造力を伸ばせる機会が多いところです。例えば、チームで Web アプリケーションを開発する授業や、制作物を展示会で発表する授業などがあります。実際に手を動かして制作し、人に見てもらふ経験は大きな成長につながりますし、友人の作品に触れることも良い刺激になります。また、プログラミングやデザインといった制作に必要なスキルを基礎から丁寧に学ぶため、初心者でも安心して挑戦できる環境が整っています。



渡辺 耀介
2025年度入学
3年次編入

Q1. 入学の動機

高専在学中に HCI(ヒューマンコンピュータインタラクション)という研究分野を知り、これについて研究したいという理由で編入学を検討し始めました。そのとき、情報メディア創成学類の教員・研究室一覧ページに辿り着き、特に興味のある領域を研究している先生を見つけたことが最も大きな志望動機となりました。また、技術力の高い知人が何人も筑波大学に所属していたこと、総合大学であるため幅広い分野を学べることも魅力でした。

Q2. 情報メディア創成学類の魅力

学類名のとおり、情報技術だけではなく、それを用いてどのような表現を行うか、といった点も併せて学ぶことに魅力を感じています。例えば「ソフトウェア構成」では字句解析やコード生成といったコンパイラの実装を学べます。一方で、「情報デザイン I」では、タイポグラフィやレイアウトといったデザインの基礎を実践的に学べます。このように、コンピュータサイエンスからデザインまで幅広く学べるのが魅力です。

クメディア」とは、インターネット、携帯端末、テレビやラジオの放送などの情報を伝える流通経路全般のことを指します。

そして、確固たる情報技術を基盤として、コンテンツを扱う情報機器や手法に関する技術的な知識や技能、実際に様々なコンテンツを制作、デザイン、評価する技能、ネットワークの仕組みや管理に関する知識や技能、ネットワークの効率的な利用法やネットワークを使ったビジネスのセンスなどを身につけた、ネットワーク社会の中核として活躍できる技術者や研究者を養成します。

専門として学べる内容

コンピュータ、ネットワーク、コンテンツ、メディアの世界がダイナミックに変容している現代社会において、情報メディア技術は、コミュニケーションによる人間の可能性を飛躍的に拡大する推進力です。このような現状を踏まえて、情報メディア創成学類では、コンピュータサイエンスを基礎とする情報メディア技術の総合的な能力を修得し、それを土台にニーズに応じて自由に科目を選べる 1 主専攻でのカリキュラム構成になっています。

1～2 年次では数学、プログラミング、コンピュータリテラシーなどを始めとして、情報メディア技術の基礎となる科目を重点的に学びます。これらと並行して、デジタルコンテンツ表現実習、コンテンツ入門など、優れたコンテンツを評価し創造するセンスを養う科目や、技術を人間の側面から科学的に評価するために欠かせない認知科学などの科目も学べます。

これらの基礎的な科目の学習を踏まえて、3～4 年次では情報メディア技術が対象とするコンピュータサイエンスやネットワークメディアテクノロジー、コンテンツテクノロジーなど、多彩な分野の高度な内容を、様々な専門科目として学びます。

科学技術に関する科目に加え、知的財産などの社会制度に関する科目、科学技術の流通やビジネスに関する科目なども用意されています。

また、演習や実習を重視し、本学の教員だけでなく、産業界で実際にコンテンツ開発などで活躍しているの方々をお招きしてのプロジェクトベースのグループ授業なども行われ、映像、音響、Web、ソフトウェアなどを実際に作成し、実践的な力を身につけることができます。



講義で紹介された落合先生の最近の作品「オブジェクト指向菩薩」(日下部民藝館, 2023)

特色ある講義

第一線で活躍するクリエイター、プロデューサーをお招きしての講義

アート・デザイン・エンターテインメントなど、人の心に訴えかけるクリエイティブ作品の制作のために活用される情報メディアに関して、実際にコンテンツの世界でご活躍中のクリエイターやプロデューサーの方に講義をしていただきます。創造活動のケーススタディを通じて、表現のための発想法などを学びます。これまでに、音楽プロデューサー・作曲家・キーボーディストとして著名な小室哲哉さん、「週刊少年ジャンプ」の元編集長として有名な『Dr. マシルト』こと鳥嶋和彦さん、「超時空要塞マクロス」シリーズで有名なアニメ監督・メカニックデザイナーの河森正治さんをはじめとする、第一線で活躍中の方々からお話を伺いました。



組み込み技術キャンパスOJT

“OJT”は“On the Job Training”の略で、「実際に仕事をしながら仕事のやり方を学んでいく」という現実の職場でよく行われている訓練技術です。平成21年に筑波大学情報学群は、「組み込み技術」について、大学内で学生にOJTを行う産学協同教育プログラムを開設しました。本プログラムでは、寄附金で準備された学習環境下で産業界の第一線の方々から直接指導を3年次に通年で受けることができます。令和7年度の第17期までで410名あまりの情報学群生を教育し、優秀な技術者を輩出しています。詳しい情報は、<https://www.cojit.or.jp/tkb/>をご覧ください。



成果報告会の様子(ゲームスーツ:ゲーム体感I/F)



enPit-BizSysD

文部科学省補助事業「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPit)」(2016年度～2020年度)を継続して、ソフトウェア開発をチームで行うPBL(Project Based Learning)型の授業を行っています。(情報学群共通科目として「ビジネスシステムデザイン」諸科目として開設し、1～4年次のいずれでも履修できます。)身近な問題の解決を開発テーマとし、学生自身による発案を重視しています。チームは5～6名の学生で構成されます。アジャイル開発手法(スクラム)を取り入れ、PDCAサイクルを繰り返すことで、学生自身が主体的に、プロダクトだけでなくチームおよび開発の進め方を改善します。教員はプログラム開発やチーム運営の解を直接与えるのではなく、学生が自分たちで解を探すためのサポートを行います。詳しい情報は、<https://enpit.coins.tsukuba.ac.jp/>をご覧ください。

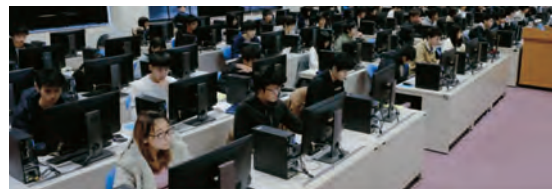
施設紹介

情報メディア創成学類には、学生の授業、実習をサポートするための施設があります。

主に情報メディア創成学類の授業で使用する全学計算機システム(教育用の計算機システム)の実習室には71台の計算機があります。各計算機は、科学技術計算用ソフトウェアやAdobe製ソフトウェア等のマルチメディアコンテンツ開発環境・ソフトウェアなど、多種多様なソフトウェアを搭載しており、情報メディア処理の初歩から応用に至る授業・実験に利用されています。実習室は授業時間外に学生が自習に使うことができます。

クリエイティブメディアラボは、映画・アニメーション・写真・グラフィックデザインなど、コンテンツ制作に関する実習や研究を行う空間です。コンテンツ企画からアイデア会議、制作、プレゼンテーションまで、自由に使えるフリースペースになっています。

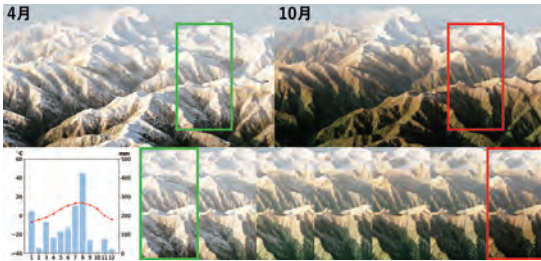
このほか、視線計測などができる心理実験用のラボもあります。



実習室の様子



クリエイティブメディアラボの様子



研究事例：大量の衛星データを用いた深層学習により、気温・降水量などから 3DCG 地形モデルの連続的な季節変化を再現。

特長

ネットワーク社会の発展につながる理論や技術を創成するための知識や能力を備えた人材を養成するため、また新しい学術領域を創成できる人材を養成するために、多様なバックグラウンドを持つ教員を集結するとともに、進化とともに細分化した情報技術を統合的に再構築したカリキュラムと、クリエイティブメディアラボや音響・心理ラボなどの充実した学習環境を提供しています。

資格など

必要単位を履修することで、教員や学芸員の資格を得ることができます。教員免許の場合、通常授業以外の「教職科目」等を履修することで、「中学校一種免許状（数学）」、「高等学校一種免許状（数学、情報）」の取得が可能です。

卒業後の進路

現代のネットワーク情報社会においては、どのような分野・産業でも、情報システムやメディアは不可欠です。情報メディア創成学類はこれからのネットワーク社会の様々な分野に大きく貢献する技術者、研究者を育てることを目指しており、その卒業生の活躍の場は無限に広がっています。まずは大学院に進学し、高度な専門性を身につけて産業や研究の場で活躍していただくことが薦められますが、様々な業種・職種に直接就職することも可能です。

就職先としては、ソフトウェア・Webシステム・情報サービス・出版・放送・エンタテインメントなどの各種メディアやコンテンツを扱うサービス産業はもちろんのこと、電機・自動車などの製造業や、流通・金融・運輸・建設などの社会的インフラを構築する産業など、幅広い分野での活躍が期待されています。実際の卒業生もそれらを始めとする広範な業種に進んでいます。なおアニメやゲームなど、クリエイターの道に進むことも可能ですが、それらの養成が学類の教育目的でないことにはご注意ください。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	理数系の素養と文化や芸術に対する豊かな感性を兼ね備え、ネットワーク情報社会における各種の技術や学問分野に対する強い興味と学習意欲を持ち、創造的に社会貢献することを目指す人材を求めます。	
入学までに学んでおいてほしいこと	これまでに学んだ科目、特に数学や外国語についてはよく復習して内容を身につけておくこと。また、情報ネットワークを基盤とする社会全体に対して広く関心を持ち、知識や見識を意欲的に広げていくことを普段から心がける姿勢。	
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	幅広い基礎学力に加えて、数学並びに外国語の学力と主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校在学中の学習状況や基礎学力、課外活動への取組みとともに、情報メディアの科学と技術に対する学習意欲や目的意識、自己表現能力、自己分析能力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。
	AC入試	コンテンツやネットワークメディアを支える情報メディアの科学と技術において、研究課題を自ら設定する創造性と意欲、課題を緻密に分析し創造的に解決する問題解決能力、その過程および結論を論理的に説明できる能力を総合的に評価します。
	国際科学オリンピック特別入試	日本情報オリンピック本選で A ランクとなった者を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ能力を評価します。
	国際バカロレア特別入試	情報メディアの科学と技術に対する学習意欲や論理的思考能力、理解力、及び本学類での学修に必要な数学などの基礎学力や日本語でのコミュニケーション能力を総合的に評価します。
	外国学校経験者特別入試（第1種・第2種）	情報メディアの科学と技術に対する学習意欲や論理的思考能力、理解力及び本学類での学修に必要な数学の基礎学力や日本語及び英語でのコミュニケーション能力等を総合的に評価します。
編入学試験*	情報メディアの科学と技術に対する高い学習意欲と、専門科目に関する知識を学ぶのに必要な大学2年次修了程度の英語（TOEFL/TOEICスコアによる）、数学及び情報基礎の学力を有する人材を選抜します。	

*情報科学類との併願が可能です。

さらに深く勉強や研究を行うためには大学院の博士前期課程・後期課程に進学することになります。進学先は、筑波大の研究群のほか、他大学大学院や留学なども可能です。大学院に進学した後は、企業・公共機関の研究所や、大学などの教育研究機関、一般企業や公務員、専門職で活躍する道が用意されています。

情報メディア創成学類の具体的な就職先の例や進学状況については P.131 ~133 をご覧ください。

【人材養成目的】

文理の枠を超えて、知識や情報に関する社会的・学術的課題に主体的に取り組み、新たな知の創造を通じて社会の発展に貢献する人材を養成します。特に、知識や情報の蓄積・流通に関わる人間の行動、情報技術、社会や文化についての知見を横断的に活用し、課題を自ら発見し解決へと導く力を備えた人材の育成を推進します。

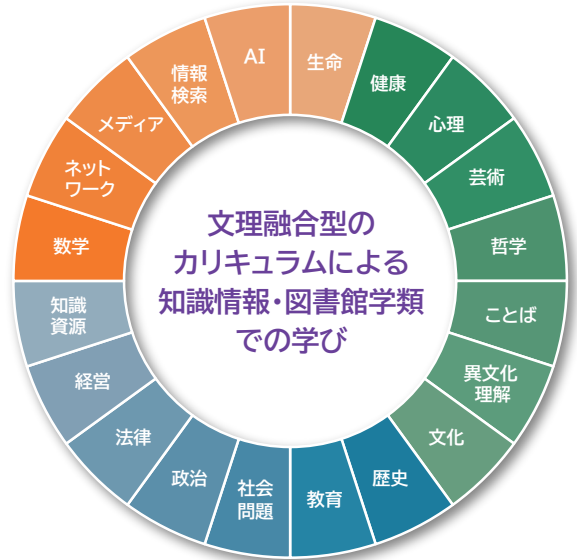
知識情報・図書館学類の目指すもの

現代社会は急速に多様化・複雑化しており、理系だけ、あるいは文系だけの知識で問題解決を図るのはもはや困難です。知識情報・図書館学類は「つなぐー知識、情報、人。」をキャッチフレーズに、文理融合型の教育研究を推進しています。

本学類では、文理融合型のカリキュラムを通して、知識や情報の管理や流通に関わるスペシャリストを育てます。さらに、知識や情報を蓄積・提供するだけでなく、知識や情報を活用でき、広い視野と論理的な思考力を備えた柔軟な発想のできる人材を養成します。

知識情報・図書館学類の学び

知識情報・図書館学類では、高度情報社会における知識や情報を有効活用するための多様な仕組みを扱います。知識や情報を有効活用するには、その性質を的確にとらえ、それらを扱うシステムを設計・構築する必要があります。また、システムを創るには、制度や文化、運営方法を考えなければなりません。本学類では、知識科学、知識情報システム、情報資源経営の三つの主専攻が協力し、知識や情報と社会をつなげる人材を養成します。

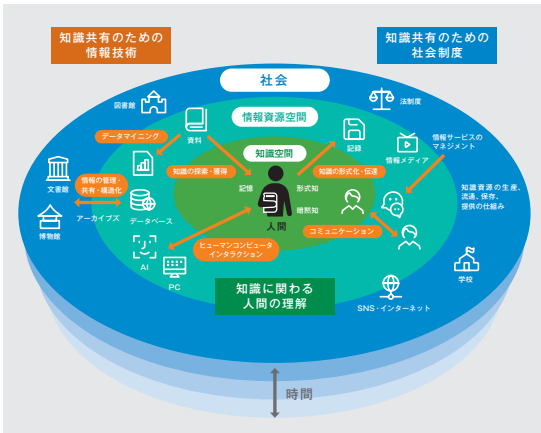


知識情報・図書館学類の三つの主専攻とカリキュラム

主専攻	キーワード	何を学ぶ？	専門基礎 (1～2年次)	専門科目 (3～4年次)
知識科学	人間	知識の本質、知識と情報行動、知識獲得のあり方と方法、知識の抽出・表現・探索、思考法に関する理論と応用	[学群共通] 知識情報概論、知識情報システム概説、図書館概論、プログラミング入門、情報社会と法制度、情報数学、線形代数、微分積分、など	知識論、知識形成論、身体知、知識コミュニケーション、ソーシャルメディア分析、学術メディア論、生命情報学、情報評価、など
知識情報システム	情報技術	知識と情報の共有、データベース、情報検索、デジタルライブラリなどの知識情報技術に関する理論と応用	[学類共通] 統計、情報探索論、情報行動論、質的調査法、量的調査法、ユーザ研究実験法、自然言語解析基礎、データベース概説、生涯学習と図書館、経営・組織論、知識情報演習、など	デジタルライブラリ、情報検索システム、Webプログラミング、データ構造とアルゴリズム、博物館情報学、など
情報資源経営	社会	知識共有に関する社会制度、メディアと図書館の文化、知識情報資源の構築とサービスのマネージメントに関する理論と応用		アーカイブズ管理、図書館論、コレクションとアクセス、情報法、知的財産権論、メディア教育の実践と評価、学術情報基盤論、など

知識情報・図書館学類パンフレットの請求方法

- パンフレット等は、学類 Web ページからダウンロード可能です。
<https://klis.tsukuba.ac.jp/>
- テレメールによる請求もできます。(p.159 資料請求番号 561270)



教育研究対象：知識や情報の創造、選択、収集、蓄積、分析、評価、利用という一連のプロセスに関わるあらゆる機関、システム、活動、現象を教育研究の対象とします



国際インターンシップで学類生が訪れたシュトゥットガルト市立図書館（ドイツ）

学びの流れ

1、2年次で全学共通の科目と本学類の全体的な内容を扱う専門基礎科目を学びます。3年次から、三つの主専攻のいずれかに属し、より専門的な内容を扱う専門科目を学びます。各主専攻で3年次に実施される実習では、主専攻のテーマに沿った内容のグループ学習、それぞれが調査したことのプレゼンテーション、システムの構築などを行います。3年次の11月に研究室に仮配属され、12月から卒業研究の準備を始め、4年生から1年かけてじっくりと研究に取り組みます。着手、中間、最終と3回の発表会を行い、卒業論文を提出します。

特色ある科目

「インターンシップ」や「国際インターンシップ」、少人数で行う「知的探求の世界」といった特色ある科目も用意しています。インターンシップや国際インターンシップは、国内外の図書館及び国内の官庁・企業体等での実務体験を通じて、情報の収集・処理・提供に関する業務の実際を理解し、専門的職業人としての意識を高めることを目的としています。

資格など

知識情報・図書館学類では、司書、教員免許状、司書教諭の資格が取得できます。司書資格に必要な科目は学類の科目を学ぶ過程で無理なく修得できます。教員免許状と併せて、指定の科目を修得することで、司書教諭を取得することができます。

取得できる資格の一例：

- 司書資格
- 司書教諭資格
- 中学校教諭一種免許状（社会・数学）
- 高等学校教諭一種免許状（公民・数学・情報）

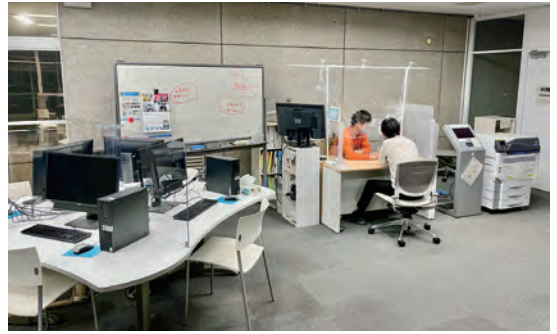
enPiT と COJT

情報学群共通の演習科目、課題解決型アジャイルソフトウェア開発プログラム「ビジネスシステムデザイン基礎Ⅰ・Ⅱ」、および、「ビジネスシステムデザイン実践Ⅰ・Ⅱ」(enPiT)と、組み込み技術キャンパス OJT「体験型システム開発 A・B」を開講しています。いずれの授業も、キャンパス内で IT ベンチャー企業の技術者の指導を受けながら、先進的な実践技術やソフトウェア開発技法を習得できます。





全国でも数少ない図書館情報学の専門図書館として、約 26 万冊の資料を所蔵している「図書館情報学図書館」



チューターが学習相談にのってくれる「春日ラーニングcommons (KLC)」

施設・設備

知識情報・図書館学類は、つくば駅から徒歩 10 分の春日エリアで多くの授業を行います。春日エリアには「図書館情報学図書館」という専門図書館があり、チューターと呼ばれる先輩学生がいろいろな相談にのってくれる「春日ラーニングcommons (KLC)」もあります。KLC では履修計画の立て方、学生生活の過ごし方、レポートの書き方、PC の使い方などを教えてもらうことができます。

知識情報・図書館学類ではグループ作業を中心とする演習・実習が多いので、小グループでのディスカッション用にグループごとにホワイトボードと大型ディスプレイを占有できるグループ作業用の実習室を設けています。IT 環境も充実しており、全教室や学生ラウンジ、食堂で無線 LAN が利用できるほか、春日エリア全体で約 230 台の教育用コンピューターが設置されています。また、ビブリオバトル等のイベント開催や動画収録を行うためのビブリオバトルスタジオや、身も心もゆるませ一人の時間を過ごすウェルビーイングルームがあります。

就職指導・キャリア支援

全学レベルでのキャリア支援活動に加えて、知識情報・図書館学類として、進路説明会や学生間で情報を共有するための進路情報カフェ等を実施しています。また、個別相談に対応するため、進路指導担当教員のほか、専門のキャリアアドバイザーを配置しています。さらに公務員・図書館員志望の学生にたいしては、公務員採用試験に向けて独自の教養試験対策を行っています。

卒業後の進路

本学類の特徴のひとつである文理融合のカリキュラムで学んだ知識と技術力を活かし、知識情報・図書館学類の卒業生は、幅広い分野で活躍しています。

大学院の進学先として人間総合科学研究群情報学学位プログラムなどがあり、海外に進学するケースもあります。就職先には、知識や情報のサービスを行う機関、図書館、企業や研究所の情報部門、製造業や印刷・出版・書店、サービス業及び官公庁などさまざまな進路があります。

卒業生からの声



文理が融合した教育環境は「学びたい」を叶えてくれる

稲福 和史 (2017 年度卒)
株式会社リクルート勤務

幼少期から典型的な本の虫だった私が KLIS を選んだのは必然かも知れません。特に魅力を感じたのは、図書館情報学を扱う唯一の国立大学でありながら哲学や数学、芸術なども分野横断的に学べ、幅広い知識と教養を身につけられる点です。

私は、研究に携われる講義「知的探求の世界」をきっかけに博士後期課程への進学を決心し、自らの専門性を深めていきました。2～3 年生という早い段階からの積み重ねで得た研究実績は、インターンシップや就職活動においても大きなアピールポイントになったと思います。長い学生生活で日々移り変わる興味を与えてくれる KLIS は、私に文理融合の学びと研究活動の楽しさを教えてくれました。

知識共有のあり方が学べて、大学院でも研究を深められる

橘 風吉 (2020 年度卒)
東京大学法学部研究室図書室勤務



私は、将来図書館員として働きたいと思い、図書館情報学を学べる知識情報・図書館学類に進学しました。学類では、人文・社会・自然科学の幅広い側面から、図書館や知識共有の仕組みに関わる領域を幅広く学修できました。学類 3 年次に、授業科目「国際インターンシップ」の一環でドイツに行き、多くの公共図書館や大学図書館を見学しました。

現在、大学図書館の開覧業務を担当していますが、学類の幅広い学びは、法律も含め日々の多様な仕事に役立っています。卒業後も、オンラインで学修できる大学院教育が整備されていて、情報学学位プログラムに社会人院生として進学し、修士論文の執筆を通じて研究を深めることができました。

※ KLIS：知識情報・図書館学類の略称

入試について

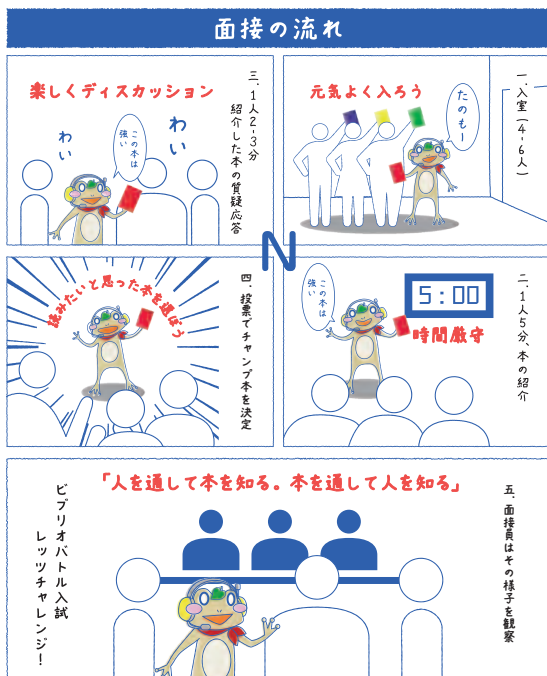
知識情報・図書館学類では、令和9年度（2027年度）入試から前期日程の募集開始、後期日程の募集取り止め等の変更を行います。この前期日程のほか、本学類にはAC入試、推薦入試、海外・国際的な教育を受けた人向けの外国学校経験者特別入試および国際バカロレア特別入試、高専や短大、大学等からの編入が可能な3年次編入があり、いずれも文理を問わず受験できます。新たに始まる前期日程の概要は以下の通りです。

- **共通テスト**：これまで本学類が実施していた後期日程と同様の科目・配点です（1000点）。
- **個別学力検査等（2次試験）**：英語（300点）と面接・口述試験（400点）です。面接・口述試験は15分程度の個別面接で、(1)「本学類で学びたいこと」を600字以内で試験当日に書いてもらい、(2)その内容に関しての質疑を行う予定です。(1)は持ち込み無しで記入してもらいますので、この案内や本学類のパンフレット・Webサイトを参考に、試験までに内容を考えておいてください。

推薦入試

推薦入試では、ビブリオバトル方式の面接を導入しています。ビブリオバトルとは、「人を通して本を知る。本を通して人を知る」をキャッチコピーとして全国に広がっている本の紹介コミュニケーションゲームです。一般的な面接では、どんな話題で議論するか事前に知らされないことも多いですが、ビブリオバトル方式では、自分の選んだ本で試験に臨み、その本についての紹介やディスカッションができることが大きな違いです。

試験までに、自分が面白いと思った本を選び、他の参加者にその本に対する興味を持たせるよう5分間の紹介を考えて発表を準備してください。試験当日の面接の流れは以下の通りです。



※チャンプ本に選ばれることと面接の評価は無関係です

Designed by Yuki Mishima

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	知識や情報に関わる多様な学問分野に対して幅広い関心を持ち、学習の中で得られる知見を論理的思考力とコミュニケーション能力を活かして課題発見・解決につなげ、豊かな発想と表現力で新たな知の創造を目指す人材を求めます。	
入学までに学んでおいてほしいこと	高等学校までの学習内容に広く関心を持ち、特に英語、国語、数学（数Ⅱ・数Bまで）の基礎学力を身につけていること。	
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	広い基礎学力と英語力に加えて、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校で学習する全教科がバランス良く優れていることに加え、論理的思考力、コミュニケーション能力、説得力、豊かな発想を評価します。
	AC入試	社会における情報の伝達や知識の創造に関して幅広く興味を持ち、関連した課題を自ら発見し、分析・解決していく能力を評価します。課題の分析結果を論理的に説明することや、説得力のある提案ができることも評価します。
	国際バカロレア特別入試	主体的に学ぶ意欲のある者を対象として、語学力を含む基礎学力や論理的思考力、コミュニケーション能力、説得力を評価します。
	外国学校経験者特別入試（第1種・第2種）	知識と情報に対する学習意欲や日本語によるコミュニケーション能力に加えて、日本語及び英語による理解力、論理的思考力、表現力等を総合的に評価します。
編入学試験	知識と情報に関する領域で学んだ知識・技術を深めたり、異なる領域で学んだ知識・技術を基に新しい領域に挑戦したりする意欲と学力を有する人材を選抜します。	

推薦入試 Q&A

Q：使用する本の種類や制限を知りたい。

A：公序良俗に反する本でないかぎり、どのような本でもかまいません。文学作品が比較的多いようですが、ライトノベルやハウツー本が使われたこともあります。電子書籍も可です。

Q：どのような点を評価しますか。

A：本を紹介する時の説得力や表現力、ディスカッションにおける質問力や質問に対する回答力などを多面的に評価します。

Q：ビブリオバトルの実演を見たり体験することはできますか。

A：7～8月のオープンキャンパスで推薦入試経験者による模擬ビブリオバトルや体験型ビブリオバトルを行う予定です。ぜひご参加ください。

【人材養成目的】

将来優れた臨床医、医学研究者、医学教育者あるいは保健・医療・福祉の専門家として、それぞれの分野でグローバルな活躍をもって地球規模課題の解決に挑み、社会に奉仕し貢献するために、基本的な臨床能力と医学研究能力を備え、高い問題解決能力と良好なコミュニケーション力をもって、患者の立場に配慮した医療および医学研究を生涯にわたり推進する人間性豊かな医師を養成する。

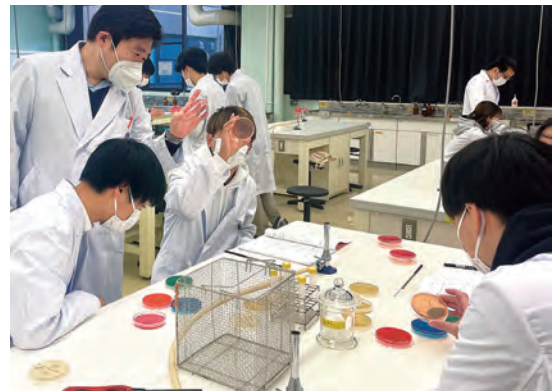
カリキュラム

医学類は、社会の要請に応えうる医師の養成を目標として、時代に合わせた新たな医学教育を行っています。これからの時代を担う医師として多彩な人材を育成するため、

一般入試、推薦入試以外にも、県内の地域医療に従事することを求められる地域枠、多様な学識と社会経験を有する大学卒業者等を対象にした編入学制度、国際バカロレア特別入試、研究型人材入試、総合学域群からの移行など、多



感染対策実習



細菌学実習

主な授業科目

1・2・3年次

1年次は全学類共通の基礎科目（総合科目、共通科目）、医学類に特化した専門科目と専門基礎科目から構成されています。医学類では入学直後から医師としての自覚を持ちながら学習態度を身につけることを目的として開設されている医療概論を並行して学びます。
1年次後半から始まる医学の基礎は、PBL (Problem based learning: 問題基盤型) テュートリアルや TBL (Team based learning: チーム基盤型) を用いた Active learning (能動的学修) を中心とした臓器別統合カリキュラムコースとして実施されます。ヒトの構造と機能の基礎、正常と病態など、基礎医学・臨床医学・社会医学の全てを統合された形で学び、問題解決能力や生涯学習の習慣を獲得しながら、グループ討論・学習における自分の考えをまとめ相手に伝えるコミュニケーション能力や協調性なども涵養していきます。

4・5年次

4年次から約2年間かけてクリニカル・クラークシップ (CC) が行われます。CCは医学生が診療を見学するというのではなく、診療チームの一員として加わり、実際の診療を通して必要な知識、臨床技能・態度を学ぶ参加型実習を行います。そのため、4年次前半のカリキュラムでは、CCに必要な知識や技術を統合して学び、医療現場に出るための知識や技術を習得できているか確認する共用試験 (Computer based testing: CBT、臨床実習前 OSCE: Pre-clinical clerkship objective structured clinical examination: Pre-CC OSCE) に合格する必要があります。CCでは、附属病院や県内を中心とした複数の病院をローテーションしながらチームの一員として過ごし、基本的臨床技能である医療面接、系統的身体診察、カルテ記載法、基本手技などを確実に身につけます。単に疾病を学ぶのではなく、患者さんを中心に問題をとらえ、多面的に解決する思考能力を習得します。5年次後半からは、医学研究室での研究、学外施設 (地域病院、診療所など)、海外への短期留学、など様々な組み合わせの選択が可能となり、自分のキャリアを考えながら学んでいきます。

6年次

約2年間のCCで医師としての臨床技術が獲得できたかを測る臨床実習後 OSCE: Post-clinical clerkship objective structured clinical examination: Post-CC OSCE)、6年間のまとめである総括講義、卒業試験に臨みます。医師として必要な知識、技能、態度を習得し医学類を卒業すると、医師国家試験の受験資格が得られます。

医学群ガイドブックの請求方法

- 医学群ガイドブックは、医学群 Web ページからダウンロード可能です。
<https://www.md.tsukuba.ac.jp/igakugun/index.html>
- テレメールによる請求もできます (p.159 資料請求番号は541390)

種類の採用方法があります。

最近の医学の目覚ましい進歩と医療の変化に伴い、医学生が学習すべき内容量は急速に増大し、質も変わり続けています。せっかく最新の知識と技能を最大限に詰め込んで卒業しても、そのままでは日進月歩の医学と医療の世界から取り残されてしまいます。そのため、医師は卒業後も生涯にわたり自己学習を続け、常に最新の病気の予防・治療や健康の保持・増進に、生涯にわたって取り組んでいく能力がなければなりません。

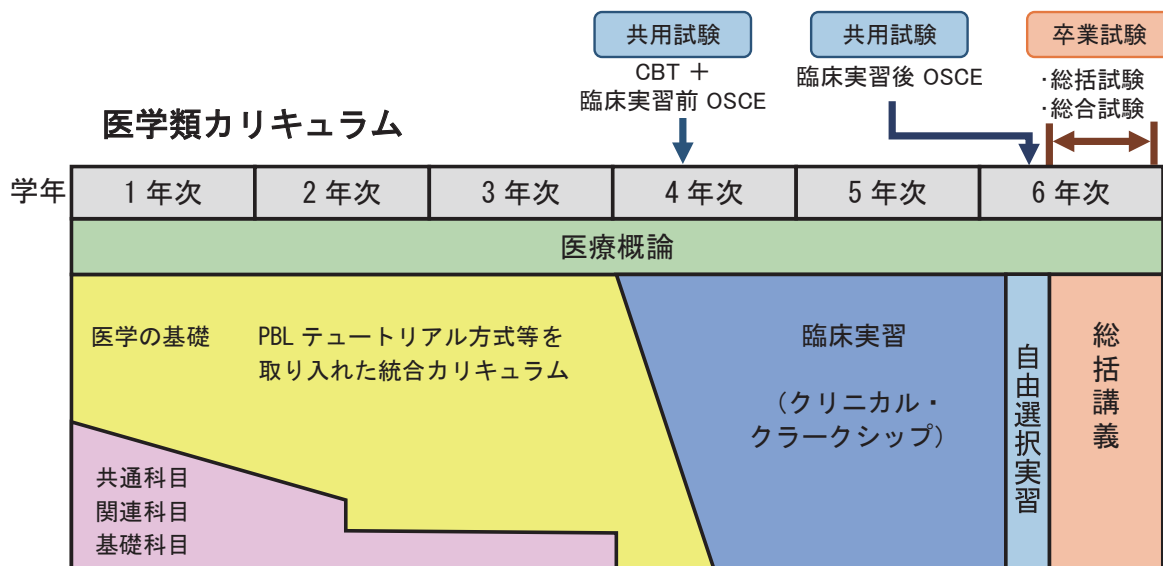
また、医師の対応する問題には身体的のみならず精神的・社会的な要素も含まれており、医学や自然科学だけでなく、人文・社会科学にわたる知識と洞察に基づいて問題を解決する能力も要求されます。医学類では、学生が基本的臨床能力と基本的研究能力を備えて卒業することを教育の目標としてカリキュラムを改善し続けています。

専門として学べる内容

卒業生は将来、優れた医師(臨床医・専門医)、医学研究者、医学教育者あるいは保健・福祉の専門家としてそれぞれの分野で社会に貢献することが期待されます。この目標を達

成するため、本学類では必要な知識と技能の修得にとどまらず、自ら学ぶ態度と習慣を身につけ、未知の問題を解決する能力を獲得することに教育の重点をおいています。全医学部で共通して取り組むべきとされる医学教育モデル・コア・カリキュラムを遵守したうえで、筑波大学独自の統合カリキュラムを取り入れた6年一貫の医学教育を行っています。

具体的には、1年次から医療現場での早期体験実習を通して医学・医療に触れるとともに、3年次終了までに、生命科学やヒトの構造と機能の基礎、ヒトの正常と病態を全てが統合された形で学びます。これらはナビゲーター役の教員と少人数グループでの討議(チュートリアル方式)で行われます。4～5年次の病院でのクリニカルクラークシップでは、参加型臨床実習として診療チームの一員として行動しながら、医師として必要な知識・技能・態度を学ぶことができます。6年次には海外の大学や病院での臨床実習、学外の医療施設での実習、基礎医学や社会医学の研究室での研究なども可能であり、将来の進路を考えながら学ぶことができます。



CBT : Computer based testing

臨床実習前 OSCE : Pre-clinical clerkship objective structured clinical examination

臨床実習後 OSCE : Post-clinical clerkship objective structured clinical examination



血圧測定実習

教育の特色

医学類の教育の特色として、自己学習能力・問題解決能力の涵養を重視し、E-learning 環境など学習のサポート体制を整備している点、及び体験型プログラムが充実している点などがあげられます。また、教育の質を保証するために、医学教育企画評価室を設置し、カリキュラムのプランニング、各種教育プログラム実施支援、評価のすべての段階において、教育のコーディネートを行う役割を担っています。具体的には、社会のニーズに対応するための新たなプログラムの企画（チーム医療に関する医学群3学類合同コースなど）、評価結果に基づく現行プログラムの改善、チューター養成、教員研修会、卒業生のフォローアップ調査などを実施しています。

医学図書館は夜も開かれている他、全てのセミナー室にはネット環境が整備されており、E-learning システムを活用して学生が必要な時に、病理組織標本などにアクセスして自習できます。また臨床技能実習室には、身体診察や救急蘇生を練習するためのシミュレーターが多数整備されています。

資格など

学士（医学）

医師国家試験受験資格

卒業後の進路

令和7年3月末現在、第45回卒業生までの4,809名が医師国家試験を受験し、新卒での平均合格率は97.0%です。卒業生の多くは臨床医として、医療の第一線で活躍しています。基礎医学の道を選び、研究者として国際的に非常に高い評価を受けている方、保健・福祉の行政者として国際機関や厚生労働省等の政府機関、都道府県の保健医療部局などで活動している方、本学及び大学等で医学教育者として活躍されている方、など様々です。

卒業生の多くは、本学附属病院をはじめ全国の研修病院で研修を受け、臨床医としての道を歩みます。附属病院と茨城県内を中心とした関連施設との緊密な連携により質の高い教育体制が整備されており、医師臨床研修マッチングにおける採用数も常に全国上位にあります。また、日本専門医機構の専攻医研修プログラムも各診療科で用意されており、それぞれの専門医への道も準備されています。



一次救命処置

先輩からのメッセージ



永井 美悠
北神 咲季 1年生在学中

入学して驚いたのは1年目から医学を学ぶことです。施設の見学、大学病院で患者さんの外来受診に付き添う実習、実践的な診察の練習など、早期から医療を意識した実習があり、早くから医学生としての自覚を持ち、目指す医師像を意識できました。受動的な講義だけでなく、グループで医療の倫理を論じ合ったり、病気についてリアルなシナリオをもとに臨床の場を想定しながら調べて学ぶ場を通して主体的に学ぶ姿勢も得られます。

また、親元から通学する人も、つくば市で一人暮らしの人もいますが、行事を通じて自然と仲間ができる仕組みが整っていて、孤立する心配はなく、実際、試験も「みんなで乗り越えよう」という連帯感が生まれています。親身に学生と同じ目線で対話してくださる先生も多いです。医学系の部活動があり、同学年だけでなく先輩との繋がりもあります。さらに、全国から集まる仲間と交流でき、学園祭などの行事を通じて他学群の友人との交流もある、多様な出会いに満ちたこの環境で学べる喜びを感じています。筑波大学を選んで本当によかったと思っています。



中井 勇吾 4年生在学中

筑波大学では低学年から医学の基礎を固め、早くから臨床医学に触られます。臨床医を目指す私にとって、このカリキュラムは刺激的で、楽しく学業に取り組んできました。講義での学びに加え、グループ学習などを通して受け身ではない「自ら学ぶ姿勢」が自然と身につく環境です。今、私は臨床実習の真っ最中ですが、病院での実習期間が長い点は本学の特徴です。現場で医師の対話に触れ、患者さんと向き合い、生の臨床データに接する経験は、自ら考える姿勢をもって臨床的課題に取り組む、机上の学習だけでは得られない「活きた力」へと繋がっている実感があります。

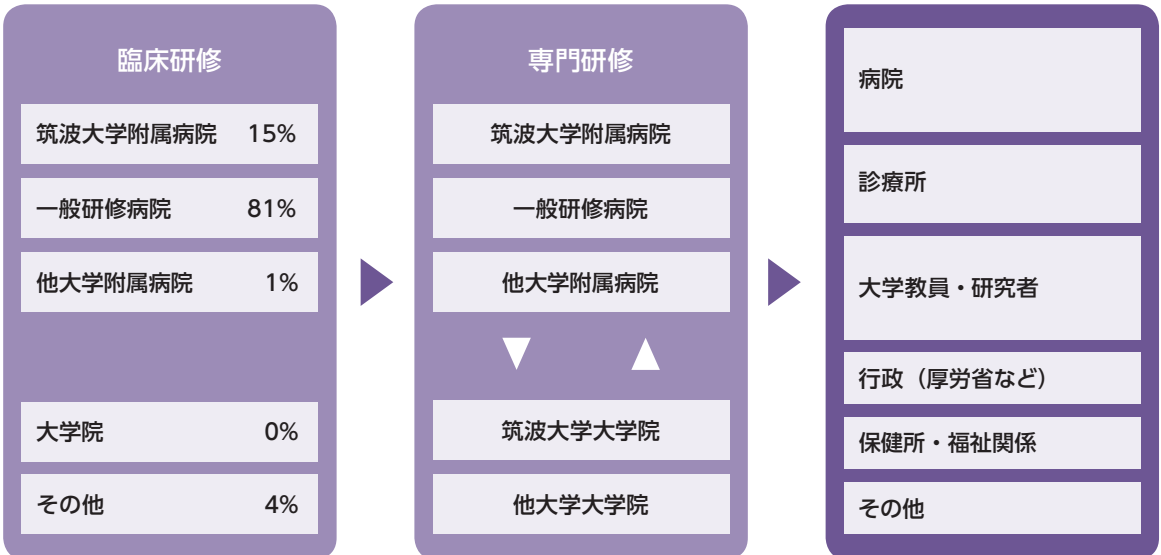
生活面では、平日はつくばで学業に専念し、週末は東京の実家で過ごすというメリハリのある生活を送っています。つくば市は、田舎という印象はあまりない一方、大都市の繁華街のようなものもなく、生活を乱さず勉強に打ち込みやすい環境です。部活動などの課外活動も盛んで、仲間たちとの交流は、大学生活を豊かなものしてくれます。本格的な研究に触れる機会もあり、臨床能力を高められる筑波大学で学べて本当に良かったと感じています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	自然科学、語学等の十分な基礎学力と豊かな創造性、探求心を有し、高い倫理観、協調性、コミュニケーション能力を持って、生涯にわたり人類の健康と福祉に貢献する強い意志を持つ人材を求めています。	
入学までに学んでおいてほしいこと	自然科学、外国語についての十分な知識と理解、さらに応用する能力が必要である。特に自然科学や医学に関する英文記事を理解し要約する能力や、グループの中で積極的に討論に参加したり、意見をまとめる能力を備えていることが望ましい。	
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	広い基礎学力に加えて、数学、理科、英語の学力を評価するとともに、医学を志向する動機、修学の継続性、適性、感性、社会的適応力など総合的な人間性について評価します。 【地域枠】* 上記に加え、将来茨城県の医療を担う強い意志を有する人材を、総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校で学習する全教科がバランス良く優れている者の中から、医師となる資質が十分な人材を小論文、適性試験によって総合的に評価します。 【地域枠推薦入試】* 上記に加え、将来茨城県の医療を担う強い意志を有する人材を、小論文、適性試験により総合的に評価します。
	研究型人材入試	広い基礎学力に加えて、自ら発見した自然科学の課題に対し、自主的かつ継続的に取り組み、その結果、到達した高い成果を評価します。また、医学を志向する動機、修学の継続性、研究者としての適性・資質、社会的適応力等総合的な人間性についても評価します。
	国際バカロレア特別入試並びに海外教育プログラム特別入試	広い基礎学力に加えて、数学、理科、英語の学力を評価するとともに、医学を志向する動機、修学の継続性、適性、感性、社会的適応力など総合的な人間性について評価します。
	編入学試験	広い基礎学力に加えて、数学、理科、英語の学力を評価するとともに、医学を志向する動機、修学の継続性、適性、感性、社会的適応力など総合的な人間性について評価します。

*【地域枠】、【地域枠推薦入試】については、国による所定の審査を経て、募集の有無及び定員が確定次第、選抜方法と併せて本学 Web サイトにて公表します。

卒業後の進路



※医学類HP (<https://igaku.md.tsukuba.ac.jp/>) で、もっと詳しい医学類の情報(カリキュラム、進路、キャンパスライフ、入試など)を見ることができます。
※四捨五入により合計が100%にならない場合があります。

医学群ガイドブックの請求方法

- 医学群ガイドブックは、医学群 Web ページからダウンロード可能です。
<https://www.md.tsukuba.ac.jp/igakugun/index.html>
- テレメールによる請求もできます (p.159 資料請求番号は 541390)

人々に看護を提供するための専門技術は、こうした幅広い人間理解と科学的な理論を基盤とした看護学のさまざまな演習や実習を有機的に取り入れながら修得していきます。

看護学類について

看護学類は 2025 年 3 月に第 19 期生を送り出し、そして 4 月、23 年目の春を迎えました。この間、看護・医療科学類看護学専攻から看護学類へと組織改正が行われただけでなく、2007 年度には大学院看護科学専攻博士前期課程（修士課程）が、そして 2009 年度には看護科学専攻博士後期課程（博士課程）が開設されました。この背景には急速に変化する疾病構造や医療の進歩に伴い、それに対応できる研究者・教育者、管理者等の育成へと社会のニーズが高まってきたことがあげられます。看護学類ではこのようなニーズに応えるために特徴的なカリキュラムを構成しています。

教育の理念

近年の急激な社会環境の変化に伴い、看護や医療に求められる「質」が急速に変化しています。一方、看護を必要とする人たちが求める質の高い要請に対応できる看護師の数はまだ不足しています。本学類では、このような看護や医療に対する社会の要請に即応するために、広い教養と深い人間理解を基盤とし、大学病院のみならず地域の医療・福祉に従事している方々とも連携した教育をします。

人々のニーズに合った質の高い看護を提供し、専門性を生かして、保健、医療、福祉チームの一員として協働できる保健医療専門職を養成します。また、教育者、研究者、管理者としてそれぞれの専門分野で指導的役割を担い、社会に貢献できる人材を育成します。

教育の特色と進路

総合大学である特長を活かし、条件が許す限り、他学類あるいは他学群の授業を受けることができます。他学群・他学類の学生と一緒に受講する共通科目は、多くの学生との交流を通して豊富な知識の習得だけでなく、豊かな人間性の形成に役立ちます。さらに多くの留学生と交流することにより、グローバルな視野で物事を思考する国際性を養うことができます。また、1 年次から他学類の学生と合同で受講する科目を設けております。4 年次には医学・医療科学の他に、他大学（薬学部）の学生も参加するチーム医

療演習を通して、医療における看護専門職の役割をより理解し深めることができます。正規の授業以外にも附属病院で行う研修会へ参加することで、最新の医療知識や医療安全などを学習することもできます。近年では国際看護研修として、米国イリノイ大学やベトナム、モンゴル等での研修に参加することで学びを深める学生も増えてきました。協定校である南インディアナ大学の 2 年間の留学プログラムに参加する学生もいます。

看護学類の入学定員の数は 70 名で、そのうち 2 名が総合学域群から 2 年次に移行してきます。卒業要件を満たすと看護師の国家試験受験資格が得られます。助産師教育は大学院で行っていますので、助産師の国家試験受験資格は学類では取得できません。また、選抜制になりますが保健師の国家試験受験資格あるいは養護教諭一種免許の申請が可能です。卒業生は、医療機関における看護職として、学校保健や産業保健、地域保健などにおいて人々の健康生活の維持・増進のために活躍しています。また、教育・研究職を視野に入れて人間総合科学研究群看護科学学位プログラムに進学する学生もいます。あるいは行政機関等において指導者として力を発揮する道もあるでしょう。

看護学類は高度専門医療職の育成を通して人々の健康と安全な社会の実現に貢献したいと考え、「筑波スタンダード」を具現化し“Made in University of Tsukuba”の看護を社会に発信することを目指しています。皆さんの積極的な参加を期待します。



国際交流風景



講義風景



保健師実習



看護学実習

取得できる資格

看護師国家試験受験資格

保健師国家試験受験資格

教員免許

養護教諭一種免許状

(所定の選択科目を修得する必要があります)

養護教諭二種免許状

(保健師国家試験合格後、申請により授与されます)

取得実績(看護学類の実績を示す) 令和7年度

看護師	67名中66名(98.5%)	養護教諭	2名
保健師	17名中17名(100%)		



講義風景

取得できる資格とその概要

看護師

看護師の役割は、健康上の問題から引き起こされる、人々の身体的、心理的な苦痛を軽減し、問題を抱えた人自らが、その問題を解決できるように支援することです。また、看護師は、医療の高度化に順応し、常に研究心を持ちつづける、科学的看護の実践者でなければなりません。そのような看護師を育成するために、本学類では、総合大学の特性を生かし、看護学を中心にしながら、医学、心理学、社会学との連携を図っています。また、実践能力の向上を目指して、臨床実習のほかに、臨床実技試験(OSCE)や、医学類、医療科学類、他大学の薬学部の学生たちとともにチーム医療演習といった、先駆的な教育を実施しています。本学類の学生は、卒業時に学士(看護学)の学位が授与されます。卒業後は、取得予定の国家資格を生かし、高度な医療を提供できる総合病院から町の診療所まで、全国各地の医療機関で、看護師として勤務することが可能です。

保健師

地域には、乳児から高齢者まで、そして健康な方から病気や障害を持つ方など、あらゆる年齢、健康レベルの人々が生活しています。地域住民の健康を保持増進し、病気を予防し、あるいは病気からの回復に向けて、人々がその人らしく生きがいをもって地域で暮らすことができるように、さまざまな支援活動を公的な立場から行っている医療専門職が行政保健師です。保健師の多くは、市町村の保健センターや保健所で公務員として活動するほか、企業で産業保健師として所属することもあります。また、福祉施設や地域包括支援センター等で活躍する保健師もいます。本学類の保健師課程では、地域住民や企業で働く人々の健康づくりや組織づくり、県民そして日本のみならず世界の健康を守る視点の獲得を視野に入れた教育を実施します。実習は茨城県内の保健所や市町村、東京都内及び茨城県内の一般企業、附属の関連学校等で行い、地域に密着した活動を学ぶとともに、公衆衛生に関する広い視野を得られるよう、学内外の海外研修への参加も推奨しています。卒業後は、保健師として各都道府県や市町村、一般企業への保健師としての就職、大学院への進学が可能です。

養護教諭

養護教諭とは、学校で子どもの心身の保健管理・保健教育を担当する教員です。看護学と教育学の専門知識を兼ね備えた教員です。主に保健室に常駐し、けがや病気の応急処置、健康診断と保健指導、さまざまな問題や悩みをもつ子どもの健康相談、学校保健委員会のような委員会活動などを行っています。看護学類では、養護教諭一種免許状の取得に必要な看護学、教育学、心理学、医学などの科目が開講され、広い視野から学校保健・学校看護について学修していきます。4年次の養護実習では実践を通して知識・技術を深めていきます。卒業後の進路には、大学院への進学や養護教諭としての就職などがあります。公立学校の養護教諭として就職する場合は、都道府県や市が行う教員採用試験に合格して採用されます。

※保健師コース、養護教諭コースは選抜制で人数の制限があります。

卒業後の進路

令和6年度進路状況
(看護学類)

病院（看護師・助産師）	52名
市役所等（保健師）	5名
養護教諭	3名
進学	12名
その他	8名
合計	80名

主な就職先（敬称略・順不同）

【看護師】 筑波大学附属病院、千葉大学医学部附属病院、東京科学大学病院、慶應義塾大学病院、虎ノ門病院、等

【保健師・養護教諭】 千葉県庁、江戸川区役所、取手市役所、茨城県公立学校、等

【進学（大学院）】 筑波大学、茨城県立医療大学、東京大学、等

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	科学的な知識や語学力などの十分な基礎学力を有し、看護学に関する深い興味と関心が有り、保健医療福祉を支えるための看護について探求し、新しい看護学を開拓できる能力と意欲を有する人材を求めています。	
入学までに学んでおいてほしいこと	高等学校での学習内容を深めておくと共に、特に生物学および外国語については、十分な知識を有し理解していることが望ましい。また、優れた文章読解能力や文章表現能力を有していることが望ましい。	
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	国語、理科、英語の学力を中心に、基礎学力を評価するとともに、看護を志向する動機、適性、感性、社会的適応力及び人間性等について総合的に判断します。
	推薦入試	看護に関連する分野において必要とされる明確な問題意識と優れた洞察力について評価します。また、部活動、地域活動、社会活動等の実績について評価します。
	国際バカロレア特別入試	看護に関連する分野において必要とされる明確な問題意識と優れた洞察力、大学で看護学を修得するために必要な基礎知識ならびに思考力や学力などを総合的に評価します。
	Japan-Expert(学士)プログラム特別入試	求める人材： 科学的な知識や語学力などの十分な基礎学力を有し、ヘルスケアに関する深い興味と関心が有り、国際的にヘルスケアサービスについて探求し開発できる能力と意欲を有する人材を求めています。 アドミッションポリシー： 基礎学力とヘルスケアシステムやヘルスケア技術を学習する動機、日本語での学習能力、適性、感性、社会的適応力、並びに人間性について総合的に評価します。

先輩からのメッセージ



佐々木 啓太

(12期生)

2017(平成29)年度卒業

北海道大学大学院保健科学研究院創成看護学分野(小児看護学)助教

受験生のみなさん、こんにちは。私は看護学類を卒業後、看護師として働いたのち現在は大学教員をしています。学類生時代は医学ラグビー部に所属し、看護以外の医学系の学生とともに汗を流しておりました。筑波大学は総合大学という特性上、様々な学部の学生と交流する機会があります。ケア・コロキウムという授業では、看護、医学、医療科学、薬学の学生を含む小グループで症例について討議を行うことができます。臨床現場でも、「チーム医療」が肝要であり、学類生時代から多職種の様々な視点から意見を出し合いながら患者家族にとってよりよい医療を検討するという経験ができるのも、筑波大学の魅力といえます。

私は学類生時代から小児分野の看護に興味をもち、卒業後は小児病棟で勤務をしていました。小児病棟での勤務は、つらく、苦しいこともありますが、そんな中でも頑張っている子どもたちの姿に勇気をもらうことが多くありました。現在は自宅での継続した医療が必要な子どもとその家族への支援をより充実させ、安心して退院ができるとともに、その後の生活をよりよくするために看護師を含む医療者ができることについて研究をしています。筑波大学では興味のある分野を見つけ、それをさらに深めてくださる先生方やとも高めあう仲間たちとも出会うことができます。ぜひ、素敵な4年間を過ごしてください！



島田 早菜衣

(17期生)

2022(令和4)年度卒業

筑波大学附属病院勤務

受験生の皆さん、こんにちは。私は看護学類を卒業後に大学院へ進学し、現在は筑波大学附属病院に勤務しています。

本学は総合大学であるため、医学系の分野だけでなく様々な分野について学ぶ学生と交流ができます。私は大学時代医学系のサークルに所属しておりましたが、他学類の学生も所属しているため様々な志を持った学生と繋がりを持つことができ、とても充実した学生生活を送ることができました。また、本学では専門科目だけでなく他学類で開設している科目を受講できることやサークル活動などが多数存在していることから、新しいことにチャレンジできる環境が整っていることも魅力の1つであると思います。私生活に関しても、宿舍や近隣のアパートなどで一人暮らしをする学生が多く、ともに助け合いながら安心して新生活を送ることができます。

大学院では研究活動にも取り組んでおりました。本学では学類生の時期から学会やゼミに参加したりと早くから研究に触れる機会も設けられているため、自分のキャリアに関する選択肢を増やし考えていくことができると思います。

筑波大学は自分が目指す以上の新たな道を切り開くことができる素晴らしい大学です。ぜひ本学で素敵な大学生活を送ってください！

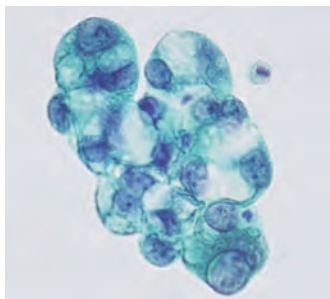
【人材養成目的】

医学・医療の様々な分野で活躍するために必要な医科学の基礎的な知識、技能を修得し、医療人としての使命感と責任感を身に付け、将来、医療の向上と発展に貢献する医科学領域の研究・教育を推進する人材および診断や治療に必要な新たな技術の開発とその実践にかかわって高度専門医療を担う人材を養成します。

医療科学とは

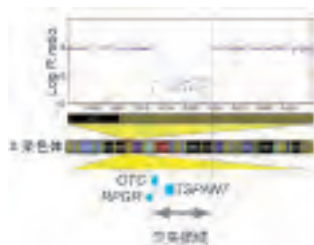
医療科学とは、基礎医学と臨床あるいは社会医学を包括的に捉え、人々の健康と安全に寄与する実践的な学問です。

わかりやすく言えば、医療に関連するいくつかの分野の橋渡しを科学的に支援し、医療が人間の幸福により寄与できるように考える分野とも言えます。



病理検査学実習で観察したがん細胞

先天代謝異常症の OTC 欠乏症のゲノム診断



以前は診断が難しかったゲノム欠失の検出の証明も、DNAゲノム診断法の進歩で容易になった。診断を受けた子は OTC 欠損症だけでなく、精神遅滞、網膜色素変性症の原因となる遺伝子 *RPGR*, *TSPAN7* もないことが分かった。

特長

大学 (University) は、特定の分野を深く学べると同時に広く教養を身につけることのできる場所です。筑波大学は、総合大学として幅広い学問分野の教育を通じた人間教育を重視しており、医科学の専門的知識の習得とともに、幅広い教養を養うことができるのが特長です。

- ①医療科学教育のための独立した4年制教育組織です。
- ②3年次より医療科学主専攻と、国際医療科学主専攻(カリキュラムの項目参照)の2つのコースを選択できます。
- ③大学院修士課程および博士課程にスムーズに連結し、学類大学院一貫教育を通して医科学スペシャリストとしてのスキルを高めます。

資格など

卒業時に臨床検査技師国家試験受験資格を取得できます。試験に合格すると、臨床検査技師として、卒後すぐに医療職に就く道が開かれています。また、大学院終了後にも資格を活用して、社会貢献ができます。さらに臨床検査技師の資格を生かして、細胞検査士の資格や超音波検査士などより専門的な資格取得の道も開かれます。



実習風景

主専攻	専門的な授業科目
1年次	人体構造学、人体機能学、医科生化学、医科分子生物学、電磁気学Ⅰ、医療科学概論
2年次	基礎医学総論、臨床病態学、免疫検査学、病理組織学、血液検査学、生化学成分検査学、RI検査技術学、医療経済学、微生物学、保健衛生論、医学検査学、医用工学、遺伝子検査学、胚操作実験動物法、イメージング総論
3年次	免疫検査学実習、病原微生物学実習、生理機能検査学実習、病態検査学、臨床薬理学、輸血学、画像検査学、検査情報管理学、医科学英語論文講読の基礎、細胞検査学、生理機能検査学、病原微生物学、凝固・線溶学、細胞・発生工学
4年次	医学検査学フロンティア、医療情報管理学、卒業研究、臨床実習

医学群ガイドブックの請求方法

- 医学群ガイドブックは、医学群 Web ページからダウンロード可能です。
<https://www.md.tsukuba.ac.jp/igakugun/index.html>
- テレメールによる請求もできます (p.159 資料請求番号は 541390)

臨床検査技師について

臨床検査技師とは、国家資格として臨床検査技能を認定された、医療に関わる多くの分野を支援するメディカルスタッフのことです。たとえば、病院では血液や尿などの生化学的検査をはじめとし、心電図や超音波（エコー）などの生理機能検査や、がんなどの確定診断に関わる病理検査、さらには細菌やウイルスの同定などの微生物検査や輸血など、広範な分野で、医師とともに医療に直接あるいは間接的に関わることのできる専門職です。このような、医療を支援する職種をコメディカルと呼んでいます。専門職としての活動分野は医療の進歩とともに広がっており、病院のみでなく医薬食品関連企業などにおいても活躍しています。

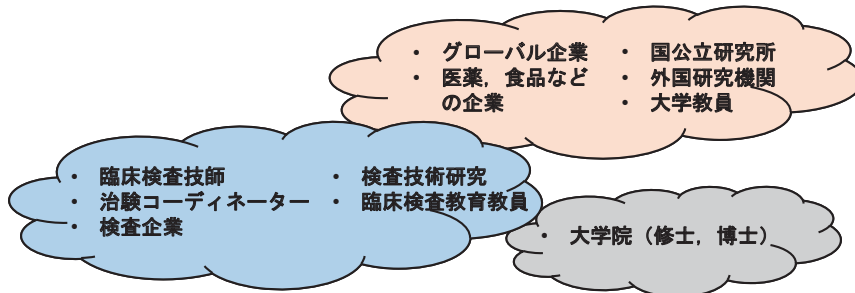
カリキュラム

3年次に2つのコースのうちからひとつを選択します。ひとつは、これまでの医療科学主専攻であり、もう一つは新たに設置された国際医療科学主専攻です（下図参照）。医療科学主専攻は、臨床検査技師教育を柱に、研究者としての素養も身につけるという理念で教育をおこないます。国際医療科学主専攻は、医科学領域のグローバルな課題に取り組める人材の育成を目指しており、とくに専門英語能力と研究実践力を養うことが特徴です。この2つのコースは、2年次までは同じカリキュラムで教育が行われます。

①2つのコース共通のカリキュラム（2年次まで）

1年次は総合科目や体育、外国語など全学と共通の科目を履修し、基礎教養を高めると同時に、医科生化学、人体機能学などの医療系の基礎科目を学びます。2年次では、微生物学、病理組織学、血液検査学など医療科学の専門基礎科目や専門科目を中心としたカリキュラムです。それに加えて、様々な基礎医学分野に触れる科目など研究者としてのスキルを高める科目が開講されます。

②2つのコースの、3年次からの教育カリキュラムの違い
 医療科学主専攻は臨床検査技師教育を柱としていますので、多くの手技を学ぶ実習が必修となり、卒業研究は約半年を充てます。一方、国際医療科学主専攻では、卒業研究は3年次から開始します。また、国際医療科学主専攻では医科学特論、医科学専門語学など国際的に活躍できるよう、語学の習熟にも力を入れます。2つの主専攻は、共通に受講できる科目も多く、専攻が分かれても興味や将来像に則した学習ができるよう配慮しています。なお、国際医療科学主専攻でも臨床実習など国家試験関連科目は選択科目として履修することが可能です。



	医療科学主専攻	国際医療科学主専攻
4年	臨床実習	臨床実習
3年	卒業研究	卒業研究
2年	専門基礎科目，専門科目	専門基礎科目，専門科目
1年	共通科目，総合科目，様々な分野の専門導入科目	共通科目，総合科目，様々な分野の専門導入科目

卒業生からのメッセージ



三浦 悠樹
卒業年：2011年

所属：筑波大学グローバル教育院ヒューマンバイオロジー学位プログラム
卒業後の進路：米国スタンフォード大学医学部 Postdoctoral Fellow
出身高校：埼玉県立川越高校

皆さん、はじめまして。平成22年度卒業生の三浦悠樹です。

僕は「ヒトを理解したい」というシンプルな問いから、ヒトに関する医学が学べる医療科学類を選びました。在学中の4年間では、基礎医学や臨床検査の知識を得ると同時に、病院実習を通して実際の医療現場を体験し、卒業研究では最先端の基礎医学の研究に触れる機会がありました。その中でも、卒業研究で取り組んだ、脳が発達する際の重要なプロセスである神経細胞突起伸長の分子メカニズムを自らの手で解明する「基礎研究」に最もやりがいを感じ、将来も基礎研究を続けたいと考え、5年間の博士課程への進学を決意しました。今年の3月に博士課程を修了し、4月から米国スタンフォード大学医学部にて博士研究員として、ヒトiPS細胞から再構築した3次元ヒト脳モデルを用いて、脳の発達障害である自閉症や統合失調症といった精神疾患の病態メカニズムの解明に取り組んでいます。将来的にこれらの精神疾患に対する治療薬や新規検査法の

開発に寄与し、さらにヒトをヒトたらしめる脳の理解を通じて、かねてからの目標である「ヒトの理解」に迫りたいと考えています。

僕は医療科学類を卒業後、基礎研究を続ける道を選択しましたが、同級生は、病院で研究もこなしながら臨床検査技師として働いていたり、医薬品の開発における臨床試験の仕事に取り組んでいたりします。一方、僕と同様に博士課程に進学し基礎研究を続け、医療系の大学教授を目指す友人や製薬会社に就職し自分の手でがんの薬の開発を目指す友人もいます。このように、医療科学というキーワードを軸に多様なキャリアパスが開かれているのが医療科学類の最も魅力的な点です。

大学4年間の学びはゴールではなく、スタート地点だと卒業して実感しています。大学卒業後のキャリアを考慮する上で、病院実習や基礎研究など様々な経験が出来、多彩な卒後の選択肢を擁する医療科学類はとても魅力的な学類だと僕は思っています。そんな医療科学類に入学し、医療科学の分野をリードする人材となり、未来の医療科学類を共に盛り上げていってくれる後輩をお待ちしています。

③臨床検査技師としての専門教育

臨床検査技師の専門教育として重要な事は、正確で最新の知識をもって論理的に考えることができ、それを実践できる技能を持つことです。この技能を体得することも大変重要であり、そのため専門科目の多くには実習が組まれています。また、国家試験に対応するために医学検査学フロンティアという科目も設置され、できるだけスムーズに資格の取得ができるようにしています。また、筑波大学医学群には、チームワーク演習という、医学類、看護学類、医療科学類、薬学部（東京理科大学）の4つの学部生が合同で実践的チームワーク医療について学ぶ、特徴的な科目もあり、幅広く医療を学ぶことができます。

④研究者養成としての専門教育

医療科学類では、専門性の高い研究者の育成を目指しています。研究者として重要な素養は、問題点を正確に理解し、それを解決するための科学的視点と適正な方法論を持つことです。専門基礎科目や専門科目で学んだことを基盤に、さらに研究者としての素養を涵養するために卒業研究を行います。これは、筑波大学医療医学系に属する多くの研究室のうちのいずれかに配属され、与えられた研究テーマに沿って研究をするものです。卒業研究によって、科学的視点や方法論の習得、論文の抄読や作成、さらにはプレゼンテーション力など、講義ではあまり触れない、研究の基本を修練します。医療科学類生は、全国の関連学部の中でも大学院への進学率が高く、半数以上の人が進学しています。このように、多くの

学生が大学院でさらに研究者としてのスキルを学びます。

⑤教育の支援体制

筑波大学医学群では、教育の支援体制としてPCMEというカリキュラムの進行を統括する部署があり、いろいろな面で合理的に教育にあたっています。また、カリキュラムを効率よく進行させるために学習支援ポータルサイトを設け、学習を支援しています。





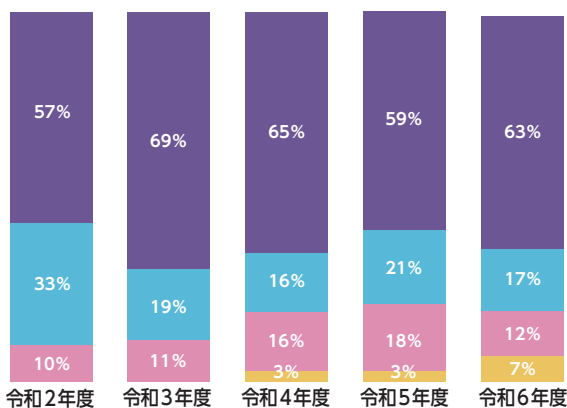
International Medical Science Training Course
(於：インドネシア大学)

卒業後の進路

進学と就職の2つの道があります。進学先としては、筑波大学人間総合科学研究群の修士課程であるフロンティア医科学学位プログラムが主ですが、分野によってはその他の大学院（東京大学、東京科学大学など）に、進学する学生もいます。

就職先としては、大学院での研究や臨床検査技師の資格を活かしたものが主ですが、一般企業に就職する場合があります。また、臨床検査技師を対象とした資格には細胞検査士（卒業後一定の研修が必要）、さらに臨床検査技師が資格要件となるものには超音波検査士、糖尿病療養指導士、健康食品管理士、治験コーディネーターなどがあります。病院や企業からの臨床検査技師の求人は増加しています。大学院を修了した臨床検査技師の求人も増えています。その他、大学院修了後に医学の知識を生かして企業に就職する学生も多く、さらに大学院博士課程を修了した学生は大学教員や研究員として就職しています。

これからは、人々の健康・疾病予防への関心の高まり、高齢化、環境重視などの社会的要請もあり、病院だけではなく多種多様な就職先や、就業形態が考えられます。真摯に勉学に励み、高い教養を身につけた学類生が新たな道を開拓していくことでしょう。



※四捨五入により合計が100%にならない場合があります。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	医科学の分野に強い関心をいだき、医科学分野の研究や医学・医療分野の検査技術において国際的に活躍する意欲を持つとともに、チーム医療での役割を理解し、行動することができる柔軟性を持った人材を求めています。	
入学までに学んでおいてほしいこと	数学、生物、物理、化学についての基礎的な知識と理解、日本語の文章表現力、英語の読み書き会話の能力を有し、医学や医療に関心のある分野と将来に対する希望を明確にもち、主体的に行動する能力を有していることが望ましい。	
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	広い基礎学力と数学、理科、英語の学力さらに医療を志す動機、適性、感性、社会的適応力、主体的に行動する能力などを総合的に評価します。
	推薦入試	医療人を志向する強い動機と適性、人を愛する感性、社会貢献への熱意に加えて、医科学を学ぶために必要な基礎学力と主体的に行動する能力を総合的に評価します。
	国際バカロレア特別入試	医療や医科学を志向する動機と適性、人を愛する感性、社会貢献への熱意に加えて、医科学を学ぶために必要な基礎学力と主体的に行動する能力を総合的に評価します。
	外国学校経験者特別入試（第1種・第2種）	英語・日本語の総合学力と数学・理科の基礎的学力、論理的思考力、文章表現力を総合的に評価します。
学群英語コース特別入試（編入学）	(1) 求める人材 医療を取り巻く状況が急速に変化するなかで、感染症や生活習慣病等に関わる国際的な諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備え、主体的に行動する能力を有する人材を求めます。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、医療科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。	

■進学

筑波大学大学院、東京大学大学院、東京科学大学大学院、京都大学大学院、信州大学大学院

■病院

筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院、順天堂大学医学部附属順天医院、慶應義塾大学病院、東京大学医学部附属病院、聖路加国際病院、日本赤十字社医療センター、埼玉県がんセンター、埼玉県立小児医療センター、自治医科大学附属さいたま医療センター、獨協医科大学越谷病院、亀田総合病院、千葉大学医学部附属病院、北里大学医学部附属病院、名古屋第二赤十字病院、金沢大学附属病院、奈良県立大学附属病院、京都大学医学部附属病院

■企業・公務員

茨城県庁、埼玉県庁、福井県警察本部、株式会社江東微生物研究所、筑波i-Laboratory有限責任事業組合、シミックホールディング株式会社、株式会社EP総合、茨城県警、NTTドコモ、キャンソマーケティング、株式会社LSIメディアンス

■その他

体育専門学群

School of Physical Education, Health and Sport Sciences

<https://spehss.taiiku.tsukuba.ac.jp/>

【人材養成目的】

優れた運動技能と幅広い運動経験を基盤に、体育・スポーツ、健康、コーチングに関する総合的な知識と最新の科学的知見を活用し、組織を的確にマネジメントして様々な課題を解決できる「知・徳・体」を具備した体育・スポーツ界のリーダーを養成することを目的とします。

体育専門学群では、体育・スポーツ、健康、コーチングに関する最新の研究成果を教育に積極的に取り入れ、体育・スポーツ関連分野を牽引するリーダーの養成を目指しています。本学群が育成するリーダーには、優れた運動技能や幅広い運動経験に加え、科学的根拠に基づいて物事を考える力、そして強いリーダーシップと実行力が求められます。

そのため本学群の教育課程では、各種スポーツの実技および指導法と理論を基盤としつつ、約40ある卒業研究領域の中から、学生一人ひとりの興味・関心や将来の進路に応じて授業を選択できる柔軟なカリキュラムを編成しています。また、大学院教育との接続にも十分な配慮がなされており、学群段階から高度な研究に触れる機会が提供されています。



蹴球部 インカレ優勝（2025年度）



体育総合実験棟での三次元動作分析
(体育総合実験棟のアリーナ)

カリキュラム構成

基礎科目	専門科目		教職科目	
	必修科目	選択科目	教育実習	4年 ↑
	専門語学 B 卒業研究 保健体育科（体力づくり運動）指導法 種目別コーチング演習 スポーツキャリア形成	分野別専門科目 キャリア支援科目 卒業研究領域科目 体育専門学群で開設する専門科目		
総合科目 外国語 情報処理 国語	専門基礎科目 体育学を専門的に学ぶ全ての学生に必要な最低限の基礎的知識 体育・スポーツ学関連科目 コーチング学関連科目 健康体力学関連科目 実理論実習		教職科目	2年 ↑ 1年

カリキュラム

体育・スポーツ関連分野において、中核を担う専門家を養成するため、常に社会やスポーツを取り巻く環境の変化を見据え、時代を先取りするカリキュラムづくりに取り組んできました。

保健体育科の中学校・高等学校教員免許状の取得に対応していることはもちろん、各種スポーツ指導者資格や健康に関連する資格の取得にも配慮した体系的なカリキュラムを整備しています。

体育専門学群パンフレットの請求方法

●直接請求する場合は返信用封筒（角形2号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には210円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「体育専門学群案内請求」と必ず朱書きしてください。

請求先 〒305-8574 茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学体育芸術エリア支援室学群教務担当（学生募集要項の請求先とは異なります。）

●テレメールで請求できます。（p.159 資料請求番号561390）

●パンフレットの内容は、下記のアドレスでもご覧になれます。
<https://spehss.taiiku.tsukuba.ac.jp/>

教育の特色

高い専門性と領域横断的な授業

本学群には、約40に及ぶ卒業研究領域が設けられており、体育・スポーツ、健康、コーチングを多角的に捉える幅広い授業が開講されています。1・2年次では、体育学を専門的に学ぶうえで不可欠となる基礎理論や方法論を体系的に学習します。3・4年次には、より専門性の高い科目を履修し、各分野の最新の知見に触れながら理解を深めていきます。3年次からは、自身の興味・関心に基づいて卒業研究領域を選択し、少人数制の演習や卒業研究指導を通じて、主体的かつ探究的な学びを展開します。

理論と実践の融合

体育・スポーツ、健康、コーチングに関する最新の研究成果に基づいた理論を学ぶとともに、実習や演習を通して高度な実技能力を養います。理論を単なる知識として学ぶのではなく、実践と結びつけることで、例えば、「なぜその動きができるのか」「どのようにすればパフォーマンスは向上するのか」などを科学的に説明・分析できる力を身につけます。さらに、それらを自ら体現し、他者にわかりやすく指導できる実践力の育成を目指します。

多様な施設と恵まれた環境

陸上競技場、サッカー場、ラグビー場、野球場をはじめ、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球専用の体育館、50m温水プール、ハンドボールコート、テニスコート、柔道場、剣道場、弓道場など、そのスポーツに応じた専用施設が整備されています。

卒業研究領域

分野	領域
体育・スポーツ学 (人文社会科学的分野：10領域)	体育・スポーツ哲学、体育史・スポーツ人類学、スポーツ社会学、武道学、体育・スポーツ経営学、スポーツ政策学、スポーツ産業学、体育科教育学、アダプテッド体育・スポーツ学、体育心理学
コーチング学 (種目特性、運動方法、指導方法など：17領域)	コーチング論・トレーニング学、スポーツ運動学、種目別コーチング論（体操、体操競技、陸上競技、水泳競技、バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、サッカー、ラグビー、ラケットバット、柔道、剣道、弓道、野外運動、舞踊）
健康体力学 (自然科学的分野：11領域)	健康教育学、運動生理学、運動生化学、運動栄養学、スポーツバイオメカニクス、応用解剖学、体力学、健康増進学、体育測定評価学、内科系スポーツ医学、外科系スポーツ医学

加えて、複数のトレーニング施設や、体育総合実験棟、スポーツ流体工学実験棟、Invictus Athlete Performance Centerなど、最先端の研究・実験施設を活用できる環境が整っており、実践と研究の双方を高い水準で学ぶことができます。

強さと品格を併せ持つアスリートの育成

わが国の競技力向上に寄与することは、本学群の重要な使命の一つです。筑波大学には、長い歴史と伝統を有する優れた運動部が多数存在し、文武不岐、自主自律、科学的思考を重視しながら、日々の活動に取り組んできました。その成果は、国内外の競技大会における優れた成績や、多くのトップアスリート・指導者の輩出に表れています。本学群では、単に競技力の向上を目指すだけでなく、フェアプレー精神や社会的責任を重んじる姿勢を育むことを重視しています。今後も、学術的知見に基づく指導と充実した環境を生かし、競技者としての「強さ」と、人としての「品格」を併せ持つアスリートおよびチームを育成し、日本の競技スポーツのさらなる発展に貢献していきます。

国際交流の推進とグローバル人材の養成

本学群では、スポーツを通じて国際社会に貢献できる人材の育成を目指し、国際的な視野を養う教育・交流活動を積極的に推進しています。学内には多くの留学生が在籍しており、授業や課外活動等を通じて、日常的に国際交流が行われています。また、本学群では、文化交流や英語力向上を目的とした個人・グループによる学習支援など、多様な取り組みを通して、実践的な語学力と異文化理解力を高める機会を提供しています。

卒業生より一言

高品 圭佑

読売新聞社
平成 27 年度卒業



私は現在、読売新聞社の事業局という部署で、スポーツや美術展など様々なイベントに携わっています。大学では、幅広く体育・スポーツの基礎を学び、3年生で「スポーツ哲学」という分野に出会い、当時問題となっていた体罰や野球賭博などについて、先生や仲間と議論しながら勉強しました。また野球部では、チームの勝利と選手の技術力向上を目指し、日々データ分析なども行っていました。当時は振り返ると、たまに学生の頃にタイムスリップしたくなることもあります。広いキャンパスで、トップアスリートや他学群の学生との交流もあり、様々な視点や立場から考えることを学んだように思います。自分の興味にとことん向き合う機会や時間があるのは大学生の特権だと思います。筑波大学は膨大な蔵書を誇る図書館を始め、じっくり学べる環境が整っており、もっと読んでおけばよかったと思うこともあります。「体育・スポーツを専門的に勉強し、将来スポーツに関わる仕事をしたい」という漠然とした想いが筑波大学で膨らみ、形になりました。是非、皆さんも筑波大学で充実した日々を送ってもらえたらと思います。

鈴木 瑞生

栃木県教員
平成 27 年度卒業
平成 29 年度修了



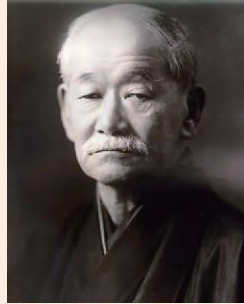
「これまでの当たり前の感覚が覆された」

私が筑波大学での4年間を通し感じたことです。「プロフェッショナルの一員になれるように」私が大学院での2年間を通し思い続けてきたことです。私の6年間は先生方や仲間たちに必死に食らいつく毎日でした。しかしそれがとても充実していて、幸福感に満ち溢れた時間でした。私は剣道で日本一になりたい。この思いを胸に進学しました。超一流の集団の中での稽古はもちろん、先生方や仲間たちとの会話一つ一つが私の中ではとても貴重なものでした。自分の剣道が変わっていくことを実感できた時はとても嬉しく、ますます剣道を追究していきたいと思うようになりました。この思いは現在も変わらず持ち続けています。

「子どもの行動そのものを見るのではなく、その背景を見つめてみよう」

教員になるという夢を抱いて大学に進学した私に先生がくれたこの言葉は、今でも私の心に生き続けています。「高校教員になる」という夢をかなえることができた今、生徒と共に過ごす毎日がとても幸せでかけがえのないものになっています。今の私の中には大学在学時に先生からいただいた言葉や、仲間と共に積み重ねた経験が支えとなっています。筑波大学体育専門学群はたくさんの可能性であふれている学生たちの背中を押してくれて、夢を現実のものとしてくれる場所です。「挑戦する」この気持ちを持ち続けることが今の私の原動力です。

気概と行動の教育者



嘉納 治五郎先生

講道館柔道の創始者
東京高等師範学校校長
アジアで最初の IOC 委員

嘉納先生は、柔道の創始者として世界中に知られています。本学の前身である高等師範学校、東京高等師範学校の校長を通算 23 年間も務め、多大な業績を残された教育者でもあります。また、先生はアジア初の国際オリンピック委員会委員であり、体育・スポーツの普及（大日本体育協会設立、運動部活動の普及、駅伝など）に力を尽くされ、驚くべきことに 100 年以上も前に 8000 人以上の中国人留学生を受け入れています。そして、嘉納先生は柔道を世界に紹介しながら、「精力善用・自他共栄」の理念を確立しました。「精力善用」は、各自の持つ、あるいは高めた力や能力を意味のあることに有効に活用することを説いたものです。「自他共栄」はだれもが助け合いながら共に生きていくことを意味します。このような多大な業績を残された嘉納先生はわれわれの誇りです。



実技理論・実習「臨海実習」



実技理論・実習「野外運動（雪上）」授業風景

資格など

教職科目を履修することで、中学校および高等学校教諭一種免許状（保健体育）を取得できます。また、所定の科目を履修することで、日本スポーツ協会スポーツ指導者基礎資格を取得でき、競技別指導者資格に関する養成講習会の共通科目や試験の一部が免除されます。さらに、メディカル・コンディショニング資格（アスレチックトレーナー）やフィットネス資格に必要な養成講習会の受講免除なども適用されます。

取得できる資格

中学校教諭一種免許状（保健体育）

高等学校教諭一種免許状（保健体育）

社会教育主事の基礎資格

健康運動指導士

※努力次第では、教育学類等で開設する教員免許に必要な単位を修得することにより、小学校一種免許状や特別支援学校一種免許状の取得も可能です。

卒業後の進路

近年の卒業生の進路を見ると、約1割が中学校・高等学校の教員、約6割が一般企業やスポーツ関連団体などに就職し、約3割が大学院へ進学しています。企業就職では、スポーツ・健康関連産業にとどまらず、幅広い分野で本学群で培った専門性や課題解決力が評価されています。

また、より高度な専門性を身につけるために大学院へ進学する学生も多く、修士課程では体育学、スポーツウエルネス学、スポーツ・オリンピック学、スポーツ国際開発学共同専攻など、多様な学位プログラムが用意されています。博士課程では、体育科学、スポーツ医学、コーチング学、ヒューマン・ケア科学、パブリックヘルスなど、専門性の高い研究を通じて、研究者や高度専門職業人としての道を切り拓くことができます。



陸上競技場

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	体育・スポーツ・健康、コーチングに関する分野に強い関心があり、教養を高め運動経験の幅を広げるだけでなく、これまで身につけた運動技能や関連する知識をさらに高めて、体育・スポーツの国内的・国際的發展に貢献する情熱と意欲を持った人材。	
入学までに学んでおいてほしいこと	高校の保健体育で学ぶ内容を習得し、さらに英語の基礎的能力を身につけていること。	
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	優れた学力及び運動能力を有し、体育・スポーツ、健康、コーチングの分野での活躍が期待できる人材を選抜するために、学力と運動能力の両方を対等に評価します。
	推薦入試	ひとつの運動種目に抜群の技能を有し、体育・スポーツ、健康、コーチングの分野での活躍ができる人材を選抜するために、本学群における修学力とともに、運動技能を重点的に評価します。
	AC入試	スポーツに関する科学的知識の主体的な活用と論理的思考力、およびそれらに基づいた、ひとつの運動種目における特に優れた技能や卓越した取り組みを多面的に評価します。
	国際バカロレア特別入試	体育・スポーツ、健康、コーチングの分野に強い関心をもち、将来、それらの分野で国際的に活躍できる学力、運動能力、国際性を総合的に評価します。
	外国学校経験者特別入試（第1種）	体育・スポーツ、健康、コーチングに対する強い関心と、思考能力、基礎的な日本語能力、高い英語能力、及び優れた運動能力を総合的に評価します。
外国学校経験者特別入試（第2種）	体育・スポーツ、健康、コーチングに対する強い関心と、保健体育に関する基礎学力、高い英語能力、日本語能力、及び優れた運動能力を総合的に評価します。	



サッカー場



テニスコート

芸術専門学群

School of Art and Design

<https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/school/>

【人材養成目的】

学際的・国際的な視野と確かな学力を持った、美術及びデザインの専門家を養成することを目的とします。

複雑化する社会の諸問題や美術・デザインに関する学問的な課題・要請に美術やデザインの手法で解決策を提案することができる人材を養成します。



素描基礎演習（1・2年次）



卒業制作展でのプレゼンテーション（4年次）

教育の特色

学際的な知性と芸術的感性の統合

総合大学における芸術教育の場という特徴を活かし、広く学際的教養と深い専門能力に芸術的感性を統合した、創造性に溢れた人材を育成します。

選べる14の領域

入学後に様々な領域の専門基礎科目や横断的科目を履修することによって、美術・デザインの広い世界を見渡し、学生一人ひとりが自らの適性と意欲に応じて、自由に志望する領域を選ぶことができます。

基礎と専門が統合されたカリキュラム

1・2年次では、多様な専門に繋がる基礎的な科目を横断的に履修します。3年次から、諸領域におけるより高度で専門的な科目を学び、4年次の卒業研究へと結びつけます。

学生の個性を尊重した教育

芸術教育において学生の個性は最大限に尊重されるべきものです。そのため、諸領域における専門教育は可能な限り少人数クラスとし、対話を通して個性を伸ばす指導を行います。

学際的な知性と芸術的感性を統合した自律的・社会的な創造的人材

専門科目

卓越した表現力の基盤を築く

横断的科目

創造的コミュニケーション力を養う

専門基礎科目

創造的表現力、問題解決能力、論理的思考力の基盤を育成

14領域

美術史	構成
芸術支援	総合造形
洋画	工芸
日本画	ビジュアルデザイン
彫塑	情報・プロダクトデザイン
書	環境デザイン
版画	建築デザイン

育成する能力とカリキュラムの構造

芸術専門学群ホームページ・パンフレット

- より詳しい情報は芸術専門学群ホームページをご覧ください。
<https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/school/>
- テレメールによる請求もできます (p.159 資料請求番号 953560)



「現場」と繋がる授業

全学の学生・教員や市民と協働する学際的カリキュラムを配置し、企業へのインターンシップや、行政、美術館、教育現場等との協働や教育交流など、実務と直結した教育を実施し、時代に即した高いコラボレーション力と学際的な視野を持つ学生を育成します。

創造的表現力と論理的思考力の両立

制作と論文執筆の二つを卒業要件とすることで、ものづくりの実践による創造的表現力と、客観的・論理的な思考方法を基盤とした確実な文章表現力の習得を目指します。

世界的視野に基づく創造力の育成

作品交流展、国際インターンシップなどの機会を活用し、国際的コミュニケーション能力と世界的視野に立った創造力を育成します。一部の専門科目では、英語による授業も行われています。

留学

芸術の各組織は、世界各地の大学と部局間での交流協定を結んでいます。こうした協定校への交換留学では、学費の不徴収や単位の互換などの仕組みが準備されています。また奨学金制度が幅広く準備されています。

芸術専門学群の交流協定校

- ・国立台湾科技大学
- ・国立台湾芸術大学
- ・中国美術学院
- ・ホーチミン市美術大学
- ・フィレンツェ国立美術学院
- ・アイントホーフェン工科大学
- ・デルフト工科大学
- ・スウェーデン王立美術大学
- ・バルセロナ大学
- ・ヘルシンキ芸術大学美術アカデミー
- ・ストラートデザイン大学
- ・国立工業芸科大学 (パリ工科大学)

筑波大学交流協定校 (一部)

- ・精華大学
- ・中央美術学院
- ・韓国科学技術院
- ・弘益大学校
- ・ユタ州立大学
- ・サマルカンド国立外国語大学
- ・ポルドー・モンテーニュ大学
- ・ブランデンブルク工科大学
コト布斯・ゼンテンベルク校
- ・ガジャマダ大学
- ・ペルー・カトリカ大学
- ・ディーキン大学



フォトグラフィー演習
(英語による授業)



書漢字演習

14 領域	学べる内容	主な授業科目
美術史	日本美術史、西洋美術史、美術論、博物館学 など	美術史特講 A～D、美術史演習 A～D
芸術支援	芸術支援学、芸術教育、アトライティング など	芸術支援学演習 A～C、美術館教育演習 I～III
洋画	油彩画、テンペラ、アクリル画 など	油彩画基礎演習 I、II、油彩画実習 A～D
日本画	日本画、古典模写、技法・材料研究 など	日本画技法演習、日本画表現演習 1～4
彫塑	塑造、木彫、石彫、鋳造、乾漆、テラコッタ など	塑造実習 I～III、彫刻演習 I～II
書	漢字、仮名、中国書法史、日本書道史 など	書漢字・仮名演習、中国書法史、日本書道史
版画	木版画、銅版画、リトグラフ、スクリーンプリント など	銅版画演習 I～II、木版画演習 I～II
構成	平面構成、立体構成、色彩構成、図案意匠、プリントデザイン など	色彩学、平面・立体構成演習
総合造形	現代アート、メディア・アート、インタラクティブアート、映像、キネティックアート など	メディアアート・プログラミング、キネティックアート演習、総合造形制作演習 I～II
工芸	陶磁、ガラス、木工・漆芸 など	工芸基礎演習 (陶磁、ガラス)、陶磁・ガラス・木工基礎演習
ビジュアルデザイン	グラフィックデザイン、ブランド構築、パッケージデザイン、フォトメディア、マンガ、絵本、イラストレーション など	ビジュアルデザイン演習 A、B、パッケージデザイン演習
情報・プロダクトデザイン	情報デザイン、プロダクトデザイン、コミュニケーションツールデザイン、感性科学、デザイン解析 など	デザインイノベーション論、情報・プロダクトデザイン演習 A～F
環境デザイン	環境デザイン、都市デザイン、ランドスケープデザイン、まちづくり など	デザイン演習 2-B、6-B、環境デザイン演習 A～C
建築デザイン	建築デザイン、建築計画、建築史 など	建築設計論、建築デザイン演習 A～D

14の領域で学べる分野

卒業研究

4年間の集大成である卒業研究は学生の自立を保証するものです。美術・デザインの専門家として自律的に創造活動を行う基礎力を養い、豊かなコミュニケーション能力を磨きます。すべての卒業研究は学外の公立美術館で公開展示され、卒業研究作品集の公刊とともに社会の評価を仰ぎ、優秀作品は顕彰され大学に収蔵されます。

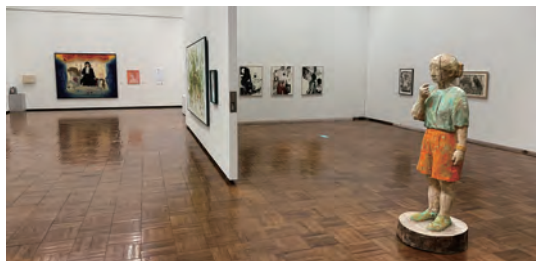
資格

所定の科目の単位を履修し、実習を修了すると以下の資格を取得することができます。

■学校教員免許状（中学校一種美術、高等学校一種美術・工芸・書道）

■博物館学芸員資格

■一級建築士、二級建築士、木造建築士の受験資格



卒業制作展（卒業研究の公開展示）



木崎 由美子
青山学院大学教育人間科学部
教育学科助手
2021年卒業
2023年修了

卒業生の声

Q1 現在の仕事について

現在は大学の教育学部で助手として勤務しています。主に美術の授業をサポートをする仕事です。

大学時代は教育について専門的に学んでいたわけではなく、どちらかといえば制作中心の学生生活でした。しかし学生と関わる中で、教育の面白さを感じるようになりました。人が成長していく過程を身近で見られることに喜びを感じています。

Q2 大学で得たもの

大学で得た一番大きなものは行動力です。大学は自主性が求められる環境なので、自分から動かなければ何も始まりません。授業外でもさまざまなことを試行錯誤したおかげで、自分の強みを見つけることができました。

また、入学当初は周り比べて自分の技術に自信が持てず悔しい思いもしましたが、「見返してやろう」という気持ちで制作に打ち込みました。その結果、作品で賞をいただくことができ、それが自信につながりました。コツコツ制作に向き合えた経験は、今の自分の基盤になっています。

Q3 後輩へのメッセージ

大学はとても貴重な環境です。周りにライバルや刺激を与えてくれる仲間がいることは、大きな成長につながります。

安定を求めるよりも、ぜひいろいろなことに挑戦してみてください。大学の外にも視野を広げることで、思いがけない出会いがあると思います。この先、たくさん悩む場面が出てくるとは思いますが、どうせなら楽しんで取り組んで欲しいと思います。



今泉 優子
株式会社愛植物設計事務所
調査計画部
2021年卒業
2023年修了

Q1 現在の仕事について

公園や庭園等、植物のある空間の企画・調査・計画・設計を行うコンサルティング会社で働いています。「植物と人との好ましい関係を模索し提案する」という理念のもと、文化財庭園の植物調査や天然記念物の並木の巡回、保護管理計画の作成補助等幅広い業務に携わっています。最近では、計画等業務の一環として、植栽空間の「現在」「計画案」「将来像」を絵として描写する作業も多く、樹種等の描き分けを学びながら、植物の魅力と計画の意図がより伝わる表現を目指して日々取り組んでいます。

Q2 大学で得たもの

「学び」の機会を自ら見つけ、吸収する楽しさを知りました。芸術専門学群に所属していましたが、植物への興味をさらに深めたのは生命環境学群の講義「森林植物学」でした。筑波大学は総合大学ですので、興味のある講義にはぜひ積極的に足を運んでみてください。自分の感性の「軸」を育てる学びの積み重ねは貴重で、私にとって「植物」がその軸のひとつとなり、制作や研究、現在の仕事に励み力となっています。

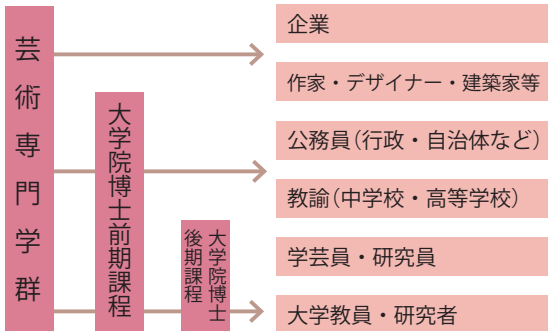
Q3 後輩へのメッセージ

たくさん学んでください。それは勉強だけでなく、サークル活動や趣味の時間も同じです。自分が関わる物事に興味を持つことは、自分の感性の「軸」を育てることにつながります。その成長にとって、「学び」は何よりの栄養です。そして学んだことを友人や先生に話してみてください。言葉にすることで理解は深まり、確かな蓄積となります。筑波大学にはそうした対話ができる人がたくさんいます。皆さんの中にある「軸」を育てることは、制作や研究だけではなく、これからの人生においても、皆さんの魅力をより豊かにしてくれるはずです。応援しています！

卒業後の進路

卒業生の数だけ進路はあります

卒業生は、大学院への進学、企業への就職、あるいは独立した作家、デザイナーなど、様々な分野において自己を実現していきます。



■主な進学先・就職先

【進学】

筑波大学大学院、東京大学大学院、東京藝術大学大学院、東京工業大学大学院、横浜国立大学大学院、京都大学大学院、京都市立芸術大学大学院、九州大学大学院、ロイヤル・デニッシュ・アカデミー ほか

【企業】

インタフェースデザイン：ソニー、パナソニック、富士通、三菱電機、デンソー、京セラ ほか

Web デザイン：ソニーデジタルデザイン ほか

ゲーム・アミューズメントシステムデザイン：任天堂、バンダイ、セガ、タイトー、バンダイナムコゲームズ、株式会社コーエーテクモグループ、ハル研究所 ほか

プロダクトデザイン：パナソニック、トヨタ自動車、ソニー、ホンダ、東芝、日産、スズキ、スバル、三菱自動車、ダイハツ、マツダ、オカムラ、ミズノ、キャンノ、コクヨ、パナソニック電工、ゼブラ、シャープ、三菱電気、乃村工芸社、TOTO ほか

編集・エディトリアル・グラフィックデザイン：朝日新聞、NHK 出版、花王、コンセント、サン・アド、サイバーエージェント、ソニー、DNP、DNPメディアクリエイティブ、TBS、電通、ドラフト、凸版出版、博報堂、博報堂プロダクツ、パナソニック電工、プラビス、森永製菓、ランドー・アソシエイツ、リクルート ほか

建築・空間デザイン：鹿島建設、日建設計、SANAA、長谷工コーポレーション、大和ハウス工業、セキスイハイム、日本住研、劇団四季 ほか

都市計画・公園緑地デザイン、社会システムデザイン：横浜市、プレック研究所 ほか

芸術・文化関連：小学館、法蔵館書店、北海道新聞社、アートフロントギャラリー、シンワアートオークション、カウベル・コーポレーション、高島屋本社企業文化部 ほか

【作家・デザイナー】

画家、彫刻家、書家、造形作家、各種デザイナー、建築家、都市計画家、プロデューサー、メディアアーティスト ほか

【学芸員・研究員】

北海道立近代美術館、福島県立美術館、東京国立博物館、東京文化財研究所、東京国立近代美術館、東京都写真美術館、埼玉県立近代美術館、群馬県立近代美術館、ポーラ美術館、山梨県立美術館、新潟県立近代美術館、富山県立近代美術館、奈良国立博物館、姫路市立美術館、大原美術館、岡山県立博物館、愛媛県美術館、熊本市現代美術館 ほか

【教諭（中学校・高等学校）】

各都道府県（公立・私立）中学校・高等学校 など

【公務員】

国土交通省、経済産業省特許庁、都市再生機構、農業・食品産業技術総合研究機構、愛知県庁、岩手県庁、太田市役所、館林市、つくば市役所、横浜市役所、千葉市役所、藤枝市役所、三郷市役所、社会福祉法人基弘会、全国共済農業協同組合連合会、陸上自衛隊、筑波大学 ほか

注意：大学院修了後の就職先を含む

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	芸術を追求する熱意のある人材、社会的・国際的観点から創造活動にチャレンジする意欲のある人材、多領域に関わる知識や方法に基づいた美術・デザインによる表現によって社会に貢献する意欲ある人材を求めています。	
入学までに学んでおいてほしいこと	美術・デザインの専門に関する基礎的な知識と技能及び幅広い基礎学力を習得していることが望ましい。	
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	幅広い基礎学力と芸術に関する能力を総合的に評価します。
	個別学力検査等（後期日程）	基礎学力と芸術に関する基礎的な能力を総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校（後期中等教育）における学習や活動の成果に加え、芸術に関する資質、意欲、能力を総合的に評価します。
	国際バカロレア特別入試	国際バカロレア資格を取得した者を対象として、本学の教育を受けるのに必要な基礎学力、問題発見・解決能力、行動力等の一般的な能力と、芸術に関する資質、意欲、基礎的な能力を総合的に評価します。
	外国学校経験者特別入試（第1種）	高等学校（後期中等教育）における学習・活動の成果や日本語能力に加え、芸術に関する資質、意欲、基礎的な能力を総合的に評価します。
外国学校経験者特別入試（第2種）	高等学校（後期中等教育）における学習・活動の成果に加え、芸術に関する資質、意欲、基礎的な能力を総合的に評価します。	
Japan-Expert（学士）プログラム特別入試	高等学校（後期中等教育）における学習の成果や日本語能力に加え、提出された書類や作品等も含め、芸術に関する資質や意欲を総合的に評価します。	

入学者選抜における試験科目

*変更の可能性もありますので必ず募集要項を確認してください。
以下は概要となります。

【推薦入試、前期日程「学類・専門学群選抜」】

	科目記号	実技検査科目
午前	A1	論述
	A2	鉛筆デッサン
午後	P1	論述（鑑賞）
	P2	論述（デザイン構想）
	P3	デッサン（木炭又は鉛筆）
	P4	平面構成
	P5	書

午前の検査科目 A 群から 1 科目、午後の検査科目 P 群から 1 科目をそれぞれ事前に選択していただけます。
推薦入試では面接もあります。

【後期日程】

	科目記号	実技検査科目
午前	A1	論述
	A2	鉛筆デッサン

論述、鉛筆デッサンのどちらか 1 科目を事前に選択していただけます。
面接・口述試験はありません。

学際サイエンス・デザイン専門学群

School of Transdisciplinary Science and Design

<https://www.utmy.edu.my/>

【人材養成目的】

データサイエンスを基軸とし、自然科学、人文社会科学の考え方、技術を広く環境・社会問題等に適用し、デザイン思考を踏まえつつ創造的に地球規模課題解決に貢献する人材を育成します。

最先端のグローバル教育環境、UTMy へようこそ!



学際サイエンス・デザイン
専門学群長

辻村 真貴

未来を切り拓く挑戦者たちへ

UTMy へ、ようこそ。私たちは、日本の大学として初めて海外に開設された学群(学部)組織として、従来の大学教育にない、新しい学びの場を皆さんに提供します。UTMy は、データサイエンスを基軸としつつ、自然科学、人文社会科学、環境科学の知識、技術を適用し、地球規模課題の解決に貢献できる人材を育成します。多様な人々、文化、宗教が共存し、様々な課題が顕在化するマレーシアという地において、皆さんと共に私たちも学んでいきます。

身近にある困りごとや問題を解決したいと思う人、困っている人の役にたちたいけれど、どうしたらよいかわからない人、将来国際問題の解決に貢献したい人など、UTMy は皆さんを求めています。

私たちは、PBL (Problem Based Learning: 課題解決型学修) を中心としたカリキュラムを提供します。PBL では、皆さんが「解くべき問題を自ら設定する」ことから始まります。そして、解決に必要な知識や技術を得るために、皆さん自身が調べ、考究することを、私たち教員や、当地の企業や団体など多様なサポーターが、様々な形で支援します。UTMy は、社会の中にある大学なのです。

皆さんは、UTMy で私たちとともに持続可能で心豊かな未来社会を創る第一世代です。皆さんと共に UTMy で学ぶことを、心から待っています。

先進的な「課題解決型」教育体制：グローバルな問題解決型人材育成に特化!

日本初の海外校での新たなグローバル教育

我が国の大学として初めて海外において日本の学位を授与する海外校である筑波大学マレーシア校 (UTMy)、学際サイエンス・デザイン専門学群 (School of Transdisciplinary Science and Design) は、地球規模課題を解決する課題解決型のグローバル人材育成に特化した専門学群です。この教育を実現するため、UTMy では多方面の専門の教員からなる、文理融合型の真に学際的な教育チームを組織しています。これは日本の大学の中でも非常にユニークな組織であり、多岐の地球規模課題を解決するための効率的な教育が可能になります。

さらに、UTMy では課題解決型学修 (Problem Based Learning: PBL) を中心とする先進的なカリキュラムを構築しています。PBL を含む UTMy のカリキュラムは、「デザイン思考」に基づいて設計されており、データサイエンスを基軸とし、文理双方の学問を駆使することで、課題解決の先端技術を学びます。

UTMy では、Bachelor of Arts and Science (日本名: 学士 (学術)) の学位を授与します。この学位は日本の学位であり、日本の筑波大学の卒業と同等の質を保証するものです。



学際サイエンス・デザイン専門学群ホームページ、パンフレット

- 学際サイエンス・デザイン専門学群に関する最新情報は、Web ページで公開しています。
<https://www.utmy.edu.my/>
- パンフレットは Web ページからダウンロード可能です。



グローバルな課題への挑戦者を育てる、カリキュラムの3つの特徴： [PBL]、[データサイエンス]、[学際性]

1. 課題解決型学修 (PBL) の常設

UTMy のカリキュラム (左図) の最大の特徴は、なんといっても、課題解決型学修 (Problem Based Learning: PBL) を中心としている点です。PBL はアクティブラーニングの一種で、学生自らが問題を設定し、その解決策を考えるという形で学んでいきます。このような学びでは、解決の結果得られた成果物自体よりも、問題解決の過程の中で自ら新しいことを学ぶ、すなわち、「学ぶことを学ぶ」ことに価値があります。UTMy では、1 年生から 4 年生まで、一年中、常に PBL の授業を行います (左図中央部分)。このような徹底した PBL 中心のカリキュラムは、世界中を探してもなかなか見当たらない、非常に珍しい実践です。PBL の中には、チームで取り組むテーマも多く、チームメイトや教員、さらにはテーマに関わる様々な人々とのディスカッションが、適切な問題設定や、解決策を見つけるカギとなります。したがって、英語を中心としたコミュニケーション能力を研くことが求められます。なお、UTMy の PBL は、ダイバーシティに富む複数の教員がナビゲーターを務め、自然科学から人文社会科学にわたる、あらゆる分野のテーマを扱うため、学生は常に新鮮な気持ちで PBL に取り組むことができます。このような PBL の常設によって、学生は自ら学ぶ能力とコミュニケーション能力を身に付け、前例のない地球規模課題に挑戦し続けていく力を養うことができます。

2. データサイエンスを学ぶ仕掛け

地球規模課題の解決のためには、グローバルデータを解析して、解決策の影響をデータに基づき予測することが求められます。よって、データサイエンスの習得は必須と言ってもよいでしょう。データサイエンスを深く理解し、フル活用するための本質は、データサイエンスに関わる数学を理解することです。そこで、UTMy では、学修時間の制約の下で効果的にデータサイエンスを身に付けるために、通常の理系カリキュラムとは異なる仕掛けを用意しています。

まず、1 年生で、情報リテラシーや確率・統計の基礎を、プログラミングと並行して学びます (左図の下段右側)。その後、2 年生では、自然科学と人文社会科学の基礎を広く学びながら、データサイエンスとの関連を学修します (左図の中段)。このとき、科学の多くの問題が数学と結びついていることを知り、数学学修に対するモチベーションが高まります。その上で、3 年生で、データサイエンスに関わる数学の基礎 (線形代数と解析学) を学びます (左図の上段右側)。このように、UTMy では、データサイエンスに必要な数学の学修レディネスを十分に醸成した上で、数学学修の機会を提供し、データサイエンスの理解を深化させます。さらに、PBL において、データサイエンスの理解度に応じて、そのスキルを活用し、4 年間の中で、実践的スキルを段階的に獲得していきます (左図の中央部分)。

3. 学際性の学び

地球規模課題を解決する上では、問題をあらゆる方向から眺めて、実装可能な種々の手段の中から最善の手を選ぶことが求められます。そのためには、分野の垣根を越えて思考する学際性を身に付けることが重要です。実は、学際性は、筑波大学の最も得意とするところであり、その叡智が UTMy のカリキュラムにおいて結実しています。まず、1 年生で筑波大学の学際性を全学共通科目で学び、2 年生において、自然科学から人文社会科学にわたる基礎をじっくりと学びます (左図中段)。さらに 3 年生において、幅広い基礎を踏まえて、より高度な学問を学んでいきます (左図上段)。このような授業を実装するために、ダイバーシティに富む教員を配置できる点は、まさに筑波大学の強みと言えます。これにより、学生は広範な学際的教養を身に付けることができます。また、PBL においては、既に述べたように、自然科学から人文社会科学にわたる幅広いテーマを扱うため、これも、学際性を身に付ける一つの仕掛けになっています。



日本の大学初の海外校キャンパス：「真に開かれた大学」へ、世界が注目！

日本・マレーシア首相間の会談からスタート

UTMyは、2018年の安倍元日本首相とマハティール元マレーシア首相の会談を発端として実現しました。これは我が国初の日本の大学による海外校の開設であり、海外で初めて日本の学位が授与できるようになりました。UTMyは日本、マレーシア両国で大きく注目されており、2025年1月の日馬首脳会談でも両国首脳により言及されました。

2024年9月に行われたUTMyの開学式には、日本、マレーシア両国の政府関係者にも多くご列席いただきました。また、マハティール元マレーシア首相の特別講義も行われ、UTMyへの力強い祝辞をいただきました。

アジア・ゲートウェイから世界へ

UTMyでは、筑波大学の学際性・国際性に富んだ特徴をアジア地域において展開することで、まったく新しい教育に挑戦しています。このため、UTMyには、日本とアジアの関係における高度人材ネットワークのハブ、すなわちアジア・ゲートウェイの役割が期待されています。

UTMyではダイバーシティに富む多分野の教員チームと多国籍の学生とが共創することで、世界的にもユニークな、真に開かれた教育の場を創出しています。UTMyは「開かれた大学」としての筑波大学本来の建学の精神を未来の世界に大きく発展させる、世界が注目するプロジェクトなのです。



教員からのメッセージ

「専門分野ではなく、境界線を飛び越え、
技を磨く経験を選ぼう！」

善甫 啓一（システム情報系）



未来の当たり前を担う

大学に入るには、既にある学問分野を1つ選ばないといけない！…とと思っている人は多いのではないのでしょうか？このUTMyではそんな制約に縛られることはありません。私自身、筑波大学で物理学、経営学、工学と分野を渡

り歩いてきましたが、それでも最先端の研究に取り組むにはどうしても知識や技術が足りないと常に感じています。

特にデジタル技術の進展は目覚ましく、世界は加速度的に変化しています。学問分野も栄枯盛衰、常に再編を繰り返しています。国内だけ、1つの分野だけでは、これからの時代を生き抜くことは難しいでしょう。未来の当たり前を担っていくために、世界の社会課題に、今の技術で全力で取り組んでみませんか？UTMyで、あなたの可能性を最大限に拓いてゆきましょう！

「サラダボウルで出会う新たな世界」

平石 典子（人文社会系）



ダイバーシティを体感する

多民族社会であるマレーシアでは、さまざまな宗教・言語・文化が共存し、互いに認め合いながらそれぞれの価値観を大切にしています。この国が、Melting PotではなくRojak（マレーシアのフルーツと野菜のサラダ）といわれ

る所以です。サラダの中のパパイヤがキュウリと違うのは当たり前。大切なのは「空気を読むこと」ではなく、違いを認めた上で対話を続けることなのだ、ということを感じることができる場所です。UTMyでも、学生たちがそれぞれの興味関心を追求します。多様性が当たり前の環境での大学生活は、みなさんの視野を広げ、育ってきた文化や社会を見つめ直すきっかけにもなるでしょう。UTMyでみなさんがどんな新しい世界を見つけるのか、楽しみにしています。

在学生からのメッセージ



2024年度入学
吉田 龍生

独自性に富んだ学び

当学群は、課題解決型の授業を通して、知識をただ蓄えるのではなく、実際に活用する方法を学ぶ新しいスタイルの大学教育が展開されています。科学的知識や技術、データといったサイエンスの視点からデザインの手法を組み合わせることで、現代社会が抱える複雑な課題に日々挑戦しています。我々学生は、自分たちが解決したいと考えるトピックを自由に選び、サイエンス的な手法を活用しながら実際の解決策を導き出していきます。

当学群が拠点を置くマレーシアは、急速に発展を遂げている国です。今最も注目されている国の一つに身を置くことで、国際的な視野が求められる私たちの世代にとって、国際感覚や実践力を高める絶好の環境となっています。学外活動では、私は提携先である University of Malaya のサッカー部に所属しています。異なる文化的背景や価値観を持つ仲間たちと切磋琢磨する中で、スポーツを通じた交流や多様な視点を得る機会に恵まれ、人間的な成長を実感しています。目下の目標は、部活動を通してマレー語を習得することです。

このような独自性に富んだ学びの中で、未来を切り開く力を身につけられることに大きな魅力を感じています。



2024年度入学
大野 万凜

新鮮で刺激的な環境

学際サイエンス・デザイン専門学群では、理系・文系の枠を超えて幅広い分野を横断的に学ぶことができる点が大きな魅力です。特に、この学群の特徴の一つである PBL（課題解決型学修）の授業では、実際の社会に潜む課題を発見し、それに対してどのように取り組むべきかをクラスメイトと議論しながら、チームワークや実践的なスキルを養うことができます。

また、筑波大学マレーシア校には、様々なバックグラウンドを持つ多国籍な学生が在籍しています。学内で4か国語（英語、マレー語、中国語、日本語）が飛び交う環境は、新鮮で刺激的です。こうした多文化社会に身を置くことが多様な価値観に触れる貴重な機会になっており、視野が広がるだけでなく、異文化理解を深めるきっかけにもなっています。

私は、マレーシアに来るまで海外留学の経験はありませんでした。そのため、当初は英語での授業に不安を感じることもありましたが、現在では新たな環境に適応しながら学ぶことが自分自身の成長につながっていると感じています。

PBL による学びと語学力の向上が、将来のキャリアにおいても大きな強みになると確信しています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材	1. マレーシア及び東南アジア域等において顕在化する地球規模課題とその解決に、強い関心と意欲を持っている。
	2. 地球規模課題解決のために自然科学及び人文社会科学を学ぶことに関し、関心と意欲を持っている。
入学までに学んでおいてほしいこと	3. 客観的なデータや資料に基づき情報の適否を判断し、自身の考え方を合理的にまとめることに関し、関心と意欲を持っている。
	4. 日本語や日本文化に関心を持つとともに、異なる価値観や考え方を尊重することができる。
入学者選抜方針	推薦入試 高等学校等において優秀な成績を修め、地球規模課題解決への高い関心と学修意欲等があること、かつ日本語で学ぶ素養があることを総合的に評価します。
	適性入試 全般的な基礎学力と、データサイエンスを学ぶ上で必要となる高度な理解力、思考力、地球規模課題への関心と表現力等を総合的に評価します。

[Arts and Science] について

UTMy で得られる学位は、Bachelor of Arts and Science です。“Arts”という言葉が入っているので、もしかすると、美術や音楽などの芸術を学ぶのか、と思う人も多いかもしれませんが。

辞書を引いてみると、Artには「実際に何かを作ったり、行ったりする」という実行・実装という意味があります。UTMy では、地球規模課題に対して、頭で考えるだけでなく、アイデアを実行し、社会実装するチャレンジャーを育てる、という思いが、このArtという語に込められています。

この学位は、日本の筑波大学の学位（学士（学術））として授与されます。実は、日本の大学の学位が、海外で与えられるのは初めてのことで、UTMy 自身が、日本の大学の学びを海外で実行するチャレンジャーなのです！



学ぶための環境

図書館

大学図書館は、大学における学習・教育・研究を支える不可欠な施設です。今日の大学教育は学生に単に知識を与えるだけでなく、考える能力を培うとともに、いかに知るかを教育し、国際化する社会に主体的に対応できる能力を育成することを目標としています。

大学図書館は、図書館資料の収集・保存・提供及びレファレンス・サービス等にとどまらず、急激な高度情報化・国際化に対応するために、インターネットによる情報の発信基地としての役割も果たしています。

■利用可能な資料

現在 275 万冊の図書と 3 万タイトルの雑誌を中央図書館、体育・芸術図書館、医学図書館、図書館情報学図書館および大塚図書館（東京キャンパス）の 5 つの図書館に配置しています。これらの資料は、だれでも自由に書架から取り出して利用できる全面開架となっています。また、4 万タイトルの電子ブックと 4 万タイトルの電子ジャーナルへのアクセスを提供しています。

■施設・設備

館内には、学習・閲覧スペース、グループ学習のためのセミナー室、大学院生と教員が利用できる研究個室、オンライン授業に対応した防音ブース等があり、快適な学習環境を提供しています。

■ Web によるサービス

<https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/>

図書館 Web サイトでは、自宅やキャンパス内など、場所にとらわれずいつでも利用できる Web サービスを提供しています。例として Tulips Search (横断的な文献検索)、OPAC (蔵書検索)、電子ジャーナル、電子ブック、図書の予約・取り寄せ、貸出期間の延長、個室の予約などがあります。

■多様な取組とサービス

中央図書館には貴重書展示室があり、貴重な所蔵資料を紹介する常設展示を行うほか、特別展を開催し、地域の方々にも公開しています。また、国立大学図書館としては初めてボランティアによる活動を導入し、外国人や障害のある利用者への支援を行っています。

2 階の「ラーニング・スクエア」には、グループ学習スペースや学生サポートデスク等があります。学生サポートデスクでは、大学院生のラーニング・アドバイザーが学生の質問・相談に対応し、学習活動を多面的に支援しています。



中央図書館 ラーニング・スクエア

外国語教育

外国語の教育を効果的に行うために、グローバルコミュニケーション教育センター（通称：CEGLOC / セグロック HP：<https://www.cegloc.tsukuba.ac.jp/>）が設置されています。CEGLOC では、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国語の 7 つの外国語のほかに、留学生向けの日本語、および日本人学生向けの国語が開講されています。外国語については、海外研修も用意されています。

■メディアライブラリー・ライティングサポートデスク

CEGLOC 併設のメディアライブラリーでは、外国語や日本語授業の自習・復習用に、オンラインコンテンツ、DVD、オーディオ教材（英語、日本語、初修外国語、外国語検定試験対策等）を利用することができます。同セミナー室では英語をはじめとする外国語のライティング活動を支援する Academic Writing Support Desk のセッションが行われています。

■「優れた外国語活動」認定制度など

学生の自主的な外国語活動を評価する「優れた外国語活動」認定制度もあります。詳しくは、CEGLOC の Web サイトやメディアライブラリーで確認してください。留学生向けには、日本語学習環境支援共同利用拠点（旧：日本語・日本事情遠隔教育拠点）が提供している日本語教育コンテンツが無料で利用できます。

卒業するまでの期間に複数の外国語を学修し、将来の留学、進学や就職のために活用してください。

体育

学生の体育・スポーツに関する持続発展的な教育課程及び課外教育活動、本学主催の体育事業並びに本学教職員のレクリエーション活動の実施指導を行うとともに、大学体育・スポーツを通じた多様な人材育成及び体育施設を広く社会開放し、体育・スポーツ活動の普及振興に寄与することを目的に体育スポーツ局が設置されています。局では学生・教職員、地域住民、全国現職教員等幅広い層を対象に、体育スポーツ事業や施設開放を行うとともに、体育施設の管理運営を行っています。



陸上競技場

国際交流

筑波大学は、国際性においても「開かれた大学」となることを目指し、海外留学等の国際的な学術交流によって、国際的視野を持つ人材の養成に努めるとともに、キャンパス内の日常的な国際化を進めています。

海外留学

海外留学は、国際性豊かな感性を磨き、幅広い視野から物事を考える習慣を身に着けるための貴重な機会となります。

筑波大学では、海外留学を希望する学生を支援するため、以下のような制度を用意しています。

- ・ 交流協定による交換留学制度
- ・ Campus-in-Campus による海外留学制度
- ・ 奨学金制度
- ・ 単位互換制度

留学を希望する学生は、早い時期から準備をすることを勧めます。留学を実現するためには、留学先の国や大学の情報収集にはじまり、言語の習得、パスポートやビザ取得などの国内手続き、学内の留学手続き、留学資金の確保など、しなければいけないことがたくさんあります。また、卒業までの履修計画も同時に考えるようにしてください。

海外留学や国際交流イベントに関する情報は、本学学生サポートセンターのウェブサイトやTeams(本学学生のみ)に公開を限定)を使って発信しています。

また留学説明会・セミナーなどのイベントや、留学相談等による情報提供も実施しています。

[海外留学・国際交流イベント情報]

学生サポートセンターウェブサイト

[国際交流支援室]

<https://ssc.sec.tsukuba.ac.jp/ies-top>



交換留学制度

筑波大学は、令和8年4月現在69か国・地域の大学や研究機関と397の交流協定を締結しています。この協定に基づき、海外の大学に学生を派遣するものが、交換留学です。協定校への交換留学には、次のようなメリットがあります。

○筑波大学及び独立行政法人日本学生支援機構が実施する奨学金制度に申請できます。

○授業料相互不徴収に関する協定を締結している協定校にあっては、相手大学での授業料が免除されます。

2024年度派遣 交換留學生数 (学群のみ)

国名・大学名	派遣数	国名・大学名	派遣数
アメリカ		チェコ	
オハイオ州立大学	5	カレル大学	2
サンノゼ州立大学	1	ドイツ	
ニューヨーク州立大学 オスウェゴ校	2	ボーフム大学	3
カリフォルニア州立大学	1	ボン大学	2
カリフォルニア大学アーバイン校	1	ケルン大学	3
南インドアナ大学	1	トルコ	
イギリス		ボアジチ大学	1
ラフバラ大学	1	フィリピン	
シェフィールド大学	1	デ・ラ・サール大学	1
エディンバラ大学	7	フランス	
マンチェスター大学	4	グルノーブル・アルプ大学	6
イタリア		パリ・ラ・ヴェレット建築大学	2
フィレンツェ国立美術学院	1	ポルドー・モンテーニュ大学	1
インドネシア		ポルドー大学	6
ガジャマダ大学	1	フランシュ=コンテ大学	1
IPB 大学	1	パリ第八大学	2
チェンドラワシ大学	1	ブルネイ	
ピヌス大学	1	ブルネイ・ダルサラム大学	1
ウズベキスタン		ベトナム	
タシケント国立東洋学大学	1	ベトナム国家大学ホーチミン校	2
サルカンド国立外国語大学	1	マレーシア	
エストニア		マレーシアサバ大学	1
タリン大学	1	ケパンサアン・マレーシア大学	3
オーストラリア		マレーシア・プトラ大学	1
ディーキン大学	3	ウタラマレーシア大学	3
ジェームズクック大学	2	マラヤ大学	2
オランダ		マレーシア工科大学	4
ユトレヒト大学	3	メキシコ	
カザフスタン		グアダハラ大学	2
ナザルバエフ大学	2	モロッコ	
カナダ		アル・アハワイン大学	4
ブリティッシュ・コロンビア大学	1	リトアニア	
サスカチュワン大学	1	ヴィリニユス大学	2
クローチア		韓国	
ユライ・ドブリラ大学 プーラ	1	延世大学校	1
コロンビア		啓明大学校	1
ロスアンデス大学	1	漢陽大学校	1
スウェーデン		台湾	
スウェーデン王立美術大学	1	国立政治大学	1
スペイン		国立台湾大学	2
サラマンカ大学	1	国立中央大学	1
スロベニア		総計	119
リュブリャナ大学	2		
タイ			
チェンマイ大学	3		
カセサート大学	3		
タマサート大学	1		

Campus-in-Campus (CiC) による 海外留学について

Campus-in-Campus (CiC) とは、CiC 協定を締結した海外のパートナー大学との間でキャンパス機能を共有し、学生・教職員等が国境や機関の壁を越えて教育研究交流ができる環境を実現する取り組みです。授業料相互不徴収の規定により、筑波大学の学生が留学先の CiC 協定校へ支払う授業料は不徴収となります（本学への授業料納付は必要です）。

学生交流の対象となる CiC 協定校（令和 8 年 3 月現在）：
国立台湾大学（台湾）、ポルドー大学（フランス）、マレーシア工科大学（マレーシア）、サンパウロ大学（ブラジル）、オハイオ州立大学（米国）*、グルノーブル・アルプ大学（フランス）、ポーfum大学（ドイツ）、アルファラビ・カザフ国立大学（カザフスタン）、国立成功大学（台湾）、インド工科大学グワハティ校（インド）、ユトレヒト大学（オランダ）*、KU ルーヴェン（ベルギー）*。

Campus-in-Campus を活用するメリット

1. 人数制限のない交換留学*
2. 現地オフィスによるサポート
3. 充実した経済支援
4. 多彩なプログラム

※印の大学については人数制限・分野制限あり。



国立台湾大学との学生交流プロジェクト
（国立台湾大学にて）



ポーfum大学での学生交流会（本学に留学予定の学生、留学から戻ってきた学生、本学からドイツ留学中の学生等による交流会）の様子

奨学金制度

■筑波大学海外留学支援事業 はばたけ！筑大生

次の5つの支援区分により、学生の海外派遣を支援します。

- ①国際交流協定校交換留学
- ② CiC 協定派遣等支援
- ③多文化共修活動参加支援
- ④語学研修・海外研修参加支援
- ⑤海外武者修行支援

支援額 …………… 50,000～200,000 円（支援区分・地域区分により異なる）

採用人数 …………… 500人（令和7年度採用実績）

■海外留学支援制度（協定派遣）

筑波大学が学生交流に関する協定を締結している大学に、本学の教育組織等が実施する派遣プログラムにより、1年以内の期間派遣される学生に、独立行政法人日本学生支援機構が奨学金を支給する制度です。

奨学金 …………… 80,000～120,000 円（月額・金額は留学先国・地域により異なる）

本学の支援人数 …………… 76人※学群のみの数
（令和7年度支援実績）

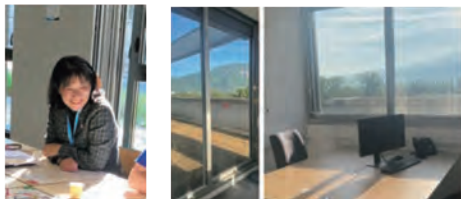
単位互換制度

海外の大学で学習する場合、「留学」の身分によるものと、「休学」の身分によるものがあります。「留学」の場合、本学の在学年限に換算され、留学先で履修した単位は、本学の卒業要件となる単位（学群の場合は60単位まで）に認められます。「休学」の身分であっても、教育上有益と認められるときは、休学期間中に外国の大学等において修得したものとみなし、認定されることがあります。

海外拠点

筑波大学では、数多くの国際交流事業を展開しています。その一つとして、教育研究活動の国際連携を推進するための海外拠点が設置されています。現在、チュニスオフィス（チュニジア）、タシケントオフィス（ウズベキスタン）、アルマトイオフィス（カザフスタン）、ホーチミンオフィス（ベトナム）、ジャカルタオフィス（第1オフィス）（インドネシア）、ジャカルタオフィス（第2オフィス）（インドネシア）、クアラルンプールオフィス（マレーシア）、台湾オフィス（台湾）、北京オフィス（中国）、グルノーブルオフィス（フランス）、ボルドーオフィス（フランス）、ボーフムオフィス（ドイツ）、アーバインオフィス（米国）、サンパウロオフィス（ブラジル）の14か所の事務所が活動しています。

このうち、グルノーブルオフィス（フランス）及びボーフムオフィス（ドイツ）には、本学の職員を派遣しています。



グルノーブルオフィス（フランス）



ボーフムオフィス（ドイツ）

スチューデント・commons

主に留学相談等による海外留学情報の提供の場、及び、日本人学生と留学生が交流する場として、スチューデント・commonsを設置しています。主に以下のような使い方が可能です。

・海外協定校への留学相談

主に筑波大学からの交換留学を通して海外経験のある学生スタッフが、留学希望の学生に留学情報の提供を行います。

・国際交流イベントへの参加

授業期間には「Global Chat」というチャットイベントを実施していて、留学生と交流しながら日本語、英語をはじめとする多様な言語に触れることができます。

学生主催で、国際交流を目的としたイベントに利用することも可能です。

・各種説明会への参加

海外留学に関する説明会をはじめ、様々な説明会を開催しています。

・フリースペースとしての利用

イベントを実施していない時間帯は、勉強や食事、友達との交流など、自由にお使いください。



チャットイベントの様子

危機管理体制

海外滞在中には、深刻な怪我、事故、犯罪被害、災害やテロといった不測の事態に巻き込まれるケースも想定されます。そこで、筑波大学では、海外渡航時には、海外渡航システム（TRIP）に渡航情報を入力することとしており、随時、システムを使用して学生の安否確認を行うなどの対応をしています。また、渡航中の健康管理や届け出の重要性など、学生自身の海外渡航中の危機意識を高めるため、長期休暇の前には「海外危機管理セミナー」を開催しているほか、包括的な情報提供として、「海外安全ハンドブック」を作成し、危機管理の徹底に努めるよう注意喚起をしています。

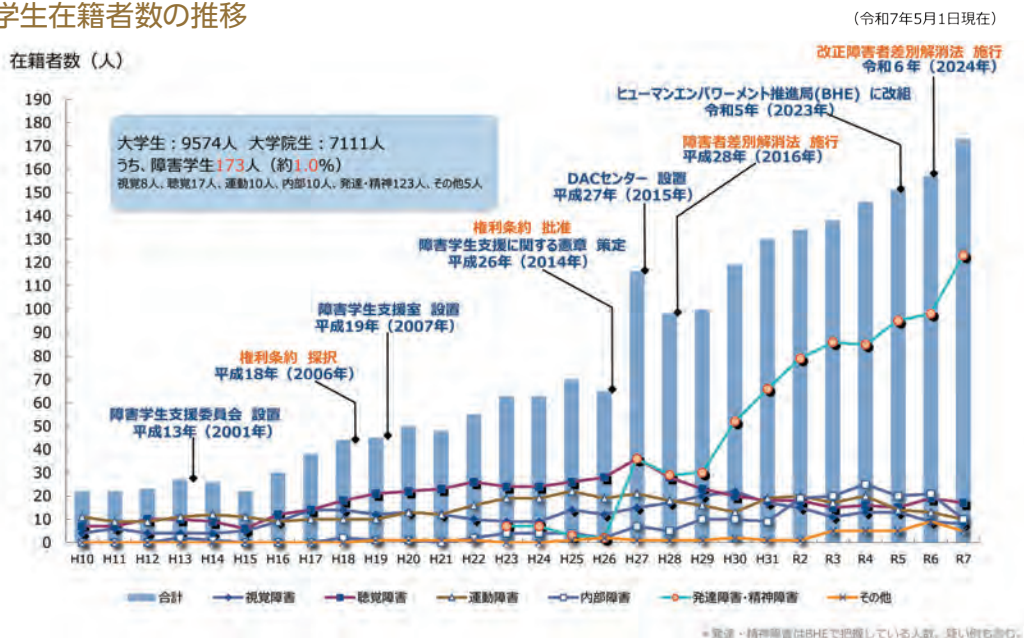


海外安全ハンドブック

障害学生支援・LGBTQ+学生支援

筑波大学では、開学以来障害等のある学生が多く学んでおり、積極的に支援しています。現在、視覚障害、聴覚障害、運動障害、内部障害、発達・精神障害等の障害のある約170名の学生が、学群と大学院のさまざまな分野に在籍しています。LGBTQ+の学生への支援も行っています。

障害学生在籍者数の推移



ヒューマンエンパワーメント推進局支援体制

筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局 (以下「BHE」という) は、「特定のマイノリティを支援する」だけではなく、大学が学生や職員を含む「ひとりひとり」の「人のエンパワーメントを推進する」というチャレンジを実現するために、2023年1月に設立されました。障害のある学生の修学支援は、BHEのチームの一つであるアクセシビリティ支援チームが担っています。アクセシビリティ支援チームでは、障害学生の支援に関する方針の検討、全学的な環境整備に関する調整、各教育組織及び事務組織等との連携を密にし、全学に公平に行き渡る支援体制を作っています。

<障害のある学生への支援>

場所：スチューデントプラザ 2 階

開室時間：月～金 9:00-12:15 / 13:15-17:00

TEL：029-853-4584 FAX：029-853-2257

E-mail：shougai-shien@un.tsukuba.ac.jp

URL：https://dac.tsukuba.ac.jp/shien/

※詳細は Web サイトをご覧ください。

支援の特色

①すべての学生の成長を期待する学生中心の支援活動

障害学生の日常的な修学支援のために「ピア・チューター (注1) 制度」を設け、本学で学ぶ多くの学生が支援活動の中核を担っています。障害学生自身もピア・チューターとして、養成講座の企画・運営や他の障害学生への支援に携わるなど、学生たちが主体的な支援活動を展開しています。

また、すべての学生への理解・啓発を目的として、学士基盤科目「ダイバーシティ&インクルージョン入門」を開設し、障害のある方を含め多様な人々と共生する心を育てています。

②各教育組織の専門性に基づく支援内容

全学の方針に基づいて、各教育組織が障害学生に対する支援の責任を担っています。このことにより、それぞれの専門分野の特性に応じた支援が保障されています。

③障害科学に裏付けられ、全学に公平にいきわたる支援体制

障害科学を専門とする教員が中心となって障害学生支援の専門部会を構成し、本学全体の障害学生支援を支えています。支援対象の範囲や具体的な支援内容等について、専門的な見地から指導・助言を行っています。

主な支援内容

●入学まで

オープンキャンパス参加者への支援、入試での受験上の配慮の実施に関する教育組織への助言、入学時相談（注2）

●修学支援

障害学生個々の合理的配慮情報提供書作成、定期試験等における合理的配慮の実施、ピア・チューター制度、障害学生支援準備室（注3）の整備、大学図書館における障害者サービス（図書館資料の電子化・対面朗読・文献複写等）

●学内のバリアフリー化

学生宿舎バリアフリー室への入居、個々のニーズに応じた施設・設備の改善にあたっての関係各所へのアドバイス

●学生への理解・啓発

学士基盤科目「ダイバーシティ&インクルージョン入門」、自由科目（特設）「障害学生支援技術（ピア・チューター養成講座）」「手話コミュニケーションⅠ（入門・基礎）」「手話コミュニケーションⅡ（応用・実践）」

大学院共通科目「アクセシビリティリーダー特論」「ダイバーシティとソリューション」

（注1）障害の種類や程度、学習環境（学群・大学院、理系・文系等）等、個々の障害学生の状況に応じて、修学に必要な人的支援を提供する制度です。支援の時間数は、障害の程度や学習環境等を考慮し決定します。

ピア・チューターは原則として本学の学生から募集し、BHEが開講する「ピア・チューター養成講座」で支援について学んだ後に授業等での支援に携わります。

ピア・チューターの支援には、大学の規定に基づいて謝金を支給し、また、一定時間の活動に対しては学長名の活動証明書を発行しています。支援内容としては、授業準備、受講時の情報支援、授業の課題作成補助、キャンパス内の移動支援などがあります。

（注2）障害学生の入学時には、個別相談会を実施します。

障害学生本人、保護者、クラス担任、語学や実習・実技科目の担当者、BHEの教職員、関係支援室職員等が一堂に集まって打ち合わせを行います。支援ニーズの把握、具体的な支援内容の確認、大学の支援体制に関する情報提供などが主な内容です。

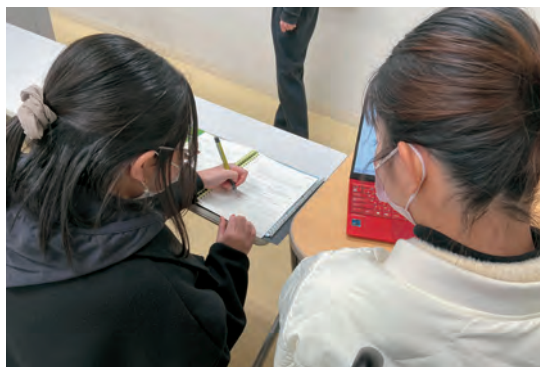
（注3）障害学生の支援のための準備及び自習・休憩やグループ活動を行うスペースがあります。それぞれ必要な機器を備え、支援活動の拠点として使われています。

PC要約筆記



パソコン要約筆記（手前）の画面を見ながら聴覚障害学生（奥）が授業に参加しています。

ノート等の代筆支援



自筆でノートやメモを取ることが難しい学生に代わって、ピア・チューターが授業中のノートを代筆しています。

LGBTQ+ 学生支援

筑波大学では、LGBTQ+を含む性的マイノリティの学生に対して、「LGBTQ+に関する筑波大学の基本理念と対応ガイドライン」に基づき、ヒューマンエンパワーメント推進局に相談窓口を設け、各学生が有意義で快適な学生生活を送れるよう、関係組織と協力してサポートしています。

<LGBTQ+の学生への支援>

場 所：スチューデントプラザ2階

開室時間：月～金 9:00-12:15/13:15-17:00

TEL:029-853-8504

E-mail：diversity-au@un.tsukuba.ac.jp

URL：https://diversity.tsukuba.ac.jp/

※詳細はwebサイトをご覧ください。

医・食・住環境

学生生活のサポート

■総合相談窓口

総合相談窓口は、ちょっと困ったことがあったときに気軽に相談に立ち寄ってもらうための、なんでも相談窓口です。

- ・予約なしで随時対応します。電話での相談も可能です。
- ・カウンセラーが相談を担当します。

■学生相談室

学生相談室では、学生生活に関するいろいろな問題や悩み、困ったことなどについてカウンセリングや助言を行っています。学生生活を送る間には、喜怒哀楽いろいろなことを体験することになると思います。そんな中で、ちょっとしんどくなったり、困りごとができたり、あるいは、ちょっと立ち止まってじっくりと考えたくなったら、お気軽にご利用ください。



心と身体の健康管理

■保健管理センター

定期健康診断、急病時や負傷時の応急治療・処置、健康相談（内科、整形外科、精神科の診療）などを行っています。健康上の問題が生じたときは、まず保健管理センターを訪れることをお勧めします。



保健管理センター

学生教育研究災害傷害保険

正課中・学校行事中はいくまでもありませんが、課外活動中・学校施設内を含めた教育研究活動中のほとんどの傷害事故や通学中の事故が補償の対象となる「学生教育研究災害傷害保険」（学研災）という補償救済制度があります。本学では、入学後安心して教育を受け研究活動が行えるよう、必ず学研災に加入する必要があります。

食堂、喫茶、書店等

校内には食堂、喫茶、売店や書店などの福利厚生施設が多数あり、学生の利便を図っています。

食堂、喫茶は、学生のニーズに応えられるようメニューに工夫をこらし、より安く、おいしいものを提供しています。書店は一般の雑誌などのほか、専門的な書籍も購入することができます。

キャンパス内にはスーパーもあり、食料品・日用品が購入できます。



学生食堂 (第3エリア)



キャンパス内スーパー・コーヒーショップ

学生宿舎、アパート等

■学生宿舎（平砂・追越・一の矢・春日）

約3,500人分の個室があり、新入生はトイレ、補食室、洗濯室、シャワー室（100円/回）が共用の一般単身（約10㎡）と呼ばれるタイプの部屋に1年間入居できます。なお、2年次以降の入居募集も数種類用意されていますが、定員を超えた場合は、書類選考・抽選で入居者を決定することになります。また、室内にはベッド・机・椅子・洗面台（春日は除く。）が設置されています。

平砂学生宿舎共用棟には、管理事務室、理容室、電気店、浴場が、追越学生宿舎共用棟には、管理事務室、電気店が、一の矢学生宿舎共用棟には、管理事務室、理容室、電気店があります。

全室にLANが敷かれ、インターネットが利用できます。（民間プロバイダーとの個別契約不要）

また、キャンパスの国際化推進のため、平成29年4月から国際交流を重視したシェアハウスタイプの学生宿舎（グローバルヴィレッジ）が運用開始され、2年間の入居が可能となっています。

宿舎費等、学生宿舎の最新情報については、筑波大学のWebサイトをご参照ください。

<https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/support-healthlife/>

■アパート、マンション等

大学の周辺には多くのアパート等があり、種類も豊富です。

大学から物件を直接あっせんすることはありませんので、情報を収集して予算を立てたら各自で不動産業者へ問い合わせ、物件を見学してから契約するようにしましょう。平均的なアパート（6畳・台所・バス・トイレ付）の家賃は月額約35,000円～50,000円ぐらいで、契約時には家賃のほか、管理費、敷金（保証金）、礼金、火災保険料などが必要です。



一般単身改修棟（平砂地区）

■未来社会デザイン棟

学生や地域社会・企業などの様々な人々が交流し、先端的な教育研究の実践及び学生文化の発信、人材育成の場として、2025年度、平砂学生宿舎エリアに整備された施設です。筑波大学の建学理念の「開かれた大学」であることを象徴する施設となっており、この施設の中には、自主学習やグループワークをすることができるオープンスペースや、イベントホール・会議室といった個別スペースなど、学生の皆さんが使うことのできるスペースがあります（一部有料）。



宿舎に入居する新入生を歓迎する在学生



学生宿舎（グローバルヴィレッジ）



未来社会デザイン棟

授業料・奨学金

授業料等

入学科	282,000円
授業料(第1期 春学期)	267,900円
(第2期 秋学期)	267,900円
(年額)	535,800円)

●1年次納入額 817,800円

なお、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

■大学独自の授業料免除制度

各期(第1期・第2期)ごとに納入すべき授業料の全額または一部を免除する制度があります。

経済的理由によって納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められることが申請資格となります。

詳細はWEBページ(奨学金・修学支援)に掲載されています。

■高等教育の修学支援新制度

国が住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生に対して「授業料・入学料の免除」と「給付奨学金」を支援する制度です。また、2025年度より、多子世帯の学生に対して「授業料・入学料の免除」を支援する制度も始まりました。

日本学生支援機構給付奨学金の区分(第Ⅰ～Ⅳ区分、多子世帯)によって授業料・入学料の免除額が決定しますので併せて申請する必要があります。

奨学金

奨学金制度としては、筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」、日本学生支援機構、地方公共団体、民間奨学団体があります。

■筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」

留学生に対する経済支援及び緊急時の学資支援を行うことにより、学生が安心して勉学に専念できる環境を確保することを目的とした奨学金制度です。

詳細については、WEBページ(奨学金・修学支援)の筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」をご覧ください。

※学際サイエンス・デザイン専門学群の授業料等は、異なる制度で対応しています。

詳細は学際サイエンス・デザイン専門学群(マレーシア校)へお問い合わせください。

■日本学生支援機構

日本学生支援機構の奨学金制度は、勉学に励む意欲がありまたそれにふさわしい能力を持った学生が、経済的理由により修学をあきらめることがないよう支援することを目的として国が実施する制度です。留学生には申込資格がありません。

奨学金の種別・募集時期(令和8年度1年生)

	貸与奨学金 第一種奨学金	貸与奨学金 第二種奨学金	入学時特別増額 貸与奨学金
貸与月額	(自宅通学) 2万, 3万, 4万5千 (自宅外通学) 2万, 3万, 4万, 5万1千	2万から12万 までの間で1 万円単位で選 択できます。	希望により10 万から50万の 間で10万円単 位で額を選択 できます。申込 は入学時の1 回に限ります。
貸与形態	無利子貸与	有利子貸与(利率算定方法選択制)	
募集期間	4月1日～4月21日(予定) その他家計急変のため緊急・応急採用については 年間を通じて随時		

	給付奨学金
給付月額	世帯の所得金額に基づく区分(第Ⅰ～Ⅳ区分)、通学形態(自宅通学・自宅外通学)に応じて定まります。
募集期間	4月1日～4月21日(予定) 併せて、秋にも実施予定(詳細は後日掲示) その他家計急変のための奨学金については年間 を通じて随時

全てWEB掲示により周知しますので、十分に注意してください。

本学の日本学生支援機構奨学生数(令和8年1月1日現在)

●給付奨学生(多子世帯含む) 1,906人

●第一種奨学生 905人

●第二種奨学生 879人

合計(延べ数) 3,690人

■地方公共団体及び民間奨学団体奨学金

(返済の必要がない給与奨学金が多い)

奨学生の募集は、大学を通じて募集するものと、奨学団体が直接募集するものがあります。大学に募集案内が送付されてきた奨学団体はWEBページ(奨学金・修学支援)に掲載されています。

【奨学金・修学支援】

[https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/
support-scholarship/](https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/support-scholarship/)

学生組織

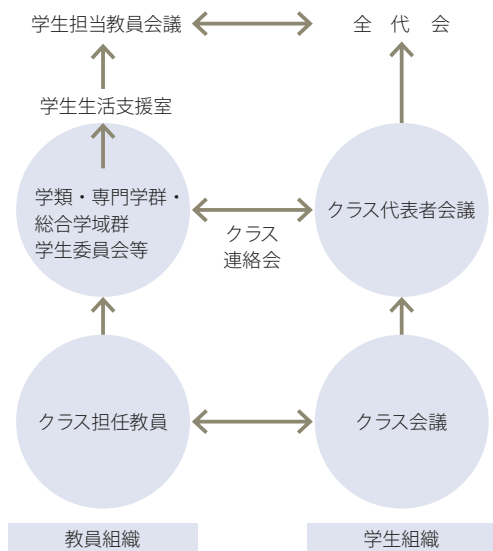
クラス制度

入学すると、原則として20～40人ごとにクラスが編成されます。クラスには学生により自主的に運営される組織として、クラス会議が置かれ、学修や生活全般にわたる話し合いが持たれます。

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議

各クラスは、年度初めにクラス代表を選出します。このクラス代表により、各学類・専門学群・総合学域群ごとにクラス代表者会議が構成されます。さらにここから代表3名が選出され、全学学生を代表する全代会を構成します。

これらの組織の運営は全て学生に任されており、全代会においては、学生の意向を反映させるため、学生生活、教育活動等に関する事項を自主的に討議する組織となっています。



学内行事と学生による実行委員会

学園祭（雙峰祭）

本学の学園祭（雙峰祭）は11月初旬頃に開催されます。日々の研究や課外活動の成果を発表し、広く社会に大学を紹介するとともに、大学と市民との交流の場となっています。学園祭の運営は、学生が組織する学園祭実行委員会が行っています。



学園祭

スポーツ・デー

本学では、全学の学生にスポーツ活動の機会を提供し、健康で明朗な大学生活の充実と学内スポーツ活動の振興を図ることを目的に、春と秋の2回、スポーツ・デーを開催しています。球技などさまざまな種目に、学生や教職員のチームあるいは個人で自由に参加します。この行事の企画と運営は、全代会の下部組織であるスポーツ・デー学生委員会が、体育会の協力のもとで行っています。

宿舍祭（やどかり祭）

宿舍祭は、本学の約五十年の伝統の中で、学生が生み出した行事であり、宿舎に暮らす学生同士の親睦を深める場であるとともに、地域の方々との交流の場となっています。その企画、運営は学生団体である宿舍祭実行委員会が行っています。

学外関連団体

茗溪会

筑波大学の同窓会です。設立は東京高等師範学校時代の明治15年にさかのぼります。全国に80の支部があり、会員数は約5万人。全国各県の教育界で指導的立場にあるなど、各界で活躍中です。

<http://www.meikei.or.jp/>



スポーツ・デー



宿舍祭（ゆかたコンテスト）

文化系のサークル

文化系サークル連合会 <https://bunsastaff.wixsite.com/mysite-3>

課外活動団体文化系

(文化系サークル連合会組織団体)

筑波大学電気通信研究会
池坊華道部
宇宙工学研究会
映画研究部
SF研究会アルビレオ
園芸クラブ
海洋研究会
歌留多部
斬桐舞
CLOVER ~難民と共に歩むユース団体~
現代視覚文化研究会
茶道同好会
茶道部和敬清寂社
社会福祉研究会
写真部さくら組
手話サークル
将棋部
図画団
ストーリーテリング研究会
T.A.S.C.
筑波大鉄研「旅と鉄道の会」
つくば人間の会
天文研究会
TOJO K-ON
ねっしー・自然教育研究会
文芸部
マジシャンズクラブ
漫画研究会
野外活動クラブ
野生動物研究会
歴史探訪会
Amusement Creators
筑波大学囲碁部
つくりウム
Lilac- 謎解き制作委員会 -
iGEM TSUKUBA
筑波マリンダイビングクラブ
つくぶい!
つくば現代短歌会

一般学生団体文化系

アイセック筑波大学委員会
宇宙技術プロジェクト
クイズ研究会
宿舍祭実行委員会
聖書研究会
台湾留学生会
中国留学生学友会
つくつく
筑波医学学生国際交流連盟 (TIMSA)
つくばぬいぐるみ病院
つくばポケモン大好きクラブ
つくばろぼっとサークル
筑波大学聖書部
(Tsukuba Christian Fellowship)
Tsukuba Programming Circle
桐政会
日本史研究会
花火研究会
Hs Cat
プライマリケア研究会
お菓子作りサークル ヘンゼルとグレーテル
学び場さくら塾
ミステリー研究会
ジオネットアース
のうりんむら
UTIC (University of Tsukuba
Internationl Community)
Tsukuba for 3.11
日本マラウイ学生団体
Association of African Students,
University of Tsukuba (AASUT)
TEDx イベント運営委員会
CoMed つくば
筑波大学公認ボランティアサークル L U Z
Omochi Language Club
筑波大学音楽ゲームサークル TEA
FAST(フィリピン留学生会)
インドワークキャンプ団体 namaste!

Nu Ink.
STUDY FOR TWO 筑波大学支部
CASA
筑波大学地理愛好会
Neurodivergents Anonymous Circle
Bench Time
筑波大学ダーツ同好会
Associação de Estudantes Brasileiros
da Universidade de Tsukuba (AEBUT)
Indonesian Student Association in
Ibaraki
THAI STUDENTS' ASSOCIATION IN
UNIVERSITY OF TSUKUBA
Association of Latin American
student's of the University of Tsukuba
つくば市まちづくり学生団体 かざぐるま
筑波大学研究支援同好会 (RSUT)
筑波大学広告研究会 アド研
医学音楽同好会 SoundLoop
Vietnamese Students Association at
University of Tsukuba (VSAUT)
環境サークル REVELOP
筑波大学オセロ同好会 PANDA
筑波大学韓国人留学生会
筑波大学馬事文化研究会
Union of Tsukuba International
Associations (UTIA)
TMP(つくばミュージックプロジェクト)
筑波大学作問サークル つくもん aid
広島県人会
筑波大学浪人愛好会
筑波大学法交渉サークル Negotium
SODA.
生成 AI 研究会
コミックつくば! 準備会
E.S.S.(English Speaking Society)
東方サークル 地方学園都市ツクテリア
TPB- つくば野球観戦サークル

体育系のサークル

体育会 <https://www.stb.tsukuba.ac.jp/~taiikukai/>

課外活動団体体育系

(体育会組織団体)

■部会

アーチェリー部
合気道部
アイススケート部

男子アイスホッケー部
女子アイスホッケー部
アメリカンフットボール部
鹿島神流武道部
空手道部
弓道部

剣道部
硬式庭球部
硬式野球部
サイクリング部
蹴球部
女子サッカー部

柔道部
 準硬式野球部
 少林寺拳法部
 水泳部
 スキー部
 漕艇部
 男子ソフトボール部
 女子ソフトボール部
 体操部
 体操競技部
 卓球部
 ダンス部
 トライアスロン部
 軟式庭球部
 馬術部
 男子バスケットボール部
 女子バスケットボール部
 バドミントン部
 男子バレーボール部
 女子バレーボール部
 男子ハンドボール部
 女子ハンドボール部
 フィールドホッケー部
 ライフセービング部
 ラグビー部
 男子ラクロス部
 陸上競技部
 オリエンテーリング部
 女子ラクロス部

■同好会
 剣道同好会
 サッカー同好会
 バスケットボール同好会
 バドミントン同好会
 バレーボール同好会
 ワンダーフォーゲルクラブ
 トランポリン同好会
 アルティメット同好会
 フットサル同好会

■医学部会
 医学アイスホッケー部
 医学弓道部
 医学剣道部
 医学硬式庭球部
 医学ゴルフ部
 医学サッカー部
 医学準硬式野球部
 医学水泳部
 医学スキー部
 医学ソフトテニス部
 医学卓球部
 医学バスケットボール部
 医学バドミントン部
 医学バレーボール部
 医学ハンドボール部
 医学ヨット部
 医学ラグビー部
 医学陸上競技部

一般学生団体体育系

弓道同好会春霞
 硬式テニス愛好会 FOREST
 硬式テニスサークル ADVANT
 硬式テニス同好会 Fancy Tennis Club
 柔道同好会
 水泳同好会
 SPIKERS'Inc
 ソフトテニスサークル On the Line
 卓球同好会
 知的障害者スポーツ支援「スポーティア」
 筑波ジョギングクラブ
 軟式野球部
 PICNIC Tennis Team
 ULIS バドミントン部
 ULIS バレーボール部
 陸上競技同好会
 WorldFut Tsukuba
 スポーツ愛好会
 ラグビー同好会 U.T.C
 カヌークラブ
 新体操 競技部
 筑波大学医学フットサル同好会
 Scramble
 e-sports サークル FiO
 筑波大学Kpop コピーダンスサークル고구마(コグマ)
 つくばフィットネスサークル
 サッカーサークル amibola
 ライフル射撃サークル
 フラッグフットボールサークル
 居合道部
 OWLS

芸術系のサークル

課外活動団体芸術系 (芸術系サークル連合会組織団体)

アカペラサークル Doo-Wop
 E.L.L.(筑波軽音楽協会)
 応援部 WINS
 合唱団むくどり
 管弦楽団
 ギター・マンドリン部
 劇団筑波小劇場
 混声合唱団
 筑波大学ジャグリングサークル Sheep
 写真部
 JAZZ 愛好会
 書道部
 吹奏楽団
 津軽三味線倶楽部無絃塾
 筑波音楽協会

筑波能・狂言研究会
 つくばフォーク村
 THK 筑波放送協会
 ときめき太鼓塾
 人形劇団 NEU
 ピアノ愛好会
 ViCC-映画をつくる会 -
 フォルクローレ愛好会
 競技ダンスサークル 舞研
 ブロックフレーテ同好会
 邦楽部
 ミュージカル集団 ESSASSA
 落語研究会
 男声合唱団メンネルコール
 筑波大学ジャズ楽団 Neopolis BIGBAND
 筑波大学お笑い集団 DONPAPA
 The Empire of Tsukuba

一般学生団体芸術系

ダブルダッチサークル purplume
 バンドストッククラブ PBCM
 弾き語りクラブ「アンブラグド」
 医学フィルハーモニー
 ヒーローアクション同好会
 アイドル研究会
 作曲サークル Tsukuba DTM Lab.
 つくばVSC
 焼き物をつくる会
 Realjam
 筑波大学ケルト音楽愛好会 T-Celt

就職・進学・取得免許・国家試験等

筑波大学のキャリア形成・就職支援

筑波大学には、学生の学びと将来を関連付けていくための様々なプログラムが用意されています。ヒューマンエンパワーメント推進局は、授業やイベント、各種情報提供、個別キャリア相談等を通じて、学生が自分自身について考えながら社会についての視野を広げ、将来に向けて具体的な準備を進めていけるようサポートしています。

学群1年生からのキャリア形成支援

学群1年生から参加できるプログラムも実施しています。例えば、学士基盤科目「キャリアデザイン入門～世界にはばたく未来の自分～」は、学生一人ひとりが大学生生活を積極的かつ有意義に過ごし、その後の人生設計（キャリアデザイン）の準備に不可欠な基礎づくりを目的としています。また、学生時代の経験・出会い・学びを記録に残せるよう本学オリジナルの「つくばキャリアポートフォリオ（愛称：CARIO）」があり、学群1年生にはファーストイヤー・セミナーにてこのCARIOの活用方法やワークシートの使い方をグループワークを通して紹介し、自身のキャリアをデザインするサポートをしています。学群生から大学院進学、修了までをフォローするキャリア支援を提供しています。

中長期的視点に立った進学・就職支援

筑波大学では、学生が体験するすべての事柄、すべての経験、すべての役割がキャリアと考えています。ですから、ヒューマンエンパワーメント推進局では、中長期的な視点に立ったキャリア形成支援を行っています。

4年間の学びをもっと深めたい学生には、2年間（博士前期課程）あるいは更に3年間（博士後期課程）専門を究めることができるよう進学の情報を提供しています。一方、十分に学んだと納得できた学生には、その人らしい就職先と出会えるサポートをしています。

いずれにしても、4-9年間の学びの後には、社会に出ることになりますので、キャリア教育や個別相談などを通して、自分は何を大切に思っているのか、どのような人生を歩みたいのかといった自己理解や社会理解を進めながら、学生が落ち着いて納得のいく進路選択ができるよう、引き続き支援を行っていきます。

ヒューマンエンパワーメント推進局キャリア支援チーム Web サイト
<https://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/>



ファーストイヤー・セミナー	履修計画やキャリア形成、メンタルヘルスなど学習面・生活面の両面から大学生活に適用できるよう支援するとともに、教員と学生及び学生間のコミュニケーションを図る科目です。
CDP科目	「CDP (Career Development Program) 科目」は、授業を通じてキャリア形成を考えるのに役立つ内容を含んでいる科目です。
インターンシップ等	企業や官公庁等のインターンシップ等の情報を紹介しています。学群1、2年生から参加できるキャリア形成支援のプログラムもあります。

各種就職ガイダンス	企業、公務員等それぞれの志望者向けに就職ガイダンスを実施しています。
各種対策講座	就職活動を進める上で必要な面接対策、集団討論対策等の様々なスキルアップ講座を実施しています。
学内業界研究会・企業説明会	3月1日の企業の広報活動開始と同時に、学内に説明会を実施し例年、多くの優良企業が参加します。

つくばキャリアポートフォリオ (CARIO)

自己成長診断ツール (SAGASU)

個別キャリア相談

OB・OG キャリアカフェ

国家試験受験結果 令和7年度 (令和8年2月実施)

卒業生の、医師国家試験、看護師国家試験、保健師国家試験、助産師国家試験、臨床検査技師国家試験の合格実績を紹介します。

国家試験	本学受験者数		本学合格者数		本学合格率		全国平均	
第120回 医師国家試験	140	(136)	136	(134)	97.1%	(98.5)%	91.6%	(94.7)%
第112回 保健師国家試験	17	(17)	17	(17)	100%	(100)%	94.0%	(96.4)%
第109回 助産師国家試験	4	(4)	4	(4)	100%	(100)%	99.7%	(99.8)%
第115回 看護師国家試験	68	(68)	66	(66)	97.0%	(97.0)%	90.1%	(95.9)%
第72回 臨床検査技師国家試験	26	(25)	25	(24)	96.1%	(96.0)%	84.6%	(94.0)%

* () 内は現役生

資格の取得

取得できる資格については、下表を参照してください。どのような資格を取れるのかと同時に、資格を取るためにはどのような条件が必要になるかを調べておくことも大切です。

例えば教員免許状のように、大学で所定の科目を履修して要件を満たせば、申請の手続きをとることで取得できる資格があります。一方で、医師免許、看護師免許のように医学類や看護学類を卒業することで国家試験の受験資格を得て、その上で国家試験に合格しなければ取得することのできない資格もあります。

資格の取得を考える際には、その資格を取ることが自分のキャリアにどのような意味を持つのかを考えてみることも大切でしょう。

教員免許状の取得について

教員免許は大学で取得できる最もポピュラーな資格の一つと言えるでしょう。筑波大学でも多くの学群、学類で教員免許を取得することができます。

教員免許状を取得するには、学士の学位を有すること（つまり大学を卒業すること）に加え、教職課程すなわち「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」などの所定の単位を修得しなければなりません。

教職課程で取得した単位は、ある程度卒業に必要な単位に組み込むことができますが、すべてが認められているわけではありません。ですので、卒業に必要な授業科目に加えて、自分の意志で教職科目を履修しているのだという自覚がとて大切になります。

教員免許状を得て、卒業後すぐに教員になる人はそれほど多くはありません。一方で、大学院の修士課程に進学してより上級の免許状（専修免許状）を取得してから教員になる人が増えています。教員免許状の取得実績については、次ページをご覧ください。

各学群・学類で取得できる教員免許状の教科及び諸資格一覧

学群	学類	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状	その他の資格
人文・文化学群	人文学類	国語、社会、英語	国語、地理歴史、公民、英語	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	比較文化学類	国語、社会、英語	国語、地理歴史、公民、英語	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	日本語・日本文化学類	国語	国語	社会教育主事、学芸員、司書教諭、登録日本語教員
社会・国際学群	社会学類		公民	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	国際総合学類	英語	英語	社会教育主事、学芸員、司書教諭
人間学群	教育学類	社会	地理歴史、公民	小学校教諭一種、社会教育主事、学芸員、司書教諭
	心理学類		公民	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	障害科学類		福祉	特別支援学校教諭一種、社会教育主事、学芸員、司書教諭、社会福祉士受験資格
生命環境学群	生物学類	理科	理科	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	生物資源学類	理科、技術	理科、農業	社会教育主事、学芸員、司書教諭、司書、測量士補、樹木医補、自然再生士補
	地球学類	理科	地理歴史、理科	社会教育主事、学芸員、司書教諭
理工学群	数学類	数学	数学	社会教育主事、学芸員、司書教諭、測量士補
	物理学類	数学、理科	数学、理科	社会教育主事、学芸員、司書教諭、測量士補
	化学類	理科	理科	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	応用理工学類	数学、理科	数学、理科	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	工学システム学類	数学、理科	数学、理科、情報、工業	社会教育主事、学芸員、司書教諭、一級・二級建築士・木造建築士受験資格（エネルギー・メカニクス主専攻）、施行管理技士受験資格（エネルギー・メカニクス主専攻）
	社会工学類	数学	数学	社会教育主事、学芸員、司書教諭、一級・二級建築士・木造建築士受験資格（都市計画主専攻）
情報学群	情報科学類	数学	数学、情報	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	情報メディア創成学類	数学	数学、情報	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	知識情報・図書館学類	社会、数学	公民、数学、情報	社会教育主事、学芸員、司書教諭、司書
医学群	医学類			医師国家試験受験資格
	看護学類			* 養護教諭一種、看護師・保健師国家試験受験資格（*は看護学類のページを参照）
	医療科学類			臨床検査技師国家試験受験資格
体育専門学群		保健体育	保健体育	社会教育主事、学芸員、司書教諭、ハンドボールコーチ1、バドミントンコーチ2、競泳コーチ3、健康運動指導士
芸術専門学群		美術	美術、工芸、書道	社会教育主事、学芸員、司書教諭、一級・二級建築士・木造建築士受験資格

* 社会教育主事、学芸員については任用資格
* 各学群・学類で取得できる教員免許状の教科については、今後変更になる場合があります。

教育職員免許状取得状況

過去3年間に、卒業時に教員免許状を取得した人数と免許状の種類を紹介します。

学類	年度	種類毎の人数	免許合計	人数	
人文学類	R7	国語(中3・高5)/社会15/地歴18/公民9/英語(中5・高6)	61	28	
	R6	国語(中3・高7)/社会16/地歴19/公民12/英語(中4・高4)/特別支援1	66	29	
	R5	小学校1/国語(中1・高1)/社会13/地歴12/公民8/農業1/英語(高1)	38	16	
比較文化学類	R7	社会2/地歴4/英語(中2・高2)	10	6	
	R6	国語(中3・高4)/社会1/地歴1/公民1/英語(中7・高7)	24	12	
	R5	国語(中6・高8)/社会5/地歴5/公民4/英語(中1・高3)	32	16	
日本語・ 日本文化学類	R7	小学校1/国語(中8・高8)/社会3/地歴3/公民3	26	8	
	R6	国語(中7・高7)	14	7	
	R5	小学校1/国語(中8・高10)	19	10	
社会学類	R7	地歴1/公民4	5	4	
	R6	公民2	2	2	
	R5	英語(中1・高1)	2	1	
国際総合学類	R7	英語(中6・高6)	12	6	
	R6	英語(中6・高8)	14	8	
	R5	英語(中2・高4)	6	4	
教育学類	R7	小学校4/国語(中3・高3)/社会7/地歴6/公民5/数学(中4・高4)/英語(中4・高4)/特別支援3	47	20	
	R6	小学校9/国語(中5・高5)/社会13/地歴10/公民4/数学(中3・高3)/保体(中1・高1)/英語(中3・高3)	60	27	
	R5	小学校6/国語(中5・高5)/社会5/地歴6/公民4/数学(中2・高2)/理科(中2・高2)/英語(中5・高5)	49	21	
心理学類	R7		0	0	
	R6		0	0	
	R5	数学(高1)	1	1	
障害科学類	R7	小学校4/国語(中2・高2)/社会1/地歴1/公民1/数学(中1・高1)/福祉1/英語(中1・高1)/特別支援12	32	13	
	R6	小学校2/国語(中2・高2)/社会4/地歴3/公民2/英語(中5・高5)/特別支援13	38	13	
	R5	小学校5/保体(中1・高1)/英語(中4・高4)/特別支援9	24	9	
生物学類	R7	数学(中1・高1)/理科(中3・高14)	29	14	
	R6	理科(中6・高8)	14	8	
	R5	理科(中12・高13)	25	13	
生物資源学類	R7	理科(中10・高11)	21	11	
	R6	理科(中13・高13)/技術1	27	13	
	R5	理科(中8・高11)/農業1	20	11	
地球学類	R7	地歴5/理科(中3・高4)	12	7	
	R6	社会1/地歴1/理科(中2・高5)	9	6	
	R5	社会2/地歴2/理科(中7・高10)	21	12	
数学類	R7	公民1/数学(中9・高12)	22	12	
	R6	数学(中14・高18)	32	18	
	R5	数学(中8・高9)/情報3	20	9	
物理学類	R7	理科(中2・高4)	6	4	
	R6	理科(中5・高11)	16	11	
	R5	理科(中5・高7)	12	7	
化学類	R7	理科(中5・高5)	10	5	
	R6	理科(中4・高4)	8	4	
	R5	理科(中1・高4)	5	4	
応用理工学類	R7		0	0	
	R6	数学(高1)/理科(高2)	3	3	
	R5	数学(中2・高2)/理科(中1・高1)	6	3	
工学システム 学類	R7	数学(中1・高1)/理科(高1)	4	3	
	R6		0	0	
	R5		0	0	
社会工学類	R7	社会1/地歴1/数学(中3・高3)	8	4	
	R6		0	0	
	R5		0	0	
情報科学類	R7	情報1	1	1	
	R6		0	0	
	R5	数学(中1・高1)	2	1	
情報メディア 創成学類	R7	地歴1/数学(高1)/情報1	3	2	
	R6	数学(中1・高1)/情報2	4	3	
	R5	情報1	1	1	
知識情報・ 図書館学類	R7	公民2/数学(中2・高2)/情報4	11	6	
	R6	社会1/公民1/数学(高1)/情報3	6	4	
	R5	公民1/情報3	4	4	
看護学類	R7	養護2	2	2	
	R6	養護5	5	5	
	R5	養護4	4	4	
体育専門学群	R7	保体(中103・高149)	252	149	
	R6	保体(中76・高124)	200	124	
	R5	保体(中115・高154)/英語(高1)/特別支援1	271	154	
芸術専門学群	R7	国語(中2・高2)/美術(中20・高19)/工芸1/書道3	47	24	
	R6	小学校1/国語(中4・高4)/美術(中16・高20)/工芸3/書道6/英語(中1・高1)	56	27	
	R5	国語(中5・高5)/美術(中14・高15)/書道7/特別支援1	47	22	
合計			令和7年度	621	329
			令和6年度	598	324
			令和5年度	609	323

令和6年度進路状況（学群）

学群卒業生数

※主な教育組織を示しています。

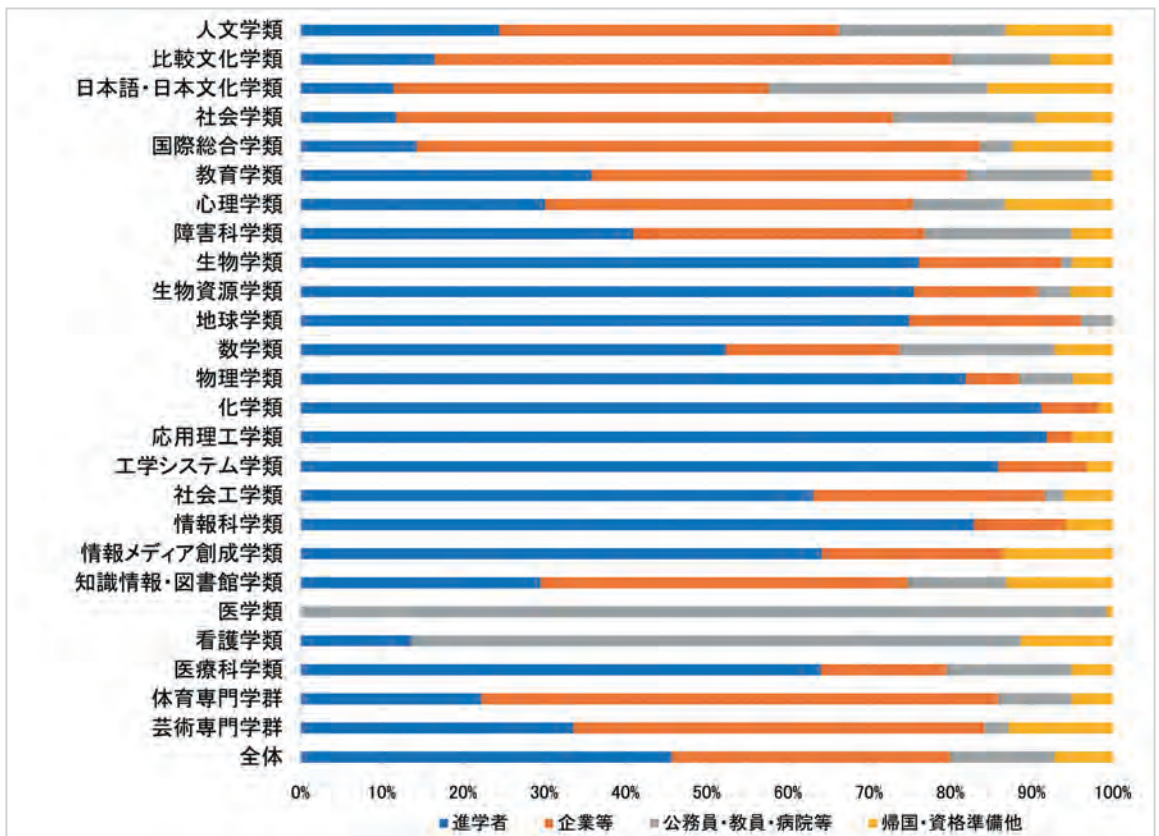
学群・学類	人文・文化学群			社会・国際学群		人間学群			
	人文学類	比較文化学類	日本語・日本文化学類	社会学類	国際総合学類	教育学類	心理学類	障害科学類	
卒業生	122	91	26	85	98	39	53	39	
学群・学類	生命環境学群			理工学群					
	生物学類	生物資源学類	地球学類	数学類	物理学類	化学類	応用理工学類	工学システム学類	社会工学類
卒業生	80	131	52	42	61	57	123	128	133
学群・学類	情報学群			医学群			体育専門学群	芸術専門学群	合計
	情報科学類	情報メディア創成学類	知識情報・図書館学類	医学類	看護学類	医療科学類			
卒業生	88	67	115	139	80	39	255	101	2,244

産業別進路内訳（学群全体）

卒業生	進学者		就職者	就職者の内訳					研究生等	資格・試験等準備他	帰国	その他
	うち本学大学院			企業	教員	公務員	独法等	研修医				
2,244	1,025	955	1,059	769	47	85	20	138	7	66	0	87

産業別進路内訳（学類・専門学群別）

※主な教育組織を示しています。



令和6年度就職先例（学群）

主な教育組織とその就職先企業名等を掲載しています。「株式会社」等の表記をはじめ、名称を適宜省略しています。「高」には中高一括採用や中等教育学校等、「中」には義務教育学校等を含みます。すべての就職先は掲載していません。

学類・専門学群	就職先例
人文学類	【企業等】大和証券、明治安田生命保険、メットライフ生命保険、日本カストディ銀行、ニトリ、レバレジーズ、NOLTY プランナーズ、中部電力、第一生命情報システム、篤宮製作所、東京パワーテクノロジー、トラスコ中山、スプリックス、NTT データフロンティア、三菱 HC キャピタル、AOI Pro、KSK、四谷学院、ペイカレント・コンサルティング、理研計器、ギガフォトン、UT グループ、遠州鉄道、セブテーニ、アイル、スタッフサービスエンジニアリング、アイフル、インテック、コナミ、エムスリー、内山鑑定事務所、中日本高速道路、インパクト、スタッフサービス、住友倉庫、みずほリサーチ & テクノロジーズ、京都奉製、ベネッセスタイルケア、サイゼリヤ、伊藤忠プラスチェック、日本出版販売、講談社、日本テレビ、Maple 英会話、Z 会、家庭教師のトライ、【教員】群馬県公立高、富山県公立高、千葉県私立高、静岡県公立高、千葉県私立高、鹿児島私立高、茨城県公立中、【公務員等】外務省、静岡県庁、東京都庁、茨城県庁、宮城県庁、福岡県庁、青森県庁、荒川区役所、土浦市役所、東京地方裁判所、東京消防庁、国立環境研究所、国立印刷局、日本学術振興会、日本年金機構、筑波大学、等
比較文化学類	【企業等】千葉銀行、八十二銀行、楽天、カスミ、トーセイ、ポールド、ビットイー、サイバーエージェント、一粒、三井不動産、デザインフィル、日立プラントサービス、パナソ、Bets、ADK、U-NEXT、トヨタ自動車、網屋、ジェーシービー、テ・オー・ダブリュー、セブテーニ、ポールトゥウィン、スタンレー電気、大和ハウス工業、港北メディアサービス、ウィルグループ、NTT ファイナンス、テクノプロ・コンストラクション、ツクルバ、Hakuhodo DY ONE、三菱自動車工業、中高年事業団やまで 企業組合、クリエイティブ・ディー、三菱鉛筆、中部国際空港、JR 九州、JR 東海、八海山、アミューズ、ミス、フスリのアオキ、アズパートナーズ、ダイテック、デル・テクノロジーズ、電通、日本電気、学芸社、読売新聞、信濃毎日新聞、中萬学院、河合塾マナビス、ベネッセ、KEI アドバンス、日本茅草き文化協会、日本公文教育研究会、【教員】茨城県公立高、富山県公立高、新潟県公立高、【公務員等】茨城県庁、つくば市役所、西宮市役所、農業・食品産業技術総合研究機構、勤労者退職金共済機構、筑波大学、熊本大学、等
日本語・日本文学類	【企業等】リパネスキャピタル、メリービズ、日本アイ・ピー・エム、ネクスウェイ、ワールドコンストラクション、キョードー大阪、住友金属鉱山、大韓航空、沼尻産業、トーマツ、AOI TYO Holdings、中萬学院、【教員】ミッドリウム日本語学校、岩手県公立中学、【公務員等】総務省、埼玉県庁、山梨県庁、北海道庁、船橋市役所、等
社会学類	【企業等】みずほ銀行、三井住友銀行、ゆうちょ銀行、商工組合中央金庫、東濃信用金庫、日本証券金融、太陽生命保険、第一生命保険、アフラック生命保険、大同生命保険、E トーア再保険、NEOS、DMG 森精機、レバレジーズ、セブン & アイ・クリエイティブリンク、九州博報堂、関電工、大成建設、sukima、電通デジタル、マイベスト、三菱 HC キャピタル、セブテーニ、すかいらーく、ファンくる、オービック、irodas、日本たばこ産業、パナソニック・コネク、日本郵船、SMC、マクニカ、野村総合研究所、ファイナンス・ブレインシステムズ、東急、住友倉庫、ベネッセスタイルケア、本田技研工業、三菱地所ハウスネット、トーマツ、ネオアーク、シンプレックス、NTT ドコモ、NHK、ペリーベスト法律事務所、全国市町村職員共済組合連合会、日本中央競馬会、ドワンゴ、【教員】東京都公立高、【公務員等】経済産業省、厚生労働省、文部科学省、愛知県庁、茨城県庁、神奈川県庁、群馬県庁、千葉県庁、日本原子力研究開発機構、宇宙航空研究開発機構、一橋大学、等
国際総合学類	【企業等】日本銀行、三井住友銀行、三菱 UFJ 銀行、ソニー銀行、日本郵政、三井住友海上火災保険、レバレジーズ、トーマツ、ペイカレント・コンサルティング、ラグザス、商船三井ロジスティクス、ヤクルト、エー・アンド・アイ、サイバーエージェント、伊藤忠プランテック、総合警備保障、PwC コンサルティング、ランドウェル、岸保産業、ベネフィット・ワン、ワンキャリア、ジェーシービー、ネクストビート、コムシス情報システム、パーソルプロセス & テクノロジー、東京電力、アビームコンサルティング、ソニー、日鉄物産、SCSK、マクロミル、栄光テクノ、富士通、郵船ロジスティクス、JFE 商事、ロッキング・オン、日本タタ・コンサルタンシー・サービス、フォトン算数クラブ、リンクソシール、ADEKA、ウィルグループ、SHIFT、イオン、キャップジェミニ、ワン・ステップ、オリエンタルコンサルタンツグローバル、三菱商事都市開発、丸紅、SMBC 日興証券、飛騨亭 花房、アサヒグループ、日本電気、アルペン、TOPPAN、塩野義製薬、三菱重工業、楽天、ソフトバンク、博報堂、講談社、日本経済新聞社、NHK、【公務員等】北海道庁、石川県庁、つくば市役所、日本スポーツ振興センター、等
教育学類	【企業等】八十二銀行、ニッポン、レバレジーズ、Sky、パーソナルビジネスプロセスデザイン、NTT 東日本、リンクアンドモチベーション、LITALICO、大和ハウス工業、オロ、ライトワークス、パナソニック、JFE システムズ、日本コントロールシステム、読売広告社、NHK、東京個別指導学院、【教員】広島県公立高、栃木県公立中、茨城県公立小、島根県公立小、【公務員等】防衛装備庁、群馬県庁、等
心理学類	【企業等】アフラック生命保険、IRODORI、一家ダイネンププロジェクト、NTT 東日本、インテリジェントテクノロジー、ヤマダ電機、中国電力、電通総研、セブテーニ、homie、テルモ、フューチャーインスペース、アクセスグループ、CRAZY、indi、Hakuhodo DY ONE、BIPROGY、NTT データ経営研究所、ヴァリルズ、カネコ種苗、山王病院、至空会、下野新聞社、ハノイ外国語大学附属外国語専門高、【公務員等】法務省、東京都庁、神奈川県庁、群馬県庁、航空保安大学校、等
障害科学類	【企業等】日本生命保険、東京海上日動ベターライフサービス、エン・ジャパン、パナソ、旭化成ホームズ、LITALICO、ベネッセスタイルケア、オープンハウス、東京エレクトロン、アーテック、IMS、オービック、みくに園、【教員】東京都立特別支援学校、茨城県立特別支援学校、栃木県立特別支援学校、埼玉県立特別支援学校、【公務員等】東京都庁、千葉県庁、伊奈町役場、等
生物学類	【企業等】小野薬品工業、SHIFT、SocioFuture、クイック、山と深谷社、国際航空、イグニション・ポイント、ANA、インフリー、山崎製パン、三井情報、日本品質保証機構、神奈川県内広域水道企業団、【教員】東京都私立高、等
生物資源学類	【企業等】北海道銀行、伊藤忠食品、稲畑産業、Vivixy、JAL、良品計画、アエナ、Fast Fitness Japan、ADK、フューチャーインスペース、つくば自然農園、日本工営、イタリアン東京バル、TIS、日本経営システム、三菱ケミカル、伊藤忠商事、京王百貨店、テレビ新潟、JA 全農、【公務員等】国土交通省、いわき市役所、産業技術総合研究所、筑波大学、等
地球学類	【企業等】九州電力、NTT データ・アイ、電源開発、昭文社クリエイティブ、エコスマート、PLACZ Group、東武トップツアーズ、三井共同建設コンサルタント、NTT データ、安藤・間、高速道路トールテクノロジー、【公務員等】東京都庁、新潟県庁、等
数学類	【企業等】常陽銀行、MUS 情報システム、みずほリサーチ & テクノロジーズ、Applied Materials, Inc.、日本電気、パーソルクロステクノロジー、日本カドナルド、高野博幸公認会計士税理士事務所、早稲田学習研究会、【教員】茨城県公立高、栃木県公立高、新潟県公立高、岩手県公立高、京都私立高、東京都私立高、東京都公立中、埼玉県公立中、等
物理学類	【企業等】三菱電機ソフトウェア、TDC ソフトウェアエンジニアリング、シグマックス、フジキン、【教員】栃木県公立高、千葉県公立高、熊本県公立高、【公務員等】高崎市役所、等

学類・専門学群	就職先例
化学類	【企業等】日産自動車、TIS、日本タタ・コンサルタンシー・サービス、早稲田学習研究会、等
応用理工学類	【企業等】MG 森精機、Life Asset Management、イー・エス・ティ、前川製作所、等
工学システム学類	【企業等】三菱自動車工業、清水建設、日本アイ・ピー・エム、みずほ銀行、住友不動産、ソニー、ダイテック、リンクス、JR 東日本、日立システムズ、インターネットイニシアティブ、岡谷精立工業、長谷川体育施設、横浜市社会福祉協議会、等
社会工学類	【企業等】常陽銀行、筑波銀行、鹿島建設、積水ハウス、データアナリティクスラボ、アサイン、森トラスト、サイバーエージェント、AKKODIS コンサルティング、ナレッジワーク、ケイライン・ビジネスシステムズ、NTT データ・ニューソン、Leo Sophia Group、TOMA コンサルタンツ、スクーターフィルムズ、ピデオリサーチ、ワールドインテック、マネジメントソリューションズ、大栄システム、アビームコンサルティング、Sansan、アチーブメント、DXO、NTT データビジネスシステムズ、トヨタコネクティッド、NTT データ、パナソニック・コネクト、富士通鹿兒島インフォネット、三井住友カード、Re-grit Partners、エコログ、オープンハウス、ニトリ、日本ウィルテックソリューション、楽天、文化工房、【公務員等】国土地理院、高エネルギー加速器研究機構、東京消防庁、等
情報科学類	【企業等】日立ハイシステム 21、エイエイエスティ、JCOM、トラストハブ、TAIAN、メディアドゥ、ケアリック・テクノロジーズ、ハンモック、インターネットイニシアティブ、田中商事、等
情報メディア 創成学類	【企業等】NTT ドコモ、日鉄ソリューションズ、NTT データ CCS、いえらぶ GROUP、ちょっと、ペイカレント・コンサルティング、ネクシオン、コーエーテコモ、Showcase Gig、日研トータルソーシング、プシロード、日本電気航空宇宙システム、パーソルプロセス & テクノロジー、等
知識情報・ 図書館学類	【企業等】静岡銀行、八十二銀行、京都中央信用金庫、SBI 証券、NTT データ、鎌倉新書、サイバーエージェント、キーエンスソフトウェア、ソフバンク、三井物産、ダイキエンジニアリング、リクルート、スタッフサービス・オフィスマネジメント、日鉄ソリューションズ、長野パルセイロ・アシレッククラブ、内田洋行、グーグル・クラウド、セブテーニ、伊東屋、アマゾンウェブサービス、フューチャーインスペース、マイクログメイツ、大和総研、コーエーテコモ、タイミー、irodas、オープンハウス・ディベロップメント、FUKUTOMI、アイヴィス、日立システムズ、パーク 24、CygamesPictures、グレスコ、最高位戦日本プロ麻雀協会、富士通、NTT ドコモ、ビービット、第一法規、ミツウロコヴェゼル、FREEDIVE、アイシン・ソフトウェア、小森コーポレーション、フレッシュタウン、メディカル・データ・ビジョン、Sola、サントリー、中央競馬ピーアール・センター、しまむら、横浜市芸術文化振興財団、日本総合研究所、日本医薬情報センター、【公務員等】東京都庁、神奈川県庁、埼玉県庁、福岡県庁、名古屋市役所、つくば市役所、川口市役所、安城市役所、習志野市役所、山梨県教育委員会、理化学研究所、国立情報学研究所、調布市立図書館、葛飾区立図書館、等
看護学類	【企業等】筑波大学附属病院、東京大学医学部附属病院、名古屋大学医学部附属病院、東京医科歯科大学医学部附属病院、千葉大学医学部附属病院、慶應義塾大学病院、順天堂大学医学部附属練馬病院、順天堂大学医学部附属浦安病院、東京医科大学病院、国立国際医療研究センター病院、国立がん研究センター中央病院、虎の門病院、筑波メディカルセンター病院、駒木野病院、長谷川病院、石巻赤十字病院、NTT 東日本関東病院、那須赤十字病院、GRI CARE、【教員】国立大付属高、茨城県公立小、【公務員等】千葉県庁、江戸川区役所、越谷市役所、千葉県柏市役所、取手市役所、等
医療科学類	【企業等】藤田医科大学病院、北里大学病院、八潮中央総合病院、高田眼科、木場公園クリニック、小山記念病院、勝田病院、フューチャーアース、パソネット、Grand Central、イーピーエス、TBS テレビ、等
体育専門学群	【企業等】ジュビロ磐田、湘南ベルマーレ、RB 大宮アルディージャ、ロアッソ熊本、栃木ブレックス、日立ハイテックワーカーズ、グリーンウィングス GUNMA、ジークスター東京、三井住友銀行、三菱 UFJ 銀行、福岡銀行、筑波銀行、群馬銀行、西京銀行、山形銀行、大和証券、野村證券、楽天証券、明治安田生命保険、三井住友海上火災保険、東京海上日動火災保険、G ペイカレント・コンサルティング、レバレッジーズ、清水建設、楽天、セブテーニ、LAVA International、A technologies、モリモト、ロッテ、イズミ、双日、長谷工、大塚製菓、青木商店、日本電気、日野自動車、シスメックス、関彰商事、オーウィル、シンプレクス、日本ライフライン、グッドライフ OS、サイバーエージェント、由良海運、エン・ジャパン、ルック、JAL、共同エンジニアリング、フジミイン、プラス、村地綜合木材、ファミリーコーポレーション、LXIL、レイヤーズ・コンサルティング、ラキール、トヨタ紡織九州、イングリッド、KADODE、ニッセイ情報テクノロジー、オリックス・システム、コスモイニシア、ルイ・ヴィトン、住友林業、三菱電機、TOTO、ザナックス、フットボールクラブ水戸ホーリーホック、中国電力、いすゞ自動車、J-POWER エネルギーソリューションサービス、日本道路、JR 東海、コダマ、三井住友トラスト、Sansan、日本ガイシ、ジェイエイシーリクルートメント、キリン、ENEOS システムズ、ユニ・チャーム、日本ハム惣菜、シャープ、IFA 法人 MK3、ジェイテクト、アイリスオーヤマ、パンダダイナムコライブクリエイティブ、大和ハウス工業、ジェフユナイテッド、日本製鉄、ANA ウイングス、ヴェルスバ、MMC テクニカルサービス、ルネサンス、クボタ、大韓航空、味の素、LEOC、LIFULL、大林組、富士通、NTT ドコモ、グリーンテニスプラザ、Shun Kuwahara Gymnastics Square、エフアンドエム、東京エレクトロン、積水ハウスリフォーム、フェニックス 三遠ネオフェニックス、TOKIUM、センコー、世田谷自然食品、汎建製作所、オープンハウス、パンビジャス奈良、パナソニック、山陽特殊製鋼、freee、東レ、久島農産、ニトリ、テンボス情報館、トヨタ車体、アサイン、JA 全農ミートフーズ、日本発案、アラハタ、日立製作所 日立事業所、美津濃、ジャパンエフエムネットワーク、東海テレビ放送、南日本放送、南日本新聞社、報知新聞社、スポーツクラブ相模原、新潟県スポーツ協会、ベースボール & スポーツクリニック、日本中央競馬会、別府大学、【教員】茨城県公立高、愛知県公立高、静岡県公立高、栃木県公立高、埼玉県公立高、茨城県公立小、山口県特別支援学校、【公務員等】東京都庁、茨城県庁、徳島県庁、世田谷区役所、小野市役所、宇都宮市役所、牛久市役所、警視庁、和歌山県警察本部、福岡県警察本部、埼玉県警察本部、大阪府警察本部、筑波大学、等
芸術専門学群	【企業等】鹿児島銀行、高崎信用金庫、星野リゾート・マネジメント、Reprise、sizebook、東芝、スプリックス、デジタルバンク、ソニーミュージック、本田技術研究所、レバレッジーズ、毎日オークション、電通デジタル、クラウン・パッケージ、パーソルキャリア、東京リスマチック、セブテーニ、ユーテック、アクタス、ハル研究所、ディスコ、ソウルダアウト、ジュン、Dirbato、キューブシステム、フジアル、東和産業、黒龍堂、キャンパス、アフェクター、森緑地設計事務所、アサヒシューズ、富士電機、アクト、SHFIT、パンダダイナムコムニケーションズ、高島屋、東京芸夢、公東京動物園協会、ジンス、ニトリ、CREATIP、電通、滋慶学園、劇団四季、福祉財団、【教員】岡山県公立高、千葉県公立高、【公務員等】香川県庁、等

※すべての就職先を示していません。「高」には中高一貫校や中等教育学校、「中」には義務教育学校を含みます。会社名等は適宜省略しています。

大学院

筑波大学の大学院には修士課程、博士課程及び専門職学位課程があります。また、社会人再教育のための夜間大学院・昼夜開講制の実施、短期在学コース・長期履修学生制度・博士後期課程「早期修了プログラム」など標準修業年限の弾力化、筑波研究学園都市等の研究機関の施設・設備や人的資源を活用して大学院教育を行う連携大学院方式の実施など教育方法・形態の多様化を図っています。2020年4月より大学院を改組し、3学術院6研究群に再編しました。6つの研究群には合計55の学位プログラムを編成し、各研究群の専任教員を中心とした幅広い学問分野の教員が協働して学位プログラムでの授業と研究指導を行っています。

◇修士課程及び博士前期課程

修士課程及び博士前期課程は、幅広く深い学識の涵養を図り、専門分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門的な職業を担うための卓越した能力を培うことを目的としています。

◇一貫制博士課程、博士後期課程及び3年制博士課程

一貫制博士課程、博士後期課程及び3年制博士課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行うに足る、又は高度の専門性が求められる社会の多様な方面で活躍し得る高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を養うことを目的としています。

◇専門職学位課程

専門職学位課程は、幅広い分野の学士課程の修了者や社会人を対象として、特定の高度で専門的な職業能力を有する人材の養成に特化して、国際的に通用する高度で専門的な知識・能力を涵養することを目的としています。

◆人文社会ビジネス科学学術院

ビジネス科学、人文学、社会科学に関する多面的かつ高度な教育研究を通じて、人間の価値や人と社会のあり方を時間軸、空間軸を交差させて総合的に探究することによって、新たな知を創造し具現化できる研究者、大学教員、高度専門職業人を養成します。

◎人文社会科学研究群

(<https://www.hass.tsukuba.ac.jp/>)

◎ビジネス科学研究群

(<https://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/>)

◎法曹専攻（法科大学院）

(<https://www.lawschool.tsukuba.ac.jp/>)

◎国際経営プロフェッショナル専攻

(<https://www.mbaib.gsbts.tsukuba.ac.jp/>)

◆理工情報生命学術院

総合科学技術を支える理学・工学・農学の基礎と応用、システム・情報・社会が融合・複合する学際新領域において、人間を取り巻く複雑で困難な問題を発見・解決できる独創的かつ行動的な研究者、大学教員、高度専門職業人を養成します。

◎数理物質科学研究群

(<https://grad.pas.tsukuba.ac.jp/>)

◎システム情報工学研究群

(<https://www.sie.tsukuba.ac.jp/>)

◎生命地球科学研究群

(<https://www.life.tsukuba.ac.jp/life-graduate/>)

◎国際連携持続環境科学専攻

(<https://www.envr.tsukuba.ac.jp/jmses/>)

◆人間総合科学学術院

人間の心身及び諸活動に関する基礎から応用までの豊富かつ高度な教育研究を通して、固有の学問領域において高度でグローバルな視点に基づいた研究を計画実行でき、人間に関する幅広い知識をもち優れた学際的な学術研究や国際的かつ学際的な教育研究環境を背景に異分野の先端的な融合が図れる優れた学術研究を計画実行できる研究者と大学教員、及び複合的な視点から人間を捉え、柔軟かつ適切な援助・支援を研究・設計して社会的ニーズに対応できる高度専門職業人を養成します。

◎人間総合科学研究群

(<https://www.chs.tsukuba.ac.jp/>)

◎スポーツ国際開発学共同専攻

(<https://tkjids.taiiku.tsukuba.ac.jp/>)

◎大学体育スポーツ高度化共同専攻

(<https://kododaigaku.taiiku.tsukuba.ac.jp/>)

◎国際連携食料健康科学専攻

(<https://www.gip.tsukuba.ac.jp/>)

◆学際創成学術院

本学術院は、自然・人間・社会の営みや創造物など、あらゆる対象を学問の探究の場とし、複数の専門領域を有機的に結びつけることによって、真理の探究と価値の創造を循環的に統合する新たな学術拠点です。単独の学問分野では解決できない地球規模課題に挑み、学問の壁を超えた知の統合と社会実装を推進し得る人材を養成します。

詳細は、こちらをご参照ください。

<https://www.tsukuba.ac.jp/education/g-list-gsigma/>

※2027年度の開設に向けて設置構想中です。

設置計画は予定であり、内容は変更となる場合があります。

認可された場合、学際創成学術院は、既存の学術院の一部を統合した学位プログラム及び新たに設置される学位プログラムで構成されます。

人文社会ビジネス科学学術院

人文社会科学研究群

人文学学位プログラム	M	D
国際公共政策学位プログラム	M	D
国際日本研究学位プログラム	M	D

対応する主な学群・学類：

人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類、社会学類、国際総合学類

ビジネス科学研究群

法学学位プログラム	M	D
経営学学位プログラム	M	D

〈専門職学位課程〉*1

法曹専攻（法科大学院）	P
国際経営プロフェッショナル専攻	P

注：社会人対象のプログラムです。

理工情報生命学術院

数理物質科学研究群

数学学位プログラム	M	D
物理学学位プログラム	M	D
化学学位プログラム	M	D
応用理工学学位プログラム	M	D
国際マテリアルズイノベーション学位プログラム	M	D

対応する主な学群・学類：

数学類、物理学類、化学類、応用理工学類、工学システム学類

システム情報工学研究群

社会学学位プログラム	M	D
サービス工学学位プログラム	M	
リスク・レジリエンス工学学位プログラム	M	D
情報理工学位プログラム	M	D
知能機能システム学位プログラム	M	D
構造エネルギー工学学位プログラム	M	D
エンパワーメント情報学プログラム	5D	
ライフイノベーション（生物情報）学位プログラム	M	D

対応する主な学群・学類：

社会学類、国際総合学類、数学類、物理学類、化学類、応用理工学類、工学システム学類、社会学類、情報科学類、情報メディア創成学類

生命地球科学研究群

生物学学位プログラム	M	D
生物資源科学学位プログラム	M	
農学学位プログラム	D	
生命農学学位プログラム	D	
生命産業科学学位プログラム	D	
地球科学学位プログラム	M	D
環境科学学位プログラム	M	
環境学学位プログラム	D	
山岳科学学位プログラム	M	
ライフイノベーション（食料革新）学位プログラム	M	D
ライフイノベーション（環境制御）学位プログラム	M	D
ライフイノベーション（生体分子材料）学位プログラム	M	D

〈外国の大学との国際連携教育課程〉*1

国際連携持続環境科学専攻	M
--------------	---

対応する主な学群・学類：生物学類、生物資源学類、地球学類

人間総合科学学術院

人間総合科学研究群

教育学学位プログラム	M	D
心理学学位プログラム	M	D
障害科学学位プログラム	M	D
カウンセリング科学学位プログラム	M	
カウンセリング科学学位プログラム		D
リハビリテーション科学学位プログラム	M	D
ニューロサイエンス学位プログラム	M	D
医学学位プログラム		4D
看護科学学位プログラム	M	D
フロンティア医科学学位プログラム	M	
公衆衛生学学位プログラム	M	
パブリックヘルス学位プログラム		D
スポーツ医学学位プログラム		D
体育学学位プログラム	M	
スポーツ・オリンピック学学位プログラム	M	
体育科学学位プログラム		D
コーチング学学位プログラム		D
スポーツウエルネス学学位プログラム	M	D
芸術学学位プログラム	M	D
デザイン学学位プログラム	M	D
世界遺産学学位プログラム	M	D
情報学学位プログラム	M	D
ヒューマンバイオロジー学位プログラム		5D
ライフイノベーション（病態機構）学位プログラム	M	D
ライフイノベーション（創薬開発）学位プログラム	M	D

〈他大等との共同教育課程〉*1

スポーツ国際開発学共同専攻	M
大学体育スポーツ高度化共同専攻	D

〈外国の大学との国際連携教育課程〉*1

国際連携食料健康科学専攻	M
--------------	---

対応する主な学群・学類：

教育学類、心理学類、障害科学類、医学類、看護学類、医療科学類、体育専門学群、芸術専門学群、情報メディア創成学類、知能情報・図書館学類
注：カウンセリング、カウンセリング科学、リハビリテーション、スポーツウエルネス学は社会人対象のプログラムです。

グローバル教育院

ヒューマンクス学位プログラム（卓越大学院プログラム）*2	5D
------------------------------	----

【凡例】

- M**：修士課程または博士前期課程
- D**：博士後期課程または3年制博士課程
- 5D**：5年一貫制博士課程
- 4D**：医学を履修する博士課程（4年制）
- P**：専門職学位課程

*1 専門職学位課程、外国の大学との国際連携教育課程、他大等との共同教育課程については、専攻として学術院の下に設置

*2 大学独自の強みを核に、世界最高水準の教育力・研究力を結集した5年一貫の博士課程プログラム

連携大学院とつくばの研究所

筑波大学では、従来の観念にとらわれない柔軟な教育研究組織と、次代の求める新しい大学の仕組みを実現するため、平成4年度から連携大学院方式を実施しています。

連携大学院では、多くの研究所が設置されている筑波研究学園都市や1都4県に所在する国立、独立行政法人（国立研究開発法人を含む）、民間の研究所の研究者を、筑波大学の教授・准教授として迎えています。それにより、学生は最新の設備と機能を有する研究機関において広い領域で最先端レベルの研究指導を受けることができます。

大学の1年生から4年生までの間にはあまり接することのなかった、研究所に勤務する研究者の研究生活に触れることができるとともに、より多くの研究分野に興味を広げることができそうです。

筑波大学の連携大学院は、現在では31の研究機関と連携し、教授136名、准教授68名という規模で実施されています。

連携大学院方式には、以下の2種類があります。

■第一号連携大学院方式

本学大学院の研究群に、研究機関の研究者が、大学の教員（連携教員）となって参画し、その研究機関の最新の設備を活用して本学学生の研究指導を行います。指導にあたっては、本学の当該研究群の専任教員から副指導教員を配置し、連携教員に協力して修学指導や学生生活支援を行います。なお、修了に必要な授業科目は、原則として本学で履修します。

■第二号連携大学院方式

平成16年度からスタートした、新しい連携大学院方式です。

研究機関の研究者を大学の教員（連携教員）として迎え、その連携教員のみで構成する教育課程を編成し、連携大学院方式の教育を行うものです。その教育課程はサブプログラムとして本学大学院の研究群・学位プログラムの下に置かれ、指導にあたっては、当該研究群の専任教員が、協力教員として修学指導や学生生活支援に協力します。学生は、当該学位プログラムに在籍し、最新の設備と機能を有する研究機関でその分野の最先端レベルの研究指導等を受け、必要な授業科目を原則として本学で履修することになります。

現在、この方式に則ったサブプログラムは、以下のとおりです。

数理工学物質科学研究群 応用理工学学位プログラム（博士後期課程）

NIMS 関係物質・材料工学サブプログラム

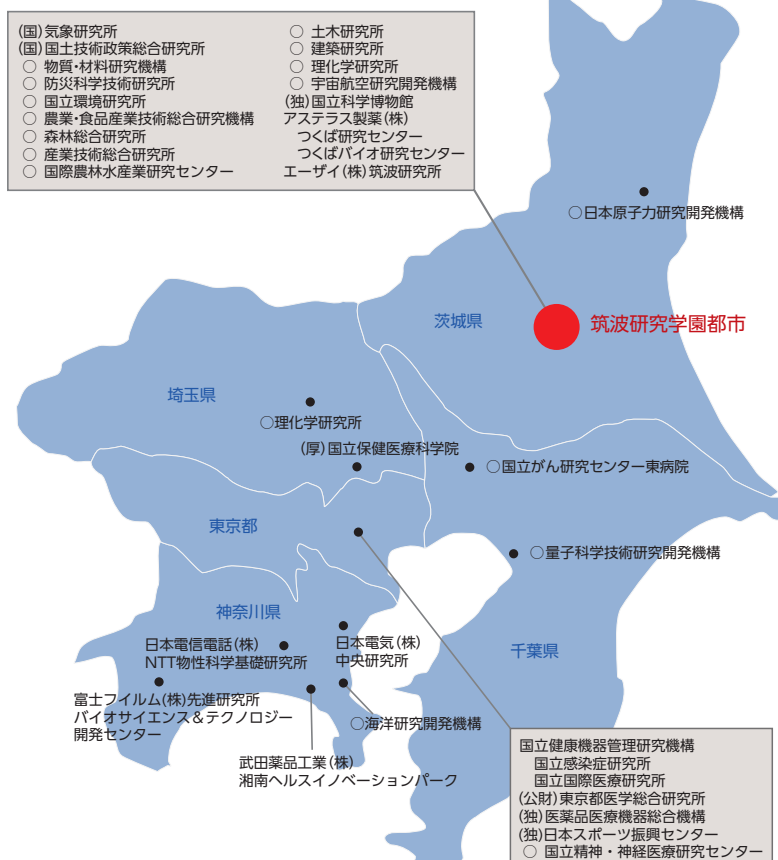
連携機関名：国立研究開発法人物質・材料研究機構

生命地球科学研究群 農学学位プログラム（博士後期課程）

NARO 関係先端農業技術科学サブプログラム

連携機関名：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

連携大学院方式に関する研究機関



(注) (厚)は厚生労働省、(国)は国土交通省、(独)は独立行政法人(そのうち、○は国立研究開発法人)、(公財)は公益財団法人。

令和6年度進路状況（大学院）

修士課程・博士前期課程修了者数

※研究群は主な組織を掲載しています。

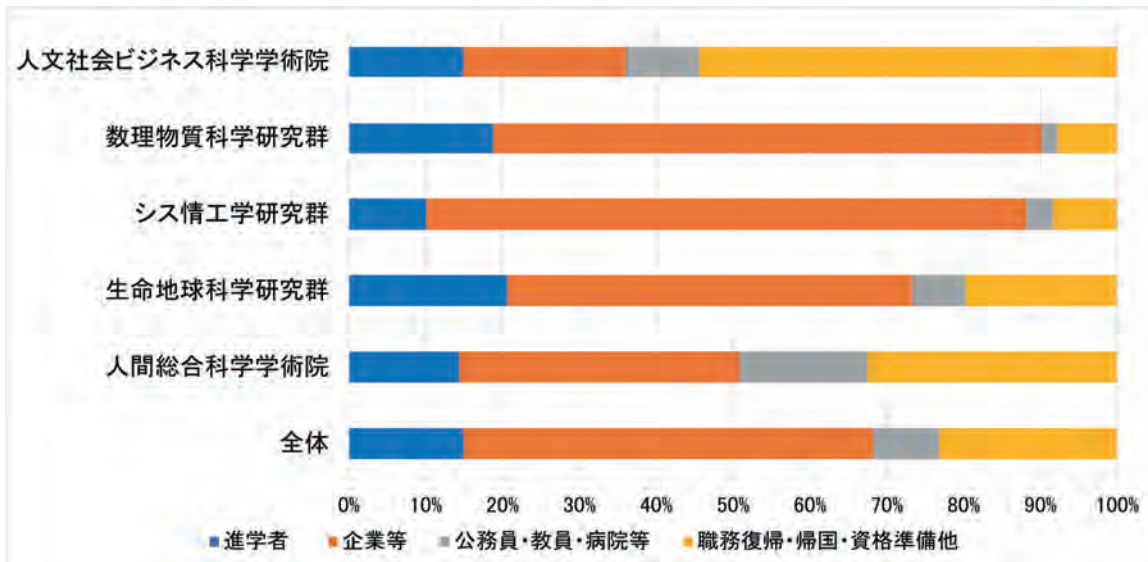
研究群等	人文社会科学学研究群	ビジネス科学研究群	人文社会 ビジネス科学 学術院	数理物質 科学研究群	システム 情報工学 研究群	生命地球 科学研究群	理工情報 生命学術院	人間総合 科学研究群	人間総合 科学学術院	合計
修了者	141	54	33	272	516	334	8	573	20	1,951

産業別進路内訳（修士課程・博士前期課程全体）

修了者	進学者		就職者	就職者の内訳					学振・ 外部資金 研究員等	研究生 等	資格・ 試験等 準備他	帰国	職務 復帰	その他
	うち本学 大学院	企業		教員	大学 教員	公務員	独法等							
1,951	292	256	1,208	1,040	74	11	56	27	2	5	44	21	206	173

産業別進路内訳

※研究群は主な組織を掲載しています。



一貫制博士課程・博士後期課程修了者数

研究群等	人文社会科学、 ビジネス科学、 人文社会ビジネス 科学	数理物質科学	システム 情報工学	生命地球科学、 生命環境科学	人間総合科学	図書館情報 メディア	グローバル 教育院	合計
修了者	61	65	81	89	154	3	7	460

産業別進路内訳（一貫制博士課程・博士後期課程全体）

修了者	進学者	就職者	就職者の内訳					学振・ 外部資金 研究員等	博士 特別研 究員	資格・ 試験等 準備他	帰国	職務 復帰	その他
			企業	教員	大学 教員	公務員	独法等						
460	1	154	80	3	44	5	22	53	13	16	11	163	49

令和6年度(大学院修士課程・博士前期課程)

主な教育組織とその就職先企業名等を掲載しています。「株式会社」等の表記をはじめ、名称を適宜省略しています。「高」には中高一括採用や中等教育学校等、「中」には義務教育学校等を含みます。すべての就職先は掲載していません。大学院博士課程後期や一貫性博士課程の就職先は掲載していません。

研究群	学位プログラム	就職先例
人文社会科学／ビジネス科学	人文学、国際公共政策、国際日本研究	【企業】みずほ銀行、PKUTECH、太陽塾、アルク、コムチュア、共文社、廣瀬建材、近鉄リテーリング、ラピス、BEENOS、旭計器、島津製作所、つくばソフトウェアエンジニアリング、ゲンキー、日新、トライアルカンパニー、コンセント、belli Economic Society、Narxoz University、Japan Navi、三菱電機、ダイオース、在原製作所、TRUTH LOGISTICS、日本タタ・コンサルタンシー・サービス、三菱総合研究所、アパナード、KEME Logistics、ピジュアル・プロセッシング・ジャパン、日立グローバルライフソリューションズ、マッシュコーポレーション、ジャパンホリデートラベル、フェアトランス・インターナショナル、ケン・ホテル&リゾート、誠心誠意、赤坂国際会計・赤坂税理士、日本工営、ワールドディング、日本中央競馬会、東京都市づくり公社、昭文社、東洋経済新報社、NHK、【教員】千葉県公立高、栃木県公立高、長野県公立高、千葉県公立中、関東学園大学、University of World Economy、University of Business and Science、Yangon University of foreign language、【公務員】防衛省、東京都庁、筑波大学、河南省統計局、China Ministry of Water、Kazakhstan's youth parliament、Reserve Bank of Malawi、Presidents Office in Tanzania、Republican Center for Spiritua、University of World Economy and Diplomacy、Kenya Law Reform Commission、Ministry of Finance、National Statistics Office of Mongolia、等
数理物質科学	数学	【企業】三井住友海上あいおい生命、ユニヴィスグループ、NTT データビジネスシステムズ、三菱マテリアル、日鉄ソリューションズ北海道、ゆうちょ銀行、トライグループ(家庭教師のトライ)、日商エレクトロニクス、FITEC、日鉄ソリューションズ、日本飛行機、アルトナー、SHFIT、アビームコンサルティング、【教員】茨城県公立高、等
	物理学	【企業】日産自動車、ウエスタンデジタル、日立製作所、日本電気、旭化成、シグマ、ソニーセミコンダクタソリューションズ、電源開発、ローム、AKKODIS コンサルティング、光ソフトウェア、NTT データ東海、キヤノン、スカパーJSAT、宇宙技術開発、KPMG コンサルティング、ディスコ、ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ、シャープ、日本プロセス、EY ストラテジー・アンド・コンサルティング、インターネットイニシアティブ、ニコン、セック、セイコーエプソン、富士電機、東芝エレベータ、三菱UFJアセットマネジメント、ARISE analytics、日新火災海上保険、野村総合研究所、村田製作所、ウイナス、日鉄住金テックスエッジ、日鉄エレックス、アウトソーシングテクノロジー、タツノ、AESC ジャパン、シンプレクス、半導体エネルギー研究所、等
	化学	【企業】大塚製薬、中外製薬、第一三共、マイクロメモリジャパン、レゾナック、ソニーセミコンダクタソリューションズ、センショー、東亜合成、ヴィジブルインフォメーションセンター、細川洋行、信越化学工業、ADEKA、生化学工業、三菱ガス化学、JSR、パルシス化学、エスビック、日東電工、ナベカ、トクヤマ、大日本印刷、富士フイルムと光純薬、フロンティア、日立パワーソリューションズ、住友精化、Japan Advanced Semiconductor Manufacturing、【教員】群馬県公立高、東京都立高、新潟県公立中、【公務員】栃木県庁、等
応用理工、国際マテリアルズイノベーション	化学	【企業】ルネサスエレクトロニクス、日立ハイテック、富士フイルム、レゾナック、ソニーセミコンダクタソリューションズ、NEC ソリューションイノベーション、東京ガス、ペイカレント・コンサルティング、マイクロメモリジャパン、日鉄ソリューションズ、ディスコ、興和、キオクシア、キヤノン、三菱電機、レバレジーズ、京セラ、オリンパス、日本総合研究所、東レ、日本電気、長瀬産業、高周波熱線、ディスコ、豊田中央研究所、日本電子、サイバーエージェント、アシスト、日立ハイテックサービス、出光興産、住友大阪セメント、LIXIL、三菱化工機、トヨタ自動車、アリヂストン、日油、システムサポート、三井金属鉱業、ギガフォトン、積水化学工業、栗田工業、東京エレクトロン、ソニー生命保険、EY ストラテジー・アンド・コンサルティング、タムロン、日本電信電話、日産自動車、全日本空輸、富士電機、Japan Advanced Semiconductor Manufacturing、SUBARU、オージス総研、富士通、明星電気、日立インダストリアルプロダクト、東京エレクトロングループ、旭化成マイクロテクノロジー、UACJ、タテホ化学工業、YKK、東京電力エナジーパートナー、オオモト、Tesla Japan、スヴオトン テクノロジージャパン、本田技研工業、第一実業、住友電気工業、フジクラ、ポリプラスチックス、横河電機、富士フイルム、オルガノ、【教員】千葉県私立高、等
社会工学	社会工学	JR 東日本、日立製作所、TDSE、野村総合研究所、鹿島建設、大和総研、富士通、奥村組、日本総合研究所、日本取引所グループ、シンプレクス、エム・アール・アイ リサーチアソシエーツ、日本アイ・ビー・エム、プレインパッド、LEB 建築設計事務所、住友理工、三井不動産、三菱UFJフィナンシャル・グループ、NTT データ、関電工、ボスタス、LINE ヤフー、パシフィックコンサルタンツ、JR 西日本、京王電鉄、三井物産、木のすまい工房、コムチュア、三菱UFJ銀行、ペイカレント・コンサルティング、セルム、キーエンス、リクルート、惠州 Desay SV Automotive Electronics、HIKVISION、ABEJA、日建設計、価値総合研究所、コーエーテックモ、リビタ、スタークス、EY ストラテジー・アンド・コンサルティング、サポート、富士電機、Preferred Networks、日本工営、フージャースコーポレーション、ルネサスエレクトロニクス、ライオン、日産自動車、みずほリサーチ&テクノロジー、インターネットテクノスフィア、三菱総合研究所、阪急阪神、YKK、信金中央金庫、上海 Zhihuang 情報技術有限公司、Fact Base、本田技研工業、清水建設、NTT 都市開発、デンソーテン、家庭教師のトライ、計量計画研究所、鉄道総合技術研究所、仙台市民文化事業団、首都高速道路、【公務員】内閣府、福島県庁、草加市役所、新エネルギー・産業技術総合開発機構、都市再生機構、Ministry of Home Affairs Bangladesh、等
リスク・レジリエンス工学、サービス工学	リスク・レジリエンス工学、サービス工学	【企業】トヨタ自動車、アクセンチュア、野村総合研究所、日本アイ・ビー・エム、三井住友銀行、みずほ証券、NTT コムウェア、キャップジェミニ、ラクスル、アビームコンサルティング、日鉄ソリューションズ、三菱UFJ銀行、東芝デジタルソリューションズ、大和総研、Hakuhodo DY ONE、NTT ドコモ、楽天グループ、エクササイズ、TDK、アマゾンジャパン、日立製作所、フレット、ボッシュ、日産自動車、大日本印刷、リモート・センシング技術センター、東京ガス、三井物産、日立 Astemo、ペイカレント・コンサルティング、アマゾンウェブサービスジャパン合同会社、SCSK、日立システムズ、東建コーポレーション、オリエンタルコンサルタンツ、EY ストラテジー・アンド・コンサルティング、関西電力、三菱総合研究所、楽天グループ、野村総合研究所、日本電気、ENEOS、日立製作所、日産電機、【公務員】防衛省、東京都庁、鉄道建設・運輸施設整備支援機構、等
システム情報工学	情報理工学	【企業】リクルート、NTT データ、楽天グループ、ソフトバンク、ルネサスエレクトロニクス、マネーフォワード、コアコンセプト・テクノロジー、ソニー、日本電気、日鉄ソリューションズ、サントリー、ADWAYS DEEE、プレイド、ティーネットジャパン、京セラ、ビズメイツ、オムロンソフトウェア、小松製作所、シンプレクス、日立製作所、日立パワーソリューションズ、サイバーエージェント、メルコイン、ハイマックス、ネクストレージ、NEC ソリューションイノベーション、チームラボ、NTT データ、ユニークビジョン、横浜 DeNA ベイスターズ、Supership、Donuts、東成瀬テックソリューションズ、キャップジェミニ、三菱電機、インテリジェントテクノロジー、スカラ、エクシオ・デジタルソリューションズ、ウエスタンデジタルテクノロジー、日立産機システム、日立 Astemo、レノボ・ジャパン合同会社、オプロ、マイクロメモリジャパン、ドワンゴ、キヤノメディカルシステムズ、Q'sfix、Meta、ソーネネットワークコミュニケーションズ、日本製鉄、シャープ、ランドネット、ゆめが、SCSK、日本アイ・ビー・エムシステムズ、エンジニアリング、THE COO、GMO ペパル、クボタ、NTT ドコモ、セイコーエプソン、富士電機、富士通、日産自動車、Preferred Networks、パナソニック コネクテ、中国移动通信、日本タタ・コンサルタンシー・サービス、カヤバ、ドリーム・アーツ、オプティマ、Yoihi、東京エレクトロングループ、ソニー・インタラクティブエンタテインメント、パナソニック、富士フイルムソフトウェア、エヌ・エフ・ラボラトリーズ、三菱電機ソフトウェア、ZOZO、デロイトトーマツコンサルティング合同会社、Nagarro、北陸電力、KDDI、シスコシステムズ合同会社、アコム、シグマイ、本田技研工業、エクササイズ、損害保険ジャパン、【教員】成蹊大学、【公務員】特許庁、産業技術総合研究所、等
	知能機能システム	【企業】日本電気、ソフトバンク、NTT データ、キヤノメディカルシステムズ、富士通、デンソー、パナソニック コネクテ、リコー、日産自動車、ルネサスエレクトロニクス、パナソニック、本田技研工業、日鉄ソリューションズ、三菱電機、ソニー、パナソニック オートモーティブシステムズ、三菱重工業、TDK、オムロンソフトウェア、フレット、ニコンシステム、DMG 森精機、日立製作所、HOUSEI、東芝、小松製作所、マンパグループ、双日、日清製粉グループ、川崎重工業、東日本電信電話(NTT 東日本)、アクセンチュア、SB テクノロジー、富士通ゼネラル、富士通エフサス、キヤノン、コナミアミューズメント、トヨタ自動車、日立産機システム、トヨタ知能電動車研究開発センター(中国)有限公司、カナデピア、ヤマハ、三菱UFJ銀行、セプテニ、マイクロメモリジャパン、日立 Astemo、パナソニック ITS、ラセンブル、東京エレクトロン、エビデン、日立システムズ、オプティマグループ、東京エレクトロン九州、NTT データビジネスシステムズ、Cygames、EY ストラテジー・アンド・コンサルティング、パンダイナム コスタジオ、エヌシーアイ総合システム、コーエーテック、GEヘルスケア・ジャパン、Sun Asterisk、住信 SBI ネット銀行、TBS テレビ、日本タタ・コンサルタンシー・サービス、NTT ドコモ、セブーン・アイ・ネットメディア、東芝ライフスタイル、ソニー・インタラクティブエンタテインメント、東京ドーム、レアゾン、島津製作所、楽天グループ、伊藤忠テクノソリューションズ、Serres、【公務員】総務省、産業技術総合研究所、等

研究群	学位プログラム	就職先例
システム情報工学	構造エネルギー工学	【企業】三菱重工業、JFE エンジニアリング、東京ガス、アシックス、トヨタ自動車、大成建設、小松製作所、日立製作所、SOLIZE、IH、川崎重工業、日鉄ソリューションズ、日産自動車、JFE スチール、リオン、日中コンサルタンツ、JR 東日本コンサルタンツ、JR 東日本、ペイカレント・コンサルティング、SCSK、富士テクニカルリサーチ、山九、日産工機、ビジリアルインフォメーションセンター、三菱重工工事、日本工営、SUBARU、全日本空輸、大林組、TSMC、スカイマーク、日立インダストリアルプロダクツ、アストロスケール、東邦ガス、三浦工業、日本技研工業、東芝エネルギーシステムズ、MHI エアロスペースシステムズ、ソニー、エリクソン・ジャパン、大日本コンサルタンツ、在原製作所、三菱電機、パシフィックコンサルタンツ、三菱電機エンジニアリング、SCREEN セミコンダクターソリューションズ、古河電気工業、東京建物、NIPPO、東芝、JERA、美津濃、宇宙技術開発、【公務員】国土交通省、水産庁、国土地理院、等
生命環境科学	生物学	【企業】シミック、ARISEanalytics、オーオイル、横浜油脂工業、ロッテ、湖池屋、三菱工機、神鋼商事、アクセントチュア、日清製粉、ワールドインテック、住友化学、タカノフーズ、エスアールディ、花王、土庫管理総合試験所、不二製油、ソントン食品工業、ジェイアールサービスネット広島、三菱商事ライフサイエンス、日本たばこ産業、パーソルロステクノロジー、大塚製薬、小林製薬、イオンディライト、建設環境研究所、SHIFT、ウイングアーク 1ST、富士通クライアントコンピューティング、メディフォード、アドバンテック、タツタ電線、世田谷自然発酵、武蔵エンジニアリング、日鉄ソリューションズ東日本、エルテック、山崎製パン、【教員】千葉県公立高、大阪府公立中、【公務員】環境省、三重県庁、等
生命環境科学	生物資源科学	【企業】日立製作所、日清食品、王子製紙、ライオン、ARISEanalytics、ルネサスエレクトロニクス、日本アイ・ピー・エム、日立パワーソリューションズ、昭和産業、ジョンソン・エンド・ジョンソン、ソーセミコンダクタソリューションズ、八千代エンジニアリング、東京応化工業、エステー、サントリーホールディングス、日清養製薬、東洋エン지니어リング、京セラ、レバレジーズ、タキイ種苗、日清製粉グループ、講談社、日本製紙、クイック、NTT 東日本、三和澱粉工業、日比谷アメニス、日立ビルシステム、住友林業、日本 HP、ツムラ、カナカ、ファーストリテイリング、日清製粉、アフラック生命保険、ウェーブロッック・アドバンスト・テクノロジー、キョコマン、不二製油、花王、ゼンショーホールディングス、EY ストラテジー・アンド・コンサルティング、大和総研、キミカ、アステラス製薬、湧永製薬、BIPROGY、NTC コンサルタンツ、味の素、菱電商事、SHIFT、日本電信電話、羊士社、オンサイト、オプテクス、NTT ノードエナジー、武州製薬、Eurofins、ノエビア、日本発条、日本銀行、旭化成ファーマ、カルビー、東し、第一三共、イリノ電子工業、材料科学技術振興財団、ホライゾン国際学校、【教員】北海道公立高、【公務員】農林水産省、千葉県庁、富山県庁、産業技術総合研究所、物質・材料研究機構、科学技術振興機構、農業・食品産業技術総合研究機構、日本貿易振興機構、等
生命環境科学	地球科学	【企業】パスコ、国際航業、日本気象協会、建設技術インターナショナル、建設技術研究所、日本電気航空宇宙システム、ウインドエナジーコンサルティング、ヒューマンテクノシステム、ナビタイムジャパン、エスユーエス、メタウォーター、日本エヌ・ユー・エス、南海放送、東京製鐵、パンダイ、応用地質、川崎地質、東北電力、三菱電機ディフェンス & スペーステクノロジー、SUBARU、アサノ大成基礎エンジニアリング、エイト日本技術開発、クワーズティオ、セントラルエンジニアリング、ユニテックス、【特建建設、長野朝日放送、インターリスック総研、電源開発、ニフティ、【公務員】気象庁、エネルギー・金属鉱物資源機構、等
生命環境科学	環境学、山岳科学、ライフインベション	【企業】日本電気、アスパーク、東京クリアセンター、大成建設、朝日航洋、日本原子力防護システム、イー・スピリット、JR 東日本、KANTO リサイクル、静岡県産業環境センター、丸文、三井住友海上火災保険、日本工営、セック、リコー、東京ドーム、日清ヨーコ、NTT コムウェア、JTB、NTT ノードエナジー、建設技術研究所、日本工営、国軒高科日本、荒井商事、デュボン、テクノプロテクノプロ R&D 社、日産化学、【公務員】農林水産省、環境省、林野庁、群馬県庁、知立市役所、つくば市役所、等
人間総合科学	フロンティア医科学、公衆衛生学、スポーツ国際開発学、国際連携食料健康科学、ニューロサイエンス、看護科学	【企業】筑波大学附属病院、横浜市立大学医学部附属病院、筑波記念病院、旭中央病院、蘇州森茂診療所、田辺三菱製薬、塩野義製薬、富士フィルム和光純薬、岩井化学薬品、久光製薬、沢井製薬、シャント化粧品、アステラス製薬、マルホ、シミックホールディングス、ジョンソン・エンド・ジョンソン、日本総合研究所、富士フィルム KM14 化学、ポックカサポートフード & ビバレッジ、日立ハイテック、花王、エーザイ、エイチヘルスケア、テルモ、富士バイオジェクス、IQVIA ソリューションズ ジャパン、興和、東京エレクトロン、中外製薬工業、アスタロゼナカ、テクノプロテクノプロ R&D 社、ヤンセンファーマ、アサヒグループ食品、セントスタッフ、日本エマルジョン、フクシマガリレイ、ジェイエイシーグループメント、育児サポートカスターネット、オンサイト、阪和興業、サノフィ、The Japan Travel Company、Schneider Electric、シグロ・フード、コスモエネルギー、ビットイー、国民健康保険中央会、医学生物学研究所、豊里もみじこども園、【教員】茨城県庁、静岡県庁、文京区役所、大阪市役所、取手市役所、足立区役所、医薬品医療機器総合機構、等
人間総合科学	教育学、心理、障害科学、カウンセリング	【企業】日本マスタートラスト信託銀行、行知学園、ルイ・ヴィトン ジャパン、旭化成アミダス、Queen Bee Capital、デイスコ、正田醤油、KADOKAWA、サクヤ、スバルコンピュータ、パールダイアミクス、NETT データウェア、プルデンシャル生命保険、素然 MefissHometex、ビズリーチ、アフラック生命保険、ヤングケアラー協会、【教員】国立高、東京都公立高、茨城県公立高、千葉県公立高、埼玉県公立高、静岡県公立高、兵庫県公立高、東京都私立高、茨城県私立高、千葉県私立高、栃木県私立高、埼玉県私立高、長野県私立高、京都府公立高、茨城県公立中、千葉県公立中、大阪府公立中、茨城県公立小、富山県公立小、茨城県公立小、栃木県公立小、国立特別支援、茨城県特別支援、東京都特別支援、千葉県特別支援、神奈川県特別支援、新潟県特別支援、長野県特別支援、筑波大、明海大、東京都インターナショナルスクール 【公務員】厚生労働省、文部科学省、足立区役所、船橋市役所、物質・材料研究機構、国際協力機構、静岡県庁、名古屋市中中央児童相談所、等
人間総合科学	体育学、スポーツ・オリンピック、スポーツウエルネス	【企業】野村證券、ゼンリンデータコム、GiraffeWork、日本総合研究所、鹿児島プロスポーツプロジェクト、日本電気、BFM、レバレジーズ、JCOM、東京スポーツ & 整形外科クリニック、ラグザス、ジョンソンコントロールズ、福井永平寺ブルーサンダー、パナグループ、シダックスフードサービス、東海テレビ放送、PwC コンサルティング、イングリッド、ワコー女子陸上競技部スパークエンジニアリング、広島ドラゴンフライズ、スクールパートナー、DM 三井製糖、ワンキャリア、リンクアンドモチベーション、セブテック、CIJ、TBS スパーク、識学、足立慶友整形外科、エイジェック、カゴメ、ジェイテック、M&A Lead、プロテリアル、SHIFT、三井住友海上火災保険、一般社団法人共同通信社、コアコンセプト・テクノロジー、レスポンス、レスポンス、健康スポーツ科学センター WIT、ベガタ山仙、B&J クリニック お茶の水、RB 大宮、名古屋グランパス、森永乳業、武蔵コーポレーション、住友工業、京都新聞社、医療法人 社団鎮誠会季美の森リハビリテーション病院、IDOM、Chinese Canoe Association、Khelo Tech and Strategy Pvt. L、AnyMind Group、セガ、【教員】愛媛県公立高、福岡県公立高、茨城県公立高、愛知県公立高、沖縄県公立高、東京都公立中、兵庫県公立小、宮城県特別支援、青山学院大、福岡大、【公務員】調布市役所、防衛省、産業技術総合研究所、日本スポーツ振興センター、Singapore Aquatics、等
人間総合科学	芸術、デザイン学、世界遺産学	【企業】アクセントチュア、取手アートプロジェクトオフィス・たいけん美じゅ工場、マルイ製陶、シノワ測定、岡部、パーソルプロセス & テクノロジー、WAVE、日本アイ・ピー・エム デジタルサービス、大丸松坂屋百貨店、Hakuhodo DY ONE、エヌ・ティ・ティ・データ・ビジネスブレインズ、機器塗装、Dolls、竹中工務店、ヤマハ発動機、豊橋文化振興財団、INA 新建築研究所、ニトリ、ウォルト・ディズニー・ジャパン、類グループ（類設計室）東京本社、東畑建築事務所東京事務所、イクア・ジャパン、ココロ、梓設計、スターファクトリー、類設計室、大久保歯車工業、日建設計、野村不動産、大東建託、セブン & アイ・ネットメディア、清水建設、日野自動車、レベレファイブ福岡本社、イビソク、北京未名文博文化科技有限公司、ギャラリレーア、【教員】茨城県公立高、千葉県公立高、大阪府専門学校、【公務員】東京都庁、岐阜県庁、栃木県庁、八戸市役所、国立印刷局、国立美術館国立芸芸館、日本芸術文化振興会、筑波大学、等
人間総合科学	情報学	【企業】NTT データ、LINE ヤフー、楽天グループ、マンパワーグループ、サンク情報システム、グローバルセキュリティエキスパート、三菱マテリアル、日立システムズパワーサービス、パーソルキャリア、リンクアンドモチベーション、日立ソリューションズ・クリエイト、JR 東日本、ヤマハ、Cygames、EY ストラテジー・アンド・コンサルティング、博報堂、富士古河電機 E&C、NTT ドコモ、日産自動車、KDDI アジャイル開発センター、ポート、日本経済新聞社、アイテムワン、フロンティア・マネジメント、あずさ監査法人、日本電気、スカイウィル、【公務員】特許庁、等

共同利用施設

研究・教育活動に必要な大型、あるいは特殊な施設・設備の共同利用や、教職員、学生に対する各種の研究・教育上のサービスの提供などを目的として、共同利用施設を設置しています。

全国共同研究施設

計算科学研究センター

筑波大学計算科学研究センター（CCS）は、科学のさまざまな分野と計算機科学分野の協働・融合を軸とした「学際計算科学」を推進しています。スーパーコンピュータ及び超高速ネットワーク技術の開発を行うとともに、物理・生命・地球環境など諸領域における超高速シミュレーション及び大規模データ解析や情報技術の革新的な応用研究を行っています。文部科学省共同利用・共同研究拠点「先端学際計算科学共同研究拠点」の認定を受け、素粒子物理研究部門、宇宙物理研究部門、原子核物理研究部門、量子物性研究部門、生命科学研究部門、地球環境研究部門、高性能計算システム研究部門、計算情報学研究部門の8つの部門で研究を推進しています。



下田臨海実験センター

伊豆半島の先端、下田の豊富な生物環境を利用して海洋生物学と関連する分野の基礎研究・応用研究・教育活動を推進することにより、海洋生物の細胞機能、発生、多様性、行動、進化、生態、ならびに海洋環境、地球環境と生物の関わりを解明しています。



つくば機能植物イノベーション研究センター

植物バイオテクノロジーと遺伝資源保全利用を基盤とした基盤的遺伝子研究、生産・流通を見据えた応用的研究ならびに研究成果を活用したイノベーションの創出支援と教育への展開など、食料・生物資源の安定的な確保を目的とする一貫した研究・教育を行っています。



プラズマ研究センター

世界最大のタンデムミラー型装置並びに超伝導ミラー型装置を用い、プラズマ理工学を基盤として、高温プラズマの閉じ込め性能の向上やプラズマ加熱機器開発、計測器開発、プラズマと物質との相互作用に関する研究などを通して未来エネルギー核融合に貢献する学際的な研究・教育を行っています。



放射線・アイソトープ地球システム研究センター

本センターは、陸域や海域、生態系における放射性物質の拡散・輸送・沈着・移行過程を明らかにし、その実態やメカニズムを解明することを目的としています。また、長期的な汚染状況の予測や被ばく線量への影響を評価するため、国内外の共同研究を推進し、文部科学省認定拠点事業の成果を集約する中核機関として活動しています。さらに、放射性物質をトレーサとして活用することで、環境中の放射性物質動態に関する世界最高水準の研究・教育拠点を形成し、新たな学問領域「アイソトープ環境動態解析学」の創成を目指しています。



ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター

筑波大学体育系ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター（Advanced Research Initiative for Human High Performance: ARIHHP）は、心・技・体およびスポーツ計算科学の4つの研究部門を中心として、多角的、総合的な視点からの身体活動能力最適化（ヒューマン・ハイ・パフォーマンス）の実現、ひいては人と社会の活力増進に貢献する最先端研究を行っています。さらに、健康・スポーツ科学分野初の共同利用・共同研究拠点「人の活力・健康を推進するヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究拠点」として文部科学省から認定を受け、異分野融合、学内外の連携を強化しながら研究を推進しています。



先端研究センター群

生存ダイナミクス研究センター
国際統合睡眠医科学研究機構
地中海・北アフリカ研究センター
サイバニクス研究センター
人工知能科学センター
陽子線医学利用研究センター
山岳科学センター
微生物サステナビリティ研究センター
トランスポーター医学研究センター
宇宙史研究センター
エネルギー物質科学研究センター
西アジア文明研究センター

研究支援センター群

研究基盤総合センター
学術情報メディアセンター

教育等センター群

グローバルコミュニケーション教育センター（CEGLOC）
体育センター
アドミッションセンター
保健管理センター

筑波大学データ

令和7年度都道府県別入学者数

都道府県	入学者数	男	女
北海道	47	21	26
青森県	16	9	7
岩手県	17	11	6
宮城県	27	11	16
秋田県	17	11	6
山形県	12	9	3
福島県	34	20	14
茨城県	324	186	138
栃木県	52	28	24
群馬県	55	26	29
埼玉県	172	125	47
千葉県	182	110	72
東京都	329	205	124
神奈川県	120	79	41
新潟県	46	29	17
富山県	23	14	9
石川県	6	3	3
福井県	11	8	3
山梨県	19	12	7
長野県	37	22	15
岐阜県	22	15	7
静岡県	67	34	33
愛知県	84	54	30
三重県	11	10	1
滋賀県	4	1	3
京都府	20	14	6
大阪府	23	13	10
兵庫県	40	23	17
奈良県	6	2	4
和歌山県	6	2	4
鳥取県	6	4	2
島根県	7	4	3
岡山県	18	11	7
広島県	21	15	6
山口県	11	8	3
徳島県	4	1	3
香川県	5	2	3
愛媛県	8	5	3
高知県	5	2	3
福岡県	37	26	11
佐賀県	10	6	4
長崎県	18	10	8
熊本県	21	11	10
大分県	13	6	7
宮崎県	11	6	5
鹿児島県	20	12	8
沖縄県	24	10	14
その他	57	33	24
総計	2,125	1,279	846

令和7年度春学期入学者のみ、編入学除く

教員数 令和7年5月1日現在

区分	現 員					
	学長・副学長 専任の部長	教授	准教授	講師	助教	合計
系・重点研究センターに属さない教員	5	25	15	1	18	64
人文社会系	1	67	65	3	69	205
ビジネスサイエンス系	1	25	15	0	6	47
数理物質系	1	67	54	14	60	196
システム情報系	1	80	72	3	46	202
生命環境系	1	56	63	7	63	190
人間系	1	33	31	4	33	102
体育系	1	39	38	2	51	131
芸術系	1	19	23	0	18	61
医学医療系	1	106	99	152	90	448
図書館情報メディア系	1	16	21	4	18	60
計算科学研究センター	0	17	11	1	13	42
生存ダイナミクス研究センター	0	5	4	1	12	22
合計	15	555	511	192	497	1770

学生数 令和7年5月1日現在

学類・専門学群	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
総合学域群	285	120	12	3	1	0	0	0					298	123
人文学類	57	36	63	57	66	50	95	57					281	200
比較文化学類	15	50	25	56	35	52	31	67					106	225
日本語・日本文化学類	4	18	11	23	12	23	15	26					42	90
社会学類	37	22	36	44	54	42	63	45					190	153
国際総合学類	31	34	46	41	47	38	45	61					169	174
教育学類	17	17	16	19	19	18	20	20					72	74
心理学類	19	29	14	40	18	34	30	34					81	137
障害科学類	8	27	8	29	10	26	14	29					40	111
生物学類	30	32	44	36	43	35	50	41					167	144
生物資源学類	46	59	69	50	67	70	69	74					251	253
地球学類	21	17	43	9	32	22	45	17					141	65
数学類	30	0	31	7	35	7	38	6					134	20
物理学類	39	7	54	10	51	11	74	13					218	41
化学類	22	14	37	12	34	17	41	18					134	61
応用理工学類	75	11	92	24	111	18	132	18					410	71
工学システム学類	87	12	117	14	115	20	151	16					470	62
社会工学類	70	19	97	22	103	24	117	26					387	91
総合理工学位プログラム	6	2	6	2	6	3	8	1					26	8
情報科学類	60	8	75	8	87	11	115	9					337	36
情報メディア創成学類	28	12	40	13	54	14	69	11					191	50
知識情報・図書館学類	26	38	63	42	81	39	98	58					268	177
医学類	76	53	84	49	90	47	85	49	83	48	110	49	528	295
看護学類	6	60	2	66	3	73	6	89					17	288
医療科学類	10	16	11	26	17	29	15	31					53	102
体育専門学群	174	72	166	86	184	67	196	81					720	306
芸術専門学群	20	83	19	89	18	88	27	106					84	366
学際サイエンス・デザイン専門学群	10	2	0	0	0	0	0	0					10	2
地球規模課題学位プログラム	3	4	2	6	1	2	3	2					9	14
合計	1,312	874	1,283	883	1,394	880	1,652	1,005	83	48	110	49	5,834	3,739

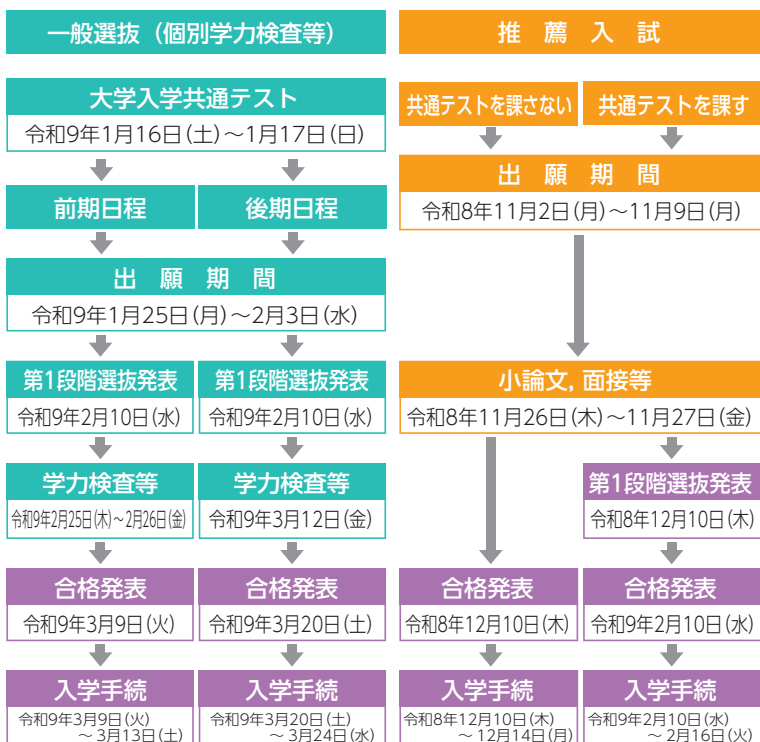
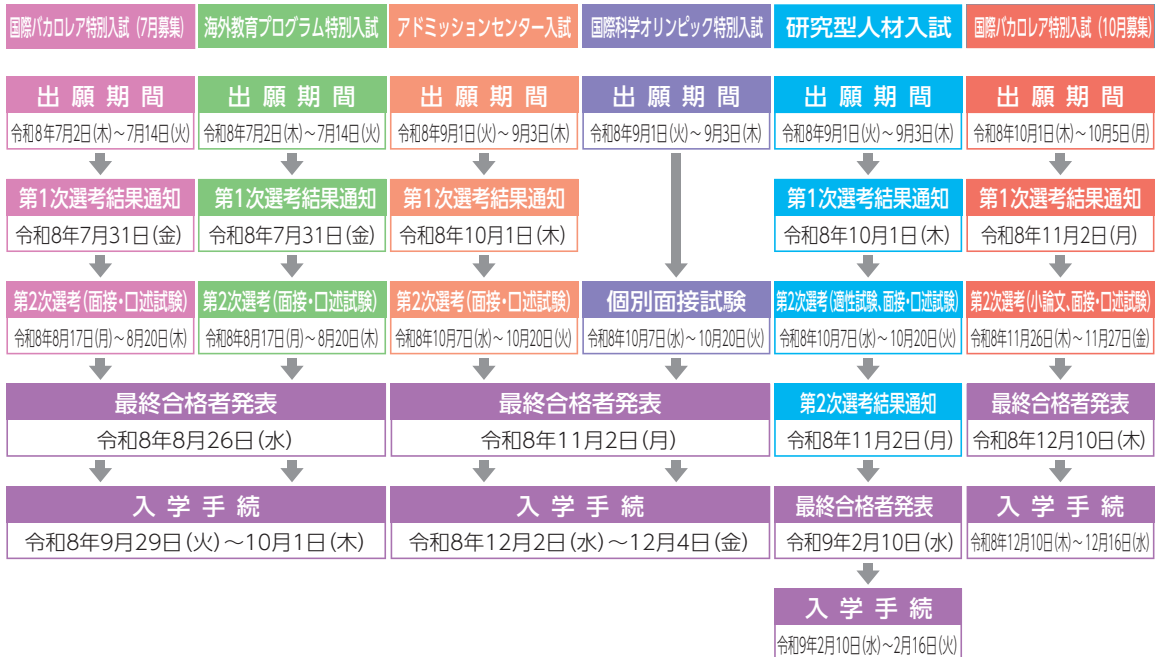
入試情報

アドミッション・ポリシー

筑波大学は、自立して世界的に活躍できる人材を育成するため、本学の教育を受けるのに必要な基礎学力を有し、探究心旺盛で積極性・主体性に富む人材を受け入れます。

入学者選抜日程の概要

日程については、変更になる場合がありますので、学生募集要項を必ずご確認ください。



※学群英語コース特別入試、Japan-Expert (学士) プログラム特別入試、地球規模課題学位プログラム (学士) 入試、総合理工学位プログラム (学士) 入試、学際サイエンス・デザイン専門学群入試の日程については、筑波大学入試情報サイトにてご確認ください。

令和9年度(2027年度) 学類・専門学群の定員と募集人員

学群	学類・専門学群	入学定員	一般選抜(個別学力検査等)		学校推薦型選抜	総合型選抜				グローバル選抜										
			前期日程		後期日程	推薦入試	アドミッションセンタール入試	研究型人材入試	国際科学オリンピック特別入試	国際バカロレア特別入試	海外教育プログラム特別入試	外国学校経験者特別入試				学群英語コース特別入試	J-Exchangeプログラム特別入試	学位理工プログラム入試	学位理工プログラム入試	地球規模課題学際サイエンス・デザイン専門学群入試
			総合選抜	選抜								第1種: 私費外国人留学生等長期就学者	第2種: 帰国生徒等短期就学者	7月募集	10月募集					
	学びの言語		日本語										英語	日本語	英語	英語	英語・日本語			
	入学時期		4月										9月	10月	9月	10月	9月			
	大学入学共通テストを課す		○		*2		○													
	筆記、実技、面接等実施時期		2/25~26	3/12	11/26~27	10/7~10/20	8/17~20	11/26~27	8/17~20	11/26~27	2/25~26	11/26~27	2/25~26	2/26~3/8	5/10~14	2/26~3/5	2/26~3/8	2/23	3/30~31	
人文・文化学群	人文学類	120	30	45	20	15	5			若干		5								
	比較文化学類	80	20	35		16	5			若干		4								
	日本語・日本文化学類	40	10	10		14	3			若干				3						
国際学群	社会学類	80	20	40		16				若干				4						
	国際総合学類	80	20	36		20				若干				4						
人間学群	教育学類	35	4	20	2	7			若干	若干		1	1							
	心理学類	50	6	26	3	12 ^{*2}			1	若干		1	1							
	障害科学類	35	4	16	2	11			若干	若干		1	1							
生命環境学群	生物学類	80	20	18	12	22	3			若干		若干	若干	5						
	生物資源学類	120	文系125	23	49	15	27 ^{*3}			若干		若干		6	若干					
	地球学類	50	理系I145	13	21	4	10			若干			2	若干						
理工学群	数学類	40	理系II49	10	20		8			若干		2 ^{*4}	2 ^{*4}							
	物理学類	60		15	20	8	14			若干		3 ^{*4}	3 ^{*4}					若干 ^{*5}		
	化学類	50	理系III84	13	23		12		若干	若干		2 ^{*4}	2 ^{*4}							
	応用理工学類	120		30	49	19	16			若干								13		
	工学システム学類	138		35	56	20	20			若干		若干								
社会工学類	120		30	60	12	12			若干		6 ^{*4}	6 ^{*4}								
情報学群	情報科学類	86		22	40		12	8	若干	若干		4	若干	若干						
	情報メディア創成学類	54		16	20		10	5	若干	若干		3 ^{*4}		3 ^{*4}						
	知識情報・図書館学類	100		40	16		32	5		若干		7 ^{*4}		7 ^{*4}						
医学群	医学類	98		5	44地域枠 ^{*1}		44地域枠 ^{*1}		若干		3	2								
	看護学類	70		2	37		28				若干					3				
	医療科学類	37		10	12		10				若干	5 ^{*4}	5 ^{*4}							
体育専門学群	240			130		90	8			若干	12 ^{*4}	12 ^{*4}								
芸術専門学群	100		5	45	10	35				若干	5 ^{*4}	5 ^{*4}			若干					
学際サイエンス・デザイン専門学群	40																10	30		
合計		2,123	403	888	127	513	42	若干	若干	4+若干	2	66+若干	19+若干	6+若干	13	若干	10	30		

入試

*1 地域枠については、国による所定の審査を経て、募集の有無及び定員が確定次第、本学ウェブサイトにて公表します。
 *2 人間学群心理学類の推薦入試では、大学入学共通テストを課します。*3 専門高校・総合学科特別入試若干名を含みます。
 *4 第1種と第2種を合わせた人数です。*5 地球規模課題学際プログラムに所属します。*6 マレーシア校の学群です。

令和9年度(2027年度) 総合選抜入学者の2年次受入人数と優先受入人数

「総合選抜」の選抜方針

- 共通の選抜方針 外国語及び受験生が得意とする領域における思考力・判断力・表現力を重視しつつ、高等学校で学ぶ基礎・基本的な学力を全般的に評価します。
- 文系 入学の時点で、**文科系志向の学生**を選抜します。
- 理系Ⅰ 入学の時点で、**物理学の素養を必須として理科系志向の学生**を選抜します。
- 理系Ⅱ 入学の時点で、**特定の分野にとらわれない理科系志向の学生**を選抜します。
- 理系Ⅲ 入学の時点で、**数学に重点を置いて理科系志向の学生**を選抜します。



○は受け入れがあることを、◎は優先する選抜区分と優先受入人数を示します。

令和9年4月入学者		選抜区分 募集人員	文系 125名	理系Ⅰ 145名	理系Ⅱ 49名	理系Ⅲ 84名
学群	学類	2年次受入人数*	2年次優先受入人数			
人文・文化学群	人文学類	30名	◎ (25名)	○	○	○
	比較文化学類	20名	◎ (17名)	○	○	○
	日本語・日本文化学類	10名	◎ (8名)	○	○	○
国際学群・ 社会学群	社会学類	20名	◎ (16名)	○	○	○
	国際総合学類	20名	○	○	○	○
人間学群	教育学類	4名	○	○	○	○
	心理学類	6名	○	○	○	○
	障害科学類	4名	○	○	○	○
生命環境学群	生物学類	20名	○	○	◎ (5名)	○
	生物資源学類	23名	○	○	◎ (5名)	○
	地球学類	13名	○	◎ (6名)	◎ (2名)	○
理工学群	数学類	10名	○	◎ (8名)	○	◎ (1名)
	物理学類	15名	○	◎ (10名)	○	○
	化学類	13名	○	◎ (10名)	○	○
	応用理工学類	30名	○	◎ (27名)	○	○
	工学システム学類	35名	○	◎ (30名)	○	○
	社会工学類	30名	○	◎ (15名)	○	○
情報学群	情報科学類	22名	○	○	○	◎ (16名)
	情報メディア創成学類	16名	○	○	○	◎ (12名)
	知識情報・図書館学類	40名	◎ (7名)	○	○	◎ (25名)
医学群	医学類	5名	○	○	○	○
	看護学類	2名	◎ (1名)	○	○	○
	医療科学類	10名	○	○	◎ (4名)	○
体育専門学群	受け入れはありません。					
芸術専門学群	5名	○	○	○	○	○
学際サイエンス・デザイン専門学群	受け入れはありません。					
合計	403名					

どの学群・専門学群も(体育専門学群と学際サイエンス・デザイン専門学群以外)すべての区分で受験し入学した学生を受け入れの対象としています。

◎がある学類は、その区分で入学した学生を優先して受け入れる人数を設定しています。

○のみの学類・専門学群は、特定の区分を優先することなく受け入れます。

*2年次受入人数は募集人員をベースに示したものです。実際の受入人数は、入学者数によって異なります。

個別学力検査等

大学入学共通テストを課す、前期・後期日程試験を次のように実施します。

【前期日程】

学習内容の理解度と、それに基づく思考力・応用力を評価します。各募集区分が入学選抜方針に応じて設定する試験科目は、入学後の学習に求められる基礎能力を端的に示しています。

また、高等学校教育の内容を踏まえつつ、思考力・応用力を測る問題の作成に努めるとともに、多様化する高等学校教育への対応を図っています。

○総合選抜

令和3年度入試から、学類・専門学群の枠を超えて選抜する総合選抜を導入しました。総合選抜で入学した学生は2次から学類や専門学群に所属します。

*「体育専門学群」は前期日程（総合選抜）の移行先に含まれません。

○学類・専門学群選抜

出願時に学類・専門学群を決める方式です。

令和8年度 個別学力検査等（前期日程）実施結果

学群・学類	事項	募集人員	志願者数	志願者比率	個別学力検査等受験者数	合格者数	総合点	合格者最高点	合格者最低点	合格者平均点	入学辞退者数	追加合格者	入学者数	過去の志願倍率	
														R7年度	R6年度
総合選抜	文系	125	327	2.6	319	131	2,450	2,016	1,602	1,721.1	10	4	125	2.7	3.7
	理系Ⅰ	145	428	3.0	420	146	2,450	1,945	1,587	1,695.5	5	3	144	3.7	3.3
	理系Ⅱ	49	200	4.1	196	50	2,450	1,889	1,568	1,666.7	3	2	49	3.9	4.0
	理系Ⅲ	84	206	2.5	202	85	2,450	1,982	1,554	1,663.2	1	0	84	3.2	2.7
人文・文化学群	人文学類	45	143	3.2	139	50	2,750	2,165	1,880	1,990.4	6	1	45	3.0	3.5
	比較文化学類	36	143	4.0	141	42	1,830	1,485	1,288	1,357.0	0	0	42	2.9	2.6
社会・国際学群	日本語・日本文化学類	12	15	1.3	15	12	885	657	396	539.4	1	0	11	—	—
	社会学類	40	228	5.7	222	50	2,550	2,275	1,850	1,973.3	10	0	40	5.5	4.6
人間学群	国際総合学類	36	113	3.1	111	39	2,650	2,308	1,837	2,017.0	4	1	36	4.9	2.9
	教育学類	20	69	3.5	68	20	1,060	872	761	810.2	1	1	20	2.9	2.6
生命環境学群	心理学類	26	106	4.1	99	29	1,060	907	780	816.3	1	0	28	4.4	4.0
	障害科学類	16	56	3.5	53	19	1,060	852	722	769.5	0	0	19	3.1	3.8
理工学群	生物学類	18	58	3.2	57	18	1,800	1,484	1,267	1,345.4	0	0	18	3.4	3.7
	生物資源学類	49	115	2.3	110	50	1,850	1,429	1,201	1,284.7	0	0	50	2.9	2.7
情報学群	地球学類	23	81	3.5	80	23	2,050	1,567	1,359	1,456.4	0	0	23	3.0	3.7
	数学類	21	42	2.0	41	21	2,450	1,873	1,543	1,664.1	0	0	21	2.9	2.5
	物理学類	20	80	4.0	77	21	2,450	2,006	1,683	1,814.9	1	0	20	6.2	3.0
	化学類	18	36	2.0	34	18	2,450	1,983	1,601	1,749.7	1	1	18	3.6	3.0
医学群	応用理工学類	49	137	2.8	133	49	2,450	2,116	1,614	1,722.8	0	0	49	2.4	2.6
	工学システム学類	56	207	3.7	200	57	2,450	1,976	1,664	1,756.3	1	0	56	2.7	2.5
	社会工学類	60	225	3.8	224	62	2,050	1,706	1,428	1,495.1	4	2	60	3.3	3.6
	情報科学類	40	166	4.2	160	46	2,600	2,149	1,799	1,890.9	1	0	45	3.0	3.4
体育専門学群	情報メディア創成学類	22	55	2.5	53	26	1,800	1,516	1,264	1,356.7	2	0	24	3.0	3.6
	知識情報・図書館学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	医学類	45	147	3.3	113	48	2,350	1,958	1,820	1,881.5	3	3	48	3.3	3.9
	医学類地域枠（全国）	5	12	2.4	12	2	2,350	—	—	—	0	0	2	3.2	—
芸術専門学群	医学類地域枠（茨城）	8	48	6.0	46	8	2,350	—	—	—	0	0	8	—	—
	看護学類	37	73	2.0	69	37	1,750	1,360	1,122	1,202.8	1	1	37	1.8	1.8
	医療科学類	16	49	3.1	41	16	1,750	1,406	1,189	1,257.6	0	0	16	2.7	3.1
	合計	1,299	4,208	3.2	4,010	1,369	—	—	—	—	58	19	1,330	3.3	3.3

合格者が10人以下の学群・学類についての点数は公表しない。

「医学類」の各数値には地域枠併願者を含む。「医学類地域枠（全国）」の合格者数には、「医学類地域枠（茨城）」出願者のうち、第2希望の「医学類地域枠（全国）」への合格者を含む。

【後期日程】

小論文・論述試験や面接など様々な形式の試験によって、各専門分野への関心や入学後の学習に必要な基礎能力を総合的に評価します。いずれの場合も論理的な思考力・表現力を重視した評価を行い、大学入学共通テストが測

る能力とは異なる、本質に迫る理解力や分析力を重視して評価します。

なお、一部の学群・学類では、後期日程試験を実施していません。

令和8年度 個別学力検査等（後期日程）実施結果

学群・学類	事項	募集人員	志願者数	志願者比率	個別学力検査等受験者数	合格者数	総合点	合格者最高点	合格者最低点	合格者平均点	入学辞退者数	追加合格者	入学者数	過去の志願倍率	
														R7年度	R6年度
人文・文化学群	人文学類	20	289	14.5	116	22	1,135	926	861	881.0	2	0	20	12.6	11.3
	比較文化学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日本語・日本文化学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
社会・国際学群	社会学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	国際総合学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
人間学群	教育学類	2	55	27.5	21	3	580	—	—	—	1	0	2	11.3	15.0
	心理学類	3	82	27.3	38	4	580	—	—	—	0	0	4	18.5	11.3
	障害科学類	2	41	20.5	19	2	580	—	—	—	1	1	2	10.0	10.0
生命環境学群	生物学類	12	64	5.3	34	12	1,500	1,201	1,111	1,159.2	0	0	12	5.2	6.4
	生物資源学類	15	75	5.0	25	16	1,550	1,309	1,101	1,202.9	3	2	15	6.3	6.9
理工学群	地球学類	4	46	11.5	24	4	1,250	—	—	—	1	1	4	11.3	7.8
	数学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	物理学類	8	106	13.3	49	10	1,050	—	—	—	3	1	8	11.9	12.6
	化学類	5	46	9.2	7	5	1,000	—	—	—	0	0	5	8.1	4.4
情報学群	応用理工学類	19	107	5.6	23	21	1,100	1,010	813	924.8	6	0	15	5.9	5.9
	工学システム学類	20	155	7.8	70	22	825	752	685	726.1	5	3	20	7.7	9.1
	社会工学類	12	109	9.1	45	13	1,410	1,279	1,176	1,202.2	3	2	12	9.7	7.9
	情報科学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
医学群	情報メディア創成学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	知識情報・図書館学類	10	71	7.1	30	14	1,200	1,052	977	1,001.9	4	0	10	6.3	5.4
体育専門学群	医学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	看護学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	医療科学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
芸術専門学群	合計	10	163	16.3	81	14	810	744	666	694	2	0	12	14.3	28.8
合計	142	1,409	9.9	582	162	—	—	—	—	—	31	10	141	9.0	8.8

合格者が10人以下の学群・学類についての点数は公表しない。

■ 推薦入試

一般公募制の推薦入試です。指定校制度はありません。高等学校における平素の学習や活動の成果などによって、志願者を総合的に評価します。しっかりと学習習慣・生活習慣を身につけた志願者の中から、小論文・面接等によって、明確な目的意識と勉学への意欲を持ち、各専門分野への適応性を示す人材を選抜します。

体育専門学群、芸術専門学群では、高度な実技能力を評価しています。生物資源学類では専門高校・総合学科卒業見込み者を対象とした推薦入試、医学類においては地域枠推薦入試を実施しています。なお、心理学類のみ大学入学共通テストを課します。

令和8年度 推薦入試 実施結果

学群・学類	事項	募集人員	志願者数	志願者倍率	受験者数	合格者数	入学 辞退者数	入学者数	過去の志願倍率		
									R7年度	R6年度	
人文・文化学群	人文学類	15	53	3.5	53	16	0	16	4.3	3.4	
	比較文化学類	16	51	3.2	51	16	0	16	3.4	2.2	
	日本語・日本文化学類	14	25	1.8	25	14	0	14	2.4	1.8	
社会・国際学群	社会学類	16	60	3.8	60	17	0	17	5.1	3.7	
	国際総合学類	20	51	2.6	51	20	0	20	2.7	3.1	
人間学群	教育学類	7	38	5.4	38	8	0	8	5.3	6.4	
	心理学類	12	41	3.4	41	12	0	12	4.3	3.6	
	障害科学類	11	23	2.1	23	12	0	12	3.6	2.8	
生命環境学群	生物学類	22	62	2.8	62	22	0	22	2.9	3.0	
	生物資源学類	一般推薦	44	44	1.7	44	27	0	27	2.1	2.8
		専門高校・総合学科特別入試	27	1	1	1	1	0	1		
	地球学類	10	29	2.9	29	10	0	10	2.8	1.8	
理工学群	数学類	8	30	3.8	29	8	0	8	4.8	3.0	
	物理学類	14	53	3.8	53	14	0	14	3.1	2.3	
	化学類	12	43	3.6	43	12	0	12	2.6	3.2	
	応用理工学類	16	42	2.6	42	16	0	16	2.3	2.1	
	工学システム学類	20	102	5.1	102	20	0	20	3.9	3.7	
	社会工学類	12	51	4.3	51	12	0	12	5.1	3.9	
情報学群	情報科学類	12	42	3.5	40	12	0	12	4.7	3.8	
	情報メディア創成学類	10	28	2.8	28	10	0	10	3.7	3.9	
	知識情報・図書館学類	40	55	1.4	55	40	0	40	2.3	1.4	
医学群	医学類	44	237	5.4	236	44	0	44	5.1	5.8	
	看護学類	一般推薦	23	108	4.7	107	23	0	23	3.7	4.3
		地域枠	28	65	2.3	65	28	0	28	3.3	2.4
医療科学類	10	28	2.8	28	10	0	10	5.2	3.8		
体育専門学群		90	150	1.7	148	92	0	92	1.8	1.8	
芸術専門学群		35	171	4.9	171	35	0	35	4.6	3.8	
合計		544	1,683	3.1	1,676	551		539	3.3	3.0	

■ アドミッションセンター (AC) 入試

ペーパーテストでは測れない学力—問題発見・解決能力—を重視する選抜です。

志願者が自由に作成する自己推薦資料に基づいて、明確な目的意識を持ち、自ら学び自ら考え、主体的に判断して行動する人材を選抜します。学校長の推薦は必要ありません。調査書の成績基準もありません。既卒者、社会人も出願できます。

なお、この入試の合格者は、募集人員より多い場合も少ない場合もあります。合格者が募集人員に満たない場合は、その分の人数を「個別学力検査等(前期日程)」の募集人員に含めますが、合格者が募集人員より多い場合は、ほかの入試の募集人員が減ることはありません。詳しくは、本入試の学生募集要項をご覧ください。

令和8年度 アドミッションセンター入試 実施結果

学群・学類	事項	募集人員	志願者数	志願者倍率	第1次選考 の合格者数	最終 合格者数	入学 辞退者数	入学者数	過去の志願倍率	
									R7年度	R6年度
人文・文化学群	人文学類	5	33	6.6	7	4	0	4	3.0	6.0
	比較文化学類	5	47	9.4	8	5	0	5	12.0	8.6
	日本語・日本文化学類	3	32	10.7	5	2	1	1	5.7	1.7
生命環境学群	生物学類	3	33	11.0	5	2	0	2	11.3	10.3
	情報科学類	8	49	6.1	11	7	1	6	8.9	6.5
情報学群	情報メディア創成学類	6	28	4.7	4	3	0	3	4.8	9.0
	知識情報・図書館学類	5	27	5.4	7	5	0	5	5.4	3.6
体育専門学群		8	94	11.8	22	8	0	8	13.5	8.6
合計		43	343	8.0	69	36	2	34	8.4	7.1

■ 研究型人材入試

自然科学において自ら発見した課題に対し、主体的かつ継続的に取り組み、その結果、到達した高い成果を評価する新たな入学者選抜を実施します。

入学後は研究室演習、新医学専攻、ヒューマンクス学位プログラム等に積

極的に参加し研究者としての素養を培うことができ、卒業後は医学・生命科学を担う研究者として国際的に活躍することが期待されています。

令和8年度 研究型人材入試 実施結果

学群・学類	事項	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	過去の状況			
						R7年度		R6年度	
						志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
医学群	医学類	若干名	3	0	0	3	0	3	0
合計		—	3	0	0	3	0	3	0

■ 国際科学オリンピック特別入試

筑波大学は、理数分野における秀でた人材の育成を応援したいと考えています。そのため、理数分野に関して高度な理解力、思考力、応用力と強い学習意欲を持つ人を対象に特別入試を行っています。

国際科学オリンピック特別入試は、過去3年間に、物理学、化学、情報の

国際科学オリンピックに出場した人や、その代表者選考会等において一定の成績を収めた人を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を評価する入試です。

令和8年度 国際科学オリンピック特別入試 実施結果

学群・学類	事項	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	過去の状況			
						R7年度		R6年度	
						志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
理工学群	物理学類	若干名	—	—	—	4	1	1	1
	化学類	若干名	2	1	0	0	0	0	0
情報学群	情報科学類	若干名	1	1	1	1	1	0	0
	情報メディア創成学類	若干名	0	0	0	0	0	0	0
合計		—	3	2	1	5	2	1	1

国際バカロレア特別入試

国際バカロレア資格を取得した者を対象として、主体的に学ぶための知識や思考力、明確な目標をもって学ぶ意欲、また語学力を含めたコミュニケーション能力などを重視して入学者を選抜します。

令和8年度 国際バカロレア特別入試 実施結果

学群・学類		事項	志願者数	合格者数	入学者数	過去の状況			
						R7年度		R6年度	
志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数		
人間学群	教育学類	1	1	1	0	0	0	0	
	心理学類	2	0	0	0	0	0	0	
	障害科学類	1	0	0	1	0	1	0	
医学群	医学類	11	4	3	5	1	8	3	
	看護学類	—	—	—	—	—	0	0	
合計		15	5	4	6	1	9	3	

10月募集

学群・学類		事項	志願者数	合格者数	入学者数	過去の状況			
						R7年度		R6年度	
志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数		
人文・文化学群	人文学類	1	0	0	0	0	1	0	
	比較文化学類	0	0	0	0	0	0	0	
	日本語・日本文化学類	0	0	0	0	0	0	0	
社会・国際学群	社会学類	4	1	1	4	1	4	1	
	国際総合学類	6	2	1	5	1	8	2	
人間学群	教育学類	2	0	0	1	0	0	0	
	心理学類	0	0	0	0	0	1	1	
	障害科学類	1	1	1	0	0	1	0	
生命環境学群	生物学類	3	0	0	3	0	1	0	
	生物資源学類	3	1	1	1	1	1	0	
	地球学類	0	0	0	1	0	0	0	
理工学群	数学類	0	0	0	2	0	0	0	
	物理学類	3	2	2	2	0	1	0	
	化学類	2	0	0	3	1	1	0	
	応用理工学類	2	0	0	3	0	0	0	
	工学システム学類	3	0	0	3	1	0	0	
情報学群	社会学類	2	0	0	1	0	3	0	
	情報メディア創成学類	4	0	0	3	0	0	0	
	知識情報・図書館学類	1	0	0	0	0	0	0	
医学群	医学類	5	0	0	3	0	4	0	
	看護学類	2	1	1	4	1	1	0	
	医療科学類	2	1	0	2	0	0	0	
体育専門学群	3	1	1	0	0	1	0		
芸術専門学群	1	1	1	4	2	4	2		
合計		52	11	9	47	8	36	7	

募集人員は、心理学類1名(7月募集)、医学類3名(7月募集と10月募集の合計)、その他は募集単位毎に若干名である。

地球規模課題学学位プログラム(学士)入試

本プログラムを通じて地球規模課題全般を俯瞰する幅広い基礎知識を身に付け、人間と環境に関する課題を解決するために分野を超えて必要な情報・技術を自ら意欲的に求めていく姿勢をもち、多くの選択肢の中から最適な解決を意思決定できる人材を養成します。

令和7年度 地球規模課題学学位プログラム(学士)入試 実施結果

募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	過去の状況			
				R6年度		R5年度	
志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
若干名	53	10	6	53	9	56	9

海外教育プログラム特別入試

この入試では、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められるアビトゥーア (Zeugnis der Allgemeinen Hochschulreife)、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア (Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré)、英国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル (GCE Advanced level)、米国において College Board が主催する SAT Reasoning Test、SAT Subject Tests 及び Advanced Placement の資格取得者や受験者を対象として、入学者を選抜します。

令和8年度 海外教育プログラム特別入試 実施結果

学群・学類		事項	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	過去の状況			
							R7年度		R6年度	
志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数			
医学群	医学類	2	12	1	1	13	1	10	1	

Japan-Expert (学士) プログラム特別入試

日本に興味・関心を有する留学生を対象に、高度な日本語能力を習得の上、日本の文化・社会を理解し、農業、ヘルスケア、日本芸術、日本語教育のいずれかの専門性を身に付け、各専門分野における問題の発見・解決を日本語により可能とする専門知識と思考力を有する人材育成を目的としています。

本プログラムでは、日本語能力の要件を緩和することにより、これまで日本語能力不足で受験できなかった学生にも受験の機会を広げ、入学後は半年間の日本語教育を集中的に行います。

令和7年度 Japan-Expert (学士) プログラム特別入試 実施結果

学群・学類	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	過去の状況			
					R6年度		R5年度	
志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	
アグロノミスト養成コース (生命環境学群生物資源学類)	若干名	10	1	1	7	0	12	3
ヘルスケアコース (医学群看護学類)	3	20	3	3	17	3	11	1
日本芸術コース (芸術専門学群)	若干名	7	2	2	14	2	12	3
日本語教師養成コース (人文・文化群日本語・日本文化学類)	3	23	5	5	17	4	7	2
合計	6+	60	11	11	55	9	42	9

総合理工学学位プログラム(学士)入試

総合理工学学位プログラム(学士)へ入学するための入試です。本入試は、外国の正規の学校教育における12年の教育課程の修了者など募集要項に示す出願資格を満たす者を対象としています。

本プログラムでは、世界標準化された講義等を英語で履修して工学士が取得できます。近未来の超スマート社会の実現と付加価値の高いイノベーション創出のために、ナノテクノロジーやデバイス等のミクロスケールからロボティクスや宇宙工学等のマクロスケールにわたる工学分野の課題を原理から理解したうえで、高度なプログラミング技術の素養のもと創造的解決に結びつけることのできるグローバル人材を育成することを目指しています。

令和7年度 総合理工学学位プログラム(学士)入試 実施結果

募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	過去の状況			
				R6年度		R5年度	
志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
13	187	17	16	126	12	111	22

学群英語コース特別入試

主に日本以外の国で教育を受けた人のための入試です。社会学類及び国際総合学類は1年次入学のみを対象とし、グローバルな視点で日本を含む国際社会の問題解決に貢献できる人材を育成します。生物学類、生物資源学類及び地球学類は1年次入学と編入学両方を対象とし、地球環境、エネルギー、食糧等の地球規模の問題解決に必要な視座を学びます。医療科学類は編入学のみを対象とし、国際医療科学の現場で活躍できる人材養成を目指し教育を行います。いずれの学類においても、入学時期は秋学期となり、英語による授業のみで学位を取得できます。

令和7年度 学群英語コース特別入試 実施結果

学群・学類		事項	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	過去の状況			
							R6年度		R5年度	
志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数			
社会・国際学群	社会学類	4	30	8	7	24	7	22	9	
		国際総合学類	4	50	10	7	33	11	20	9
生命環境学群	生物学類	5	99	10	7	74	9	58	9	
		生物資源学類	6	25	6	6	25	9	20	9
		地球学類	若干名	12	3	1	15	1	10	2
合計		19+	若干名	216	37	28	171	37	130	38

(編入学)

学群・学類		事項	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	過去の状況			
							R6年度		R5年度	
志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数			
生命環境学群	生物学類	若干名	3	1	1	1	0	2	0	
		生物資源学類	若干名	0	0	0	1	0	1	1
		地球学類	若干名	0	0	0	1	0	0	0
医学群	医療科学類	若干名	6	3	2	10	5	2	2	
		合計	若干名	9	4	3	13	5	5	3

■編入学試験

高等専門学校や短期大学卒業後さらに学びたい人等を対象とした学群編入学試験、医学を志す人を対象とした医学類編入学試験（2年次編入）を実施しています。学群編入学は3年次編入が原則ですが、2年次編入となる場合があります。編入年次は合格発表時にお知らせします。

令和8年度 編入学試験 実施結果

学群・学類	事項	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	過去の状況			
						R7年度		R6年度	
						志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
社会・国際学群	社会学類	10	64	11	11	64	10	67	11
	国際総合学類	—	—	—	—	—	—	—	—
生命環境学群	生物学類	若干名	34	5	5	25	6	20	4
	生物資源学類	10	21	11	9	19	10	34	10
	地球学類	若干名	3	0	0	6	1	8	1
理工学群	数学類	若干名	7	2	2	4	2	13	1
	物理学類	若干名	19	2	2	13	2	17	1
	化学類	若干名	13	2	2	21	3	26	1
	応用理工学類	10	56	13	11	47	13	47	12
	工学システム学類	5	39	9	7	49	7	82	4
	社会工学類	若干名	16	3	2	12	2	27	2
情報学群	情報科学類	14	122	22	19	102	18	116	16
	情報メディア創成学類	14	40	17	14	49	18	61	15
	知識情報・図書館学類	10	35	12	12	32	12	42	14
医学群	医学類	5	118	6	5	109	7	103	7
	看護学類	—	—	—	—	17	7	21	10
	医療科学類	—	—	—	—	2	2	3	1
合計	687名	587	115	101	571	120	687	110	

情報科学類及び情報メディア創成学類の志願者数については、単願者及び併願第1志願者の合計である。なお、情報科学類の第2志願者は45名、情報メディア創成学類の第2志願者は87名である。

■学際サイエンス・デザイン専門学群入試

データサイエンスを基軸とし、自然科学、人文社会科学の考え方、技術を広く環境・社会問題等に適用し、デザイン思考を踏まえつつ創造的に地球規模課題解決に貢献する人材を育成します。

推薦入試では、高等学校等において優秀な成績を修め、地球規模課題解決への高い関心と学修意欲等があること、かつ日本語で学ぶ素養があることを総合的に評価します。

適性入試では、全般的な基礎学力と、データサイエンスを学ぶ上で必要となる高度な理解力、思考力、地球規模課題への関心と表現力等を総合的に評価します。

令和7年度 学際サイエンス・デザイン専門学群入試 実施結果

募集人員	R6年度					
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	合格者数
推薦入試	10	2	2	1	0	0
適性入試	30	25	18	14	15	13

■外国学校経験者特別入試

志願者の国籍を問わず、外国の教育制度のもとで一定期間以上学校教育を受けた者を対象とした入試です。4月に入学したのちは、一般選抜や推薦入試を受験した者と同じ教育課程で学び、日本語で学位を取得します。

第1種：私費外国人留学生等長期就学者では、小学校・中学校・高等学校にあたる期間のうち通算8年以上を外国の教育機関に就学した者、あるいは外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCE Advanced レベル又は国際Aレベル、欧州バカロレアを外国において取得した者を対象とします（日本の小学校・中学校・高等学校に通算4年以上在学した者を除きます）。

令和8年度 外国学校経験者特別入試(第1種) 実施結果

学群・学類	事項	R7年度				
		10月募集	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数
人文・文化学群	人文学類	15	5	5	7	3
	比較文化学類	19	4	1	14	4
	日本語・日本文化学類	—	—	—	—	—
社会・国際学群	社会学類	—	—	—	—	—
	国際総合学類	—	—	—	—	—
人間学群	教育学類	—	—	—	—	—
	心理学類	—	—	—	—	—
	障害科学類	—	—	—	—	—
生命環境学群	生物学類	—	—	—	—	—
	生物資源学類	17	3	3	8	2
	地球学類	—	—	—	—	—
	数学類	11	2	1	3	1
	物理学類	19	3	1	13	2
	化学類	23	3	2	19	4
理工学群	応用理工学類	—	—	—	—	—
	工学システム学類	40	2	0	24	2
	社会工学類	15	4	3	4	3
	情報科学類	26	4	2	12	4
	情報メディア創成学類	—	—	—	—	—
情報学群	知識情報・図書館学類	21	6	3	8	4
	医学類	—	—	—	—	—
医学群	看護学類	—	—	—	—	—
	医療科学類	3	0	0	4	1
体育専門学群	11	6	5	6	5	
芸術専門学群	0	0	0	2	1	
合計	220	42	26	124	36	

1月募集

学群・学類	事項	R7年度				
		志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数
人間学群	教育学類	4	0	0	5	1
	心理学類	10	1	1	6	1
	障害科学類	2	1	1	2	1
生命環境学群	生物学類	10	0	0	18	0
	情報メディア創成学類	12	2	2	12	1
情報学群	情報メディア創成学類	7	3	2	1	0
	合計	45	7	6	44	4

第2種：帰国生徒等短期就学者では、日本の小学校・中学校・高等学校に通算4年以上在学し、日本の中学校最終学年と高等学校にあたる期間のうち、外国の学校教育課程に基づく教育機関に継続して2年以上就学した者、あるいは外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCE Advanced レベル又は国際Aレベル、欧州バカロレアを外国において取得した者を対象とします。

令和8年度 外国学校経験者特別入試(第2種) 実施結果

学群・学類	事項	R7年度				
		10月募集	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数
人文・文化学群	人文学類	—	—	—	—	—
	比較文化学類	—	—	—	—	—
	日本語・日本文化学類	—	—	—	—	—
社会・国際学群	社会学類	—	—	—	—	—
	国際総合学類	—	—	—	—	—
人間学群	教育学類	6	1	0	1	0
	心理学類	2	2	2	0	0
	障害科学類	0	0	0	2	0
生命環境学群	生物学類	8	2	2	3	0
	生物資源学類	—	—	—	—	—
理工学群	地球学類	0	0	0	1	0
	数学類	0	0	0	2	0
	物理学類	7	2	1	3	1
	化学類	3	0	0	3	0
	応用理工学類	—	—	—	—	—
	工学システム学類	—	—	—	—	—
情報学群	社会工学類	5	3	3	3	3
	情報科学類	8	2	0	6	1
	情報メディア創成学類	—	—	—	—	—
医学群	知識情報・図書館学類	1	1	1	2	2
	医学類	—	—	—	—	—
医学群	看護学類	—	—	—	—	—
	医療科学類	1	1	1	1	1
体育専門学群	6	5	5	3	3	
芸術専門学群	2	1	1	4	2	
合計	49	20	16	34	13	

1月募集

学群・学類	事項	R7年度				
		志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数
情報学群	情報メディア創成学類	1	1	1	1	0
合計	合計	1	1	1	1	0

前期日程・後期日程の試験科目等 (令和9年度入試)

※筑波大学では大学入学共通テストの「情報Ⅰ」を全員に必須として課します。ただし、令和9年度入試では、以下の負担軽減措置を行います。

【令和9年度入試の「情報Ⅰ」負担軽減措置】

受験者全員に対し一律に点数(25点)を与え、その点数に、実際の得点(100点満点)を75%に圧縮したものを換算得点(100点満点)

よって、換算得点の算出式は $\text{換算得点} = 25 + \text{実際の得点} \times 0.75$ となります。

※令和10年度入試から負担軽減措置は実施しません。

※大学入学共通テストの「地理総合／歴史総合／公共」を選択した者は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組み合わせを選択することはできません。

①個別学力検査等 前期日程(総合選抜)

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
総合選抜 403名	文系 125名	国 地歴公民 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から2 数 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 理 物基・化基・生基・地基、 物理、化学、生物、地学 } から1 外 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情 情報Ⅰ [6・7教科8科目]	国語 地歴 公民 数 外	論国・文国・古探 地理探、日探、世探から1 倫 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C } 1教科選択(事前選択) 英、独、仏、中から1 (事前選択)
	理系Ⅰ 145名	国 地歴公民 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 数 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 理 物理、化学、生物、地学から2 外 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情 情報Ⅰ [6教科8科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 物基・物 化基・化、生基・生、地基・地から1 } 計2科目 英、独、仏、中から1 (事前選択)
	理系Ⅱ 49名	国 地歴公民 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 数 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 理 物理、化学、生物、地学から2 外 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情 情報Ⅰ [6教科8科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 物基・物、化基・化、 生基・生、地基・地 } 2科目選択 英、独、仏、中から1 (事前選択)
	理系Ⅲ 84名	国 地歴公民 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 数 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 理 物理、化学、生物、地学から2 外 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情 情報Ⅰ [6教科8科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 物基・物、化基・化、 生基・生、地基・地 } 2科目選択 英、独、仏、中から1 (事前選択)

②個別学力検査等 前期日程 (学類・専門学群選抜)

③個別学力検査等 後期日程

人文学類

学力検査等の 区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 (学類・専門学群選抜) 45名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から2 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物基・化基・生基・地基、 物理、化学、生物、地学 } から1 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ 〔6・7教科8科目〕	国 地歴 公民 外	論国・文国・古探 地理探、日探、世探から1 } 1教科選択 倫 英、独、仏、中から1 (事前選択)
後期 20名			その他	小論文 〔哲学、史学、考古学・民俗学、言語学等の人文系諸分野の勉学への意欲と適性を問う。特に日本語の文章の読解を通して、論理的な思考力と表現力を評価する。〕

比較文化学類

学力検査等の 区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 (学類・専門学群選抜) 35名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から2 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物基・化基・生基・地基、 物理、化学、生物、地学 } から1 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ 〔6・7教科8科目〕	国 地歴 公民 外	論国・文国・古探 地理探、日探、世探から1 } 1教科選択 倫 英、独、仏、中から1 (事前選択)
後期			実施しない。	

日本語・日本文学類

学力検査等の 区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 (学類・専門学群選抜) 10名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から2 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物基・化基・生基・地基、 物理、化学、生物、地学 } から1 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ 〔6・7教科8科目〕	国 地歴 外	論国・文国・古探 地理探、日探、世探から1 } 1教科選択 英、独、仏、中から1 (事前選択)
後期			実施しない。	

社会学類

学力検査等の 区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 (学類・専門学群選抜) 40名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A、数Ⅰ、数Ⅱ・数B・数Cから1 物基・化基・生基・地基、 物理、化学、生物、地学 } から1 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ 〔6教科6科目〕	国 地歴 数 外	論国・文国・古探 地理探、日探、世探から1 } 1教科選択(事前選択) 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C 英
後期			実施しない。	

国際総合学類

学力検査等の 区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 (学類・専門学群選抜) 36名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物基・化基・生基・地基、 物理、化学、生物、地学 } から1 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6教科7科目]	国 地歴 数 理 外	論国・文国・古探 地理探、日探、世探から1 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C } 1教科選択(事前選択) 物基・物、化基・化、 生基・生、地基・地 } から1 英、独、仏、中から1 (事前選択)
後期	実施しない。			

教育学類

学力検査等の 区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 (学類・専門学群選抜) 20名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物基・化基・生基・地基、 物理、化学、生物、地学 } から1 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6教科7科目]	国 地歴 公民 数 理 外	論国・文国・古探 地理探、日探、世探から1 倫 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C } 1教科選択(事前選択) 物基・物、化基・化、 生基・生、地基・地 } から1 英、独、仏、中から1 (事前選択)
後期 2名			その他	論述 [応答性、論理性等を評価する。]

心理学類

学力検査等の 区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 (学類・専門学群選抜) 26名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物基・化基・生基・地基、 物理、化学、生物、地学 } から1 英(リスニング含む。) 情報Ⅰ [6教科7科目]	国 地歴 公民 数 理 外	論国・文国・古探 地理探、日探、世探から1 倫 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C } 1教科選択(事前選択) 物基・物、化基・化、 生基・生、地基・地 } から1 英
後期 3名			その他	論述 [応答性、論理性等を評価する。]

障害科学類

学力検査等の 区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 (学類・専門学群選抜) 16名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物基・化基・生基・地基、 物理、化学、生物、地学 } から1 英(リスニング含む。) 情報Ⅰ [6教科7科目]	国 地歴 公民 数 理 外	論国・文国・古探 地理探、日探、世探から1 倫 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C } 1教科選択(事前選択) 物基・物、化基・化、 生基・生、地基・地 } から1 英
後期 2名			その他	論述 [応答性、論理性等を評価する。]

生物学類

学力検査等の 区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 (学類・専門学群選抜) 18名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物理、化学、生物、地学から2 英(リスニング含む。) 情報Ⅰ [6教科8科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 物基・物、化基・化、 生基・生、地基・地 } 2科目選択 英
後期 12名			その他	個別面接 [生物学に対する考え方、理解力、広い興味を問う。]

生物資源学類

学力検査等の 区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 (学類・専門学群選抜) 49名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物理、化学、生物、地学から1 英(リスニング含む。) 情報Ⅰ [6教科7科目]	数 理 地歴 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 物基・物、化基・化、 生基・生、地基・地 } 2科目選択 地理探 英
後期 15名	国 数 外 情 ① 地歴 公民 理 ② 地歴 公民 理	国語 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 英(リスニング含む。) 情報Ⅰ 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から2 物基・化基・生基・地基、 物理、化学、生物、地学 } から1 [6・7教科8科目] 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 物理、化学、生物、地学から2 [6教科8科目]	その他	個別面接 [生物資源学類における勉学の意欲、主体性、論理的思考力、表現力、学習適格性等を評価する。]

地球学類

学力検査等の 区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 (学類・専門学群選抜) 21名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物理、化学、生物、地学から2 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6教科8科目]	数 理 地歴 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 物基・物、化基・化、 生基・生、地基・地 } 2科目選択 地理探 英
後期 4名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物理、化学、生物、地学から2 英(リスニング含む。) 情報Ⅰ [6教科8科目]	その他	志望の動機、個別面接 [志望の動機と個別面接に基づいて、地球学類における勉学の意欲や主体性、論理的思考力、表現力、学習適格性等を評価する。]

数学類

学力検査等の 区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 (学類・専門学群選抜) 20名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物理、化学、生物、地学から2 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6教科8科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 物基・物 化基・化、生基・生、地基・地から1 } 計2科目 英、独、仏、中から1 (事前選択)
後期	実施しない。			

物理学類

学力検査等の 区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 (学類・専門学群選抜) 20名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物理、化学、生物、地学から2 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6教科8科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 物基・物 化基・化、生基・生、地基・地から1 } 計2科目 英、独、仏、中から1 (事前選択)
後期 8名			その他	小論文 [全般的な基礎学力に加え、物理学を学ぶ上で必要な論理力・思考力・応用力を総合的に評価する。]

化学類

学力検査等の 区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 (学類・専門学群選抜) 23名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物理、化学、生物、地学から2 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6教科8科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 化基・化 物基・物、生基・生、地基・地から1 } 計2科目 英、独、仏、中から1 (事前選択)
後期	実施しない。			

応用理工学類

学力検査等の 区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 (学類・専門学群選抜) 49名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物理、化学、生物、地学から2 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6教科8科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 物基・物 化基・化、生基・生、地基・地から1 } 計2科目 英、独、仏から1 (事前選択)
後期 19名			その他	個別面接 [専攻に関わる能力及び適性を判定するために口頭試問を含み、論理的思考力及び表現力、並びに主体性をみる。口頭試問の中には数学Ⅲなどの科目に関する試問も入る。]

工学システム学類

学力検査等の 区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 (学類・専門学群選抜) 56名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物理、化学、生物、地学から2 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6教科8科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 物基・物 化基・化、生基・生、地基・地から1 } 計2科目 英、独、仏、中から1 (事前選択)
後期 20名			その他	個別面接 [勉学に対する主体的な意欲及び本人の希望分野と本学類の教育内容の適合性を評価する。]

社会工学類

学力検査等の 区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 (学類・専門学群選抜) 60名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物基・化基・生基・地基、 物理、化学、生物、地学 } から1 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6教科7科目]	数 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 英、独、仏から1 (事前選択)
後期 12名			その他	個別面接 [社会工学を学ぶ上で必要な基礎学力、論理的思考力及び表現力、並びに勉学に対する主体性を総合的に評価する。]

情報科学類

学力検査等の 区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 (学類・専門学群選抜) 40名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物理、化学、生物、地学から2 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6教科8科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 物基・物、化基・化、生基・生、地基・地 } 2科目選択 英、独、仏、中から1 (事前選択)
後期	実施しない。			

情報メディア創成学類

学力検査等の 区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 (学類・専門学群選抜) 20名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物理、化学、生物、地学から2 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6教科8科目]	数 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 英、独、仏、中から1 (事前選択)
後期	実施しない。			

知識情報・図書館学類

学力検査等の 区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 (学類・専門学群選抜) 16名	国 数 外 情 ① 地歴 公民 理 ② 地歴 公民 理	国語 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から2 物基・化基・生基・地基、 物理、化学、生物、地学 } から1 [6・7教科8科目] 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 物理、化学、生物、地学から2 [6教科8科目]	外 その他	英 面接 [論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力を評価する。] 面接実施前に「知識情報・図書館学類で学びたいこと」に関する 小作文(600字以内)を課し、面接の参考にする。
後期	実施しない。			

令和9年度入試より後期日程の募集人員を0名(廃止)とし、前期日程(学類・専門学群選抜)及び外国学校経験者特別入試の募集人員を増員、推薦入試の募集人員を減員します。

医学類

学力検査等の 区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 (学類・専門学群選抜) 44名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物理、化学、生物から2 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6教科8科目]	数 理 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 物基・物、化基・化、生基・生から2 英 適性試験(1) [筆記試験により、適応力や学習意欲、人間性等を評価する。] 適性試験(2) [個別面接により、医学を志向する動機、修学の継続力、適性、感性、社会的適応力等総合的な人間性について評価する。]
後期	実施しない。			

看護学類

学力検査等の 区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 (学類・専門学群選抜) 37名	国 数 外 情 ① 地歴 公民 理 ② 地歴 公民 理	国語 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から2 物基・化基・生基・地基、 物理、化学、生物 } から1 [6・7教科8科目] 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 物理、化学、生物から2 [6教科8科目]	国 理 外 その他	論国・文国(古文、漢文を除く) 物基・物、化基・化、生基・生から1 } 1教科選択(事前選択) 英、独、仏から1 (事前選択) 個別面接 〔看護学を志向する動機、適性、感性、社会的適応力等について総合的に判断する。〕
後期	実施しない。			

医療科学類

学力検査等の 区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 (学類・専門学群選抜) 12名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物理、化学、生物から2 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6教科8科目]	数 理 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 物基・物、化基・化、生基・生から2 英 個別面接 〔医療を志向する動機、適性、感性、社会的適応力等について総合的に判断する。〕
後期	実施しない。			

体育専門学群

学力検査等の 区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 (学類・専門学群選抜) 130名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A、数Ⅰ、数Ⅱ・数B・数Cから1 物基・化基・生基・地基、 物理、化学、生物、地学 } から1 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6教科6科目]	その他	実技(事前選択) 〔実技①の検査では、当該種目に関する基礎及び応用技能について評価する。実技②の検査では、主に入学後の実技履修上の観点から、基礎技能を中心に評価する。〕 保健体育理論に関する論述試験 〔保健体育に関する基礎的学力及び文章表現能力を評価する。〕
後期	実施しない。			

芸術専門学群

学力検査等の 区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 (学類・専門学群選抜) 45名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A、数Ⅰ、数Ⅱ・数B・数Cから1 物基・化基・生基・地基、 物理、化学、生物、地学 } から1 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6教科6科目]	その他	実技(事前選択) 〔芸術に関する基礎的表現力、適性、感性、主体性等について評価する。〕 次の科目の中から、午前1科目、午後1科目を選択する。 午前:論述、鉛筆デッサン 午後:論述(鑑賞)、論述(デザイン構想)、デッサン(木炭または鉛筆)、平面構成、書
後期 10名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A、数Ⅰ、数Ⅱ・数B・数C } から1 物基・化基・生基・地基、 物理、化学、生物、地学 } から1 英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [4教科4科目]	その他	実技(事前選択) 〔芸術に関する基礎的表現力、適性、感性、主体性等について評価する。〕 次の科目の中から、1科目を選択する。 論述、鉛筆デッサン

推薦入試 推薦要件一覧

注：下記に示す推薦要件は令和8年度推薦入試のもので、令和9年度推薦入試については、令和8年9月以降に公開予定の「推薦入試学生募集要項」を必ず参照してください。

各学群・学類ごとに下表に示す推薦要件のいずれかに該当する者のうち、学校長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できるものとします。

なお、下表において、“個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者”とは、推薦校において、「筑波大学に一般選抜（個別学力検査等）により入学した者」以上の学力（高校の学習成績）があると認められた者として、

学群・学類名	推薦要件	
人文・文化学群	人文学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 希望する主専攻分野（哲学、史学、考古学・民俗学、言語学）の内容に深い関心を有し、当該分野に関連する教科・科目において優れた能力を持つ者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付すること。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	比較文化学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 文学・思想・地域研究・文化学等比較文化主専攻に関わる分野において、特に優れた能力を持つ者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	日本語・日本文化学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 旺盛な知的好奇心や日本語・日本文化を学ぶにふさわしい明確な問題意識を持ち、専攻に関わる分野において特に優れた能力を持つ者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
社会・国際学群	社会学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 社会科学（社会学、法学、政治学、経済学）に関連する分野について、明確な問題意識と優れた能力を有する者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	国際総合学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 国際関係及び国際開発の諸分野の現実的問題に強い関心を持ち、世界的視野からそれを分析しようとする意欲があり、国際的に活躍できる資質を有する者で、外国語に優れた能力を持つ者、または理数系に優れた能力を持つ者（いずれもそれを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、柔軟な発想と構想力を持ち、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
人間学群	教育学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 教育についての問題意識を明確に持ち、それに関連する自主研究や部活動、社会活動等において優れた実績を有する者（その実績を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、英語等の外国語の能力が抜群で、将来、教育学の分野における国際舞台で活躍する資質が十分と考えられる者
	心理学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 人間のこころと行動について、旺盛な知的好奇心を持ち、明確な問題意識を持っている者で、このことに関連する自主研究や部活動、社会活動等において優れた実績を有する者（その実績を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、英語等の外国語の能力が抜群で、将来、心理学の分野における国際舞台で活躍する資質が十分と考えられる者
	障害科学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 障害科学についての問題意識を明確に持ち、それに関連する自主研究や部活動、社会活動等において優れた実績を有する者（その実績を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、英語等の外国語の能力が抜群で、将来、障害科学の分野における国際舞台で活躍する資質が十分と考えられる者

学群・学類名	推薦要件	
生命環境学群	生物学類	(1) 生物界や生き物の仕組みに関する広い興味を有し、調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 生物界や生き物の仕組みに関する広い興味を有し、生物や数学に優れた能力を持ち、かつ、生物の学習や実験に意欲的で、生物に関連する自主研究や国際生物学オリンピック（国内予選も含む。）等で実績を有する者（本要件の場合、生物の学習や実験に意欲的であることを証明する客観的資料があれば添付すること。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、生物界や生き物の仕組みに関する広い興味を有し、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	生物資源学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 理科、数学、英語のうち1教科に特に優れた能力を持ち、かつ、本学類に関連する部活動、地域活動、社会活動等において、実績を有する者（それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。これら諸活動の実績も評価の対象とします。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	地球学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 数学、理科及び地理のうち、少なくとも1教科・科目において、優れた能力を持つ者、国際地学オリンピックもしくは国際地理オリンピックに日本代表として選ばれた者、または、いずれかの国内選考会で好成績を収めた者（日本地学オリンピック予選通過者もしくは科学地理オリンピック日本選手権の金メダルもしくは銀メダルの受賞者。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、地球環境学や地球進化学に関する広い興味を有し、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
理工学群	数学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 数学において、特に優れた能力を持つ者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	物理学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 数学又は理科のいずれかにおいて、特に優れた能力を持つ者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	化学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 化学において、特に優れた能力を持つ者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	応用理工学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 数学又は理科の能力が抜群で（例えば、その学習成績が推薦校の上位5%以内）、かつ、希望する専攻分野に対して旺盛な好奇心を持つ者（それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	工学システム学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 数学と理科の能力が卓越しており、論理的な思考力とその表現力に優れている者 工学の分野に強い関心を持ち、工学について熱意を持って勉強しようと考えている者 （それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有し、将来、国際舞台で活躍する資質が十分と考えられる者
	社会工学類	(1) 文系・理系を問わず、調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 数学及び英語に優れた能力を持ち、希望専攻分野に関連する問題（社会経済システム専攻では社会や経済に関する諸問題、経営工学専攻では経営上の諸問題や経営計画における数学的手法、都市計画専攻では地域・都市・環境に関する諸問題）について強い関心を持ち、その分野で一定の成果を挙げた者（それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	情報学群	情報科学類
情報メディア創成学類		(1) 情報メディアの科学と技術に興味を有し、調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 情報メディアの科学と技術に強い関心を持ち、論理的思考力と表現力に優れ、豊かな発想ができる者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者

学群・学類名	推薦要件	
情報学群	知識情報・図書館学類	(1) 調査書における全体の学習成績の状況(評定平均値)が4.0以上の者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 知識、情報、図書館等に関する学校内外での研究や活動(探究学習、自主研究、部活動、社会活動等)において優れた実績を有する者(実績を証明する客観的資料があれば添付のこと。) (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)、で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	医学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 全教科がバランスよく優れている上に、英語及び理数系特に数学、理科(物理学、化学、生物学のうち2科目)の能力が抜群で、医師となる資質が十分と考えられる者(それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。) (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)、で、英語及び理数科目の能力が抜群で、将来、国際舞台で活躍する資質が十分であると考えられる者
医学群	看護学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 看護に関連する分野について、明確な問題意識と優れた能力を有し、部活動、地域活動、社会活動等(看護に関するものである必要はない。)において実績を有する者(その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。) (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)、で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	医療科学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 医療科学に関連する分野について、明確な問題意識と優れた能力を有し、特に数学、理科(物理、化学、生物のうち2科目)及び英語の能力に優れている者(その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。) (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)、で、英語及び理数科目の能力が抜群で、将来、国際舞台で活躍する資質が十分であると考えられる者
体育専門学群	(1) 一つの運動種目に抜群の技能を有し、かつ、本学群における十分な修学力を備え、将来体育・スポーツ、健康、コーチングの分野で活躍が期待できる者 なお、抜群の技能を有する者とは、次の要件のいずれかに該当するものをいいます。 ①国際大会等に日本を代表して選抜された者 ②全国的な大会等において16位以内の成績を収めた者 ③①②と同程度水準にあると認められる者 (上記①～③を証明する客観的資料を必ず添付のこと。)	
芸術専門学群	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 志望する芸術専門学群の領域で優れた資質または能力を持つ者(客観的資料として作品写真等があれば適宜添付のこと。)	

(注) 外国の高等学校を卒業した者について

日本国籍を有する者または日本国の永住許可を受けている者で、外国の高等学校を卒業した者または卒業見込みの者は、次の(ア)または(イ)のいずれかに該当する者のうち、出身高等学校長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者とします。

(ア) 各科目にわたり極めて優秀な成績を修めた者

(イ) 志願する学群・学類に関連する分野において特に優れた能力を持つ者

※「関連する分野」については、下表の主専攻分野を参考にしてください。

	学群・学類名	主専攻分野
学 人 文 文 化 群	人文学類	哲学、史学、考古学・民俗学、言語学
	比較文化学類	比較文化
	日本語・日本文化学類	日本語・日本文化学
学 社 会 群	社会学類	社会学、法学、政治学、経済学
	国際総合学類	国際関係学、国際開発学
人 教 間 育 学 群	教育学類	教育学
	心理学類	心理学
	障害科学類	障害科学
学 生 命 環 境 群	生物学類	生物学
	生物資源学類	生物資源科学
	地球学類	地球環境学、地球進化学
理 数 学 群	数学類	数学
	物理学類	物理学
	化学類	化学
工 学 学 群	応用理工学類	応用物理、電子・量子工学、物性工学、物質・分子工学
	工学システム学類	知的・機能工学システム、エネルギー・メカニクス
	社会工学類	社会経済システム、経営工学、都市計画
情 報 学 群	情報科学類	ソフトウェアサイエンス、情報システム、知能情報メディア
	情報メディア創成学類	情報メディア創成
知 識 情 報 学 群	知識情報・図書館学類	知識科学、知識情報システム、情報資源経営
医 学 学 群	医学類	医学、新医学
	看護学類	看護学
	医療科学類	医療科学、国際医療科学
体 育 専 門 学 群	体育学類	体育学
芸 術 専 門 学 群	芸術学類	芸術学

見学／体験学習／進学相談／資料請求

筑波大学オープンキャンパス

毎年度夏季の指定日に、高校生及び既卒者を対象として、筑波大学の教育・研究を正しく理解し、適切な進路を選択する上での参考にしていただくため、大学の概要説明や学類・専門学群の特色などの詳細説明を実施しています。

実施日 令和8年7月25日(土)、26日(日)、8月1日(土)

<https://ac.tsukuba.ac.jp/consultation/briefing/>



体験学習

高校生を対象に、大学教育の一端を体験していただくため、学群・学類において最先端の内容をよりわかりやすく授業を実施するもので、実際に講義・実験等を体験していただきます。

<https://www.tsukuba.ac.jp/admission/open-campus-work-study/>



進学相談

アドミッションセンターでは、アドミッションセンター教員による進学相談を行っています。また、入学案内、募集要項、各学群・学類のパンフレット等も配布しています。

<https://ac.tsukuba.ac.jp/consultation/online/>



大学院説明会・専攻公開

大学生・高等専門学校専攻科・社会人及び高校生を対象に、大学院での教育研究を公開する催しです。

<https://www.tsukuba.ac.jp/admission/open-campus-graduate/>



キャンパスツアー

高校向けキャンパスツアーを行っております。筑波キャンパスの見学を希望される場合は対象者や注意点等について下記 URL を事前にご確認の上、お申込みいただきますようお願いいたします。(なお、高校向けキャンパスツアーについては原則として3か月前までにお申し込みください。)

<https://www.tsukuba.ac.jp/about/campus-tour-top/>




資料請求方法

入学者選抜の詳細は、本学入試情報サイトに掲載する「入学者選抜要項」及び「学生募集要項」などで確認してください。※「入学者選抜要項」「学生募集要項」の印刷物配布はありません。

大学案内や学群・学類案内パンフレット等は、以下の方法で請求できます。

(1) インターネットで請求する場合

① 以下の URL で  テレメール進学サイトにアクセスしてください。

 テレメール進学サイト	筑波大学資料請求用 QR コード (資料請求番号の入力不要)
https://telemail.jp/shingaku/request	

② 「資料請求」ページから希望の資料を選択してください。

資料名	発送開始(予定)
大学案内	5月下旬
総合学域群案内	5月中旬
人文学類案内	7月中旬
比較文化学類案内	7月中旬
日本語・日本文化学類案内	4月下旬
社会学類案内	7月下旬
国際総合学類案内	4月中旬
人間学群案内(教育学類・心理学類・障害科学類)	7月中旬
生命環境学群案内	4月下旬
生物学類案内	4月下旬
生物資源学類案内	4月下旬
地球学類案内	4月下旬
理工学群案内	4月下旬
数学類案内	7月上旬
物理学類案内	4月下旬
化学類案内	6月上旬
応用理工学類案内	4月下旬
工学システム学類案内	7月下旬
社会工学類案内	7月上旬
情報科学類案内	7月上旬
情報メディア創成学類案内	4月下旬
知識情報・図書館学類案内	4月下旬
医学群案内(医学類・看護学類・医療科学類)	6月中旬
体育専門学群案内	7月上旬
芸術専門学群案内	6月中旬

③ ガイダンスに従ってお届け先を登録してください。

請求方法についてのお問い合わせ先

 テレメールカスタマーセンター

電話 050-8601-0102

受付時間 9:30 ~ 18:00

(2) 窓口で受け取る場合

筑波キャンパスアドミッションセンター窓口で、資料を入手できます。

電話 029-853-7385

受付時間 平日 9:00 ~ 17:00 (祝休日・休業日除く)

キャンパスマップ

257ヘクタールの敷地には、全体として森林公園を基調とした景観の中に、変化に富んだ斬新なデザインの施設がそれぞれ効率的に配置され、ペDESTリアンと環状道路等で機能的に結ばれています。

これらの施設は、内外の学術交流、市民の教養活動、社会体育行事などにも利用されています。



■ 筑波キャンパス

エリア名	施設名称
東エリア	1 歴舎・第2歴舎
農林技術エリア	2 つくば機能植物イノベーション研究センター (農場)
一の英借舎	3 一の英学生借舎
エリア	4 一の英学生センター
実験センター	5 放射線・アイソトープ地球システム研究センター (環境動態予測部門)
エリア	6 TARACENTER
	7 産学リエントランス共同研究センター
	8 ハイテク・マテリアル植物生産研究棟
	9 プラスマ研究センター
	10 リサーチユニット 深淵ハイオクエネルギシステム
	11 エンバワースタジオ
	12 放射線・アイソトープ地球システム研究センター (工務部門)
	13 研究基礎総合センター (低濃部門)
	14 放射線・アイソトープ地球システム研究センター (応用加速器部門)
	15 共同研究棟C
	16 研究基礎総合センター (分析部門)
	17 フロンティア研究棟
	18 放射線・アイソトープ地球システム研究センター (放射線研究部門)
	19 筑波大学アーカイブズ、中央機械室

第三エリア	施設名称
	21 3A~3D・G・3K・3L棟/システム情報エリア支援室
	22 工学系学系棟
	23 理科系棟
	24 共同研究棟D
	25 総合研究棟B
	26 サイバニクス研究棟

第二エリア	施設名称
	27 つくば機能植物イノベーション研究センター (遺伝子実験センター)
	28 生物・農林学系棟
	29 第1体育館
	30 総合研究棟A
	31 2A~2E、2G、2H棟/生命環境エリア支援室、人間工学的支援室
	32 文科系修士棟
	33 人間系学系棟
	34 環境防災研究棟/山岳科学センター

第一エリア	施設名称
	35 中央図書館
	36 人文社会学系棟
	37 共同利用棟A
	38 共同研究棟A
	39 共同利用棟D
	40 1D~1G棟/スチューデントプラザ
	41 1A~1C、1H棟/人文社会エリア支援室、数理解析工学的支援室、スチューデント commons、総合学域群アカデミックサポーターセンター
	42 文科系サークル会館

エリア名	施設名称
医学エリア	78 医学地区中央機械室
	79 腫瘍医学研究棟
	80 4B棟、4C棟、4D棟
	81 生命科学動物資源センター
	82 4E棟
	83 共同利用棟B
	84 医学系研究棟
	85 医学系学系棟
	86 附属病院
	87 4A棟/医学医工学支援室
	88 医学系棟
	89 医学図書館、臨床講義室
	90 医学食堂
	91 第2体育館

- 43 自然科学系棟
- 44 計算科学研究センター
- 45 本部棟、本部アネックス棟
- 46 講堂
- 47 学生会館、筑波大学キャラリー、筑波大学アースベース
- 48 総合交流会館
- 49 大学名館B棟
- 50 芸術情報メディアセンター
- 51 クローバルコミュニケーション教育センター
- 52 保健管理センター
- 53 国際講義棟

- 54 芸術学系棟
- 55 5C棟 / 体育芸術工エリア支援室
- 56 共同研究棟B
- 57 体育科学系棟
- 58 体育総合実験棟
- 59 6A、6B棟
- 60 芸術学系工房棟
- 61 アート&デザイン実習室
- 62 体育・芸術図書館
- 63 中央体育館
- 64 T-Dome
- 65 スポーツ流体力学実験棟
- 66 体芸会堂
- 67 クローバルスポーツイノベーション棟
- 68 体育センター、体育系サークル会館
- 69 屋内プール
- 70 武道館
- 71 球技体育館
- 72 陸上競技会館
- 73 総合研究棟D
- 74 弓道場
- 75 Invictus athlete Performance Center
- 76 クラフハウス
- 77 課外活動練習施設

- 92 電子線医学利用研究センター
- 93 組織医学イノベーション棟
- 94 つくば臨床検査教育・研究センター
- 95 次世代分子イメージングAI(画像検査センター)
- 96 防災・感染症管理棟
- 97 未来社会デザイン棟
- 98 平砂学生宿舎
- 99 クローバルウェイレッジ
- 100 レジデント宿泊施設
- 101 遠越生活センター、ゆりのき保育所
- 102 遠越学生宿舎
- 103 外国人教師等宿泊施設
- 104 7A棟
- 105 春日学生宿舎 春日1号棟、春日2号棟
- 106 高総研医療イノベーション棟
- 107 春日講堂
- 108 7B棟、7C棟 / 図書館情報工エリア支援室
- 109 図書館情報学図書館
- 110 7D棟
- 111 第4体育館
- 112 春日弓道場
- 113 情報メディアユニオン
- 114 春日学生宿舎 春日3号棟
- 115 春日福利厚生棟
- 116 クローバルゲストハウス

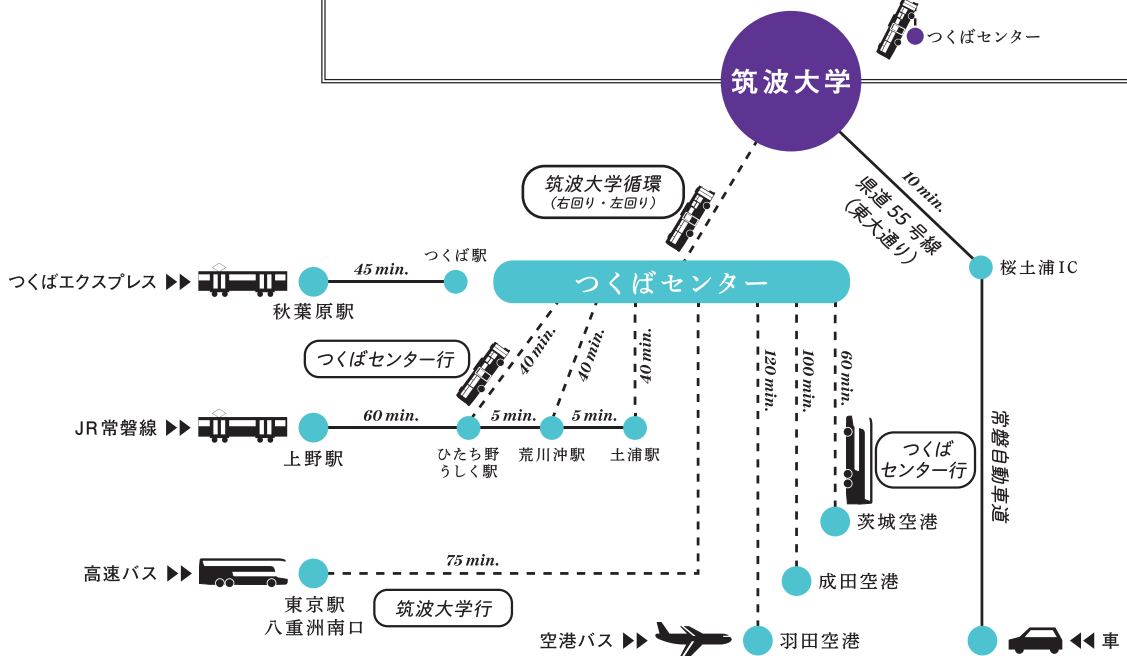
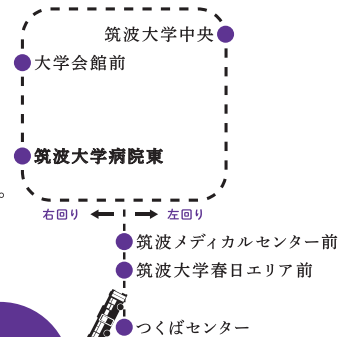




筑波大学へのアクセス ACCESS TO UNIVERSITY OF TSUKUBA

つくばセンターから 筑波大学へのバスについて

- 筑波大学へのバスは、大学の外周を一周する道路で運行されています。
- つくばセンター発のバスには、「筑波大学循環（右回り・左回り）」の2種類があります。



編集発行：筑波大学アドミッションセンター 305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1
 電話：029-853-7385(直通) メールアドレス：ac-img@ml.cc.tsukuba.ac.jp
 表紙デザイン：熊澤佑悟(人間総合科学学術院)
 自分を守っていたものを脱ぎ捨て、羽のように葉を伸ばす。大学で始まる新たな学びを芽生えに準え、表現した。



最新の情報や訂正については筑波大学アドミッションセンターのホームページをご覧ください。
<https://ac.tsukuba.ac.jp>